ル休日
三　就業時間ノ延長ヲ爲シ又ハ休日ヲ廢シクル作業ノ種類及其ノ作業ニ從事シクル職工數
四　就業時間ノ延長ヲ必要トシ又ハ休日ノ廢止ヲ必要トシクル事由
第七條　令第七條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
（別記樣式省略）

工場就業時間制限令施行規則

（昭和十四年七月二十五日　勅令第七十號）

第一條　工場主左ニ揭グル場合ニ於テハ工場就業時間制限令（以下令ト稱ス）第五條ノ規定ニ依リ必要ナル限度ニ於テ就業時間ノ延長ヲ爲スコトヲ得

一　職工ヲ二組以上ニ分チ交替ニ就業セシムル場合ニ於テ交替班ノ就業時ヲ轉換スル爲又ハ交替時ニ作業ノ引繼ヲ爲ス爲特ニ必要アルトキ
二　鑛、汽罐、原動機、起重機等ノ取扱ニ從事セシムル爲特ニ必要アルトキ
三　機械ノ保全、設備ノ修理、工具ノ出納、掃除等補助的業務ニ專ラ從事セシムル爲特ニ必要アルトキ
四　其ノ他前各號ニ準ズル場合

第二條　令第五條ノ規定ニ依ル屆出書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　工場ノ名稱、所在地及業ノ種類
二　工業主ノ氏名及住所（法人タル工業主ニ在リテハ其ノ名稱、主タル事務所ノ所在地及代表者ノ氏名）
三　常時使用スル男女別職工數及十六歲未滿ノ職工數
四　所定ノ就業時間、休憩時間、休日及職工ヲ二組以上ニ分チ交替ニ就業セシムルトキハ就業時間轉換ニ關スル事項
五　延長セントスル就業時間又ハ廢セントスル休日
六　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル事由

第三條　令第六條第一項ノ規定ニ依ル許可ノ申請書ニハ前條第一號乃至第四號ニ規定スル事項ノ外左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　災害事故等ニ因リ緊急ノ處置ヲ必要トスルトキ
二　工場事業管理令ニ依リ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ管理スル工場ニ於テ同令ニ基キ作業時間ノ延長ヲ命ゼラレクルトキ

第四條　令第六條第二項ノ規定ニ依ル屆出書ニハ第二條各號ニ規定スル事項ノ外就業時間ヲ延長セントスル期間ヲ記載スベシ

第五條　令第六條第三項ノ規定ニ依ル屆出書ニハ第二條第一號乃至第四號ニ規定スル事項ノ外左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　就業時間ヲ延長シ又ハ休日ヲ廢セントスル期間
二　延長ヲ爲シクル就業時間又ハ廢シクル休日
三　就業時間ノ延長ヲ爲シ又ハ休日ヲ廢シクル作業ノ種類、其ノ作業ニ從事シクル男女別職工數及十六歲未滿ノ職工數
四　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トシクル事由

第六條　令第七條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
（別記樣式省略）

工場就業時間制限令施行規則

（昭和十四年八月一日　商工省令第四十號）

第一條　工場主ハ左ニ揭グル場合ニ於テハ工場就業時間制限令（以下令ト稱ス）第五條ノ規定ニ依リ必要ナル限度ニ於テ就業時間ノ延長ヲ爲スコトヲ得

一　職工ヲ二組以上ニ分チ交替ニ就業セシムル場合ニ於テ交替班ノ就業時ヲ轉換スル爲又ハ交替時ニ作業ノ引繼ヲ爲ス爲特ニ必要アルトキ
二　鑛、汽罐、原動機、起重機等ノ取扱ニ從事セシムル爲特ニ必要アルトキ
三　機械ノ保全、設備ノ修理、工具ノ出納、掃除等補助的業務ニ專ラ從事セシムル爲特ニ必要アルトキ
四　其ノ他前各號ニ準ズル場合

第二條　令第五條ノ規定ニ依ル屆出書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　工場ノ名稱、所在地及業ノ種類
二　工業主ノ氏名及住所（法人タル工業主ニ在リテハ其ノ名稱、主タル事務所ノ所在地及代表者ノ氏名）
三　常時使用スル男女別職工數及十六歲未滿ノ職工數
四　所定ノ就業時間、休憩時間、休日及職工ヲ二組以上ニ分チ交替ニ就業セシムルトキハ就業時間轉換ニ關スル事項
五　延長セントスル就業時間又ハ廢セントスル休日
六　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル事由

第三條　令第六條第一項ノ規定ニ依ル許可ノ申請書ニハ前條第一號乃至第四號ニ規定スル事項ノ外左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　災害事故等ニ因リ緊急ノ處置ヲ必要トスルトキ
二　工場事業管理令ニ依リ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ管理スル工場ニ於テ同令ニ基キ作業時間ノ延長ヲ命ゼラレクルトキ

第四條　令第六條第二項ノ規定ニ依ル屆出書ニハ第二條各號ニ規定スル事項ノ外就業時間ヲ延長セントスル期間ヲ記載スベシ

第五條　令第六條第三項ノ規定ニ依ル屆出書ニハ第二條第一號乃至第四號ニ規定スル事項ノ外左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　就業時間ヲ延長シ又ハ休日ヲ廢セントスル期間
二　延長セントスル就業時間又ハ廢セントスル休日
三　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル作業ノ種類、其ノ作業ニ從事スル男女別職工數及十六歲未滿ノ職工數
四　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル事由

第六條　令第六條第一項但書ノ規定ニ依リ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ管理スル工場ニ於テ同令ニ基キ作業時間ノ延長ヲ命ゼラレクルトキ

第四條　令第六條第二項ノ規定ニ依ル屆出書ニハ第二條各號ニ規定スル事項ノ外就業時間ヲ延長セントスル期間ヲ記載スベシ

第五條　令第六條第三項ノ規定ニ依ル屆出書ニハ第二條第一號乃至第四號ニ規定スル事項ノ外左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　就業時間ヲ延長シ又ハ休日ヲ廢セントスル期間
二　延長セントスル就業時間又ハ廢セントスル休日
三　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル作業ノ種類、其ノ作業ニ從事スル男女別職工數及十六歲未滿ノ職工數
四　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル事由

第六條　令第七條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
（別記樣式省略）

工場就業時間制限令施行規則

（昭和十四年八月一日　商工省令第四十號）

第一條　工場主ハ左ニ揭グル場合ニ於テハ工場就業時間制限令（以下令ト稱ス）第五條ノ規定ニ依リ必要ナル限度ニ於テ就業時間ノ延長ヲ爲スコトヲ得

一　職工ヲ二組以上ニ分チ交替ニ就業セシムル場合ニ於テ交替班ノ就業時ヲ轉換スル爲又ハ交替時ニ作業ノ引繼ヲ爲ス爲特ニ必要アルトキ
二　鑛、汽罐、原動機、起重機等ノ取扱ニ從事セシムル爲特ニ必要アルトキ
三　機械ノ保全、設備ノ修理、工具ノ出納、掃除等補助的業務ニ專ラ從事セシムル爲特ニ必要アルトキ
四　其ノ他前各號ニ準ズル場合

第二條　令第五條ノ規定ニ依ル屆出書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　工場ノ名稱、所在地及業ノ種類
二　工業主ノ氏名及住所（法人タル工業主ニ在リテハ其ノ名稱、主タル事務所ノ所在地及代表者ノ氏名）
三　常時使用スル男女別職工數及十六歲未滿ノ職工數
四　所定ノ就業時間、休憩時間、休日及職工ヲ二組以上ニ分チ交替ニ就業セシムルトキハ就業時間轉換ニ關スル事項
五　延長セントスル就業時間又ハ廢セントスル休日
六　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル事由

第三條　令第六條第一項ノ規定ニ依ル許可ノ申請書ニハ前條第一號乃至第四號ニ規定スル事項ノ外左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　災害事故等ニ因リ緊急ノ處置ヲ必要トスルトキ
二　工場事業管理令ニ依リ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ管理スル工場ニ於テ同令ニ基キ作業時間ノ延長ヲ命ゼラレクルトキ

第四條　令第六條第二項ノ規定ニ依ル屆出書ニハ第二條各號ニ規定スル事項ノ外就業時間ヲ延長セントスル期間ヲ記載スベシ

第五條　令第六條第三項ノ規定ニ依ル屆出書ニハ第二條第一號乃至第四號ニ規定スル事項ノ外左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　就業時間ヲ延長シ又ハ休日ヲ廢セントスル期間
二　延長セントスル就業時間又ハ廢セントスル休日
三　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル作業ノ種類、其ノ作業ニ從事スル男女別職工數及十六歲未滿ノ職工數
四　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル事由

第六條　令第六條第一項但書ノ規定ニ依リ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ管理スル工場ニ於テ同令ニ基キ作業時間ノ延長ヲ命ゼラレクルトキ

第四條　令第六條第二項ノ規定ニ依ル屆出書ニハ第二條各號ニ規定スル事項ノ外就業時間ヲ延長セントスル期間ヲ記載スベシ

第五條　令第六條第三項ノ規定ニ依ル屆出書ニハ第二條第一號乃至第四號ニ規定スル事項ノ外左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　就業時間ヲ延長シ又ハ休日ヲ廢セントスル期間
二　延長セントスル就業時間又ハ廢セントスル休日
三　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル作業ノ種類、其ノ作業ニ從事スル男女別職工數及十六歲未滿ノ職工數
四　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル事由

第六條　令第七條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
（別記樣式省略）

工場就業時間制限令施行規則

（昭和十四年八月一日　商工省令第四十號）

第一條　工場主ハ左ニ揭グル場合ニ於テハ工場就業時間制限令（以下令ト稱ス）第五條ノ規定ニ依リ必要ナル限度ニ於テ就業時間ノ延長ヲ爲スコトヲ得

一　職工ヲ二組以上ニ分チ交替ニ就業セシムル場合ニ於テ交替班ノ就業時ヲ轉換スル爲又ハ交替時ニ作業ノ引繼ヲ爲ス爲特ニ必要アルトキ
二　鑛、汽罐、原動機、起重機等ノ取扱ニ從事セシムル爲特ニ必要アルトキ
三　機械ノ保全、設備ノ修理、工具ノ出納、掃除等補助的業務ニ專ラ從事セシムル爲特ニ必要アルトキ
四　其ノ他前各號ニ準ズル場合

第二條　令第五條ノ規定ニ依ル屆出書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　工場ノ名稱、所在地及業ノ種類
二　工業主ノ氏名及住所（法人タル工業主ニ在リテハ其ノ名稱、主タル事務所ノ所在地及代表者ノ氏名）
三　常時使用スル男女別職工數及十六歲未滿ノ職工數
四　所定ノ就業時間、休憩時間、休日及職工ヲ二組以上ニ分チ交替ニ就業セシムルトキハ就業時間轉換ニ關スル事項
五　延長セントスル就業時間又ハ廢セントスル休日
六　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル事由

第三條　令第六條第一項ノ規定ニ依ル許可ノ申請書ニハ前條第一號乃至第四號ニ規定スル事項ノ外左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　災害事故等ニ因リ緊急ノ處置ヲ必要トスルトキ
二　工場事業管理令ニ依リ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ管理スル工場ニ於テ同令ニ基キ作業時間ノ延長ヲ命ゼラレクルトキ

第四條　令第六條第二項ノ規定ニ依ル屆出書ニハ第二條各號ニ規定スル事項ノ外就業時間ヲ延長セントスル期間ヲ記載スベシ

第五條　令第六條第三項ノ規定ニ依ル屆出書ニハ第二條第一號乃至第四號ニ規定スル事項ノ外左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　就業時間ヲ延長シ又ハ休日ヲ廢セントスル期間
二　延長セントスル就業時間又ハ廢セントスル休日
三　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル作業ノ種類、其ノ作業ニ從事スル男女別職工數及十六歲未滿ノ職工數
四　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル事由

第六條　令第六條第一項但書ノ規定ニ依リ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ管理スル工場ニ於テ同令ニ基キ作業時間ノ延長ヲ命ゼラレクルトキ

一　就業時間ヲ延長シ又ハ休日ヲ廢セントスル期間
二　延長セントスル就業時間又ハ廢セントスル休日
三　機械ノ保全、設備ノ修理、工具ノ出納、掃除等補助的業務ニ專ラ從事セシムル爲特ニ必要アルトキ
四　其ノ他前各號ニ準ズル場合

第二條　令第五條ノ規定ニ依ル屆出書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　工場ノ名稱、所在地及業ノ種類
二　工業主ノ氏名及住所（法人タル工業主ニ在リテハ其ノ名稱、主タル事務所ノ所在地及代表者ノ氏名）
三　常時使用スル男女別職工數及十六歲未滿ノ職工數
四　所定ノ就業時間、休憩時間、休日及職工ヲ二組以上ニ分チ交替ニ就業セシムルトキハ就業時間轉換ニ關スル事項
五　延長セントスル就業時間又ハ廢セントスル休日
六　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル事由

第三條　令第六條第一項ノ規定ニ依ル許可ノ申請書ニハ前條第一號乃至第四號ニ規定スル事項ノ外左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　災害事故等ニ因リ緊急ノ處置ヲ必要トスルトキ
二　工場事業管理令ニ依リ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ管理スル工場ニ於テ同令ニ基キ作業時間ノ延長ヲ命ゼラレクルトキ

第四條　令第六條第二項ノ規定ニ依ル屆出書ニハ第二條各號ニ規定スル事項ノ外就業時間ヲ延長セントスル期間ヲ記載スベシ

第五條　令第六條第三項ノ規定ニ依ル屆出書ニハ第二條第一號乃至第四號ニ規定スル事項ノ外左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　就業時間ヲ延長シ又ハ休日ヲ廢セントスル期間
二　延長セントスル就業時間又ハ廢セントスル休日
三　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル作業ノ種類、其ノ作業ニ從事スル男女別職工數及十六歲未滿ノ職工數
四　就業時間ノ延長又ハ休日ノ廢止ヲ必要トスル事由

第六條　令第六條第一項但書ノ規定ニ依リ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ管理スル工場ニ於テ同令ニ基キ作業時間ノ延長ヲ命ゼラレクルトキ

青少年雇入制限令

（勅令第三百十七號　昭和十五年十二月六日）

第一條　青少年ノ國家總動員法（昭和十三年法律第五十五號）第六條ノ規定ニ基ク雇入制限ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ニ於テ青少年ト稱スルハ年齢十二年以上二十年未滿ノ男子又ハ年齢十二年以上二十年未滿ノ女子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當セサルモノヲ謂フ

一　大學、大學豫科、高等學校、高等師範學校、專門學校、實業專門學校、師範學校又ハ厚生大臣ノ指定スル學校（實施所ヲ含ム）ヲ本業又ハ修了シタル者

二　學校若ハ青年學校用敎科書令第一條ノ本業者ニシテ前號ニ該當セサルモノ

三　厚生大臣ノ指定スル場合又ハ厚生大臣ノ指定スル者

四　其ノ雇傭ヲ更ケタル者

第三條　男子タル青少年（以下男子青少年ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ヲ除クノ外其ノ雇入ヲ爲スコトヲ得ス

一　男子青少年ノ雇傭員數ガ命令ヲ以テ定ムル員數ニ滿ツルニ至ル迄之ノ雇入ルル場合

二　厚生大臣ノ指定スル事業ヲ營ム者其ノ事業ニ使用スベキ男子青少年ノ雇入ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受ケタル場合

三　男子青少年ヲ雇傭シ得ベキ雇傭員數ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ職業紹介所長ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ員數ニ滿ツルニ至ル迄之ヲ雇入ルル場合

四　入營（應召ノ場合ヲ含ム以下同ジ）ヲ命ゼラレタル青少年ヲ解雇シタル場合又ハ雇傭スル青少年ノ入營中雇傭期間ノ滿了シタル場合ニ於テ其ノ青少年ガ歸還（入營ノ際行フ身體檢査ノ結果歸還ヲ命ゼラレタル場合ヲ含ム）シタル日ヨリ三月以內ニ再ビ之ヲ雇入ルル場合

五　其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合

第四條　女子タル青少年（以下女子青少年ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スル營業ノ以外厚生大臣ノ指定スル營業ノ以外ニ於テ之ヲ使用スル場合ニ之ヲ準用ス

一　男子青少年ノ雇傭員數ガ命令ヲ以テ定ムル員數ニ滿タザル場合ニ於テ其ノ員數ニ滿ツルニ至ル迄之ヲ雇入ルル場合

二　厚生大臣ノ指定スル事業ヲ營ム者其ノ事業ニ使用スベキ女子青少年ノ雇入ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受ケタル場合

三　其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合

第五條　地方長官ハ第三條第二號ノ認可ノ申請ニ付不正又ハ虛僞ノ事實アリト認ムルトキハ認可ヲ取消スコトヲ得

職業紹介所長ハ第三條第二號又ハ前條第二號ノ認可ノ申請ニ付不正又ハ虛僞ノ事實アリト認ムルトキハ認可シタル員數ヲ減少シ又ハ認可ヲ取消スコトヲ得

第六條　厚生大臣又ハ地方長官ハ青少年ノ雇入ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第七條　厚生大臣、地方長官又ハ職業紹介所長ハ命令ノ定ムル所ニ依リ青少年ノ雇入ニ關シ國家總動員法第二十一條ノ規定ニ依リ權限ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ權限ノ一部ヲ委任スルコトヲ得

第八條　本令ニ於テ地方長官ノ權限ニ屬スル事項ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ一部ヲ區長、市長又ハ警察官吏ニ委任スルコトヲ得

第九條　本令ニ於テ命令ヲ以テ定ムベキ事項ハ內務大臣、厚生大臣又ハ內務大臣及厚生大臣ノ共同主務省令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　本令ニ違反シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一條　本令ニ違反シタル者ニ對シテハ其ノ違反ニ關シ雇入ヲ爲シタル青少年ノ數ニ應ジ左ノ區別ニ從ヒ罰金ヲ併科ス

一　五人以下　五百圓以下

二　六人以上十人以下　千圓以下

三　十一人以上二十人以下　二千圓以下

四　二十一人以上　五千圓以下

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（附記省略）

ニ基ク報告ヲ徴スルコトヲ得

第八條　地方長官又ハ職業紹介所長必要ト認ムルトキハ青少年ノ雇入ニ關シ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ當該官吏ヲシテ青少年ヲ雇入レタル者又ハ雇入レントスル者ノ工場、事業場、事務所、店舖其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第九條　年齡十二年未滿ノ者ヲ雇入レ引續キ其ノ者ヲ雇傭スル場合ニ於テハ本令ノ適用ニ付テハ其ノ者ガ年齡十二年ニ達スル時ニ於テ新ニ雇入ルルモノト看做ス但シ此ノ場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ新ナル雇入ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル認可ノ申請アリタルトキハ其ノ申請ニ對スル認可又ハ不認可ノ處分アル時ニ新ニ雇入ルルモノト看做ス

第十條　本令ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事業(命令ヲ以テ定ムルモノヲ除ク)ニ使用スル爲又ハ船員トシテ使用スル爲青少年ヲ雇入ルル場合ニハ之ヲ適用セズ

一　土地ノ耕作若ハ開墾又ハ植物ノ栽植、栽培、採取若ハ伐採ノ事業其ノ他ノ農業又ハ林業

二　動物ノ飼育又ハ水產動植物ノ採捕若ハ養殖ノ事業其ノ他ノ畜產業、養蠶業又ハ水產業

第十一條　本令ハ國、道府縣並ニ市町村及之ニ準ズベキモノ其ノ他命令ヲ以テ定ムルモノノ青少年ノ雇入ニハ之ヲ適用セズ

第十二條　本令ハ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ於ケル女子青少年ノ雇入ニハ之ヲ適用セズ

第十三條　本令中厚生大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ職業紹介所長トアルハ朝鮮ニ在リテハ府尹、郡守又ハ島司、臺灣ニ在リテハ市尹又ハ郡守(澎湖廳ニ在リテハ廳長)、樺太ニ在リテハ樺太廳支廳長、南洋群島ニ在リテハ南洋廳支廳長トシ道府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州又ハ廳、南洋群島ニ在リテハ南洋群島地方費トス

附　則

本令ハ昭和十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ第三條第二號ノ事業ヲ營ム者ハ本令施行後六十日間ヲ限リ同條同號ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第九條ノ規定ハ本令施行前年齡十二年未滿ノ者ヲ雇入レ引續キ其ノ者ヲ雇傭スル場合ニ於テハ之ヲ適用セズ

青少年雇入制限令施行規則

(昭和十五年二月十五日　厚生省令第二號)

改正　昭一六、二、一、厚令二

第一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ青少年雇入制限令(以下令ト稱ス)第二條第四號ノ規定ニ依リ令第二條ノ青少年(以下青少年ト稱ス)タラザルモノトス

一　軍人又ハ之ニ準ズベキ者(軍屬ヲ含ム)トシテ戰鬪其ノ他ノ公務ニ因リ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ニシテ其ノ固定シタル症狀恩給法施行令第二十四條、第二十四條ノ二又ハ第三十一條ニ規定スル傷病ノ程度ニ達スルモノ

二　國民職業指導所長ニ於テ身體ノ障碍ニ因リ作業能力著シク劣レルモノト認定シタル者

前項第二號ノ認定ヲ受ケントスル者ハ樣式第一號ニ依リ居住地ノ所轄國民職業指導所長ニ申請スベシ

第二條　令第三條第一號ノ員數ハ工場、事業場、事務所、店舖其ノ他男子青少年ヲ雇傭スル場所(本則施行地外ニ在ルモノヲ除ク)毎ニ昭和十四年十二月三十一日現在ニ於テ雇傭シ居リタル男子青少年(日日雇傭シ居リタル者又ハ三十日未滿ノ期間ヲ定メテ雇傭シ居リタル者ヲ除ク)ノ員數ノ百分ノ七十ニ相當スル員數トス員數ノ算定ニ付一未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ其ノ端數ハ之ヲ一トシテ計算スルモノトス

男子青少年ヲ雇入ルル日ニ於テ現ニ雇傭スル男子青少年中ニ入營(應召ノ場合ヲ含ム)中ノ者アルトキハ其ノ員數ヲ前項ノ規定ニ依リ算定シタル員數ニ加ヘタル員數ヲ以テ令第三條第一號ノ員數トス

第三條　令第三條第二號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ樣式第二號ニ依リ工場、事業場其ノ他男子青少年ヲ雇傭スル場所ノ所在地ノ所轄國民職業指導所長ヲ經由シテ當該場所ノ所在地ノ所轄地方長官ニ申請スベシ但シ工場、事業場其ノ他男子青少年ヲ雇傭スル場所ガ本則施行地外ニ在ルトキハ本則施行地內ニ於ケル主タル事務所ノ所在地(主タル事務所ナキ場合ハ主トシテ雇入ヲ爲スベキ地)ノ所轄地方長官ニ申請スベシ

第四條　地方長官必要ト認ムルトキハ令第三條第二號ノ認可ニ期限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第五條　令第三條第三號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ樣式第三號ニ依リ工場、事業場、事務所、店舖其ノ他男子青少年ヲ雇傭スル場所ノ所在地ノ所轄國民職業指導所長ニ申請スベシ

第六條　國民職業指導所長必要ト認ムルトキハ令第三條第三號ノ認可ニ期限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第七條　令第三條第五號ノ場合トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合トス

一　日日男子青少年ヲ雇入ルル場合

二　三十日未滿ノ期間ヲ定メテ男子青少年ヲ雇入ルル場合

三　事業ノ經營其ノ他ノ事由ノ爲特ニ必要アル場合ニ於テ特定ノ男子青少年ノ雇入ニ付國民職業指導所長ノ認可ヲ受ケタル場合

四　工場事業場管理令ニ依リ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ管理スル工場又ハ事業場ニ於テ同令ニ基キ人員ノ增加ヲ命ゼラレタル場合

五　營業ノ讓渡其ノ他ノ事由ニ因リ事業ノ承繼アリタル場合ニ於テ從前雇傭シ居リタル男子青少年ヲ引續キ雇入ルル場合

六　工場、事業場、事務所、店舖其ノ他男子青少年ヲ雇傭スル場所ガ本則施行地外ニ在ル場合ニ於テ男子青少年ノ雇入員數ニ付厚生大臣又ハ地方長官ノ認可ヲ受ケタル場合

前項第二號ノ規定ニ依リ雇入レタル男子青少年ヲ所定ノ期間ヲ超エテ引續キ雇傭セントスル場合ハ所定ノ期間ノ滿了スル時ニ於テ其ノ者ヲ新ニ雇入ルルモノト看做ス

第一項第一號ノ規定ニ依リ雇入レタル男子青少年ヲ三十日ヲ超エテ引續キ雇入ルル場合又ハ前項ノ場合ハ第一項第一號又ハ第二號ニ該當セザルモノトス

第一項第三號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ樣式第四號ニ依リ工場、事業場、事務所、店舖其ノ他男子青少年ヲ雇傭スル場所ノ所在地ノ所轄國民職業指導所長ニ申請スベシ

第一項第六號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ樣式第五號ニ依リ雇入ヲ爲スベキ地ガ二道府縣以上ニ亘リ且雇入レントスル男子青少年ノ員數ガ三十人以上ナル場合ニ在リテハ厚生大臣ニ、其ノ他ノ場合ニ在リテハ雇入ヲ爲スベキ地ノ所轄地方長官ニ

申請スベシ

第八條　厚生大臣又ハ地方長官必要ト認ムルトキハ前條第一項第六號ノ認可ニ期限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第九條　令第四條第一號ノ員數ハ女子青少年ヲ雇傭スル場所（本則施行地外ニ在ルモノヲ除ク）毎ニ昭和十四年十二月三十一日現在ニ於テ令第四條ノ業務（以下指定業務ト稱ス）ニ使用スル爲雇傭シ居リタル女子青少年（日日雇傭シ居リタル者又ハ三十日未滿ノ期間ヲ定メテ雇傭シ居リタル者ヲ除ク）ノ員數ノ百分ノ七十ニ相當スル員數トス員數ノ算定ニ付一未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ其ノ端數ハ之ヲ一トシテ計算スルモノトス

第十條　令第四條第二號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ樣式第六號ニ依リ女子青少年ヲ雇傭スル場所ノ所在地ノ所轄國民職業指導所長ニ申請スベシ

第十一條　令第四條第三號ノ場合トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合トス

一　營業ノ讓渡其ノ他ノ事由ニ因リ事業ノ承繼アリタル場合ニ於テ從前雇傭シ居リタル女子青少年ヲ引續キ雇入ルル場合

二　女子青少年ヲ雇傭スル場所ガ本則施行地外ニ在ル場合ニ於テ女子青少年ノ雇入員數ニ付國民職業指導所長ノ認可ヲ受ケタル場合

前項第二號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ樣式第七號ニ依リ雇入ヲ爲スベキ地ノ所轄國民職業指導所長ニ申請スベシ

第十二條　第六條ノ規定ハ第七條第一項第三號、前條第一項第二號及令第四條第二號ノ認可ニ付之ヲ準用ス

第十三條　雇傭主ガ其ノ雇傭スル青少年ニ付工場、事業場、事務所其ノ他青少年ノ使用ノ場所間ニ所屬ノ移動ヲ行フ場合ニ於テハ令ノ適用ニ付テハ後ノ使用ノ場所ニ於テ其ノ者ヲ新ニ雇入ルルモノトス

第十四條　常時五人以上ノ男子青少年ヲ雇傭スル者ハ工場、事業場、事務所、店舖其ノ他男子青少年ヲ雇傭スル場所毎ニ樣式第八號ニ依ル青少年雇傭名簿ヲ備付ケ男子青少年ノ雇入解雇ニ關スル事項ヲ記載スベシ但シ工場法又ハ鑛業法ノ適用ヲ受クル事業ニ使用スル男子青少年ニ付テハ職工名簿又ハ鑛夫名簿ヲ以テ青少年雇傭名簿ニ代フルコトヲ得

前項ノ規定ハ指定業務ニ使用スル女子青少年ヲ常時五人以上雇傭スル者ニ付之ヲ準用ス

第十五條　令第七條ノ規定ニ依ル報告ハ青少年雇入ノ關係人ヨリ之ヲ徵ス

第十六條　令第八條第二項ノ證票ハ樣式第九號ニ依ルモノトス

第十七條　令第九條但書ノ認可ヲ受ケントスル者ハ年齡十二年未滿ニ於テ雇入レタル者ガ年齡十二年ニ達スル日前十日目迄ニ申請スベシ

樣式第一號

就職認可申請書

本籍	現住地	氏名及生年月日	最終學歷	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	備考

昭和　年　月　日

申請者　氏名　印

國民職業指導所長宛

第十八條　令第十一條ノ規定ニ依リ左ニ掲グルモノノ青少年ノ雇入ニハ令ハ之ヲ適用セズ

一　神社

二　水利組合

三　北海道土功組合

第十九條　地方長官又ハ國民職業指導所長ニ對シ爲スベキ申請又ハ報告ハ工場、事業場、事務所、店舖其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所毎ニ之ヲ爲スベシ

附則

本則ハ青少年雇入制限令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

備考

一　本申請書ハ居住地ノ所轄國民職業指導所長宛提出スルコト

二　身體ノ障碍狀況ハ成ルベク詳細ニ記載スルコト

三　申請者年齡十八歲未滿ナルトキハ法定代理人ニ於テ申請者ト連署スルコト

樣式第二號

青少年雇入認可申請書

軍需品

項目	記載事項
事業ノ種類	
工場、事業場、事務所又ハ店舖ノ名稱及所在地	（　年　月創立（開業））
利用狀況	軍需　％　官需　％　民需　％　輸出其ノ他　％
主要製品品目	申請前一ケ年間ニ於ケル生産額　金額　圓　數量 申請後一ケ年間ニ於ケル生産豫定額　金額　圓　數量
雇傭者數	現在員（申請ノ前月末日現在）　男　人（內青少年　人）　女　人（內青少年　人） 申請後六ケ月以內ニ新規ニ雇傭スベキ見込人員　男（內青少年　人）　女（內青少年　人）
申請ノ理由	
備考	

昭和　年　月　日

申請者　住所

氏名（法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者氏名）　印

地方長官宛

備考

一　本申請書ハ正副二通ヲ作成シ工場、事業場其ノ他男子青少年ヲ雇傭スル場所ノ所在地ノ所轄國民職業指導所長ヲ經由シテ當該場所ノ所在地ノ所轄地方長官ニ提出スルコト但シ工場、事業場其ノ他男子青少年ヲ雇傭スル場所ガ內地以外ニ在ルトキハ內地ニ於ケル主タル營業所（主タル事務所ナキトキハ主トシテ男子青少年ヲ雇入ルベキ地）ノ所轄地方長官ニ提出スルコト

二　「事業ノ種類」欄ニハ事業ノ種類ヲ成ルベク具體的ニ記載スルコト

三　「工場、事業場、事務所又ハ店舖ノ名稱及所在地」ノ欄ニハ例ヘバ何々會社何々工場等雇入ルベキ男子青少年ヲ雇傭スル場所ノ名稱及所在地ヲ記載シ左側括弧內ニ當該工場、事業場、事務所等ノ創立（開業）年月ヲ記載スルコト、合併ニ依リ創立セラレタルモノナルトキハ其ノ合併前ノ工場、事業場、事務所等ノ創立年月ト合併年月ヲ記載スルコト

四　「利用狀況」欄ニハ申請前一ケ年間（申請前一ケ年以內ニ新設シタル工場、事業場等ニ在リテハ新設ノ時ヨリ申請ノ時ニ至ル期間）ニ於ケル生産金額（申請前一ケ年間ノ生産金額不明ノトキハ最近ノ營業年度一ケ年間ニ於ケル生産金額）ニ依ル百分比ヲ記載シ其ノ「軍需」欄ニハ軍ニ直接納入シタルモノ、其ノ他軍ノ用ニ供セラレタルコト明カナルモノ、「官需」欄ニハ軍ヲ除ク官廳ニ直接納入シタルモノ、「輸出」欄ニハ輸出ニ向ケラレタルコト明カナルモノニ付記載スルコト、尙生産ヲ爲サザル事業又ハ[illegible]等ニ在リテハ本欄ノ記載ヲ要セザルコト

五　「主要製品品目」ニ關スル欄ノ記載ニ付テハ左ニ依ルコト

（イ）生産、販賣ノ何レヲモ爲サザル事業ニ付テハ本欄ノ記載ヲ要セザルコト

（ロ）販賣ノミヲ爲シ生産ヲ爲サザル事業ニ在リテハ「生産」ノ文字ヲ、生産ヲ爲ス事業ニ在リテハ「販賣」ノ文字ヲ削ルコト

（ハ）生産（販賣）額及生産（販賣）豫定額ハ各品目別ニ記載スルコト

（ニ）販賣事業ヨリ直接受注ノモノニ付テハ之ヲ記載スルヲ要セザルコト

（ホ）生産數量ノ單位ハ任意トスルモ成ルベク全記載ヲ通ジ統一スルコト

（ヘ）申請前一ケ年間ニ於ケル生産（販賣）額又ハ申請後一ケ年間ニ於ケル生産（販賣）豫定額不明ノトキハ最近ノ營業年度一ケ年間又ハ次ノ營業年度一ケ年間ニ於ケル生産（販賣）額又ハ生産（販賣）豫定額ヲ記入スルコト（次ノ營業年度一ケ年間ニ於ケル生産（販賣）豫定額不明ノトキハ其ノ欄ニ付テハ記載ヲ要セザルコト）

六　「雇傭者數」欄中「申請ノ前月末日現在」欄ニハ雇傭者ノ總數ヲ記載スルコト、尙括弧內ニハ右ノ雇傭者中令第二條ノ青少年ニ該當スルモノ（年齡十二年以上三十年未滿ノ男子又ハ年齡十二年以上二十年未滿ノ女子ニシテ令第二條各號ノ一ニ該當セザルモノ）ノ數ヲ記載スルコト

七　「申請ノ理由」欄ニハ當該工場事業場等ニ於ケル男子青少年不足ノ狀況等ヲ記載スルコト、尙生産擴充計畫トノ關係（擴充計畫ニ付[illegible]アル場合ニ於テハ其ノ[illegible]）、[illegible]等ノ關係（[illegible]）ニ付記載スルコト、[illegible]ニ依ル認可又ハ許可アリタルモノハ其ノ認可又ハ許可ノ年月日番號及認可又ハ許可アリタル事項ヲモ記載スルコト

八　工場管理人、鑛業代理人等ニ於テ申請スルトキハ何々會社何々工場工場管理人、何々會社何々鑛業所鑛業代理人ノ如ク工場管理人、鑛業代理人ナルコトヲ明ニシ其ノ氏名ヲ記載シ申請者ノ住所ハ其ノ工場、鑛山等ノ所在地ヲ記載スルコト

九　本申請書ノ記載ニ關シ[illegible]ナル書類アルトキハ之ヲ添付シ之ガ記載ヲ省略スルコトヲ得ルコト

樣式第三號

男子青少年雇入[illegible]許可申請書

軍要部

事業ノ種類		工場、事業場、事務所又ハ店舗ノ名稱及所在地		(年 月創立(開業))
利用狀況	軍	官	民	其ノ他
主要製品品目	申請前一ケ年間ニ於ケル[illegible]	[illegible]	昭和十四年中ニ於ケル[illegible]	
	金額	數量	金額	數量
從業者數	男女別	昭和十四年十二月末日現在	申請ノ前月末日現在	許可後六ケ月以内ニ新規ニ雇入スベキ見込數
	男	(內青少年) 人	(內青少年) 人	(內青少年) 人
	女	(內青少年) 人	(內青少年) 人	(內青少年) 人
許可ヲ受ケントスル男子青少年[illegible]				
申請ノ理由				
備考				

昭和 年 月 日

申請者 住所

氏名(法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名) 印

國民職業指導所長宛

備考

一 「事業ノ種類」欄ニハ事業ノ種類ヲ成ルベク具體的ニ記載スルコト

二 「工場、事業場、事務所又ハ店舗ノ名稱及所在地」欄ニハ何々會社何々工場等雇入ルベキ男子青少年ヲ使用スル場所ノ名稱及所在地ヲ記載シ左側括弧內ニ當該工場、事業場、事務所等ノ創立(開業)年月ヲ記載スルコト、合併ニ依リ創立セラレタルモノナルトキハ其ノ合併前ノ工場、事業場、事務所等ノ創立年月ト合併年月ヲ記載スルコト

三 [illegible]

四 「主要製品品目」欄ニ關スル記載ニ付テハ左ニ依ルコト

(イ) [illegible]

(ロ) [illegible]

(ハ) [illegible]

(ニ) [illegible]

(ホ) [illegible]

(ヘ) [illegible]

五 [illegible]

六 [illegible]

七 「申請ノ理由」欄ニハ[illegible]

八 工場管理人、營業代理人等ニ於テ申請スルトキハ何々會社何々工場工場管理人、何々會社何々營業所營業代理人ノ如ク工場管理人、營業代理人ナルコトヲ明ニシテ其ノ氏名ヲ記載シ申請者ノ住所ハ其ノ工場、鑛山等ノ所在地ヲ記載スルコト

九 本申請書ノ記載ニ關シ軍機上記載スルコト困難ナルモノニ付テハ其ノ旨ノ監督軍保官ノ證明書ヲ添付シテ之ガ記載ヲ省略スルコトヲ得ルコト

樣式第四號

特定ノ男子青少年雇入[illegible]許可申請書

[illegible]

事業ノ種類		工場、事業場、事務所又ハ店舗ノ名稱及所在地	(年 月創立(開業))
主要製品品目			
從業者數	男女別	昭和十四年十二月末日現在	申請ノ前月末日現在
	男	(內青少年) 人	(內青少年) 人
	女	(內青少年) 人	(內青少年) 人
雇入許可ヲ受ケントスル特定ノ男子青少年	氏名及生年月日	使用セントスル業務ノ種類	住所
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
申請ノ理由			
備考			

昭和 年 月 日

申請者 住所

氏名(法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名) 印

國民職業指導所長宛

備考

一 「事業ノ種類」欄ニハ事業ノ種類ヲ成ルベク具體的ニ記入スルコト

二 「工場、事業場、事務所又ハ店舗ノ名稱及所在地」欄ニハ何々會社何々工場等雇入ルベキ男子青少年ヲ使用スル場所ノ名稱及所在地ヲ記載シ左側括弧內ニ當該工場、事業場、事務所等ノ創立(開業)年月ヲ記載スルコト、合併ニ依リ創立セラレタルモノナルトキハ其ノ合併前ノ工場、事業場、事務所等ノ創立年月ト合併年月ヲ記載スルコト

三 「主要製品品目」欄ニハ主要生産、販賣品ノ名稱ヲ記載スルコト、尙販賣ノミヲ爲シ生産ヲ爲サザル事業ニ在リテハ「(販賣)」ノ文字ヲ、生産ノミヲ爲シ販賣ヲ爲サザル事業ニ在リテハ本欄ノ記載ヲ要セザルコト

四 「從業者數」欄ニハ昭和十四年十二月末日現在及申請ノ前月末日現在ニ於ケル從業者ノ總數ヲ男女別ニ記載シ其ノ括弧內ニ其ノ從業者中令第二條ノ青少年ニ該當スルモノ(年齡十二年以上三十年未滿ノ男子又ハ年齡十二年以上二十年未滿ノ女子ニシテ令第二條各號ノ一ニ該當セザルモノ)ノ數ヲ記載スルコト

五 「雇入許可ヲ受ケントスル特定ノ男子青少年」欄中「使用セントスル業務ノ種類」欄ニハ雇入ルベキ男子青少年ヲ就業セシムベキ業務ノ種類ヲ成ルベク詳細ニ記載スルコト

六 「申請ノ理由」欄ニハ特定ノ男子青少年ノ雇入レヲ特ニ必要トスル理由ヲ成ルベク詳細ニ記載スルコト

七 工場管理人、營業代理人等ニ於テ申請スルトキハ何々會社何々工場工場管理人、何々會社何々營業所營業代理人ノ如ク工場管理人、營業代理人ナルコトヲ明カニシテ其ノ氏名ヲ記載シ申請者ノ住所ハ其ノ工場、鑛山等ノ所在地ヲ記載スルコト

八 本申請書ノ記載ニ關シ軍機上記載スルコト困難ナルモノニ付テハ其ノ旨ノ監督軍保官ノ證明書ヲ添付シテ之ガ記載ヲ省略スルコトヲ得ルコト

樣式第五號

男子青少年雇入認可申請書

軍要部

事業ノ種類		工場、事業場、事務所又ハ店舗ノ名稱及所在地	(年 月創立(開業))
主要製品品目		生産額	
利用狀況	軍 %	官 %	民 % 其ノ他 %
從業者數	男 人	女 人	計 人
認可ヲ受ケントスル男子青少年數(認可後六ケ月以內ニ雇入レントスル數)	人		
雇入地域內別	職業所轄 人員	職業所轄 人員	職業所轄 人員

（様式第九号）

（様式第九号）

年少者雇入届

事業の種類	事業場の名称及び所在地	年少者の氏名、生年月日及び住所	雇入の年月日	雇入の際の年齢	雇入の際の学校の種類及び学年	雇入の際の職業	備考
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			

備考

一　「事業の種類」欄には、日本標準産業分類の細分類に掲げる事業の名称を記載すること。

二　「事業場の名称及び所在地」欄には、年少者を雇い入れる事業場の名称及び所在地を記載すること。

三　「年少者の氏名、生年月日及び住所」欄には、年少者の氏名、生年月日及び住所（年少者が寄宿舎に入る場合にあつては、寄宿舎の名称及び所在地）を記載すること。

四　「雇入の年月日」欄には、年少者を雇い入れた年月日を記載すること。

五　「雇入の際の年齢」欄には、年少者を雇い入れた際の年齢を満年齢で記載すること。

六　「雇入の際の学校の種類及び学年」欄には、年少者を雇い入れた際に在学していた学校の種類及び学年を記載すること。

七　「雇入の際の職業」欄には、年少者を雇い入れた際の職業を記載すること。

八　「備考」欄には、年少者が雇入制限令第二条第一項第一号又は第二号に該当する場合にあつては、その旨を記載すること。

九　「事業の種類」欄から「雇入の際の職業」欄までに掲げる事項を記載した書面を以て年少者雇入届に代えようとするときは、その書面を年少者雇入届に添付すること。

十　「事業の種類」欄から「雇入の際の職業」欄までに掲げる事項を記載した書面を以て年少者雇入届に代えようとするときは、その書面を年少者雇入届に添付すること。

十一　「事業の種類」欄から「雇入の際の職業」欄までに掲げる事項を記載した書面を以て年少者雇入届に代えようとするときは、その書面を年少者雇入届に添付すること。

十二　「事業の種類」欄から「雇入の際の職業」欄までに掲げる事項を記載した書面を以て年少者雇入届に代えようとするときは、その書面を年少者雇入届に添付すること。

十三　「事業の種類」欄から「雇入の際の職業」欄までに掲げる事項を記載した書面を以て年少者雇入届に代えようとするときは、その書面を年少者雇入届に添付すること。

（様式第九号）

年少者雇入届

事業の種類	事業場の名称及び所在地	年少者の氏名、生年月日及び住所	雇入の年月日	雇入の際の年齢	雇入の際の学校の種類及び学年	雇入の際の職業	備考
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			
			年　月　日	満　歳			

備考

一　「事業の種類」欄には、日本標準産業分類の細分類に掲げる事業の名称を記載すること。

二　「事業場の名称及び所在地」欄には、年少者を雇い入れる事業場の名称及び所在地を記載すること。

三　「年少者の氏名、生年月日及び住所」欄には、年少者の氏名、生年月日及び住所（年少者が寄宿舎に入る場合にあつては、寄宿舎の名称及び所在地）を記載すること。

四　「雇入の年月日」欄には、年少者を雇い入れた年月日を記載すること。

五　「雇入の際の年齢」欄には、年少者を雇い入れた際の年齢を満年齢で記載すること。

六　「雇入の際の学校の種類及び学年」欄には、年少者を雇い入れた際に在学していた学校の種類及び学年を記載すること。

七　「雇入の際の職業」欄には、年少者を雇い入れた際の職業を記載すること。

八　「備考」欄には、年少者が雇入制限令第二条第一項第一号又は第二号に該当する場合にあつては、その旨を記載すること。

九　「事業の種類」欄から「雇入の際の職業」欄までに掲げる事項を記載した書面を以て年少者雇入届に代えようとするときは、その書面を年少者雇入届に添付すること。

青少年雇入制限令第二條第一號ノ學校（養成所ヲ含ム）指定

（昭和十五年二月十五日
厚生省告示第二十六號）

一　陸軍諸學校
二　陸軍教導學校
三　陸軍軍醫學校
四　水路部
五　陸軍工科學校
六　陸軍兵器學校
七　陸軍航空本部（大正十年文部省令第五號二號以上ノ學校ノ學科ヲ修ノ學校ニ關スル指定ニ依リ指定セラレタル學校ニ限ル）ノ學科ヲ修ノ學校ノ學科ヲ含ム
八　陸軍獸醫學校
九　陸軍經理學校（陸軍軍屬（被傭者）養成所ヲ含ム）
十　陸軍衛生材料廠
十一　第一復員局又ハ第二復員局ニ非サル私立學校ニシテ中等學校令ニ依ル中等學校ニ入學資格トシ且修業年限ヲ三年以上トスルモノ及之ト同等以上ノモノ
十二　船員、漁員、陸上運輸、倉庫運輸又ハ外國ニ於ケル學校（養成所ヲ含ム）ニシテ大藏、大藏

青少年雇入制限令第二條第三號ノ檢定試驗又ハ免許指定

（昭和十五年二月十五日
厚生省告示第二十七號）

改正　昭一六、四、一一、厚告一五七

一　本邦語度ノ檢定
二　電氣事業主任技術者免許檢定（第四條ノ規定ニ依ル電氣事業主任技術者ノ免許檢定ヲ含ム）
三　無線通信士免許檢定（第四條ノ規定ニ依ル無線通信士ノ免許ヲ含ム）
四　航空法第十六條ノ規定ニ依ル考査
五　工場事業場技術者試驗（第四十五條ノ規定ニ依ル考査ヲ含ム）
六　鑛業大臣指定ノ鑛業施行期間第四條又ハ第六條ノ二ノ規定ニ依ル免許
七　船舶職員及小型船舶操縱者法施行令第十一條ノ規定ニ依ル海技免狀
八　船舶職員試驗
九　教員檢定許令ニ依ル教員ノ免許
十　國民學校令ニ依ル教員ノ免許
十一　醫師法ニ依ル醫師ノ免許
十二　歯科醫師法ニ依ル歯科醫師ノ免許
十三　獸醫師法ニ依ル獸醫師ノ免許
十四　藥劑師法ニ依ル藥劑師ノ免許
十五　助產婦試驗規則ニ依ル助產婦ノ免許
十六　看護婦規則ニ依ル看護婦ノ免許
十七　自動車取締令ニ依ル運轉免許（普通免許ニ限ル）
十八　電氣工事人取締規則ニ依ル電氣工事人ノ免許
十九　電氣通信主任技術者規則第四十條ノ規定ニ依ル資格認定

青少年雇入制限令第三條第二號ノ事業指定

（昭和十五年二月十五日
厚生省告示第二十八號）

一　採鑛業ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル事業
（一）金屬鑛業
（二）石炭鑛業
（三）石油鑛業
（四）其ノ他ノ鑛業ニシテ左ニ掲グルモノ

（イ）滑石鑛業
（ロ）黒鉛鑛業
（ハ）硅石鑛業

二　土石採取業ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル事業
（一）アルミニウム原鑛採取業
（二）石灰、耐火粘土原料、石膏採取業
（三）砥石、ドロマイト採取業

三　鑄造工業ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル事業
（一）製鐵業（軍需用ノモノニ限ル）
（二）人造鑛物製造業（同右）
（三）人造鑛物製品製造業（同右）
（四）鑄鋼業（同右）
（五）鑄物（フエルトヲ含ム）業（同右）
（六）鍛造業（同右）
（七）熱處理加工業（同右）

四　金屬工業ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル事業
（一）製鐵業（原材料品製造ヲ含ム）
（二）非鐵金屬製鍊業
（三）非鐵金屬材料品製造業
（四）鑄鋼業（機械用ノモノニ限ル）
（五）鑄物以外ノ金屬製品製造業（軍需用、輸出用ノモノニ限ル）
（六）鍍金製品製造業（同右）
（七）シヤーリング業

五　機械器具工業ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル事業
（一）蒸汽機製造業
（二）ガス發生裝置製造業
（三）扇風機製造業
（四）電氣機械器具（家庭用電氣器具ヲ除ク）製造業
（五）電線及電纜製造業
（六）無線及有線電信電話機械器具（レシーバー用具ヲ除ク）製造業
（七）電池製造業
（八）農林漁業用機械器具製造業
（九）土木鑛業用機械器具製造業
（十）採鑛、運搬及製錬用機械器具製造業
（十一）製鐵用機械器具製造業
（十二）工作機械器具（部分品ヲ含ム）製造業
（十三）化學工業用機械裝置（製鐵用機械ヲ含ム）製造業
（十四）起重機製造業
（十五）昇降機製造業（工場事業場用ノモノニ限ル）
（十六）氣體壓縮機製造業
（十七）ポンプ、水壓器及送風機製造業
（十八）計器製造業
（十九）試驗檢定及學術用器械製造業
（二十）醫療器械製造業
（二一）測量及製圖機械器具製造業
（二二）照明用機械器具製造業（軍需用、輸出用、工場事業場用ノモノニ限ル）
（二三）光學機械器具製造業（同右）
（二四）車輛（部分品及附屬品ヲ含ム）製造業ニシテ左ニ掲グルモノ
鐵道及軌道用車輛製造所業
（イ）自動車（部分品及附屬品ヲ含ム）製造業
（ロ）自轉車製造業
（ハ）貨物運搬車製造業
（ニ）造船業（部分品及附屬品製造業ヲ含ム）
（二五）航空機（部分品及附屬品ヲ含ム）製造業
（二六）工具及計量器製造業
（二七）ベルト車、鎖車、車軸及車軸製造業

青少年雇入制限令施行規則

（昭和拾壱年五月拾八日勅令第四百九十一号）

第一条　左ノ各号ノ一ニ該当スル者ハ青少年雇入制限令（以下令ト称ス）第二条第四項ノ規定ニ依リ令第二条ノ男子青少年（以下青少年ト称ス）トシテ雇入ルルモノトス

一　雇入又ハ之ニ準ズベキ事実（雇入ノ相手方ノ公法ニ因リ命ゼラレタル職務ノ遂行ヲ含ム）ニ依リ雇入ルル者

二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者

三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

四十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

四十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

四十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

四十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

四十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

四十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

四十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

四十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

四十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

四十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

五十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

五十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

五十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

五十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

五十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

五十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

五十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

五十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

五十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

五十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

六十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

六十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

六十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

六十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

六十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

六十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

六十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

六十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

六十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

六十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

七十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

七十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

七十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

七十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

七十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

七十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

七十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

七十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

七十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

七十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

八十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

八十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

八十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

八十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

八十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

八十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

八十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

八十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

八十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

八十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

九十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

九十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

九十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

九十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

九十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

九十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

九十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

九十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

九十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

九十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百二十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百二十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百二十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百二十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百二十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百二十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百二十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百二十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百二十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百二十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百三十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百三十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百三十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百三十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百三十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百三十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百三十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百三十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百三十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百三十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百四十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百四十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百四十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百四十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百四十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百四十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百四十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百四十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百四十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百四十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百五十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百五十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百五十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百五十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百五十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百五十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百五十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百五十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百五十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百五十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百六十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百六十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百六十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百六十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百六十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百六十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百六十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百六十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百六十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百六十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百七十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百七十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百七十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百七十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百七十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百七十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百七十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百七十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百七十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百七十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百八十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百八十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百八十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百八十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百八十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百八十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百八十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百八十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百八十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百八十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百九十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百九十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百九十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百九十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百九十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百九十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百九十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百九十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百九十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

百九十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百二十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百二十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百二十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百二十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百二十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百二十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百二十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百二十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百二十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百二十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百三十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百三十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百三十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百三十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百三十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百三十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百三十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百三十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百三十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百三十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百四十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百四十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百四十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百四十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百四十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百四十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百四十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百四十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百四十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百四十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百五十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百五十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百五十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百五十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百五十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百五十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百五十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百五十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百五十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百五十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百六十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百六十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百六十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百六十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百六十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百六十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百六十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百六十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百六十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百六十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百七十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百七十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百七十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百七十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百七十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百七十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百七十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百七十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百七十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百七十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百八十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百八十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百八十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百八十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百八十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百八十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百八十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百八十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百八十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百八十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百九十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百九十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百九十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百九十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百九十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百九十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百九十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百九十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百九十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

二百九十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百二十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百二十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百二十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百二十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百二十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百二十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百二十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百二十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百二十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百二十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百三十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百三十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百三十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百三十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百三十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百三十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百三十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百三十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百三十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百三十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百四十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百四十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百四十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百四十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百四十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百四十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百四十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百四十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百四十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百四十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百五十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百五十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百五十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百五十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百五十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百五十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百五十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百五十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百五十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百五十九　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百六十　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百六十一　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百六十二　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百六十三　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百六十四　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百六十五　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百六十六　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百六十七　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ者

三百六十八　雇入ニ準ズベキ事実ニ依リ雇入ルル者ニ準ズベキ

所轄府尹、郡守又ハ島司ヲ經由シテ當該場所ノ所在地ノ所轄道知事ニ申請スベシ但シ工場、事業場其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所ガ本令施行地外ニ在ルトキハ本令施行地内ニ於ケル主タル事務所ノ所在地（主タル事務所ナキ場合ハ主トシテ雇入ヲ爲スベキ地）ノ所轄道知事ニ申請スベシ

第四條　道知事必要ト認ムルトキハ令第三條第二號ノ認可ニ期限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第五條　令第三條第三號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ第三號樣式ニ依リ工場、事業場、事務所、店舗其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所ノ所在地ノ所轄府尹、郡守又ハ島司ニ申請スベシ

第六條　府尹、郡守又ハ島司必要ト認ムルトキハ令第三條第三號ノ認可ニ期限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第七條　令第三條第五號ノ場合トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合トス

一　日日青少年ヲ雇入ルル場合

二　三十日未滿ノ期間ヲ定メテ青少年ヲ雇入ルル場合

三　事業ノ經營其ノ他ノ事由ノ爲特ニ必要アル場合ニ於テ特定ノ青少年ノ雇入ニ付府尹、郡守又ハ島司ノ認可ヲ受ケタル場合

四　工場事業場管理令ニ依リ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ管理スル工場又ハ事業場ニ於テ同令ニ基キ人員ノ增加ヲ命ゼラレタル場合

五　營業ノ讓渡其ノ他ノ事由ニ因リ事業ノ承繼アリタル場合ニ於テ從前雇傭シ居リタル青少年ヲ引續キ雇入ルル場合

六　工場、事業場、事務所、店舗其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所ガ本令施行地外ニ在ル場合ニ於テ青少年ノ雇入員數ニ付朝鮮總督又ハ道知事ノ認可ヲ受ケタル場合

前項第二號ノ規定ニ依リ雇入レタル青少年ヲ所定ノ期間ヲ超エテ引續キ雇傭セントスル場合ハ所定ノ期間ノ滿了スル時ニ於テ其ノ者ヲ新ニ雇入ルルモノト看做ス

第一項第一號ノ規定ニ依リ雇入レタル青少年ヲ三十日ヲ超エテ引續キ雇入ルル場合又ハ前項ノ場合ハ第一項第一號又ハ第二號ニ該當セザルモノトス

第一項第三條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ第四號樣式ニ依リ工場、事業場、事務所、店舗其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所ノ所在地ノ所轄府尹、郡守又ハ島司ニ申請スベシ

第一項第六號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ第五號樣式ニ依リ雇入ヲ爲スベキ地ガ二道以上ニ亘ル場合ニ在リテハ朝鮮總督ニ、其ノ他ノ場合ニ在リテハ雇入ヲ爲スベキ地ノ所轄道知事ニ申請スベシ

第八條　朝鮮總督又ハ道知事必要ト認ムルトキハ前條第一項第六號ノ認可ニ期限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第九條　第六條ノ規定ハ第七條第一項第三號ノ認可ニ付之ヲ準用ス

第十條　雇傭主ガ其ノ雇傭スル青少年ニ付工場、事業場、事務所其ノ他青少年ノ使用ノ場所間ニ所屬ノ移動ヲ行フ場合ニ於テハ令ノ適用ニ付テハ後ノ使用ノ場所ニ於テ其ノ者ヲ新ニ雇入ルルモノトス

第十一條　常時五人以上ノ青少年ヲ雇傭スル者ハ工場、事業場、事務所、店舗其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所每ニ第六號樣式ニ依ル青少年雇傭名簿ヲ備付ケ青少年ノ雇入解雇ニ關スル事項ヲ記載スベシ但シ朝鮮鑛業令ノ適用ヲ受クル事業ニ使用スル青少年ニ付テハ鑛夫名簿ヲ以テ青少年雇傭名簿ニ代フルコトヲ得

第十二條　令第七條ノ規定ニ依ル報告ハ青少年雇入ノ關係人ヨリ之ヲ徵ス

第十三條　令第八條第二項ノ證票ハ第七號樣式ニ依ルモノトス

第十四條　令第九條但書ノ認可ヲ受ケントスル者ハ年齡十二年未滿ニ於テ雇入レタル者ガ年齡十二年ニ達スル日前十日目迄ニ申請スベシ

第十五條　令第十一條ノ規定ニ依リ左ニ掲グルモノノ青少年ノ雇入ニハ令ハ之ヲ適用セズ

一　神社

二　水利組合

三　其ノ他朝鮮總督ノ指定スル公共團體

第十六條　道知事又ハ府尹、郡守若ハ島司ニ對シ爲スベキ申請又ハ報告ハ工場、事業場、事務所、店舗其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所每ニ之ヲ爲スベシ

附則

本令ハ昭和十五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス（樣式省略）

青少年雇入制限令第二條第一號ノ學校（養成所ヲ含ム）指定

（昭和十五年八月三十一日朝鮮總督府告示第九百七號）

一　學習院高等科

二　神宮皇學館本科

三　水産講習所

四　内地ノ臨時教員養成所

五　内地ノ實業學校教員養成所

六　内地ノ青年學校教員養成所

七　内地ノ商船學校

八　内地ノ海員養成所（日本海員掖濟會海員養成所ヲ含ム）

九　内地ノ產業組合學校

十　商業學校（實業學校規程第四條ノ規定ニ依リ設ケタル實業學校ニシテ商業學校ノ學科ヲ置クモノヲ含ム）

十一　朝鮮總督府通信局高等海員養成所

十二　朝鮮總督府電氣工士養成所

十三　朝鮮總督府鑛岩工養成所

十四　朝鮮總督府發破技術員養成所

十五　專門學校又ハ實業專門學校ニ非ザル私立學校ニシテ中學校卒業程度ヲ入學資格トシ且修業年限ヲ三年以上トスルモノ及之ト同等以上ノモノ

十六　内地、臺灣、樺太、關東州、南洋群島又ハ外國ニ於ケル學校（養成所ヲ含ム）ニシテ大學、大學豫科、高等師範學校、高等學校高等科、專門學校、實業專門學校、師範學校又ハ前各號ニ掲グル學校（養成所ヲ含ム）ニ相當スルモノ

青少年雇入制限令第二條第三號ノ檢定試驗又ハ免許指定

（昭和十五年八月三十一日朝鮮總督府告示第九百八號）

一　大正十四年文部省令第三十號實業學校卒業程度檢定規程ニ依ル商業學校卒業程度ノ檢定

二　昭和七年通信省令第五十四號電氣事業主任技術者資格檢定規則ニ依ル電氣事業主任技術者ノ資格檢定

三　無線通信士資格檢定規則又ハ昭和六年通信省令第八號無線通信士資格檢定規則ニ依ル無線通信士ノ檢定

四　航空法第十六條ノ規定ニ依ル考査

五　大正十四年商工、内務省令瓦斯事業法施行規則第四十五條ノ規定ニ依ル銓衡

六　銃砲火藥類取締令施行規則第四十八條又ハ明治四十四年内務省令第二號銃砲火藥類取締法施行細則第四條若ハ第六條ノ二ノ規定ニ依ル銓衡

七　昭和十一年内務省令第二十三號壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法施行令第十一條ノ規定ニ依ル銓衡

八　船舶職員法又ハ朝鮮船舶職員令ニ依ル船舶職員試驗

九　教員免許令ニ依ル教員ノ免許又ハ小學校教員試驗規則ニ依ル試驗

十　小學校令ニ依ル教員ノ免許

十一　醫師法又ハ醫師規則ニ依ル醫師ノ免許

十二　齒科醫師法又ハ齒科醫師規則ニ依ル齒科醫師ノ免許

十三　獸醫師法又ハ朝鮮獸醫師規則ニ依ル獸醫師ノ免許

十四　藥劑師法又ハ藥品及藥品營業取締令ニ依ル藥劑師ノ免許

十五　裝蹄師法ニ依ル裝蹄師ノ免許

十六　昭和十年内務省令第二十號汽罐取締令ニ依ル汽罐士ノ免許

十七　朝鮮自動車取締規則又ハ昭和八年内務省令第二十三號自動車取締令ニ依ル運轉免許（普通免許ニ限ル）

十八　昭和十年通信省令第三十一號電氣工事人取締規則ニ依ル電氣工事人ノ免許

十九　昭和十二年通信省令第七十三號電話規則第四十條ノ規定ニ依ル資格認定

青少年雇入制限令第三條第二號ノ事業指定

（昭和十五年八月三十一日朝鮮總督府告示第九百九號）

一　鑛業
二　工場（土木建築請負業ヲ含ム）
三　商業ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル事業
(一)　物品販賣業
(二)　(三)　金融、保險業
(四)　物品賃貸業、運送業
(五)　交通業
(六)　法務及教育事業
(七)　社會事業
(八)　宗教其ノ他社會敎化事業
(九)　前號ノ敎員指導ニ關スル事業

青少年雇入制限令施行規則第十五條第三號ノ公共團體指定

（昭和十五年八月三十一日朝鮮總督府告示第九百十號）

一　道
二　水原府
三　大邱府
四　五　來往洞組合聯合會
六　地力改良組合聯合會
七　來往洞組合

青少年雇入制限令施行規則

（昭和十五年八月二十五日朝鮮總督府令第百十八號）

第一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ青少年雇入制限令（以下令ト稱ス）第二條ノ青少年ノ雇入ノ制限ニ依リ令第二條ノ青少年ヲ雇入レ又ハ使用スルモノトス

一　軍人又ハ之ニ準ズベキ者（軍屬ヲ含ム）トシテ戰鬪其ノ他ノ公務ニ因リ傷病又ハ疾病ニ罹リタル者ニシテ其ノ傷病ニ關リタル者ニシテ共ノ國定シタル症狀關係法施行令第二十四條、第二十四條ノ二又ハ第三十一條ニ規定スル傷病ノ程度ニ達スルモノ（澎湖諸島ニ在リテハ廳長ニ於テ身體ノ缺陷ニ因リ作業能力著シク劣レルモノト認定シタル者ヲ受ケントスル者ハ別記第一號樣式ニ依リ居住地ノ所轄市尹又ハ郡守ニ申請スベシ

第二條　令第三條第一號ノ員數ハ工場、事業場、事務所、店舗其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所（本令施行地外ニ在ルモノヲ除ク）毎ニ昭和十五年六月三十日現在ニ於テ雇傭シ居リタル青少年（日日雇傭シ居リタル者又ハ三十日未滿ノ期間ヲ定メテ雇傭シ居リタル者ヲ除ク）ノ員數ノ百分ノ七十ニ相當スル員數ト員數ノ算定ニ付一未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ其ノ端數ハ之ヲ一トシテ計算スルモノトス

青少年ヲ雇入ルル日ニ於テ現ニ雇傭スル青少年中ニ入營（應召ノ場合ヲ含ム）中ノ者アルトキハ其ノ員數ヲ前項ノ規定ニ依リ算定シタル員數ニ加ヘタル員數ヲ以テ令第三條第一號ノ員數トス

第三條　令第三條第二號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ別記第二號樣式ニ依リ工場、事業場其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所ノ所在地ノ所轄市尹又ハ郡守ヲ經由シテ當該場所ノ所在地ノ所轄州知事又ハ廳長ニ申請スベシ但シ工場、事業場其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所ガ本令施行地外ニ在ルトキハ本令施行地內ニ於ケル主タル事務所ノ所在地（主タル事務所ナキ場合ハ主トシテ雇入ヲ爲スベキ地）ノ所轄州知事又ハ廳長ニ直接申請スベシ

第四條　州知事又ハ廳長必要ト認ムルトキハ令第三條第二號ノ認可ニ期限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第五條　令第三條第二號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ別記第三號樣式ニ依リ工場、事業場、事務所、店舗其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所ノ所在地ノ所轄市尹又ハ郡守ニ申請スベシ

第六條　市尹又ハ郡守必要ト認ムルトキハ令第三條第三號ノ認可ニ期限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第七條　令第三條第五號ノ場合トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合トス

一　日日青少年ヲ雇入ルル場合
二　三十日未滿ノ期間ヲ定メテ青少年ヲ雇入ルル場合
三　事業ノ經營其ノ他ノ事由ノ爲特ニ必要アル場合ニ於テ特定ノ青少年ノ雇入ニ付市尹又ハ郡守ノ認可ヲ受ケタル場合
四　工場事業場管理令ニ依リ總軍大臣又ハ海軍大臣ノ管理スル工場又ハ事業場ニ於テ同令ニ基キ人員ノ增加ヲ命ゼラレタル場合
五　營業ノ讓渡其ノ他ノ事由ニ因リ事業ノ永續アリタル場合ニ於テ從前雇傭シ居リタル青少年ヲ引續キ雇入ルル場合
六　工場、事業場、事務所、店舗其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所ガ本令施行地外ニ在ル場合ニ於テ青少年ノ雇入ニ付事務總督又ハ州知事若ハ廳長ノ認可ヲ受ケタル場合

前項第二號ノ規定ニ依リ雇入レタル青少年ヲ所定ノ期間ヲ超エテ引續キ雇傭セントスル場合ハ所定ノ期間ノ滿了スル時ニ於テ其ノ者ヲ新ニ雇入ルルモノト看做ス

第一項第一號ノ規定ニ依リ雇入レタル青少年ヲ三十日ヲ超エテ引續キ雇傭セントスル場合又ハ前項ノ場合ハ第一項第三號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ別記第四號樣式ニ依リ工場、事業場、事務所、店舗其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所ノ所在地ノ所轄市尹又ハ郡守ニ申請スベシ

第六條ノ規定ハ第一項第六號ノ認可ニ之ヲ準用ス

第一項第六號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ別記第五號樣式ニ依リ工場、事業場、事務所、店舗其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所ガ二州廳以上ニ亙リ且雇入レントスル青少年ノ員數ガ三十人以上ナル場合ニ在リテハ事業場管理令ニ依リ雇入ヲ爲スベキ地ノ所轄州知事若ハ廳長ニ、共ノ他ノ場合ニ在リテハ雇入ヲ爲スベキ地ノ所轄州知事又ハ廳長ニ申請スベシ

第八條　事業場管理令第八條ノ規定ニ依リ雇入ヲ爲スベキ地ノ所轄州知事又ハ廳長必要ト認ムルトキハ令第三條第二號ノ認可ニ期限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第九條　雇傭主ガ其ノ雇傭スル青少年ニ付事業場、事務所、店舗其ノ他青少年ノ使用ノ場所間ニ所屬ノ移動ヲ行フ場合ニ於テハ令ノ適用ニ付テハ後ノ使用ノ場所ニ於テ其ノ者ヲ新ニ雇入ルルモノト看做ス

第十條　常時五人以上ノ青少年ヲ雇傭スル者ハ工場、事業場、事務所、店舗其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所ニ依ル青少年雇傭名簿ヲ備付ケ青少年ノ雇入解雇ニ關スル事項ヲ記載スベシ

第十一條　令第七條ノ規定ニ依ル報告ハ青少年雇入ノ關係人ヨリ之ヲ徵ス

第十二條　令第八條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記第七號樣式ニ依ルモノトス

第十三條　令第九條但書ノ認可ヲ受ケントスル者ハ年齡十二年未滿ニ於テ雇入レタル者ガ年齡十二年ニ達スル日前十日目迄ニ申請スベシ

第十四條　令第十一條ノ規定ニ依リ左ニ揭グルモノノ青少年ノ雇入ニ付テハ令ハ之ヲ適用セズ

一　神社
二　水利組合

第十五條　州知事若ハ廳長又ハ市尹若ハ郡守ニ對シ爲スベキ申請又ハ報告ハ工場、事業場、事務所、店舗其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所毎ニ之ヲ爲スベシ

附　則

本令ハ昭和十五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

青少年雇入制限令施行規則

（昭和十五年九月五日樺太廳令第九十四號）

第一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ青少年雇入制限令（以下令ト稱ス）第二條第四號ノ規定ニ依リ令第二條ノ青少年（以下青少年ト稱ス）タラザルモノトス

一　軍人又ハ之ニ準ズベキ者（軍屬ヲ含ム）トシテ戰鬪其ノ他ノ公務ニ因リ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ニシテ其ノ固定シタル症狀恩給法施行令第二十四條、第二十四條ノ二又ハ第三十一條ニ規定スル傷病ノ程度ニ達スルモノ

二　樺太廳支廳長ニ於テ身體ノ障碍ニ因リ作業能力著シク劣レルモノト認定シタル者

前項第二號ノ認定ヲ受ケントスル者ハ第一號樣式ニ依リ居住地ノ所轄樺太廳支廳長ニ申請スベシ

第二條　令第三條第一號ノ員數ハ工場、事業場、事務所、店舖其ノ他男子青少年ヲ雇傭スル場所（本令施行地外ニ在ルモノヲ除ク）毎ニ昭和十五年六月三十日現在ニ於テ雇傭シ居リタル男子青少年（日日雇傭シ居リタル者又ハ三十日未滿ノ期間ヲ定メテ雇傭シ居リタル者ヲ除ク）ノ員數ノ百分ノ七十ニ相當スル員數トス員數ノ算定ニ付一未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ其ノ端數ハ之ヲ一トシテ計算スルモノトス

男子青少年ヲ雇入ルル日ニ於テ現ニ雇傭スル男子青少年中ニ入營（應召ノ場合ヲ含ム）中ノ者アルトキハ其ノ員數ヲ前項ノ規定ニ依リ算定シタル員數ニ加ヘタル員數ヲ以テ令第三條第一號ノ員數トス

第三條　令第三條第二號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ第二號樣式ニ依リ工場、事業場其ノ他男子青少年ヲ雇傭スル場所ノ所在地ノ所轄樺太廳支廳長ヲ經由シテ樺太廳長官ニ申請スベシ但シ工場、事業場其ノ他男子青少年ヲ雇傭スル場所ガ本令施行地外ニ在ルトキハ樺太廳長官ニ申請スベシ

第四條　樺太廳長官必要ト認ムルトキハ令第三條第二號ノ認可ニ期限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第五條　令第三條第三號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ第三號樣式ニ依リ工場、事業場、事務所、店舖其ノ他男子青少年ヲ雇傭スル場所ノ所在地ノ所轄樺太廳支廳長ニ申請スベシ

第六條　樺太廳支廳長必要ト認ムルトキハ令第三條第三號ノ認可ニ期限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第七條　令第三條第五號ノ場合トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合トス

一　日日男子青少年ヲ雇入ルル場合

二　三十日未滿ノ期間ヲ定メテ男子青少年ヲ雇入ルル場合

三　事業ノ經營其ノ他ノ事由ノ爲特ニ必要アル場合ニ於テ特定ノ男子青少年ノ雇入ニ付樺太廳支廳長ノ認可ヲ受ケタル場合

四　工場事業場管理令ニ依リ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ管理スル工場又ハ事業場ニ於テ同令ニ基キ人員ノ增加ヲ命ゼラレタル場合

五　營業ノ讓渡其ノ他ノ事由ニ因リ事業ノ承繼アリタル場合ニ於テ從前雇傭シ居リタル男子青少年ヲ引續キ雇入ルル場合

六　工場、事業場、事務所、店舖其ノ他男子青少年ヲ雇傭スル場所ガ本令施行地外ニ在ル場合ニ於テ男子青少年ノ雇入員數ニ付樺太廳長官ノ認可ヲ受ケタル場合

前項第二號ノ規定ニ依リ雇入レタル男子青少年ヲ所定ノ期間ヲ超エテ引續キ雇傭セントスル場合ハ所定ノ期間滿了スル時ニ於テ其ノ者ヲ新ニ雇入ルルモノト看做ス

第一項第一號ノ規定ニ依リ雇入レタル男子青少年ヲ三十日ヲ超エテ引續キ雇入ルル場合又ハ前項ノ場合ハ第一項第一號又ハ第二號ニ該當セザルモノトス

第一項第三號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ第四號樣式ニ依リ工場、事業場、事務所、店舖其ノ他男子青少年ヲ雇傭スル場所ノ所在地ノ所轄樺太廳支廳長ニ申請スベシ

第一項第六號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ第五號樣式ニ依リ樺太廳長官ニ申請スベシ

第八條　樺太廳長官必要ト認ムルトキハ前條第一項第六號ノ認可ニ期限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第九條　第六條ノ規定ハ第七條第一項第三號ノ認可ニ付之ヲ準用ス

第十條　雇傭主ガ其ノ雇傭スル男子青少年ニ付工場、事業場、事務所其ノ他男子青少年ノ使用ノ場所間ニ所屬ノ移動ヲ行フ場合ニ於テハ令ノ適用ニ付テハ後ノ使用ノ場所ニ於テ其ノ者ヲ新ニ雇入ルルモノトス

第十一條　常時五人以上ノ男子青少年ヲ雇傭スル者ハ工場、事業場、事務所、店舖其ノ他男子青少年ヲ雇傭スル場所毎ニ第六號樣式ニ依ル青少年雇傭名簿ヲ備付ケ男子青少年ノ雇入解雇ニ關スル事項ヲ記載スベシ但シ鑛業法ノ適用ヲ受クル事業ニ使用スル男子青少年ニ付テハ鑛夫名簿ヲ以テ青少年雇傭名簿ニ代フルコトヲ得

第十二條　令第七條ノ規定ニ依ル報告ハ青少年雇入ノ關係人ヨリ之ヲ徵ス

第十三條　令第八條第二項ノ證票ハ第七號樣式ニ依ルモノトス

第十四條　令第九條但書ノ認可ヲ受ケントスル者ハ年齡十二年未滿ニ於テ雇入レタル者ガ年齡十二年ニ達スル日前十日目迄ニ申請スベシ

第十五條　令第十一條ノ規定ニ依リ左ニ揭グルモノノ青少年ノ雇入ニハ令ハ之ヲ適用セズ

一　神社

第十六條　樺太廳長官又ハ樺太廳支廳長ニ對シ爲スベキ申請又ハ報告ハ工場、事業場、事務所、店舖其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所毎ニ之ヲ爲スベシ

附　則

本令ハ青少年雇入制限令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

青少年雇入制限令施行規則

（昭和十五年九月十一日南洋廳令第二十八號）

第一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ青少年雇入制限令（以下令ト稱ス）第二條第四號ノ規定ニ依リ令第二條ノ青少年（以下青少年ト稱ス）タラザルモノトス

一　軍人又ハ之ニ準ズベキ者（軍屬ヲ含ム）トシテ戰鬪其ノ他ノ公務ニ因リ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ニシテ其ノ固定シタル症狀恩給法施行令第二十四條、第二十四條ノ二又ハ第三十一條ニ規定スル傷病ノ程度ニ達スルモノ

二　支廳長ニ於テ身體ノ障碍ニ因リ作業能力著シク劣レルモノト認定シタル者

前項第二號ノ認定ヲ受ケントスル者ハ樣式第一號ニ依リ居住地ノ所轄支廳長ニ申請スベシ

第二條　令第三條第一號ノ員數ハ工場、事業場、事務所、店舖其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所（本則施行地外ニ在ルモノヲ除ク）毎ニ昭和十五年六月三十日現在ニ於テ雇

備シ居リタル青少年（日日雇傭シ居リタル者又ハ三十日未滿ノ期間ヲ定メテ雇傭シ居リタル者ヲ除ク）ノ員數ノ百分ノ七十ニ相當スル員數トス員數ノ算定ニ付一未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ其ノ端數ハ之ヲ一トシテ計算スルモノトス

青少年ヲ雇入ルル日ニ於テ現ニ雇傭スル青少年中ニ入營（應召ノ場合ヲ含ム）中ノ者アリタルトキハ其ノ員數ヲ前項ノ規定ニ依リ算定シタル員數ニ加ヘタル員數ヲ以テ令第三條第一號ノ員數トス

第三條　令第三條第二號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ樣式第二號ニ依リ工場、事業場其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所ノ所在地ノ所轄支廳長ヲ經由シテ南洋廳長官ニ申請スベシ但シ工場、事業場其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所ガ本則施行地外ニ在ルトキハ本則施行地内ニ於ケル主タル事務所ノ所在地（主タル事務所ナキ場合ハ主トシテ雇入ヲ爲スベキ地）ノ所轄支廳長ヲ經由シテ南洋廳長官ニ申請スベシ

第四條　令第三條第三號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ樣式第三號ニ依リ工場、事業場、事務所、店舖其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所ノ所在地ノ所轄支廳長ニ申請スベシ

第五條　令第三條第五號ノ場合トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合トス

一　日日青少年ヲ雇入ルル場合

二　三十日未滿ノ期間ヲ定メテ青少年ヲ雇入ルル場合

三　事業ノ經營其ノ他ノ事由ノ爲特ニ必要アル場合ニ於テ特定ノ青少年ノ雇入ニ付支廳長ノ認可ヲ受ケタル場合

四　工場事業場管理令ニ依リ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ管理スル工場又ハ事業場ニ於テ同令ニ基キ人員ノ增加ヲ命ゼラレタル場合

五　營業ノ讓渡其ノ他ノ事由ニ由リ事業ノ承繼アリタル場合ニ於テ從前雇傭シ居リタル青少年ヲ引續キ雇入ルル場合

六　工場、事業場、事務所、店舖其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所ガ本則施行地外ニ在ル場合ニ於テ青少年ノ雇入員數ニ付南洋廳長官ノ認可ヲ受ケタル場合

前項第二號ノ規定ニ依リ雇入レタル青少年ヲ所定ノ期間ヲ超エテ引續キ雇傭セントスル場合ハ所定ノ期間ノ滿了スル時ニ於テ其ノ者ヲ新ニ雇入ルルモノト看做ス

第一項第一號ノ規定ニ依リ雇入レタル青少年ヲ三十日ヲ超エテ引續キ雇入ルル場合又ハ前項ノ場合ハ第一項第一號又ハ第二號ニ該當セザルモノトス

第一項第三號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ樣式第四號ニ依リ工場、事業場、事務所、店舖其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所ノ所在地ノ所轄支廳長ニ申請スベシ

第一項第六號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ樣式第五號ニ依リ南洋廳長官ニ申請スベシ

第六條　南洋廳長官必要ト認ムルトキハ令第三條第二號及前條第一項第六號ノ認可ニ期限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第七條　支廳長必要ト認ムルトキハ令第三條第三號及第五條第一項第三號ノ認可ニ期限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第八條　雇傭主ガ其ノ雇傭スル青少年ニ付工場、事業場、事務所其ノ他青少年ノ使用ノ場所間ニ所屬ノ移動ヲ行フ場合ニ於テハ令ノ適用ニ付テハ後ノ使用ノ場所ニ於テ其ノ者ヲ新ニ雇入ルルモノトス

第九條　常時五人以上ノ青少年ヲ雇傭スル者ハ工場、事業場、事務所、店舖其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所毎ニ樣式第六號ニ依ル青少年雇傭者名簿ヲ備付ケ青少年ノ雇入解雇ニ關スル事項ヲ記載スベシ但シ南洋群島鑛業令ノ適用ヲ受クル事業ニ使用スル青少年ニ付テハ鑛夫名簿ヲ以テ青少年雇傭者名簿ニ代フルコトヲ得

第十條　令第七條ノ規定ニ依ル報告ハ青少年雇入ノ關係人ヨリ之ヲ徴ス

第十一條　令第八條第二項ノ證票ハ樣式第七號ニ依ルモノトス

第十二條　令第九條但書ノ認可ヲ受ケントスル者ハ年齡十二年未滿ニ於テ雇入レタ

ル者ガ年齡十二年ニ達スル日前十日迄ニ申請スベシ

第十三條　令第十一條ノ規定ニ依リ左ニ掲グルモノノ青少年ノ雇入ニハ之ヲ適用セズ

一　神社

第十四條　南洋廳長官又ハ支廳長ニ對シ爲スベキ申請又ハ報告ハ工場、事業場、事務所、店舖其ノ他青少年ヲ雇傭スル場所毎ニ之ヲ爲スベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

賃金統制令

（昭和十五年十月十九日勅令第六百七十五號）

第一條　國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號）ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ）第六條ノ規定ニ基ク賃金ノ統制ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ニ於テ勞務者ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事業ニ雇傭セラレ勞働ニ從事スル者又ハ他人ニ雇傭セラレ厚生大臣ノ指定スル勞働ニ從事スル者ヲ謂フ但シ命令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク

一　鑛業、砂鑛業、石切業其ノ他鑛物採取ノ事業

二　物ノ製造、加工、淨洗、選別、包裝、修理又ハ解體ノ事業（電氣、瓦斯又ハ各種動力ノ發生、變更又ハ傳導ヲ爲ス事業及水道ノ事業ヲ含ム）

三　土木、建築其ノ他工作物ノ建設、改造、保存、修理、變更、破壞又ハ其ノ準備ノ事業

四　道路、鐵道、軌道、索道、船舶又ハ航空機ニ依ル旅客又ハ貨物ノ運送ノ事業

五　船渠、船舶、岸壁、波止場、停車場又ハ倉庫ニ於ケル貨物ノ取扱ノ事業

六　土地ノ耕作若ハ開墾又ハ植物ノ栽植、栽培、採取若ハ伐採ノ事業其ノ他ノ農業又ハ林業

七　動物ノ飼育又ハ水産動植物ノ採捕若ハ養殖ノ事業其ノ他ノ畜產業、養蠶業又ハ水產業

八　物品ノ販賣又ハ保管ノ事業

第三條　本令ニ於テ賃金ト稱スルハ左ノ給料、手當、賞與其ノ他名稱ノ如何ヲ問ハズ勞務者ヲ雇傭スル者（以下雇傭主ト稱ス）ガ勞務ノ對價トシテ支給スル金錢、物其ノ他ノ利益ヲ謂フ

賃金ノ全部又ハ一部ガ金錢以外ノ給與其ノ他ノ利益ナルトキハ其ノ評價ニ關シ必要ナル事項ハ厚生大臣之ヲ定ム

第四條　命令ヲ以テ定ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第六條　第四條ノ雇傭主ハ同條ノ規定ニ依リ賃金規則ヲ作成シタルトキハ十四日以內ニ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ之ヲ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ）ニ報告スベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第七條　地方長官ハ賃金規則ニ記載シタル事項ガ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シ又ハ著シク不適當ト認ムルトキハ雇傭主ニ對シ之ガ變更ヲ命ズルコトヲ得

第八條　厚生大臣ハ賃金委員會ノ意見ヲ聽キ賃金算定方法又ハ賃金支拂方法ニ關シ賃金統制上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第九條　厚生大臣又ハ地方長官ハ賃金委員會ノ意見ヲ聽キ一定ノ勞務者ニ付最低賃金ヲ定ムルコトヲ得

雇傭主ハ前項ノ最低賃金ノ定アル勞務者ニ付其ノ最低賃金ノ額ヲ下ル賃金ヲ以テ之ヲ雇傭スルコトヲ得ズ

前項ノ賃金ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　厚生大臣又ハ地方長官ハ賃金委員會ノ意見ヲ聽キ一定ノ勞務者ニ付最高賃金ヲ定ムルコトヲ得

雇傭主ハ前項ノ最高賃金ノ定アル勞務者ニ付其ノ最高賃金ノ額ヲ超ユル賃金ヲ以テ之ヲ雇傭スルコトヲ得ズ

前項ノ賃金ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條　厚生大臣又ハ地方長官ハ賃金委員會ノ意見ヲ聽キ一定ノ勞務者ニ付最高賃金ヲ定ムルコトヲ得

雇傭主ハ前項ノ最高賃金ノ定アル勞務者ニ付其ノ最高賃金ノ額ヲ超ユル賃金ヲ以テ定ムル期間其ノ最高初給賃金ノ額ヲ超ユル賃金ヲ以テ之ヲ雇傭スルコトヲ得ズ

前項ノ賃金ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條　第九條第二項、第十條第二項及前條第二項ノ規定ハ命令ヲ以テ定ムル場合ニハ之ヲ適用セズ

第十三條　厚生大臣又ハ地方長官賃金ニシテ高額ニ失スト認メラルルモノアルトキハ其ノ額ノ引下ニ付雇傭主ニ對シ命令ヲ爲スコトヲ得但シ最高初給賃金又ハ最高賃金ノ定アル勞務者ノ賃金ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十四條　雇傭主ハ左ニ揭グル勞務者以外ノ勞務者ニ對シ命令ヲ以テ定ムル期間ニ支拂フ賃金ノ總額ガ厚生大臣又ハ地方長官ノ定ムル平均時間割賃金ニ其ノ就業時間ノ總數ヲ乘ジテ得タル額ノ合計額ヲ超ユルトキハ命令ヲ以テ定ムル所ニ依リ豫メ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

一　其ノ者ニ支拂フ賃金ニ付第十五條ノ認可アリタルモノ

二　請負單價又ハ請負歩合及賃金算定方法ニ付第十六條ノ規定ニ依リ認可アリタル請負賃金制ニ依ル賃金ヲ以テ雇傭スルモノ

三　第十七條ノ規定ニ依リ認可アリタル初給賃金及昇給ノ規程ニ依リ雇入レ又ハ其ノ賃金ヲ增スベキモノ

四　前各號ニ揭グルモノノ外命令ヲ以テ定ムルモノ

前項ノ賃金ノ範圍、平均時間割賃金及就業時間ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ定ム

第十五條　雇傭主ハ地方長官ノ認可ヲ受ケテ高額ニ失スト認メラルルモノアルトキハ其ノ額ノ引下ニ付雇傭主ニ對シ命令ヲ爲スコトヲ得但シ最高初給賃金又ハ最高賃金ノ定アル勞務者ニ支拂フ賃金ニ付單位生產量ニ對スル額ヲ定ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ一定ノ勞務者ニ對シ支拂フ賃金ノ總額ハ其ノ單位生產量ニ對スル額ニ生產量ヲ乘ジテ得タル金額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第十六條　雇傭主ハ請負單價又ハ請負歩合及賃金算定方法ニ付地方長官ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ請負賃金制ニ依ル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭スルコトヲ得但シ第九條第二項、第十條第二項又ハ第十一條第二項ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

第十七條　雇傭主ハ一定ノ勞務者ノ初給賃金及昇給ノ規程ニ付地方長官ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ規程ノ適用アル勞務者ニ付其ノ規程ニ依リ之ヲ雇入レ又ハ其ノ賃金ヲ增スコトヲ得

第十八條　地方長官ハ左ノ場合ニ於テハ前四條ノ規定ニ依ル認可ヲ取消スコトヲ得

一　詐僞又ハ不正ノ手段ニ依リ認可ヲ受ケタルモノナルトキ

二　認可ノ條件ニ違反シタルトキ

三　認可後ノ事情ニ著シキ變更アリタルトキ

第十九條　厚生大臣ハ賃金委員會ノ意見ヲ聽キ手當、實物給與、賞與又ハ臨時ノ給與ノ種類又ハ額ニ關シ賃金統制上必要ナル

會ノ意見ヲ聽キ一定ノ勞務者ニ付最高初給賃金ヲ定ムルコトヲ得

雇傭主ハ前項ノ最高初給賃金ノ定アル勞務者ニ付其ノ者ノ雇入ノ日ヨリ命令ヲ以テ定ムル期間其ノ最高初給賃金ノ額ヲ超ユル賃金ヲ以テ之ヲ雇傭スルコトヲ得ズ

前項ノ賃金ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條　厚生大臣又ハ地方長官ハ賃金委員會ノ意見ヲ聽キ一定ノ勞務者ニ付最高賃金ヲ定ムルコトヲ得

雇傭主ハ前項ノ最高賃金ノ定アル勞務者ニ付其ノ最高賃金ノ額ヲ超ユル賃金ヲ以テ之ヲ雇傭スルコトヲ得ズ

前項ノ賃金ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條　第九條第二項、第十條第二項及前條第二項ノ規定ハ命令ヲ以テ定ムル場合ニハ之ヲ適用セズ

第十三條　厚生大臣又ハ地方長官賃金ニシテ高額ニ失スト認メラルルモノアルトキハ其ノ額ノ引下ニ付雇傭主ニ對シ命令ヲ爲スコトヲ得但シ最高初給賃金又ハ最高賃金ノ定アル勞務者ノ賃金ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

令令ヲ發スルコトヲ得

第二十條　厚生大臣ハ勞務者ニ對スル物品ノ販賣又ハ其ノ委託ノ方法ニ依リ事實上賃金ノ額ガ增減セラルル虞アル場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ屬僚主ニ對シ勞務者ニ對スル物品ノ販賣又ハ其ノ委託ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　屬僚主相互間ニ於テ又ハ厚生大臣若ハ地方長官ノ指定スル組合若ハ團體ニ於テ賃金ノ協定ヲ爲シ地方長官ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ屬僚主又ハ其ノ組合若ハ團體ノ組合員若ハ團體員（組合又ハ團體ヲ組織スル組合又ハ團體ノ組合員又ハ團體員ヲ含ム以下同ジ）タル屬僚主ノ爲ス屬僚ニ於テハ其ノ協定ニ依ルベシ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十二條　賃金ノ協定ハ左ノ事項ニ付之ヲ爲スコトヲ得

一　最低賃金
二　最高初給賃金
三　最高賃金
四　定額賃金制ニ於ケル定額給
五　請負賃金制ニ於ケル保證給又ハ單位時間給
六　請負賃金制ニ於ケル請負單價、請負時間又ハ請負歩合及賃金算定方法
七　手當
八　實物給與
九　昇給規程
十　其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項

第二十三條　賃金ノ協定ニシテ最低賃金ノ額ヲ下リ又ハ最高初給賃金若ハ最高賃金ノ額ヲ超ユルモノニ付認可アリタルトキハ其ノ協定シタル事項ニ付テハ各第九條第二項、第十條第二項又ハ第十一條第二項ノ規定ハ之ヲ適用セズ

賃金ノ協定ニシテ第十五條、第十六條又ハ第十七條ノ事項ニ關スルモノニ付認可アリタルトキハ其ノ協定シタル事項ニ付テハ各第十五條、第十六條又ハ第十七條ノ規定ニ依リ指定セラレタル組合若ハ團體ノ組合員若ハ團體員ニ非ザル屬僚主ニ對シ協定ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第二十六條　地方長官ハ賃金統制上必要アリト認ムルトキハ賃金委員會ノ意見ヲ聽キ賃金ノ協定ニ付第二十一條ノ規定ニ依リ爲シタル認可ヲ取消スコトヲ得

地方長官前項ノ規定ニ依リ賃金ノ協定ニ付爲シタル認可ヲ取消シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ賃金ノ協定ニ代ルベキ定ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ地方長官ノ爲シタル定ハ第二十一條ノ規定ニ依リ地方長官ノ認可シタル賃金ノ協定ト看做ス

第二十七條　地方長官ハ屬僚主又ハ第二十一條ノ規定ニ依リ指定セラレタル組合若ハ團體ニ對シ期限ヲ指定シテ第二十二條各號ニ揭グル事項ニ關シ賃金ノ協定ヲ爲スコトヲ促スコトヲ得

屬僚主又ハ組合若ハ團體ニ於テ前項ノ期限內ニ賃金ノ協定ヲ爲サズ又ハ期限內ニ協定ヲ爲スモ協定ニ付認可ヲ得ザリシトキハ地方長官ハ賃金委員會ノ意見ヲ聽キ協定ニ代ルベキ定ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ地方長官ノ爲シタル定ハ第二十一條ノ規定ニ依リ地方長官ノ認可シタル賃金ノ協定ト看做ス

第二十八條　厚生大臣ハ勞務供給業者ノ供給スル勞務者ノ賃金ニ關シ本令ニ定ムルモノノ外賃金統制上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ屬僚スル屬僚主ハ命令ノ定ムル所ニ依リ賃金等級ヲ作成シ其ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ備置クベシ

第三十條　賃金ノ統制ニ關スル重要事項ヲ調査審議セシムル爲賃金委員會ヲ置ク

賃金委員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第三十一條　厚生大臣又ハ地方長官ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ賃金ノ狀況ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿書類ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第三十二條　本令ハ國又ハ道府縣ニハ之ヲ適用セズ

本令ハ國際條約又ハ之ニ基ク協定中賃金ニ關スル定アルトキ其ノ制限ニ低價スル場合ニ於テハ之ヲ適用セズ

第三十三條　本令中地方長官トアルハ內地ニ於テ鑛夫（砂鑛業ニ於ケル鑛夫ニ準ズベキ者ヲ含ム以下同ジ）ニ關スルモノニ付テハ鑛山監督局長トス

第二十四條乃至第二十七條中地方長官トアルハ內地ニ於テ鑛夫（砂鑛業ニ於ケル鑛夫ニ準ズベキ者ヲ含ム以下同ジ）ニ關スルモノニ付テハ鑛山監督局長トス

第二十八條中厚生大臣トアルハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ道府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ州又ハ曉、南洋群島ニ在リテハ廳又ハ支廳ノ區域ニ付テハ各其ノ區域ヲ管轄スル地方費トス

第二十九條乃至第三十二條中地方長官トアルハ內地ニ於テ鑛夫（砂鑛業ニ於ケル鑛夫ニ準ズベキ者ヲ含ム以下同ジ）ニ關スルモノニ付テハ鑛山監督局長トス

第三十三條　本令中地方長官トアルハ內地ニ於テ鑛夫（砂鑛業ニ於ケル鑛夫ニ準ズベキ者ヲ含ム以下同ジ）ニ關スルモノニ付テハ鑛山監督局長トス

第二十四條　本令中厚生大臣トアルハ賃金ノ協定ノ效力ガ二以上ノ道府縣（內地ニ於テ鑛山監督局長トス）及ブ場合ハ厚生大臣トス

第三十四條　本令中厚生大臣トアルハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ支廳長官トシ道府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州又ハ廳、南洋群島ニ在リテハ支廳ノ區域ニ付テハ各其ノ區域ヲ管轄スル地方費トス

第三十五條　本令中賃金委員會ニ關スル規定ハ南洋群島ニハ之ヲ適用セズ

附　則

第三十六條　本令ハ昭和十五年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十七條　本令施行前從前ノ罰則ヲ適用スベカリシ行爲ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第三十八條　本令施行ノ際現ニ存スル從前ノ規定ニ依リ定ムル未經驗勞働者ノ初給賃金ノ最低額ハ第九條ノ規定ニ依リ定ムル最低賃金ト看做シ其ノ最高額ハ第十條ノ規定ニ依リ定ムル最高初給賃金ト看做ス

第三十九條　本令施行ノ際現ニ存スル賃金臨時措置令第十五條ノ規定ニ依ル組合又ハ團體ノ指定ハ第二十一條ノ規定ニ依ル組合又ハ團體ノ指定ト看做ス

第四十條　本令施行ノ際現ニ存スル賃金臨時措置令第十五條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル勞務者ノ基本給、賃金基準又ハ昇給內規ノ定ハ第二十一條ノ規定ニ依リ認可シタル賃金ノ協定ト看做ス

第四十一條　本令施行ノ際現ニ存スル賃金臨時措置令第十六條第一項ノ規定ニ依ル定ニシテ勞務者ノ基本給又ハ賃金基準ノ最高額ニ關スルモノハ第十一條ノ規定ニ依リ定ムル最高賃金ト看做ス

第四十二條　賃金臨時措置令第一條乃至第

十四條、第十九條、第二十三條、第二十五條第一項及第二十七條第一項ノ規定ハ船員ニ關スルモノヲ除クノ外當分ノ內仍其ノ效力ヲ有ス但シ同日以前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ同日後ノ效力ヲ有ス

第四十四條　本令施行ノ際第十九條ノ規定ニ依リ發スル命令ニ關シテハ同條中賃金委員會ニ關スル規定ハ之ヲ適用セズ

前項ノ規定ハ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

第十條ノ最高初給賃金若ハ第十一條ノ最高賃金定マリタルトキ又ハ賃金ノ協定ニ付認可アリタルトキハ各其ノ限度ニ於テ第一項本文ノ規定ニ拘ラズ賃金臨時措置令第一條乃至第十四條、第十九條、第二十三條、第二十五條第一項及第二十七條第一項ノ規定ハ其ノ效力ヲ失フ

第一項但書及前項ノ規定ニ拘ラズ賃金臨時措置令第一條乃至第十四條、第十九條、第二十三條、第二十五條第一項及第二十七條第一項ノ規定ハ第十四條ノ平均時間割賃金、第十條ノ最高初給賃金若ハ第十一條ノ最高賃金定マリタル時又ハ賃金ノ協定ニ付認可アリタル時迄ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ仍其ノ效力ヲ有ス

第四十三條　賃金臨時措置令ハ船員ニ關スルモノヲ除クノ外朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十六年六月三十日迄其ノ效力ヲ有ス但シ同日以前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ同日後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

賃金統制令施行規則

（昭和十五年十月十九日厚生省令第四十六號）

改正　昭一六、七、二三、厚令三七
昭一六、九、二五、厚令四五

第一條　賃金統制令（以下令ト稱ス）第二條ノ規定ニ依リ令第二條各號ニ揭グル事業以外ノ事業ニ於ケル左ノ勞働ヲ指定ス

一　場屋又ハ物品ノ監守其ノ他之ニ類スル勞働

二　場屋又ハ道路ノ淸掃其ノ他之ニ類スル勞働

三　小使、給仕其ノ他之ニ類スル勞働

四　寫字、印字、電話交換其ノ他之ニ類スル勞働

五　機械又ハ器具ノ操作、檢査、修繕其ノ他之ニ類スル勞働

六　物ノ運搬又ハ配達ノ勞働

第二條　左ニ揭グル者ハ令第二條但書ノ規定ニ依リ勞務者タラザルモノトス

一　料理店業又ハ飮食店業ニ從事スル者

二　主トシテ家事ニ從事スル者

三　屋傭主ニ於テ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ）ノ承認ヲ受ケ令ノ適用ヲ除外シタル者

前項第三號ノ承認ノ申請書ハ樣式第一號ニ依ルベシ

第三條　令第四條ノ命令ヲ以テ定ムル屋傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ屋傭スル屋傭主トス

第四條　前條ノ屋傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時屋傭スル勞務者ガ十人ニ達シタル日ヨリ三十日以內ニ賃金規則ヲ作成シ揭示其ノ他適宜ノ方法ニ依リ之ヲ勞務者ニ周知セシムベシ但シ賃金規則中勞務者ノ一部ニ關係アル事項ノ周知方法ハ關係勞務者ニ對シテノミ之ヲ爲スヲ以テ足ル

前項ノ屋傭主賃金規則ヲ變更シタルトキハ前項ノ準ジ直ニ之ヲ周知セシムベシ

第五條　賃金規則ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　所定就業時間數

二　賃金ノ締切ノ期間及支拂ノ期日

三　定額給ノ定アルトキハ其ノ初給額及最低額

四　請負賃金制ニ於ケル保證給又ハ單位時間給ノ定アルトキハ其ノ保證給又ハ單位時間給ノ初給額及最低額

五　單價請負、時間請負又ハ歩合請負ノ倂用アルトキハ其ノ請負單價、請負時間又ハ請負歩合及賃金算定方法

六　手當ヲ支給セントスルトキハ其ノ手當ノ名稱及額又ハ率竝ニ給與條件

七　白米、粘麥、食事又ハ住居ノ給與ヲ爲ストキハ其ノ數量、評價額及給與條件

八　遲刻又ハ早退ノ場合ニ於ケル賃金ノ計算方法

九　賃金ノ一部ヲ貯蓄又ハ公債購入ノ爲控除スルトキハ其ノ定ノ要旨

前項各號ニ揭グル事項ノ外賃金ニ關シ必要ナル事項ハ之ヲ賃金規則ニ記載スルコトヲ得

第六條　前條第一項第三號又ハ第四號ノ事項ニ付男女別、職種別、年齡別、勤續年數別其ノ他ノ區分ニ依リ異ル定アルトキハ各別ニ之ヲ記載スベシ

作業又ハ製品ノ種類多數ナルトキハ請負單價、請負時間又ハ請負歩合ニ關スル前條第一項第五號ノ規定ニ依リ賃金ノ支拂ヲ爲スベキ場合ニ於テ賃金規則ノ記載ガ其ノ協定ノ內容ヲ盡サザルトキハ令第五條ノ規定ニ拘ラズ各其ノ事項ニ付テハ前項各號ニ揭グル事項ノ外賃金ニ關シ必要ナル事項ヲ賃金規則ニ記載スルコトヲ得

第七條　第三條ノ屋傭主賃金規則ニ依ル賃金ノ支拂ヲ爲スニ付令第十四條第一項ノ認可ヲ受ケントスル場合ニ於テ其ノ事項ニ付テハ前項ノ規定ニ依リ又ハ第十四條第一項第三號、第五條第一項、第二十六條第一項、第二十九條第一項若ハ第三十條第一項ノ規定ニ依リ認可又ハ許可ヲ受ケザルトキ又ハ賃金ノ協定存スル場合ニ於テ賃金規則ノ記載ガ其ノ協定ノ內容ヲ盡サザルトキハ令第五條ノ規定ニ拘ラズ各其ノ事項ニ付テハ賃金規則ニ依リ賃金ノ支拂ヲ爲スベキ限ニ在ラズ

第八條　令第六條ノ規定ニ依ル賃金規則ノ報告ニハ事業ノ種類、從業場所ノ名稱及所在地竝ニ常時屋傭スル男女別勞務者數ヲ具スベシ

同種ノ製品ノ經濟又ハ同種ノ作業ガ三月以上繼續セザルトキハ其ノ製品又ハ作業ニ付定ムル請負單價、請負時間又ハ請負歩合ニ關スル前條第一項第五號ノ規定ニ依ル記載ハ之ヲ省略スルコトヲ得

前項ノ場合ノ外屋傭主請負單價、請負時間又ハ請負歩合ニ關スル前條第一項第五號ノ規定ニ依ル記載ノ全部又ハ一部ヲ省略セントスルトキハ地方長官ノ許可ヲ得ベシ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第二號ニ依ルベシ

第九條　令第九條第二項ノ賃金ハ左ニ揭グルモノヲ含マザルモノトス

一　早出、殘業又ハ深夜若ハ休日ノ就業ニ對スル歩增

二　前號ノ外厚生大臣ノ指定スル平常ノ給與但シ白米、精麥、食事及住居

三　實物給與但シ白米、精麥、食事及住居

四　賞與

五　臨時ノ給與

第十條　令第十條第二項ノ命令ヲ以テ定ムル期間ハ坑內ニ於テ就業スル鑛夫ニ付テハ三月トシ其ノ他ノ工場鑛山ノ勞務者ニ付テハ左ノ各號ニ依ル

一　三十歲未滿ノ未經驗勞務者　三月

二　三十歲未滿ノ經驗勞務者　一年

三　三十歲以上四十歲未滿ノ勞務者　一年

第十一條　前條ノ未經驗勞務者トハ工場又ハ鑛山ニ於ケル左ノ各號ノ一ニ該當セザル勞務者ヲ謂フ

一　從事シツツアル勞働又ハ之ト同種ノ勞働ニ三月以上從事シタル經驗アル者

二　工場又ハ鑛山ニ於テ六月以上勞働ニ從事シタル經驗アル者

三　工業又ハ鑛業ニ關スル國立若ハ公立ノ養成施設ニシテ三月以上ノ修業期間ヲ有スルモノ又ハ私立ノ養成施設ニシテ地方長官ニ於テ之ト同等以上ノモノト認定シタルモノノ課程ヲ修了シタル

者

四　工業又ハ鑛業ニ關スル學校ニ於テ二年以上學習シタル者

五　前號ニ掲グルモノノ外國民學校初等科修了程度ヲ入學資格トシ修業年限ヲ四年以上トスル學校若ハ國民學校高等科修了程度ヲ入學資格トシ修業年限ヲ二年以上トスル學校又ハ之ト同等以上ノ學校ノ課程ヲ修了シタル者

前項第一號ノ同種ノ勞働ノ範圍ハ厚生大臣之ヲ定ム

最高初給賃金ガ業種又ハ勞務者ノ經驗年數ニ依リ區別アルトキハ其ノ業種ノ區分又ハ經驗年數ノ算定ニ關シ必要ナル事項ハ厚生大臣之ヲ定ム

第十二條　最高賃金ハ日日雇入ルル勞務者又ハ厚生大臣ノ指定スル勞務者ニ付定ムルモノトス

第十三條　令第十條第二項ノ賃金ハ左ニ掲グルモノヲ含マザルモノトス

一　一月ニ付健康保險法施行令第三條ノ規定ニ依リ定ムル標準報酬日額ノ二日分ヲ超エザル精勤手當

二　就業十時間ヲ超ユル早出若ハ殘業又ハ深夜若ハ休日ノ就業ニ對スル歩增

三　前二號ノ外厚生大臣ノ指定スル手當

四　實物給與但シ白米、精麥、食事及住居ノ給與ヲ除ク

五　賞與

六　臨時ノ給與

令第十一條第二項ノ賃金ハ前項第一號及第三號乃至第六號ニ掲グルモノヲ含マザルモノトス

第十四條　令第九條第二項ノ規定ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ之ヲ適用セズ

一　勞務者ガ精神又ハ身體ノ障碍ニ因リ著シク作業能力劣レルモノナルトキ

二　勞務者ノ都合ニ依リ所定就業時間ニ滿タザル就業ヲ爲ストキ

三　天災事變其ノ他特別ノ事由ニ因リ雇傭主ガ地方長官ノ許可ヲ受ケ最低賃金ノ額ヲ下ル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭スルトキ

雇傭主前項第一號ノ規定ニ依リ最低賃金ノ額ヲ下ル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭シタルトキハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ其ノ雇傭ノ日ノ翌月十五日迄ニ樣式第三號ニ依ル報告書ヲ地方長官ニ提出スベシ

第一項第三號ノ許可ノ申請書ハ樣式第四號ニ依リ其ノ申請ニハ第五條第一項第三號及第四號ノ最低額ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第十五條　令第十條第二項及第十一條第二項ノ規定ハ雇傭主ガ天災事變ニ際シ必要アルニ因リ又ハ左ニ掲グル場合ニ於テ地方長官ノ許可ヲ受ケ最高初給賃金又ハ最高賃金ノ額ヲ超ユル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭スルトキハ之ヲ適用セズ

一　作業ノ性質上必要アルトキ

二　勞務者ガ技能特ニ優秀ナルトキ又ハ特技アルトキ

三　其ノ他特別ノ事由アルトキ

雇傭主天災事變ニ際シ必要アルニ因リ最高初給賃金又ハ最高賃金ノ額ヲ超ユル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭シタルトキハ令第三十一條第二項ノ規定ニ基キ其ノ雇傭ノ日ヨリ十四日以內ニ其ノ要領ヲ具シ地方長官ニ報告スベシ

第一項ノ許可ノ申請ニシテ不特定ノ勞務者ニ關スルモノナルトキハ其ノ申請書ハ樣式第五號、特定ノ勞務者ニ關スルモノナルトキハ其ノ申請書ハ樣式第六號ニ依リ其ノ申請ニハ賃金規則ノ寫ヲ添附スベシ

第十六條　令第十四條第一項ノ命令ノ定ムル期間(以下賃金總額計算期間ト稱ス)ハ左ノ如シ

第一期　一月一日ヨリ三月三十一日迄(毎月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ三月ノ最終賃金締切日前三月間)

第二期　四月一日ヨリ六月三十日迄(毎月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ六月ノ最終賃金締切日前三月間)

第三期　七月一日ヨリ九月三十日迄(毎月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ九月ノ最終賃金締切日前三月間)

第四期　十月一日ヨリ十二月三十一日迄(毎月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ十二月ノ最終賃金締切日前三月間)

第十七條　同一ノ工場、事業場ニ於テ令第十四條第一項各號ニ掲グル勞務者以外ノ勞務者ヲ常時三十人以上雇傭スル雇傭主ハ令第十四條第一項ノ規定ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

前項ノ認可ノ申請書ハ樣式第七號ニ依リ其ノ申請ニハ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ每月ノ賃金臺帳(總括表)ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第一項ノ認可ノ申請ニハ前項ニ依ルノ外基準總額ヲ超ユル理由ヲ證明スルニ足ル資料竝ニ認可ヲ受ケントスル一時間平均賃金算出ノ方法及其ノ基礎ト爲ル資料ヲ具スベシ

第十八條　前條ノ認可ハ左ニ掲グル場合ニ之ヲ爲スモノトス

一　工場、事業場ニ於ケル勞務者ノ職種、年齡、經驗年數等ニ因リ必要アルトキ

二　工場、事業場ニ於ケル作業ノ性質又ハ環境ニ因リ特ニ必要アルトキ

三　工場、事業場ニ於ケル作業能率特ニ優秀ナルトキ

四　天災事變ニ際シ其ノ他特ニ必要アルトキ

第十九條　令第十四條第一項ノ認可ハ男女及年齡別一時間平均賃金ニ依リ之ヲ爲シ且其ノ認可ノ日ヨリ一年以內ニ於テ失效ノ期限ヲ附スルモノトス

雇傭主前項ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ令第十四條第一項各號ニ掲グル勞務者以外ノ勞務者ニ對シ賃金總額計算期間ニ支拂フ賃金ノ總額ハ前項ノ男女及年齡別一時間平均賃金ニ就業時間ノ總數ヲ乘ジテ得タル額ノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ザルモノトス

前二項ノ男女及年齡別一時間平均賃金ノ適用ニ關スル勞務者ノ年齡ノ計算ハ其ノ年ノ一月一日ノ現在ニ依ルモノトス

第二十條　令第十四條第一項第四號ノ規定ニ依リ左ノ勞務者ヲ定ム

一　專ラ工場外又ハ事業場外ノ事務所ニ於テ使用スルモノ

二　日日雇入ルルモノ

第二十一條　令第十四條第一項ノ賃金ハ左ニ掲グルモノヲ含マザルモノトス

一　厚生大臣ノ指定スル手當

二　實物給與但シ白米、精麥、食事及住居ノ給與ヲ除ク

三　賞與

四　臨時ノ給與

第二十二條　令第十四條第一項ノ平均時間割賃金ハ地域、業種、男女及年齡ノ別ニ之ヲ定ム

同一ノ工場、事業場ニ於テ平均時間割賃金ノ異ル二以上ノ事業ヲ營ムトキハ雇傭主ハ其ノ平均時間割賃金ノ適用ヲ受クベキ業種ヲ選定シ豫メ之ヲ地方長官ニ屆出ヅベシ

地方長官前項ノ規定ニ依ル雇傭主ノ業種ノ選定ヲ不適當ト認メタルトキハ別段ノ指定ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ平均時間割賃金ノ適用ニ關スル勞務者ノ年齡ノ計算ハ其ノ年ノ一月一日ノ現在ニ依ルモノトス

第二十三條　令第十四條第一項ノ就業時間ハ休憩時間ヲ含ムモノトス

第二十四條　令第十五條又ハ第十六條ノ認可ノ申請書ハ樣式第八號又ハ樣式第九號ニ依リ其ノ申請ニハ第五條第一項第五號ニ掲グル事項ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫及最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ每月ノ賃金臺帳(總括表)ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第二十四條ノ二　令第十五條及第十六條ノ認可ハ其ノ認可ノ日ヨリ一年以內ニ於テ失效ノ期限ヲ附スルモノトス

第二十五條　令第十七條ノ認可ノ申請書ハ樣式第十號ニ依リ其ノ申請ニハ初給賃金及昇給ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫竝ニ

最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ毎月ノ賃金臺帳(總括票)ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第二十五條ノ二　雇傭主令第十七條ノ認可ヲ受ケタルトキハ認可アリタル昇給ノ規程ニ依リ其ノ賃金ヲ增スベキ勞務者ニ對スル一回ノ昇給額ノ其ノ勞務者ニ對スル平均額ハ其ノ昇給ノ規程ニ定ムル一回ノ昇給標準額ヲ超ユルコトヲ得ザルモノトス

第二十五條ノ三　令第十五條、第十六條又ハ第十七條ノ規定ニ依リ認可ヲ受クル賃金ニハ第二十一條各號ニ掲グルモノヲ含マザルモノトス

第二十六條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ニ就業ノ日又ハ時間ニ對スル賃金ヲ超ユル手當ヲ其ノ就業セザル日又ハ時間ニ對シ支給セントスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第十一號ニ依リ其ノ申請ニハ手當ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第二十七條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ令第六條ノ規定ニ依リ地方長官ニ報告シタル賃金規則ニ依ルノ外其ノ雇傭スル勞務者ニ實物ヲ給與セントスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第十二號ニ依リ其ノ申請ニハ實物給與ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第二十八條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ニ賞與ヲ支給セントスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クベシ但シ賞與ノ各支給期ニ於ケル其ノ支給ヲ受クル勞務者ニ對スル平均金額ノ毎年ノ合計額ガ六十圓ヲ超エズ又ハ當該工場、事業場ニ於ケル勞務者ノ健康保險法施行令第三條ノ標準報酬日額ノ平均金額ノ四十日分ヲ超エザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第十三號ニ依リ其ノ申請ニハ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ毎月ノ賃金臺帳(總括票)ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第二十九條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ノ全部又ハ大部分ニ時ヲ同ジクシテ臨時ノ給與ヲ爲サントスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クベシ但シ臨時ノ給與ノ其ノ給與ヲ受クル勞務者ニ對スル平均金額ノ毎年ノ合計額ガ二十圓ヲ超エザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第十四號ニ依リ其ノ申請ニハ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ毎月ノ賃金臺帳(總括票)ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第三十條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ勞務者ニ對シ厚生大臣ノ定ムル價格ヲ下ル代價ヲ以テ白米、精麥又ハ食事ノ販賣ヲ爲サントスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クベシ其ノ販賣ノ委託ヲ爲サントスルトキ亦同ジ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第十五號ニ依リ其ノ申請ニハ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ毎月ノ賃金臺帳(總括票)ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面及手當竝ニ實物給與ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第三十一條　令第二十二條ノ規定ニ依ル賃金ノ協定ノ認可ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　協定ヲ爲シタル雇傭主ノ氏名及住所又ハ協定ヲ爲シタル組合若ハ團體ノ名稱及所在地
二　協定ノ內容
三　協定ノ行ハルル區域
四　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第三十二條　雇傭主ハ天災事變ニ際シ必要アルトキハ令第二十一條但書ノ規定ニ依リ同條ノ協定ニ依ラザルコトヲ得

雇傭主前項ノ規定ニ依リ令第二十二條ノ協定ニ依ラザリシトキハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ其ノ要領ヲ具シ十四日以內ニ地方長官ニ報告スベシ

第三十三條　令第二十四條ノ規定ニ依ル賃金ノ協定ノ變更又ハ廢止ノ認可ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　協定ヲ爲シタル雇傭主ノ氏名及住所又ハ協定ヲ爲シタル組合若ハ團體ノ名稱及所在地
二　廢止又ハ變更スベキ事項及其ノ內容
三　廢止又ハ變更セントスル協定ノ行ハルル區域
四　廢止又ハ變更ヲ要スル理由
五　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第三十四條　協定ノ行ハルル區域內ニ於テ協定ニ加ハリタル雇傭主ト同種若ハ類似ノ事業ヲ營ミ若ハ協定アリタル勞務者ト同種ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主又ハ協定ヲ爲シタル組合若ハ團體ノ地區內ニ於テ組合若ハ團體ノ組合員若ハ團體員(組合又ハ團體ヲ組織スル組合又ハ團體ノ組合員又ハ團體員ヲ含ム以下同ジ)タル資格ヲ有スルモ組合若ハ團體ノ組合員若ハ團體員ニ非ザルモノニ對シテハ令第二十五條ノ規定ニ依リ協定ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第三十五條　令第二十九條ノ雇傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時雇傭スル勞務者ノ數ガ十人ニ達シタルトキハ賃金臺帳ヲ作成シ勞務者ノ賃金ヲ記載スベシ但シ日日雇入ルル勞務者ノ賃金ハ記載ノ限ニ在ラズ

第三十六條　賃金臺帳ハ個人票、總括票特別手當臺帳、生產臺帳及昇給臺帳トス

個人票及總括票ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時雇傭スル勞務者ガ十人ニ達シタル日ヨリ三十日以內ニ之ヲ作成シ其ノ樣式ハ常時三十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル工場、鑛山ニ在リテハ樣式第十六號及第十七號、其ノ他ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ在リテハ樣式第十八號及第十九號ニ依ルベシ

特別手當臺帳ハ第二十一條第一號ノ手當ヲ支給スルニ至リタル日ヨリ三十日以內ニ之ヲ作成シ同號ノ手當ノ種類毎ニ手當ヲ受クル勞務者ノ氏名、男女別、年齡及其ノ手當額ヲ記載スベシ

生產臺帳ハ令第十五條ノ認可ヲ受ケタル日ヨリ三十日以內ニ之ヲ作成シ一定ノ勞務者ニ支拂フ賃金ニ付單位生產量ニ對スル額ヲ定メタル生產品ノ毎月ノ生產量又ハ毎賃金締切期間ノ生產量ヲ記載スベシ

昇給臺帳ハ令第十七條ノ認可ヲ受ケタル日ヨリ三十日以內ニ之ヲ作成シ認可アリタル昇給ノ規程ノ適用アル勞務者ノ氏名、男女別、初給賃金額(同條ノ認可アリタル際現ニ雇傭セラルル者ニ付テハ當時支給スル賃金)、昇給期日及昇給額ヲ記載スベシ

第三十七條　賃金臺帳ノ記入ハ個人票、特別手當臺帳及生產臺帳ニ在リテハ毎月ノ賃金、第二十一條第一號ノ手當又ハ生產量ニ付翌月末日迄ニ之ヲ爲シ總括票ニ在リテハ毎月ノ賃金ニ付翌月末日迄ニ毎賃金總額計算期間ノ賃金ニ付其ノ期間終了ノ翌月末日迄ニ之ヲ爲シ昇給臺帳ニ在リテハ毎昇給期ノ昇給額ヲ昇給期ノ翌月末日迄ニ之ヲ爲スベシ

第三十八條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時三十人以上ノ勞務者ヲ使用スル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ毎年一月ノ賃金臺帳（雛形省令）ノ調製ヲ命ジ其ノ調製ヲ爲サシムベシ

賃金臺帳ニハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル事項ヲ記入スベシ

賃金臺帳ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ保存スベシ

第三十九條　賃金臺帳ハ其ノ最後ノ記入ヲ爲シタル後三年間之ヲ保存スベシ

第四十條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ニ關スル事項ヲ記載シタル證票ヲ交付スベシ

前項ノ證票ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ請求アリタルトキ又ハ勞務者ノ使用ヲ終了シタルトキハ遲滯ナク之ヲ交付スベシ

第四十一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル計算書ヲ調製スベシ

第四十二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿ヲ備ヘ勅令ノ定ムル事項ヲ記入スベシ

第四十三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル書類ヲ調製シ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ保存スベシ

第四十四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ノ檢査ニ供スベシ

第四十五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第四十六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第四十七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第四十八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第四十九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第五十條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第五十一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第五十二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第五十三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第五十四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第五十五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第五十六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第五十七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第五十八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第五十九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第六十條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第六十一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第六十二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第六十三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第六十四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第六十五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第六十六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第六十七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第六十八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第六十九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第七十條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第七十一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第七十二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第七十三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第七十四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第七十五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第七十六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第七十七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第七十八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第七十九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第八十條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第八十一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第八十二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第八十三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第八十四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第八十五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第八十六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第八十七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第八十八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第八十九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第九十條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第九十一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第九十二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第九十三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第九十四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第九十五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第九十六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第九十七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第九十八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第九十九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百十條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百十一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百十二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百十三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百十四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百十五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百十六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百十七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百十八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百十九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百二十條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百二十一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百二十二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百二十三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百二十四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百二十五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百二十六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百二十七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百二十八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百二十九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百三十條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百三十一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百三十二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百三十三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百三十四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百三十五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百三十六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百三十七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百三十八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百三十九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百四十條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百四十一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百四十二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百四十三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百四十四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百四十五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百四十六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百四十七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百四十八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百四十九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百五十條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百五十一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百五十二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百五十三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百五十四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百五十五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百五十六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百五十七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百五十八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百五十九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百六十條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百六十一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百六十二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百六十三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百六十四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百六十五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百六十六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百六十七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百六十八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百六十九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百七十條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百七十一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百七十二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百七十三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百七十四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百七十五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百七十六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百七十七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百七十八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百七十九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百八十條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百八十一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百八十二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百八十三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百八十四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百八十五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百八十六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百八十七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百八十八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百八十九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百九十條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百九十一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百九十二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百九十三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百九十四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百九十五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百九十六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百九十七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百九十八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第百九十九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第二百條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第二百一條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第二百二條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第二百三條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第二百四條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第二百五條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第二百六條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第二百七條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第二百八條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞務者ノ賃金ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ勅令ノ定ムル官吏ニ提出スベシ

第二百九條　勅令ノ定ムル使用主ハ勅令

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭一六、九、二五、厚令四五）

本令ハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

様式第一號（用紙ノ大サハ日本標準規格B4（縦三六・四糎、横二五・七糎）トス）

労務者適用除外承認申請書

事業ノ種類	事業場ノ名稱	所在地
労務者ノ従事スル業務	労務者數	男
		女
		計
待遇上他ノ労務者ト異ル事項		
業務上他ノ労務者ト異ル事項		
適用除外ヲ申請スル労務者數	男	
	女	
	計	
其ノ他參考ト爲ルベキ事項		

昭和　年　月　日

住所

（事業主）氏　名　印

（地方長官）殿

記載注意

一、事業ノ種類ハ工業ニ在リテハ工業分類（小分類）ニ依ル事業ノ名稱ヲ、其ノ他ノ事業ニ在リテハ成ル可ク詳細ニ事業ノ名稱又ハ主要生産品名ヲ記載スルコト

二、労務者ノ従事スル業務ハ其ノ労務者ノ従事スル業務ノ内容ヲ知悉スルニ足ル名稱（職種）ヲ記載スルコト

様式第二號（用紙ノ大サハ日本標準規格B4（縦三六・四糎、横二五・七糎）トス）

賃金規則記載省略許可申請書

事業ノ種類	事業場ノ名稱	所在地
記載ノ省略ヲ受ケントスル事項（又ハ部分）	省略ノ理由	
申請ニ係ル労務者數	男	
	女	
	計	
其ノ他參考ト爲ルベキ事項		

昭和　年　月　日

住所

（事業主）氏　名　印

（地方長官）殿

記載注意

一、省略ヲ受ケントスル事項ハ賃金規則ニシテ本様式ニ記入スルコト　數部ナルモノハ別紙ニ記載シ

番號ノ上本欄ニ別紙番號ノミ記入スルコト

様式第三號（用紙ノ大サハ日本標準規格B4（縦三六・四糎、横二五・七糎）トス）

精神身體障碍ニ因ル最低賃金除外報告書

事業ノ種類	事業場ノ名稱	所在地
労務者ノ氏名	男女別	年齢
最低賃金額	支給賃金額	最低賃金ヲ下リタル理由
報告ニ係ル労務者數	男	
	女	
	計	
其ノ他參考ト爲ルベキ事項		

昭和　年　月　日

住所

（事業主）氏　名　印

（地方長官）殿

様式第六号(用紙ノ大サハ日本標準規格B四縦二百三十七粍横三百二十粍トス)

(支店登記申請書(商業登記規則第三十五条ノ二第一項ノ規定ニ依リ支店ノ所在場所ヲ変更スル場合ニ於ケル申請書))

本店ノ所在場所		支店ノ所在場所		登記所ニ提出シタル印鑑ノ数	男	
					女	
					計	

支店ノ所在場所ニ変更ヲ生ジタル年月日	支店ノ所在場所ニ変更ヲ生ジタル事由	支店ノ所在場所ニ変更ヲ生ジタル事項		支店ノ所在場所ニ変更ヲ生ジタル事項ニ付キ登記ヲ為シタル登記所	支店ノ所在場所ニ変更ヲ生ジタル事項ニ付キ登記ヲ為シタル年月日	支店ノ所在場所ニ変更ヲ生ジタル事項ニ付キ登記ヲ為シタル登記所ニ提出シタル印鑑ノ数	
		変更前	変更後			男	女

支店ノ所在場所ニ変更ヲ生ジタル事項ニ付キ登記ヲ為シタル登記所ニ提出シタル印鑑ノ数	

年　月　日

住所
(商業主)　氏　名　●

(受方表書)　殿

様式第七号(用紙ノ大サハ日本標準規格B四縦二百三十七粍横三百二十粍トス)

(営業譲渡ニ因リ営業ヲ譲受ケタル者ノ為ス登記ノ申請書)

本店ノ所在場所		支店ノ所在場所		登記所ニ提出シタル印鑑ノ数	男	
					女	
					計	

男女別	年齢区分	営業ノ譲渡ニ因リ営業ヲ譲受ケタル者ノ氏名又ハ名称及ビ住所	営業ノ譲渡ニ因リ営業ヲ譲受ケタル者ガ譲渡人ノ商号ヲ引続キ使用スルトキハ其ノ旨	営業ノ譲渡ニ因リ営業ヲ譲受ケタル者ガ譲渡人ノ債務ヲ弁済スル責ニ任ズルトキハ其ノ旨	営業ノ譲渡ニ因リ営業ヲ譲受ケタル者ノ営業ノ開始後譲渡人ノ債務ニ付キ弁済ヲ為シタルトキハ其ノ旨	営業ノ譲渡ニ因リ営業ヲ譲受ケタル者ノ営業ノ開始後譲渡人ノ債務ニ付キ弁済ヲ為シタル場合ニ於ケル弁済ノ方法	営業ノ譲渡ニ因リ営業ヲ譲受ケタル者ノ営業ノ開始後譲渡人ノ債務ニ付キ弁済ヲ為シタル場合ニ於ケル弁済ノ期限	営業ノ譲渡ニ因リ営業ヲ譲受ケタル者ノ営業ノ開始後譲渡人ノ債務ニ付キ弁済ヲ為シタル場合ニ於ケル弁済ノ期限ノ定ナキトキハ其ノ旨	営業ノ譲渡ニ因リ営業ヲ譲受ケタル者ノ営業ノ開始後譲渡人ノ債務ニ付キ弁済ヲ為シタル場合ニ於ケル弁済ノ期限ノ定アルトキハ其ノ期限	営業ノ譲渡ニ因リ営業ヲ譲受ケタル者ノ営業ノ開始後譲渡人ノ債務ニ付キ弁済ヲ為シタル場合ニ於ケル弁済ノ期限ノ定アルトキハ其ノ期限ノ到来シタル債務ノ弁済ヲ為シタル者ノ氏名又ハ名称及ビ住所	営業ノ譲渡ニ因リ営業ヲ譲受ケタル者ノ営業ノ開始後譲渡人ノ債務ニ付キ弁済ヲ為シタル場合ニ於ケル弁済ノ期限ノ定アルトキハ其ノ期限ノ到来シタル債務ノ弁済ヲ為シタル者ノ氏名又ハ名称及ビ住所ニ付キ譲渡人ト異ナル定ヲ為シタルトキハ其ノ旨
男	二十歳未満									
	二十歳以上三十歳未満									
	三十歳以上									
女	二十歳未満									
	二十歳以上三十歳未満									
	三十歳以上									

営業ノ譲渡ニ因リ営業ヲ譲受ケタル者ノ営業ノ開始後譲渡人ノ債務ニ付キ弁済ヲ為シタル場合ニ於ケル弁済ノ期限ノ定アルトキハ其ノ期限ノ到来シタル債務ノ弁済ヲ為シタル者ノ氏名又ハ名称及ビ住所ニ付キ譲渡人ト異ナル定ヲ為シタルトキハ其ノ旨	

営業ノ譲渡ニ因リ営業ヲ譲受ケタル者ノ営業ノ開始ノ年月日

年　月　日

住所
(商業主)　氏　名　●

(受方表書)　殿

様式第八號（用紙ノ大サハ日本標準規格B4（縦三六四粍、横二五七粍）トス）

単位生産量ニ對スル賃金額認可申請書

事業ノ種類			
事業場ノ名稱			
所在地			
常時使用スル勞働者數	男	女	計

生産品ノ種類	単位生産量	単位生産量ニ對スル賃金額	適用ヲ受クル勞働者數	一月生産見込量	一月賃金支拂見込額	備考

最近三月間ノ實績

	月			月			月		
	生産品ノ種類別賃金總額	生産量	単位生産量ニ對スル賃金額	生産品ノ種類別賃金總額	生産量	単位生産量ニ對スル賃金額	生産品ノ種類別賃金總額	生産量	単位生産量ニ對スル賃金額

其ノ他参考ト為ルベキ事項

昭和　年　月　日

住所

（事業主）氏　名　㊞

（地方長官）殿

様式第九號（用紙ノ大サハ日本標準規格B4（縦三六四粍、横二五七粍）トス）

請負單價（請負歩合）認可申請書

事業ノ種類			
事業場ノ名稱			
所在地			
常時使用スル勞働者數	男	女	計

作業ノ種類	請負單價（請負歩合）	算定方法	算定ノ基礎	適用ヲ受クル勞働者數	備考

認可後一月間ニ於ケル賃金支拂總額ノ見込額	認可後一月間ニ於ケル一時間平均賃金ノ見込額	備考

其ノ他参考ト為ルベキ事項

昭和　年　月　日

住所

（事業主）氏　名　㊞

（地方長官）殿

記載注意

一、算定方法ハ請負單價（請負歩合）ヲ用ヒ實際ニ賃金ノ算定ヲ為スベキ算式又ハ方法ヲ記載スルコト

二、算定ノ基礎ハ請負單價（請負歩合）及算定方法ヲ決定シタル根據ヲ記載スルコト

様式第十號（用紙ノ大サハ日本標準規格B4（縦三六四粍、横二五七粍）トス）

初給賃金及昇給規程認可申請書

事業ノ種類			
事業場ノ名稱			
所在地			
常時使用スル勞働者數	男	女	計
一日平均勞働時間			

初給賃金額

年齢、學歴、經驗年數ノ別又ハ	賃金額 男子	賃金額 女子	備考

昇給規程ノ内容

昇給時期又ハ昇給期間ノ別	昇給資格	昇給ニ必要ナル期間	一回ノ昇給額（率） 最高	標準	最低	昇給ニ必要ナル條件

認可後一年間ニ於ケル昇給額ノ見込額	認可後一年間ニ於ケル賃金總額ノ見込額	備考

其ノ他参考ト為ルベキ事項

昭和　年　月　日

住所

（事業主）氏　名　㊞

（地方長官）殿

記載注意

一、本様式ニ記入シ得ザル事項ハ別紙ニ記載シ添附スルコト

様式第十一號（用紙ノ大サハ日本標準規格B4（縦三六四粍、横二五七粍）トス）

不定額手當支給許可申請書

事業ノ種類			
事業場ノ名稱			
所在地			
常時使用スル勞働者數	男	女	計

支給セントスル手當ノ名稱	額又ハ率	支給條件	支給ノ理由	一年間ノ支給見込總額	一年間ノ支給見込人員

其ノ他参考ト為ルベキ事項

昭和　年　月　日

住所

（事業主）氏　名　㊞

（地方長官）殿

樣式第十二號（用紙ノ大サハ日本標準規格B４（縱三六四粍、横二五七粍）トス）

[illegible]許可申請書

事業ノ種類	
事業場ノ名稱	
所在地	
當該事業場ニ使用スル勞務者數	男
	女
	計

賃金ノ種類	新規設定又ハ變更	許可額	新舊時期	給與條件	一人平均給與額

其ノ他參考ト爲ルベキ事項

昭和　年　月　日

住所

（事業主）氏　名　印

（地方長官）殿

樣式第十三號（用紙ノ大サハ日本標準規格B４（縱三六四粍、横二五七粍）トス）

賞與許可申請書

事業ノ種類	
事業場ノ名稱	
所在地	
當該事業場ニ使用スル勞務者數	男
	女
	計

許可ヲ受ケムトスル賞與	支給ノ時期	賞與總額	支給勞務者數	一人平均賞與額
本年ニ於テ既ニ支給セル賞與				
前年中ニ支給セル賞與				
本年中ニ支給セムトスル賞與ノ總額	本年			
前年中ニ支給セル賞與ノ總額	前年			

其ノ他參考ト爲ルベキ事項

昭和　年　月　日

住所

（事業主）氏　名　印

（地方長官）殿

樣式第十四號（用紙ノ大サハ日本標準規格B４（縱三六四粍、横二五七粍）トス）

臨時給與許可申請書

事業ノ種類	
事業場ノ名稱	
所在地	
當該事業場ニ使用スル勞務者數	男
	女
	計

	支給時期	臨時給與總額	支給勞務者數	一人平均給與額
許可ヲ受ケムトスル臨時給與				
本年ニ於テ既ニ支給セル臨時給與				

其ノ他參考ト爲ルベキ事項

昭和　年　月　日

住所

（事業主）氏　名　印

（地方長官）殿

樣式第十五號（用紙ノ大サハ日本標準規格B４（縱三六四粍、横二五七粍）トス）

[illegible]許可申請書

事業ノ種類	
事業場ノ名稱	
所在地	
當該事業場ニ使用スル勞務者數	男
	女
	計

品目	單位	單價	販賣條件	販賣ヲ受クル勞務者數 男	女	計	年間ノ販賣見込數量

[illegible]

其ノ他參考ト爲ルベキ事項

昭和　年　月　日

住所

（事業主）氏　名　印

（地方長官）殿

樣式第十六號(用紙ノ大サハ日本標準規格B4(縦二五七粍横三六四粍)トス)

賃金臺帳(個人票)

時給、日給又ハ月給

男	生年月日	雇入年月日	職種	前歴年月數
女	年月日生	年月日雇入	番號	年　月

氏名
番號

期間							
就業日數							
就業時間數							
實勞働時間數							
早出殘業、深夜就業時間數							
支拂賃金	時給、日給又ハ月給						
	請負利益金又ハ加給金						
	早出、殘業歩增						
	深夜業歩增						
	休日就業歩增						
	手當　精勤手當						
	手當						
	支拂賃金計(1)						
控除金總額							
差引支拂額							
實物給與換算額(2)	白米、精麥給與						
	食事給與						
	住居給與						
支拂賃金計(1)及實物給與換算額(2)合計							
賞與及臨時ノ給與(3)							
支拂賃金總計((1)(2)(3)ノ合計)							

備考

(1)欄ノ欄數ハ雇傭主ニ於テ適宜定ムルヲ得ルコト

(2)欄外ニ領收者捺印欄其ノ他必要事項ノ記載欄ヲ設クルコトヲ得ルコト

(3)實勞働時間數、早出、殘業、深夜就業時間數及該當ナキ事項ニ關スル欄ハ何レモ削除スルコトヲ得ルコト

記載注意

(1)期間ノ區分ハ一月又ハ一賃金締切期間トスルコト

(2)前號ノ期間ニ付テノ記載ノ外毎日ノ賃金ニ關スル記入ヲ爲スヲ妨ゲザルコト

(3)就業日數欄ニハ實際ニ就業セル日數ヲ記入スルコト

(4)就業時間數欄ニハ休憩時間ヲ含ム總就業時間數ヲ記入スルコト

(5)時給、日給又ハ月給欄及請負利益金又ハ加給金欄ハ之ヲ一欄トシ其ノ合計ノ額ヲ記入スルコトヲ得ルコト

(6)早出、殘業歩增欄、深夜業歩增欄及休日就業歩增欄ニハ早出、殘業、深夜就業又ハ休日就業ニ對スル時間割賃金ヲ除キタル割增額ヲ記入スルコト

(7)手當欄ニハ精勤手當、皆勤賞與、物價手當、役付手當、年功加給、作業手當等手當ノ種類毎ニ欄ヲ設ケ其ノ名稱及額ヲ記入スルコト但シ賃金統制令施行規則第二十一條第一號ノ手當ハ之ヲ記入セザルコト

(8)控除金總額欄ニハ支拂賃金ヨリ控除スベキ金額ノ總額ヲ記入スルコト尚内譯欄ヲ設ケ控除金内譯ニ付記入スルコトヲ得ルコト

(9)差引支拂額欄ニハ支拂賃金計(1)ヨリ控除金總額ヲ減ジタル額ヲ記入スルコト

(10)白米、精麥給與、食事給與及住居給與欄ニハ無償ニテ支給セル白米、精麥、食事及住居ニ付厚生大臣ノ定ムル評價額ニ依ル換算額ヲ記入スルコト

樣式第十七號(用紙ノ大サハ日本標準規格B4(縦二五七粍横三六四粍)トス)

賃金臺帳(總括票)

事業ノ種類		事業場名	

昭和　　年　　月分/期分

	男 二十歳未滿	男 三十歳未滿	男 三十歳以上	男 小計	女 二十歳未滿	女 三十歳未滿	女 三十歳以上	女 小計	總計
勞働者數									
總就業日數									
總就業時間數									
平均時間割賃金									
平均時間割賃金ニ總就業時間數ヲ乘ジタル額									
支拂賃金計(1)									
實物給與換算額(2)									
支拂賃金計(1)及實物給與換算額(2)合計(4)									
賞與及臨時ノ給與(3)									
支拂賃金總計((1)(2)(3)ノ合計)									
一時間平均賃金((4)ヲ總就業時間數ヲ以テ除シタル額)									

實物給與(白米、精麥、食事及住居ノ給與ヲ除ク)

名稱	數量	支給勞働者數

備考

(1)本臺帳ハ一月毎(賃金締切日ノ定アル場合ハ其ノ月ノ最終ノ賃金締切日前一月毎)ノ票ニ作成スルコト

(2)本臺帳ハ前號ノ外賃金總額計算期間毎ノ票ヲ作成スルコト

(3)令第十五條、第十六條又ハ第十七條ノ認可ヲ受ケタルトキハ本臺帳ハ賃金ノ總額ニ付令第十四條ノ制限ヲ受クル勞働者、其ノ者ニ支拂フ賃金ニ付令第十五條ノ認可アリタル勞働者、請負單價又ハ請負歩合及賃金算定方法ニ付令第十六條ノ認可アリタル請負賃金制ニ依ル賃金ヲ以テ雇傭スル勞働者又ハ令第十七條ノ認可アリタル初給賃金及昇給ノ規程ニ依リ雇入レ又ハ其ノ賃金ヲ增スベキ勞働者ニ付各別ニ作成スルコト

記載注意

(1)勞働者數欄ニハ記載スベキ期間内ニ於テ賃金ヲ受ケタル勞働者ノ數ヲ記入スルコト

(2)總就業日數欄ニハ賃金臺帳(個人票)ニ記入セル就業日數ノ合計ヲ記入スルコト

(3)總就業時間數欄ニハ賃金臺帳(個人票)ニ記入セル就業時間數ノ合計ヲ記入スルコト

(4)平均時間割賃金欄ニハ令第十四條ノ規定ニ依リ定ムル平均時間割賃金ヲ記入スルコト但シ令第十四條ノ規定ニヨリ地方長官ノ認可ヲ受ケタル場合ハ其ノ認可ヲ受ケタル平均時間割賃金ヲ記入スルコト

(5)支拂賃金計(1)欄ニハ賃金臺帳(個人票)ニ記入セル支拂賃金計(1)ノ合計額ヲ記入スルコト

(6)實物給與換算額(2)欄ニハ賃金臺帳(個人票)ニ記入セル實物給與換算額(2)ノ合計額ヲ記入スルコト

(7)賞與及臨時ノ給與(3)欄ニハ賃金臺帳(個人票)ニ記入セル賞與及臨時ノ給與(3)ノ合計額ヲ記入スルコト

様式第十八號(用紙ノ大サハ日本標準規格ヨリ小トス)

賃　金　台　帳（個人別）

男女	生年月日	雇入年月日	職種	解雇年月日
	年　月　日生	年　月　日雇入	職種	年　月

氏名
番號

期間							
就業日數							
支給賃金	時給、日給又ハ月給及賃金割増金又ハ賃金手當ノ合計						
	賃金(金錢ヲ含ム)						
	支給賃金計(1)						
社會金庫額							
差引支給額							
賃金ノ支拂ニ代ヘテ支給シタル物品ノ數量	白米精麥搗賃						
	食事賃						
	住居賃						
支給賃金計(1)及賃金ニ代ヘテ支給シタル物品ノ數量ノ合計							
賃金及臨時ノ給與(2)							
支給賃金總計(1)(2)ノ合計							

備考

(1)欄ノ區分ハ雇主ニ於テ適宜定ムルヲ得ルコト

(2)欄外ニ個々ノ場合ノ賃金ノ算定ニ必要ナル事項ノ記載ヲ爲スコトヲ得ルコト

(3)前各號ニ掲ケタル事項ニ關スル欄ヲ設クルコトヲ得ルコト

記載注意

(1)期間ノ區分ハ一月又ハ一賃金締切期間トスルコト

(2)前記ノ期間ニ付テノ記載ノ外毎日ノ賃金ニ關スル記入ヲ爲スヲ妨ゲザルコト

(3)就業日數ニハ實際ニ就業セル日數ヲ記入スルコト

(4)時給、日給又ハ月給及賃金割増金又ハ賃金手當ニハ內容ヲ異ニスル賃金毎ニ之ヲ區別シテ記入スルコトヲ得ルコト

(5)手當(參考ヲ含ム)欄ニハ精勤手當、皆勤賞與、勤續手當、作業手當等ノ外、早出、殘業又ハ深夜就業ニ對スル割増賃金ノ種類ニ應ヲ設ケ其ノ名稱及額ヲ記入スルコト

(6)社會金庫額欄ニハ支拂賃金ヨリ控除スベキ金額ノ總額ヲ記入スルコト尙內容ヲ異ニスル控除金ニ付テハ之ヲ區別シテ記入スルコトヲ得ルコト

(7)白米、精麥賃、食事賃及住居賃欄ニハ賃金ニヲ支拂セル白米、精麥、食事及住居ニ付事業主ノ定メル評價額ニ依ル換算額ヲ記入スルコト

様式第十九號(用紙ノ大サハ日本標準規格ヨリ小トス)

賃　金　台　帳（總括用）

事業ノ種類		事業場名	

昭和　年　月分

	男	女	計
勞働者數			
就業日數			
支給賃金計(1)及賃金ニ代ヘテ支給シタル物品ノ數量ノ合計(4)			
賃金及臨時ノ給與(2)			
支給賃金總計(1)(2)ノ合計			
一日平均賃金(3)ヲ就業日數ヲ以テ乘ジタル金額			

賃金給與(白米精麥,食事及住居ノ給與ヲ除ク)

名稱	數量	支給勞働者數

備考

本台帳ハ一月毎(賃金締切日ノ定アル場合ハ其ノ月ノ最後ノ賃金締切日前一月毎)ノ分ニ作成スルコト

記載注意

(1)勞働者數欄ニハ記載スベキ期間內ニ於テ賃金ヲ受ケタル勞働者ノ數ヲ記入スルコト

(2)就業日數欄ニハ賃金臺帳(個人別)ニ記入セル就業日數ノ合計ヲ記入スルコト

(3)支拂賃金計(1)及賃金ニ代ヘテ支給シタル物品ノ數量(4)ノ合計欄ニハ賃金臺帳(個人別)ニ記入セル支拂賃金計(1)及賃金ニ代ヘテ支給シタル物品ノ數量(4)ノ合計ノ合計額ヲ記入スルコト

(4)賃金及臨時ノ給與(2)欄ニハ賃金臺帳(個人別)ニ記入セル賃金及臨時ノ給與(2)ノ合計額ヲ記入スルコト

様式第二十号（第二十条ノ六ノ二ノ届出ニ関スル様式）

（表面）

賃金統制ニ関スル届出書

（裏面）

届出者	住所 官職氏名 年　月　日生

国家総動員法第三十一條　政府ハ国家総動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ従業者ヲシテ従業ヲ為サシメ又ハ業務ニ関シ報告ヲ為サシメ若シクハ従業者ノ業務ニ関シ帳簿書類ノ検査ヲ為シ又ハ業務ニ関シ必要ナル物件ヲ検査シ若シクハ之ヲ収用スルコトヲ得

国家総動員法第四十二條　第三十一條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者又ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ処ス

賃金統制令第三十一條　厚生大臣又ハ地方長官ハ国家総動員法第三十一條ノ規定ニ基キ賃金ノ決定ニ関シ報告ヲ徴シ又ハ帳簿書類ノ検査ヲ為シ、物件ヲ又ハ検査シタル者ハ、六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ処ス

賃金統制令第三十二條　厚生大臣又ハ地方長官ハ国家総動員法第三十一條ノ規定ニ基キ賃金ノ決定ニ関シ報告ヲ徴シ又ハ帳簿書類ノ検査ヲ為シ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ帳簿書類ヲシテ提出セシムル場合ニ於テハ其ノ旨分ヲ示ス証票ヲ発セシムベシ

賃金統制令施行規則第四十條　令第三十二條第二項ノ規定ニ依ル報告ハ様式第二十号ノ二ニ依リ之ヲ為スベシ

賃金統制令第二條第一號ノ事業指定

（昭和十五年七月八日厚生省告示第二百十五號）

賃金統制令第二條第一號ノ事業ヲ左ノ通指定シ昭和十五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年厚生省告示第六十二號ハ本告示施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

一　金屬工業
二　機械器具工業
三　化學工業
四　ガス業及電氣業
五　窯業及土石工業
六　紡織工業
七　製材及木製品工業
八　食料品工業
九　印刷業及製本業
十　其ノ他ノ工業

賃金統制令第三條第二項ノ規定ニ依ル賃金ノ全部又ハ一部ガ金錢以外ノ給與其ノ他ノ利益ナルトキ其ノ評價額

（昭和十五年十月十九日厚生省告示第三百二十三號）

賃金統制令第三條第二項ノ規定ニ依リ賃金ノ全部又ハ一部ガ金錢以外ノ給與其ノ他ノ利益ナルトキ其ノ評價額左ノ通定メ昭和十五年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス

一　自來　假住條統制令第七條ノ規定ニ依リ行政官廳ノ指定スル小賣價格ノ八割

二　精米　假住條統制令第七條ノ規定ニ依リ行政官廳ノ指定スル小賣價格ノ八割

三　食事ノ給與

一日（三食）　（男）二十五錢　（女）二十錢

一食　（男）十錢　（女）八錢

四　住宅ノ給與

一月（一畳ニ付）三十錢

一日（一畳ニ付）一錢

賃金統制令施行規則第九條第二號ノ規定ニ依ル最低賃金ニ含マザル手當指定

（昭和十六年七月二十六日厚生省告示第三百九號）

賃金統制令施行規則第九條第二號ノ規定ニ依リ最低賃金ニ含マザル手當ヲ左ノ通指定シ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

一、家族手當　實收月額平均百六十圓未滿ノ勞務者ニ對シ其ノ配偶者（屆出ヲ爲サザルモ事實上紙組關係ト同樣ノ事情ニ在ル者ヲ含ム）又ハ本人ト同一戸籍内ニ在ル滿六十歳以上ノ父母、滿十八歳未滿ノ子若ハ不具廢疾者ニシテ主トシテ本人ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スルモノ一人ニ付月額二圓ノ割合ニ依リ計算シタル金額（其ノ金額ガ十圓ヲ超ユルトキハ十圓、其ノ金額ト實收平均月額トノ合計額ガ百六十圓ヲ超ユルトキハ百六十圓ニ達スル迄ノ金額）以内ニ於テ支給スル手當

賃金統制令施行規則第十一條第二項ノ規定ニ依ル同條第一項第一號ノ同種ノ勞働ノ範圍

（昭和十六年七月二十六日厚生省告示第三百十號）

賃金統制令施行規則第十一條第二項ノ規定ニ依リ同條第一項第一號ノ同種ノ勞働ノ範圍ヲ左ノ各號ノ通定メ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

一、木工關係作業
1 大工作業―家屋大工、宮大工、舟大工、車大工其ノ他ノ大工ノ作業
2 木工作業―艦船、航空機、車輛類其ノ他ノ機械器具ノ木部ノ製作作業
3 製材作業―製材又ハ製板ノ作業
4 木製品製造作業―建具、家具、木型其ノ他各種木製品製造ノ作業

二、爐關係作業
1 乾式製錬作業―金屬又ハ非金屬ノ乾式製錬ノ作業
2 爐作業―熔鑛爐、加熱爐、焼鈍爐、焙焼爐、焼成爐及發生爐、骸炭爐等ノ操作、築造、修理等ニ關スル作業

三、製錬作業―金屬又ハ非金屬ノ製錬ノ作業

四、金屬材料關係作業
1 鑄造作業―金屬鑄物ノ製造ノ作業
2 金屬材料製造加工作業―金屬材料ノ壓延、伸張、鍛造、鍛錬、プレス及熔接、板金、製罐、鋲打、現圖、銅工、撓鐵、鐵木工、鐵工竝ニ現圖ノ作業
3 熱處理作業―金屬ノ焼入、焼鈍、焼戻、滲炭、窒化等ノ熱處理ノ作業
4 金屬精錬作業―鑄物用金屬、合金用金屬其ノ他ノ金屬ノ精錬ノ作業
5 金屬加熱作業―金屬加熱爐ノ操作ニ關スル作業
6 金屬取附作業―金屬材料ノ取附ノ作業

五、取附据附作業
1 取附作業―金屬材料ノ取附、保温材等ノ取附及艤裝ノ艤裝ノ作業
2 据附作業―各種機械器具ノ据附ノ作業

六、金屬工作作業
1 金屬工作機械作業―旋盤、タレット旋盤、中グリ盤、研削盤、ボール盤、平削盤、形削盤、フライス盤、歯切盤其ノ他ノ工作機械ニ依ル金屬ノ加工ノ作業
2 金屬罫書作業―金屬加工ノ爲ノ罫書及心出ノ作業
3 金屬仕上作業―工具其ノ他ノ金屬品ノ仕上ノ作業

七、金屬機械關係作業
1 金屬機械組立作業―原動機、工作機械、採鑛選鑛精錬機械、化學工業用機械、紡織機械、起重機、昇降機、機關車、ポンプ、送風機、壓縮機等製造加工運搬用其ノ他ノ金屬製機械ノ仕上、組立、調整及檢査ノ作業
2 金屬機械保繕作業―金屬機械ノ保繕及修繕ノ作業
3 金屬機械運轉作業―金屬機械ノ運轉ノ作業

八、電氣機械器具關係作業
1 電氣機械器具組立作業―電動機、發電機、變壓器、配電盤、開閉器、抵抗器、整流器、電熱器等電氣機械器具ノ仕上、組立、調整及檢査ノ作業
2 電氣機械器具保繕作業―電氣機械器具ノ保繕及修繕ノ作業
3 電氣機械器具運轉作業―電氣機械器具ノ運轉ノ作業

九、通信用電氣機械器具關係作業
1 通信用電氣機械器具組立作業―電信機、電話機、交換機、電寫裝置、電視裝置、ラヂオ受信機、ラヂオ發信機等電氣通信用機械器具ノ仕上、組立、調整及檢査ノ作業
2 通信用電氣機械器具保繕作業―通信用電氣機械器具ノ保繕及修繕ノ作業
3 通信用電氣機械器具操作作業―通信用電氣機械器具ノ操作ニ關スル作業

十、精密機械器具關係作業
1 精密機械器具組立作業―計測器、學術用機械器具、醫療用機械器具、光學機械器具、照明用機械器具、蓄音機等精密機械器具ノ仕上、組立、調整及檢査ノ作業
2 精密機械器具保繕作業―精密機械器具ノ保繕及修繕ノ作業

十一、航空機等關係作業

1 航空機等組立作業―航空機、自動車、鐵道車輛其ノ他ノ車輛類ノ仕上、組立、艤裝、調整及檢査ノ作業
2 航空機等保繕作業―航空機、自動車、鐵道車輛其ノ他ノ車輛類ノ保繕及修繕ノ作業
3 航空機等運轉作業―航空機、自動車、鐵道車輛其ノ他ノ車輛類ノ運轉ノ作業

十二、金屬手仕上作業―主トシテ鑢、タガネ等ノ手道具ニ依ル金屬品ノ仕上ノ作業

十三、試驗分析作業
1 試驗作業―物理的又ハ化學的ノ試驗及實驗ニ關スル作業
2 化學分析作業―化學分析ニ關スル作業

十四、電線關係作業
1 電線被覆作業―電線又ハ電纜ノ被覆、鎧裝及被鉛ノ作業
2 金屬製線作業―金屬ノ製線、合線及撚線ノ製造ノ作業
3 金屬巻線作業―電線コイルノ巻線ノ作業
4 電氣架線作業―電氣裝置又ハ電氣器具ノ配線裝置ノ作業

十五、運轉作業―原動機、ポンプ、壓縮機、巻上機等ノ機械類、起重機類、蒸汽機關車、內燃機關車、電車、電氣機關車又ハ自動車ノ運轉ノ作業

十六、電路作業―電線架設、電路營繕、保線、屋內配線及送配電ノ作業竝ニ電氣機械器具ノ設備及保繕ノ作業

十七、化學藥品關係作業
1 化學藥品製造作業―醫療用藥品、工業藥品、染料及中間物、塗料及顏料竝ニ發火物、人造石油、肥料、セルロイド、石鹼、人造レヂン、タンニン、殺蟲劑及防腐劑製造ノ化學工程作業
2 鑛物油製造作業―コールタールノ分溜及コールタール分溜物ノ精製作業竝ニ石油ノ蒸溜、分溜、精製及洗滌ノ作業
3 化學分析作業

十八、動植物油關係作業
1 動植物油脂製造作業―動植物油脂類ノ抽出、精製、分解、鹼化及硬化ノ作業
2 動植物質肥料製造作業
3 化學分析作業

十九、化學纖維關係作業
1 化學纖維製造作業―化學纖維、セロファン紙又ハパルプノ製造ノ化學工程作業
2 化學分析作業

二十、ガス壓縮關係作業―壓縮ガス又ハ氷ノ製造、アンモニア又ハメタノールノ合成等ノガス壓縮關係工程作業

二十一、窯業作業―セメント、石灰、陶磁器、煉瓦又ハ耐火物ノ焼成ノ作業、ガラス又ハロックウールノ熔融ノ作業及ガラスノ燒鈍等ノ熱處理ノ作業

二十二、紡織關係作業―製綿、製絲、製絨、紡績、撚絲、織物ノ製造、編物組物ノ製造其ノ他纖維品及紡織品ノ製造、染色、捺染、漂白、精練、整理仕上及檢査ノ作業

二十三、裁縫作業―布、皮革等ノ裁縫及裁斷ノ作業

二十四、穀類關係作業
1 精穀作業―米、麥等穀類ノ搗精、精選、選別等ノ作業
2 製粉作業―小麥粉其ノ他ノ穀粉ノ製造ニ於ケル原料ノ選別及粉碎ノ作業
3 澱粉製造作業―馬鈴薯澱粉其ノ他ノ澱粉ノ製造ノ作業

二十五、飲料等關係作業
1 醸造作業―和酒、麥酒、其ノ他ノ酒類、醬油、味噌又ハ酢ノ製造ノ作業
2 清涼飲料製造作業―サイダー、ラムネ、シロップ等清涼飲料ノ製造ノ作業

二十六、菓子類製造作業―菓子、パン又ハ飴類ノ製造ノ作業

二十七、罐詰瓶詰作業―罐詰又ハ瓶詰食料品ノ製造ニ於ケル容器ノ洗滌、原料詰、加熱殺菌、密封等ノ作業

二十八、印刷製本作業―活字ノ鑄造、文選、植字、解版、印刷原版ノ製造、印刷及製本ノ作業

二十九、紙關係作業
1 製紙作業―紙料ノ製造及原紙ノ抄造ノ作業
2 紙類關係製造作業―紙箱其ノ他ノ紙製品ノ製造ニ關スル作業

三十、竹類等關係製造作業―竹、杞柳、籐、棕梠、藺、麥稈、經木、木皮類等ノ製品ノ製造ニ關スル作業

三十一、皮革類關係製造作業―皮革及皮革製品製造ノ作業

三十二、履物類關係製造作業―下駄、草履、靴等各種履物ノ製造ニ關スル作業

三十三、刷毛等關係製造作業―刷毛、刷子、毛筆等ノ製造ニ關スル作業

三十四、帽子類關係製造作業―フェルト製帽子其ノ他ノ帽子類ノ製造ニ關スル作業

三十五、玩具、文房具類等關係製造作業―玩具類

及雜年業、鉛業、クレヨン其ノ他ノ文房具類ノ製造ニ關スル作業

三十六、骨製品製造作業

1 骨粉製造作業—牛、角、蹄、牙、貝類等ノ製品ノ製造ニ關スル作業

2 寶石類作業—寶石類ノ加工及加工ノ作業

三十七、鼈甲製品製造作業—鼈甲類ノ製造ニ關スル作業

三十八、雜製品製造作業

1 標本製造作業—標本製造ノ作業

2 標札製造作業—金屬、石製其ノ他ノ標札ノ製造ノ作業

三十九、雜役作業

1 包裝作業—物品ノ包裝及荷造ノ作業

2 運搬作業—物品ノ運搬ノ作業但シ運搬機ノ運轉ノ作業ヲ除ク

3 其ノ他ノ雜役作業—前掲ノ作業及土工、其ノ他ノ雜役作業

賃金統制令施行規則第十一條第三項ノ規定ニ依ル最高初給賃金ノ適用ニ關スル經驗年數ノ算定法

（昭和十六年七月二十六日厚生省告示第三百十一號）

賃金統制令施行規則第十一條第三項ノ規定ニ依リ最高初給賃金ノ適用ニ關スル經驗年數ノ算定方法ヲ左ノ通定メ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條　從事スル勞働又ハ之ト同種ノ勞働ニ付テハ其ノ前歷年數ヲ以テ其ノ者ノ經驗年數トス

前項ノ同種ノ勞働ノ範圍ハ賃金統制令施行規則第十一條第一項ノ同種ノ勞働ノ範圍ニ依ル

第二條　前條ニ規定スル者以外ノ者ニシテ同一ノ業種ニ於ケル勞働ニ付前歷ヲ有スルモノニ付テハ其ノ前歷年數ヲ以テ其ノ者ノ經驗年數トス

前項ノ同一ノ業種ノ範圍ハ賃金統制令施行規則第十一條第三項ノ規定ニ依リ定ム

第三條　第一條ニ規定スル者以外ノ者ニシテ鑛山ニ於テ勞働ニ從事シタル前歷ヲ有スルモノニ付テハ其ノ者ガ鑛山ニ於ケル作業ニ從事スルトキハ其ノ前歷年數ニ〇・七ヲ乘ジテ得タル年數ヲ以テ其ノ者ノ經驗年數トス

第四條　前三條ニ規定スル者以外ノ者ニシテ工場鑛山ニ於テ勞働ニ從事シタル前歷ヲ有スルモノニ付テハ其ノ前歷年數ニ〇・三ヲ乘ジテ得タル年數ヲ以テ其ノ者ノ經驗年數トス

第五條　工業又ハ鑛業ニ關スル國立若ハ公立ノ養成施設ニシテ三月以上ノ修業期間ヲ有スルモノ又ハ私立ノ養成施設ニシテ地方長官ニ於テ之ト同等以上ノモノト認定シタルモノノ課程ヲ修了シタル者ニ付テハ從事スル作業ガ修了シタル課程ト異ナルトキハ其ノ學習ノ年數ニ〇・六ヲ乘ジテ得タル年數ヲ以テ其ノ者ノ經驗年數トス

第六條　工業又ハ鑛業ニ關スル學校ニ於テ二年以上學習シタル者ニ付テハ其ノ學習ノ年數ニ〇・六ヲ乘ジテ得タル年數ヲ以テ其ノ者ノ經驗年數トス

第七條　國民學校初等科修了程度又ハ國民學校高等科修了程度ヲ入學資格トスル工業又ハ鑛業ニ關スル學校以外ノ學校ノ課程ヲ修了シタル者ニ付テハ其ノ學習ノ年數ニ〇・四ヲ乘ジテ得タル年數ヲ以テ其ノ者ノ經驗年數トス

賃金統制令施行規則第十一條第三項ノ規定ニ依ル最高初給賃金ノ適用ニ關スル業種ノ區分

（昭和十六年七月二十六日厚生省告示第三百十二號）

賃金統制令施行規則第十一條第三項ノ規定ニ依リ最高初給賃金ノ適用ニ關スル業種ノ區分ヲ左ノ通定メ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

業種區分表

（大分類）
（中分類）
（小分類）

1 金屬工業
　1 金屬精錬業及材料品製造業
1 鐵精錬業及材料品製造業
2 鋼精錬業及材料品製造業
3 亞鉛精錬業及材料品製造業
4 鉛精錬業及材料品製造業
5 アルミニウム精錬業及材料品製造業
6 マグネシウム精錬業及材料品製造業
7 錫精錬業及材料品製造業
8 金屬タングステン精錬業及材料品製造業
9 アンチモン精錬業及材料品製造業
10 其ノ他ノ金屬精錬業及材料品製造業
11 貴金材料品製造業
12 其ノ他ノ鑄合金材料品製造業
13 其ノ他ノ合金材料品製造業
　2 鑄物業
14 鐵鑄物業
15 可鍛鑄鐵鑄物業
16 鋼鑄物業
17 青銅（砲金ヲ含ム）鑄物業
18 アルミニウム鑄物業
19 其ノ他ノ鑄物業
　3 メッキ業
20 亞鉛メッキ業
21 錫メッキ業
22 ニッケルメッキ業
23 其ノ他ノメッキ業
　4 其ノ他ノ金屬工業
24 鍛冶業
25 メネ業
26 鋼索製造業
27 金網製造業
28 ボルト、ナット、鋲金又ハ螺子製造業
29 釘製造業
30 針製造業
31 金屬粉末製造業
32 金屬線引及伸延業
33 金屬板、條、管、棒及形材製造業
34 金屬板、條、鉄塔等ノ組立業
35 金屬壓搾製品業
36 金屬ベン先製造業
37 刃物、食卓用ナイフ、フォーク及スプーン製造業
38 洋傘骨製造業
39 金屬製玩具製造業
40 金屬製小間物類製造業
41 時計及時計部分品製造業
42 火造（鍛造）業
43 金屬切斷業
44 鍍金業
45 其ノ他ノ金屬品製造加工業
　2 機械器具工業
　5 原動機製造業
46 蒸氣機關製造業
47 蒸氣機關及蒸氣タービン製造業
48 內燃機關製造業
49 水車製造業
50 其ノ他ノ原動機製造業
　6 電氣機械器具製造業
51 原動機部分品及附屬品製造業
52 電氣機械器具製造業
53 航空及有線通信機械器具製造業
　7 電線及電纜製造業
54 電線及電纜製造業
　8 電池製造業
55 電池製造業
　9 工作機械器具製造業
56 切削研磨用金屬工作機械製造業
57 其ノ他ノ金屬工作機械製造業
58 金屬工作機械部分品及附屬品製造業
59 鍛材及木工機械製造業
60 工具製造業
10 揉綿、紡綿及特殊機械器具製造業
61 採鑛、選鑛及特殊機械器具製造業
11 化學工業用機械器具製造業

62 化學工業用機械器具製造業
63 窯業用機械器具製造業
64 製紙用機械器具製造業
12 紡織機械器具製造業
65 紡績機械器具製造業
66 製絲機械器具製造業
13 其ノ他ノ製造加工用機械器具製造業
67 ガス發生裝置製造業
68 食料品製造加工用機械器具製造業
69 印刷機械器具製造業
70 製本機械器具製造業
71 ミシン製造業
72 其ノ他ノ製造加工用機械器具製造業
14 鐵道車輛製造業
73 鐵道車輛製造業
15 自動車製造業
74 大型自動車製造業
75 小型自動車製造業
76 自動二輪車及自動三輪車製造業
77 自動車部分品及附屬品製造業
16 自轉車及其ノ他ノ車輛製造業
78 自轉車製造業
79 其ノ他ノ車輛製造業
17 船舶製造業
80 鋼船製造業
81 其ノ他ノ船舶製造業
18 航空機及航空機部分品製造業
82 航空機製造業
83 航空機部分品及附屬品製造業
19 運搬機械製造業
84 運搬機械製造業

20 ポンプ、水壓機、壓縮機及送風機製造業
85 ポンプ及水壓機製造業
86 壓縮機及送風機製造業
21 農業及土木建築用機械器具製造業
87 農業用機械器具製造業
88 土木建築用機械器具製造業
22 計測器製造業
89 度量衡器製造業
90 ガスメートル及水量メートル製造業
91 寒暖計製造業
92 休温計製造業
93 電氣計器製造業
94 計算器製造業
95 其ノ他ノ計器製造業
96 電氣時計製造業
97 其ノ他ノ時計製造業
98 測量機械器具製造業
99 試驗及檢査機械器具製造業
23 醫療及理化學機械器具製造業
100 醫療用機械器具製造業
101 理化學用機械器具製造業
24 光學機械器具製造業
102 寫眞機製造業
103 其ノ他ノ光學機械器具製造業
25 照明用機械器具製造業
104 電球製造業
105 其ノ他ノ照明用機械器具製造業
26 樂器類及蓄音機製造業

106 樂器類製造業
107 蓄音機製造業
27 銃砲、彈丸、兵器類製造業
108 銃砲、彈丸、兵器類製造業
28 其ノ他ノ機械器具工業
109 事務用機械器具製造業
110 金庫製造業
111 ガス器具製造業
112 弁及コツクノ製造業
113 軸受製造業
114 齒車製造業
115 ベルト車、車輪及車軸製造業
116 前掲以外ノ部分品及附屬品製造業
117 其ノ他ノ機械器具製造業
29 機械器具裝置業
118 電氣機械器具裝置業
119 其ノ他ノ機械器具裝置業
3 化學工業
30 製藥業
120 製藥業
31 工業藥品製造業
121 ソーダ製造業
122 硫酸製造業

123 燐製造業
124 壓縮ガス製造業
125 カーバイド製造業
126 其ノ他ノ工業藥品製造業
32 製塩業
127 製塩業
33 染料及中間物製造業
128 天然染料製造業
129 硫化染料製造業
130 其ノ他ノ合成染料及中間物製造業
34 塗料及顔料製造業
131 漆液製造業
132 塗料製造業
133 顔料製造業
35 發火物製造業
134 マッチ製造業
135 其ノ他ノ發火物製造業
36 鑛物油製造業
136 コールタール及コールタール分溜物製造業
137 石油精製業
138 人造石油製造業
37 植物油脂類製造業
139 植物油脂製造業

140 樟腦製造業
141 薄荷製造業
142 其ノ他ノ植物性揮發油製造業
38 動物油脂製造業
143 魚油製造業
144 獸脂類製造業
39 蠟及加工油製造業
145 木蠟製造業
146 蠟燭製造業
147 加工油製造業
40 ゴム製品類製造業
148 ゴム製品製造業
149 再生ゴム素地製造業
41 パルプ製造業
150 パルプ製造業
42 製紙業
151 製紙業
43 セロファン紙製造業
152 セロファン紙製造業
44 セルロイド製造業
153 セルロイド素地製造業
154 セルロイド製品製造業
155 再生セルロイド素地製造業
45 化學纖維製造業

156 人造絹絲製造業
157 ステープルファイバー製造業
158 其ノ他ノ化學纖維製造業
46 肥料製造業
159 植物質肥料製造業
160 動物質肥料製造業
161 鑛物質及配合肥料製造業
47 皮革製造業
162 製革業
163 精製毛皮製造業
48 石鹸及化粧品製造業
164 石鹸及化粧品製造業
49 其ノ他ノ化學工業
165 人造レジン素地及製品製造業
166 蓄音機レコード製造業
167 バルカナイズドファイバー製造業
168 リノリウム製造業
169 防水布、擬革布類製造業
170 建築用防水紙及防水布製造業
171 フイルム、乾板類製造業
172 人造香料製造業
173 タンニン製造業

174 肥料製造業
175 殺虫剤及防腐剤製造業
176 研磨材料及研磨用品製造業
177 爆薬製品製造業
178 コークス製造業
179 其ノ他ノ化學製品製造業
4 ガス業電氣業及水道業
50 ガス業
180 ガス業
51 電氣業
181 電氣業
52 水道業
182 水道業
5 窯業及土石工業
53 陶磁器製造及繪付業
183 陶磁器製造業
184 陶磁器繪付業
54 ガラス及ガラス製品製造業
185 ガラス及ガラス製品製造業
55 セメント製造業
186 セメント製造業
56 其ノ他ノ窯業
187 煉瓦及耐火物製造業
188 陶管及瓦製造業

189 石灰製造業
190 琺瑯鐵器製造業
191 其ノ他ノ窯業製品製造業
57 セメント及石綿製品製造業
192 セメント製品製造業
193 石綿製品製造業
58 石工品製造業
194 石工品製造業
59 其ノ他ノ土石工業
195 其ノ他ノ土石工業
6 紡織工業
60 製絲業
196 生絲製造業
197 玉絲製造業
198 野蠶絲製造業
199 生皮苧、熨斗絲類製造業
61 紡績業
200 綿絲紡績業
201 絹絲紡績業
202 麻絲紡績業
203 毛絲紡績業
204 ステープルファイバー絲紡績業
205 其ノ他ノ紡績業
62 撚絲業

206 綿撚絲業
207 絹撚絲業
208 其ノ他ノ撚絲及加工撚絲業
63 織物業
209 綿織物製造業
210 混紡綿織物及交織綿織物製造業
211 絹織物製造業
212 人造絹絲トノ交織絹織物製造業
213 綿絲トノ交織絹織物製造業
214 其ノ他ノ絹織物製造業
215 麻織物製造業
216 純毛織物製造業
217 混紡毛織物及交織毛織物製造業
218 純人造絹織物製造業
219 交織人造絹織物製造業
220 ステープルファイバー織物製造業
221 其ノ他ノ織物製造業
64 編物業
222 メリヤス素地編立業
223 メリヤス製品製造業
224 其ノ他ノ編物、ドロンウオーク、レース類製造業

225 絲組物製造業
65 綿製造業
226 製綿業
227 眞綿製造業
66 染色及整理業
228 機械捺染業
229 其ノ他ノ捺染業
230 無地染及整理業
231 絲染色、精練及漂白業
232 精練、漂白及整理業
233 起毛業
234 洗張洗濯業
67 其ノ他ノ紡織工業
235 フエルト製造業
236 製網業
237 製綱業
238 反毛業
239 其ノ他ノ紡織品製造加工業
7 製材及木製品工業
68 製材業及合板業
240 製材業
241 防腐、耐火等ノ木材處理業

242 ベニア合板製造業
69 木製品工業
243 木製建具及家具製造業
244 包装用木箱、樽及桶製造業
245 木管製造業
246 コルク製品製造業
247 挽物、曲物類製造業
248 其ノ他ノ木製品製造業
8 食料品工業
70 精穀業
249 精穀業
71 製粉及澱粉製造業
250 製粉業
251 澱粉製造業
72 製糖業
252 製糖業
73 醸造業
253 和酒製造業
254 麥酒製造業
255 其ノ他ノ酒類製造業
256 醤油、味噌及食酢製造業
74 清涼飲料製造業
257 清涼飲料製造業
75 菓子、パン、飴類製造業

258 菓子、パン、飴類製造業
76 罐詰及壜詰製造業
259 罐詰製造業
260 壜詰製造業
77 畜産食料品製造業
261 畜産食料品製造業
78 水産食料品製造業
262 水産食料品製造業
79 製茶業
263 製茶業
80 煙草製造業
264 煙草製造業
81 製氷及冷凍食料品製造業
265 製氷業
266 冷凍食料品製造業
82 其ノ他ノ食料品工業
267 製麺業
268 其ノ他ノ食料品製造業
9 印刷業及製本業
83 印刷業
269 印刷業
84 製本業
270 製本業
10 其ノ他ノ工業
85 紙製品製造業
271 紙製品製造業

86 竹、花筵、藺製品製造業
272 竹製品製造業
273 花筵藺製品製造業
274 藺製品製造業
275 其ノ他ノ蓆及蓆製品製造業
87 畳及縁、花茣蓙、畳床製造業
276 畳製造業
277 真菰、花茣蓙及野草莚製造業
278 真菰製品及茣蓙製品製造業
279 麻袋製造業
280 麦稈及藁工品製造業
88 繩、綱、モ及紐製調整及梱製造業
281 繩、綱、モ及紐製調整及梱製造業
89 機械捺染業
282 機械捺染業
90 皮革製品製造業
283 革靴製造業
284 其ノ他ノ皮革製品製造業
91 仕卸(金属製ノモノヲ除ク)製造業
285 仕卸(金属製ノモノヲ除ク)製造業
92 羽毛及羽子製造業
286 羽毛及羽子製造業
93 洗張業
287 洗張業
94 製氷業
288 フエルト製帽子製造業
289 其ノ他ノ帽子製造業
95 玩具(金属製ノモノヲ除ク)製造業
290 玩具(金属製ノモノヲ除ク)製造業
96 映画製作業
291 映画製作業
97 写真業
292 写真業
98 諸装業
293 諸装業
99 其ノ他ノ雑工業
294 骨、角、鼈甲、牙及貝類製品製造業
295 骨角材料品製造業
296 毛筆製造業
297 万年筆製造業
298 船塗及クレヨン製造業
299 和傘製造業
300 洋傘製造業
301 草鞋(革製及ゴム製ノモノヲ除ク)製造業
302 羽毛及獣毛採白整理業
303 人造真珠製造業
304 宝石類加工業
305 摩法機製造業
306 其ノ他ノ製造加工業

賃金統制令施行規則第十三條第三號ノ規定ニ依ル賃金統制令第十條第二項ノ賃金ニ含マザル手當指定

(昭和十六年七月二十六日
厚生省告示第三百十三號)

賃金統制令施行規則第十三條第三號ノ規定ニ依リ賃金統制令第十條第二項ノ賃金ニ含マザル手當ヲ左ノ通指定シ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二號又ハ第三號ノ手當ハ地方長官又ハ鑛山監督局長ノ承認ヲ受ケタルモノニ限ル

一、家族手當　實收月額平均百六十圓未滿ノ勞務者ニ對シ其ノ配偶者竝ニ其ノ配偶者竝ニ其ノ父母、滿十八歲未滿ノ子、若ハ不具廢疾者ニシテ主トシテ本人ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スルモノ一人ニ付月額二圓ノ割合ニ依リ計算シタル金額(其ノ金額ガ十圓ヲ超ユルトキハ十圓、其ノ金額ト實收平均月額トノ合計額ガ百六十圓ヲ超ユルトキハ百六十圓ニ達スル迄ノ金額)以內ニ於テ支給スル手當

二、手當手當　特定ノ作業ニ對シ手當ヲ限リ支給スル手當

三、臨時作業手當　臨時ノ作業ニ對シ支給スル手當

賃金統制令施行規則第二十一條第一號ノ規定ニ依ル賃金統制令第十四條第一項ノ賃金ニ含マザル手當

(昭和十六年九月十一日
厚生省告示第四百五號)

賃金統制令施行規則第二十一條第一號ノ規定ニ依リ賃金統制令第十四條第一項ノ賃金ニ含マザル手當ヲ左ノ通指定シ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第三號ノ手當ハ鑛山監督局長ノ承認ヲ受ケタルモノニ限ル

一、鑛山中又ハ入坑中ノ勞務者ニ對シ支給スル手當

二、鑛夫徴用令ニ依リ徴用セラレタル勞務者ニ對シ支給スル手當

三、鑛山ニ於ケル稼働率及能率增進ノ爲ニスル手當

賃金統制令施行規則第三十條第一項ノ規定ニ依ル白米、精麥及食事ノ價格

(昭和十五年十月二十一日
厚生省告示第三百二十四號)

賃金統制令施行規則第三十條第一項ノ規定ニ依リ白米、精麥及食事ノ價格左ノ通定メ昭和十五年十月二十日ヨリ之ヲ適用ス

一　白米　價格統制令第七條ノ規定ニ依リ行政官廳ノ指定スル小賣價格ノ八割

二　精麥　價格統制令第七條ノ規定ニ依リ行政官廳ノ指定スル小賣價格ノ八割

三　食事

一日(三食)　(男　二十五錢
　　(女　二十錢

一食　(男　十錢
　　(女　八錢

賃金統制令施行規則

(昭和十六年六月三十日
朝鮮總督府令第百八十二號)

第一條　賃金統制令(以下令ト稱ス)第二條ノ規定ニ依リ同條各號ニ揭グル事業以外ノ事業ニ於ケル左ノ勞働ヲ指定ス

一　場壓又ハ物品ノ監守其ノ他之ニ類スル勞働

二　場壓又ハ道路ノ淸掃其ノ他之ニ類スル勞働

三　小使、給仕其ノ他之ニ類スル勞働

四　寫字、印字、電話交換其ノ他之ニ類スル勞働

五　機械又ハ器具ノ操作、檢査、修繕其ノ他之ニ類スル勞働

六　物ノ運搬又ハ配達ノ勞働

第二條　左ニ揭グル者ハ令第二條但書ノ規定ニ依リ勞務者タラザルモノトス

一　料理店業又ハ飮食店業ニ從事スル者

二　主トシテ家事ニ從事スル者

三　屋傭主ニ於テ道知事ノ承認ヲ受ケ令ノ適用ヲ除外シタル者

前項第三號ノ承認ノ申請書ハ第一號樣式ニ依ルベシ

第三條　令第四條ノ雇傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主トス

第四條　前條ノ雇傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時雇傭スル勞務者ガ十人ニ達シタル日ヨリ三十日以内ニ賃金規則ヲ作成シ掲示其ノ他適宜ノ方法ニ依リ之ヲ勞務者ニ周知セシムベシ但シ賃金規則中勞務者ノ一部ニ關係アル事項ハ關係勞務者ニ對シ之ヲ周知セシムルヲ以テ足ル

前項ノ雇傭主賃金規則ヲ變更シタルトキハ前項ニ準ジ直ニ之ヲ周知セシムベシ

第五條　賃金規則ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　所定就業時間數

二　賃金ノ締切ノ期間及支拂ノ期日

三　定額給ノ定アルトキハ其ノ初給額及最低額

四　請負賃金制ニ於ケル保證給又ハ單位時間給ノ定アルトキハ其ノ保證給又ハ單位時間給ノ初給額及最低額

五　單價請負、時間請負又ハ歩合請負ノ制アルトキハ其ノ請負單價、請負時間又ハ請負歩合及賃金算定方法

六　手當ヲ支給スルトキハ其ノ手當ノ名稱及額又ハ率竝ニ給與條件

七　白米、精麥、精粟、食事又ハ住居ノ給與ヲ爲ストキハ其ノ數量、評價額及給與條件

八　遲刻又ハ早退ノ場合ニ於ケル賃金ノ計算方法

九　賃金ノ一部ヲ貯蓄又ハ公債購入ノ爲控除スルトキハ其ノ定ノ要旨

前項各號ニ掲グル事項ノ外賃金ニ關シ必要ナル事項ハ之ヲ賃金規則ニ記載スルコトヲ得

第六條　前條第一項第三號又ハ第四號ノ事項ニ付男女別、職種別、年齡別、勤續年數別其ノ他ノ區分ニ依リ異ル定アルトキハ各別ニ之ヲ記載スベシ

製品又ハ作業ノ種類多數ナルトキハ請負單價、請負時間又ハ請負歩合ニ關スル前條第一項第五號ノ規定ニ依ル記載ハ主要ナル製品又ハ作業ニ付之ヲ爲スヲ以テ足ル

同種ノ製品ノ製造又ハ同種ノ作業ガ三月以上繼續セザルトキハ其ノ製品又ハ作業ニ付定ムル請負單價、請負時間又ハ請負歩合ニ關スル前條第一項第五號ノ規定ニ依ル記載ハ之ヲ省略スルコトヲ得

前二項ノ場合ノ外雇傭主請負單價、請負時間又ハ請負歩合ニ關スル前條第一項第五號ノ規定ニ依ル記載ノ全部又ハ一部ヲ省略セントスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ノ申請書ハ第二號樣式ニ依ルベシ

第七條　第三條ノ雇傭主賃金規則ニ依ル賃金ノ支拂ニ關シ令第十四條第一項ノ規定ニ依リ若ハ第十四條第一項第三號、第十五條第一項、第二十六條第一項、第二十八條第一項、第二十九條第一項、第三十條第一項、第三十二條第一項ノ規定ニ依リ認可若ハ許可ヲ要スル事項アル場合ニ於テ其ノ認可若ハ許可ヲ受ケザルトキ又ハ賃金ノ協定存スル場合ニ於テ賃金規則ノ記載ガ其ノ協定ノ內容タル事項ト異ルトキハ令第五條本文ノ規定ニ拘ラズ各其ノ事項ニ關シテハ賃金規則ニ依リ賃金ノ支拂ヲ爲スベキ限ニ在ラズ

第八條　令第六條ノ規定ニ依ル賃金規則ノ報告ニハ事業ノ種類、從業場所ノ名稱及所在地竝ニ常時雇傭スル男女別勞務者數ヲ具スベシ

第九條　令第九條第二項ノ賃金ハ左ニ掲グルモノヲ含マザルモノトス

一　精勤手當

二　早出、殘業又ハ深夜若ハ休日ノ就業ニ對スル歩增

三　實物給與但シ白米、精麥、精粟、食事及住居ノ給與ヲ除ク

四　賞與

五　臨時ノ給與

第十條　令第十條第二項ノ期間ハ未經驗勞務者ニ付テハ三月トシ其ノ他ノ勞務者ニ付テハ一年トス

第十一條　前條ノ未經驗勞務者トハ工場又ハ鑛山ニ於ケル勞務者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當セザルモノヲ謂フ

一　從事シツツアル勞働又ハ之ト同種ノ勞働ニ三月以上從事シタル經驗アル者

二　工場又ハ鑛山ニ於テ六月以上勞働ニ從事シタル經驗アル者

三　工業又ハ鑛業ニ關スル官立若ハ公立ノ養成施設ニシテ三月以上ノ修養期間ヲ有スルモノ又ハ私立ノ養成施設ニシテ道知事ニ於テ之ト同等以上ノモノト認定シタルモノノ課程ヲ修了シタル者

四　工業又ハ鑛業ニ關スル學校ニ於テ二年以上學習シタル者

五　前號ニ掲グルモノノ外國民學校初等科修了程度ヲ入學資格トシ修業年限ヲ四年以上トスル學校若ハ國民學校高等科修了程度ヲ入學資格トシ修業年限ヲ二年以上トスル學校又ハ之ト同等以上ノ學校課程ヲ修了シタル者

第十二條　最高賃金ハ日日雇入ルル勞務者又ハ朝鮮總督ノ指定スル勞務者ニ付定ムルモノトス

第十三條　令第十條第二項及令第十一條第二項ノ賃金ハ左ニ掲グルモノヲ含マザルモノトス

一　一月ニ付當該勞務者ノ受クル當該月分ノ賃金(賞與、臨時ノ給與及精勤手當ヲ含マズ)ノ平均日額ノ二日分又ハ三圓ヲ超エザル精勤手當

二　就業十時間ヲ超ユル早出若ハ殘業又ハ深夜若ハ休日ノ就業ニ對スル歩增

三　實物給與但シ白米、精麥、精粟、食事及住居ノ給與ヲ除ク

四　賞與

五　臨時ノ給與

第十四條　令第九條第二項ノ規定ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ之ヲ適用セズ

一　勞務者ガ精神又ハ身體ノ障礙ニ因リ著シク作業能力劣レルモノナルトキ

二　勞務者ノ都合ニ依リ所定就業時間ニ滿タザル就業ヲ爲ストキ

三　天災事變其ノ他特別ノ事由ニ因リ雇傭主ガ道知事ノ許可ヲ受ケ最低賃金ノ額ヲ下ル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭スルトキ

雇傭主前項第一號ノ規定ニ依リ最低賃金ノ額ヲ下ル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭シタルトキハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ其ノ雇入ノ日ノ翌月十五日迄ニ第三號樣式ニ依ル報告書ヲ道知事ニ提出スベシ

第一項第三號ノ許可ノ申請書ハ第四號樣式ニ依ルベシ

前項ノ申請書ニハ第五條第一項第三號及第四號ノ最低額ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第十五條　令第十條第二項及令第十一條第二項ノ規定ハ雇傭主ガ天災事變ニ際シ必要アルニ因リ又ハ左ニ掲グル場合ニ於テ道知事ノ許可ヲ受ケ最高初給賃金又ハ最高賃金ノ額ヲ超ユル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭スルトキハ之ヲ適用セズ

一　作業ノ性質上必要アルトキ

二　勞務者ガ技能特ニ優秀ナルトキ又ハ特技アルトキ

三　其ノ他特別ノ事由アルトキ

雇傭主天災事變ニ際シ必要アルニ因リ最高初給賃金又ハ最高賃金ノ額ヲ超ユル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭シタルトキハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ其ノ雇入ノ日ヨリ十四日以內ニ其ノ要領ヲ具シ道知事ニ報告スベシ

第一項第一號又ハ第三號ノ事由ニ因ル許可ノ申請書ハ第五號樣式、第一項第二號ノ事由ニ因ル許可ノ申請書ハ第六號樣式ニ依ルベシ

第十六條　令第十四條第一項ノ期間(以下賃金總額計算期間ト稱ス)ハ左ノ如シ

第一期　一月一日ヨリ三月三十一日迄(毎月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ三月ノ最終賃金締切日前三月間)

第二期　四月一日ヨリ六月三十日迄(毎月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ六月ノ最終賃金締切日前三月間)

第三期　七月一日ヨリ九月三十日迄（毎月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ九月ノ最終賃金締切日前三月間）

第四期　十月一日ヨリ十二月三十一日迄（毎月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ十二月ノ最終賃金締切日前三月間）

第十七條　同一ノ工場、事業場ニ於テ令第十四條第一項第四號ニ掲グル勞務者以外ノ勞務者ヲ常時五十人以上雇傭スル雇傭主ハ令第十四條第一項ノ規定ニ依ル道知事ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ認可ノ申請書ハ第七號樣式ニ依ルベシ

當該工場、事業場ニ於ケル男女及年齡別一時間平均賃金ノ實績ガ時期ニ依リ著シク異ルトキハ前項ノ申請書ニハ申請前一年（一年ノ實績ナキトキハ其ノ實績アル期間）ノ賃金總額計算期間若ハ毎月ノ賃金高槪（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第十八條　令第十四條第一項ノ認可ハ左ニ掲グル場合ニ之ヲ爲スモノトス

一　工場、事業場ニ於ケル勞務者ノ職積、年齡、經驗年數等ニ因リ必要アルトキ

二　工場、事業場ニ於ケル作業ノ性質又ハ環境ニ因リ特ニ必要アルトキ

三　工場、事業場ニ於ケル作業能率特ニ優秀ナルトキ

四　天災事變ニ際シ其ノ他特ニ必要アルトキ

第十九條　令第十四條第一項ノ認可ハ男女及年齡別一時間平均賃金ニ依リ之ヲ爲シ且其ノ認可ノ日ヨリ一年以內ニ於テ失效ノ期限ヲ附スルモノトス

前項ノ平均時間賃金ノ適用ニ關スル勞務者ノ年齡ノ計算ハ其ノ年ノ一月一日ノ現在ニ依ルモノトス

第二十三條　令第十四條第一項ノ就業時間ハ休憩時間ヲ含ムモノトス

第二十四條　令第十五條ノ認可ノ申請書ハ第八號樣式、令第十六條ノ認可ノ申請書ハ第九號樣式ニ依ルベシ

前項ノ申請書ニハ第五條第一項第五號ニ掲グル事項ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫及最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ每月ノ賃金高帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第二十五條　令第十七條ノ認可ノ申請書ハ第十號樣式ニ依ルベシ

前項ノ申請書ニハ初給賃金及昇給ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫竝ニ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ每月ノ賃金高帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第二十六條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ノ全部又ハ大部分ニ時ヲ同ジクシテ臨時ノ給與ヲ爲サントスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クベシ但シ臨時ノ給與ノ其ノ給與ノ合計額ガ二十圓ヲ超エザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ許可ノ申請書ハ第十四號樣式ニ依ルベシ

第二十七條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ニ對スル平均賃金額ガ六十圓ヲ超エザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ許可ノ申請書ハ第十三號樣式ニ依ルベシ

前項ノ申請書ニハ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ每月ノ賃金高帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第二十八條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ニ賃與ヲ爲ス場合ニ之ヲ爲スモノトス

一　工場、事業場ニ於ケル勞務者ノ職積、年齡、經驗年數等ニ因リ必要アルトキ

二　工場、事業場ニ於ケル作業ノ性質又ハ環境ニ因リ特ニ必要アルトキ

三　工場、事業場ニ於ケル作業能率特ニ優秀ナルトキ

四　天災事變ニ際シ其ノ他特ニ必要アルトキ

第二十九條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ全部又ハ大部分ニ時ヲ同ジクシテ臨時ノ給與ヲ爲サントスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クベシ但シ臨時ノ給與ノ其ノ給與ノ合計額ガ二十圓ヲ超エザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ許可ノ申請書ハ第十四號樣式ニ依ルベシ

第三十條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ勞務者ニ對シ朝鮮總督ノ定ムル價格ヲ下ル代價ヲ以テ白米、精麥、精粟又ハ食事ノ賣與ヲ爲サントスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クベシ其ノ賣與ヲ受クル勞務者ノ委託ヲ爲サントスルトキ亦同ジ

前項ノ許可ノ申請書ハ第十五號樣式ニ依ルベシ

前項ノ申請書ニハ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ每月ノ賃金高帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第三十一條　令第二十一條ノ規定ニ依ル賃金ノ協定ノ認可ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　協定ヲ爲シタル雇傭主ノ氏名及住所又ハ協定ヲ爲シタル組合若ハ團體ノ名稱及所在地

二　協定ノ內容

三　協定ノ行ハルル區域

四　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第三十二條　雇傭主ハ天災事變ニ際シ必要アルトキ又ハ左ニ掲グル場合ニ於テ道知事（協定ノ效力ガ二以上ノ道ニ及ブ場合ハ朝鮮總督）ノ許可ヲ受ケタルトキハ令第二十一條但書ノ規定ニ依リ同條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル協定ニ依ラザルコトヲ得

一　作業ノ性質上必要アルトキ

二　勞務者ガ技能特ニ優秀ナルトキ又ハ特技アルトキ

三　其ノ他特別ノ事由アルトキ

雇傭主天災事變ニ際シ必要アルニ因リ令第二十一條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル協定ニ依ラザリシトキハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ其ノ要領ヲ具シ十四日以內ニ道知事ニ報告スベシ

第一項第一號及第三號ノ事由ニ因ル許可ノ申請書ハ第十六號樣式、第一項第二號ノ事由ニ因ル許可ノ申請書ハ第十七號樣式ニ依ルベシ

シ支給セントスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ノ申請書ハ第十一號樣式ニ依ルベシ

前項ノ申請書ニハ手當ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第二十七條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ令第六條ノ規定ニ依リ道知事ニ報告シクル賃金規則ニ依ルノ外其ノ雇傭スル勞務者ニ賞物ヲ給與セントスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ノ申請書ハ第十二號樣式ニ依ルベシ

前項ノ申請書ニハ賞物給與ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第二十八條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ニ賞與ヲ支給セントスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クベシ但シ賞與ノ各支給期ニ於ケル其ノ支給ヲ受クル勞務者ニ對スル平均金額ノ其ノ年ノ合計額ガ六十圓ヲ超エザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ許可ノ申請書ハ第十三號樣式ニ依ルベシ

前項ノ申請書ニハ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ每月ノ賃金高帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第二十九條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ全部又ハ大部分ニ時ヲ同ジクシテ臨時ノ給與ヲ爲サントスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クベシ但シ臨時ノ給與ノ其ノ給與ノ合計額ガ二十圓ヲ超エザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ許可ノ申請書ハ第十四號樣式ニ依ルベシ

第三十條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ勞務者ニ對シ朝鮮總督ノ定ムル價格ヲ下ル代價ヲ以テ白米、精麥、精粟又ハ食事ノ賣與ヲ爲サントスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クベシ其ノ賣與ヲ受クル勞務者ノ委託ヲ爲サントスルトキ亦同ジ

前項ノ許可ノ申請書ハ第十五號樣式ニ依ルベシ

前項ノ申請書ニハ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ每月ノ賃金高帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第三十一條　令第二十一條ノ規定ニ依ル賃金ノ協定ノ認可ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　協定ヲ爲シタル雇傭主ノ氏名及住所又ハ協定ヲ爲シタル組合若ハ團體ノ名稱及所在地

二　協定ノ內容

三　協定ノ行ハルル區域

四　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第三十二條　雇傭主ハ天災事變ニ際シ必要アルトキ又ハ左ニ掲グル場合ニ於テ道知事（協定ノ效力ガ二以上ノ道ニ及ブ場合ハ朝鮮總督）ノ許可ヲ受ケタルトキハ令第二十一條但書ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル協定ニ依ラザルコトヲ得

一　作業ノ性質上必要アルトキ

二　勞務者ガ技能特ニ優秀ナルトキ又ハ特技アルトキ

三　其ノ他特別ノ事由アルトキ

雇傭主天災事變ニ際シ必要アルニ因リ令第二十一條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル協定ニ依ラザリシトキハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ其ノ要領ヲ具シ十四日以內ニ道知事ニ報告スベシ

第一項第一號及第三號ノ事由ニ因ル許可ノ申請書ハ第十六號樣式、第一項第二號ノ事由ニ因ル許可ノ申請書ハ第十七號樣式ニ依ルベシ

第三十三條　令第二十四條ノ規定ニ依ル賃金ノ協定ノ變更又ハ廢止ノ認可ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　協定ヲ爲シタル雇傭主ノ氏名及住所又ハ協定ヲ爲シタル組合若ハ團體ノ名稱及所在地

二　廢止又ハ變更スベキ事項及其ノ內容

三　廢止又ハ變更セントスル協定ノ行ハルル區域

四　廢止又ハ變更ヲ要スル理由

五　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第三十四條　協定ノ行ハルル區域內ニ於テ協定ニ加ハリタル雇傭主ト同種若ハ類似ノ事業ヲ營ミ又ハ協定アリタル勞務者ト同種ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主又ハ協定ヲ爲シタル組合若ハ團體ノ地區內ニ於テ組合若ハ團體ノ組合員若ハ團體員（組合又ハ團體ヲ組織スル組合又ハ團體ノ組合員又ハ團體員ヲ含ム以下同ジ）タル資格ヲ有スルモ組合若ハ團體ノ組合員若ハ團體員ニ非ザルモノニ對シテハ令第二十五條ノ規定ニ依リ協定ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第三十五條　令第二十九條ノ雇傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時雇傭スル勞務者ノ數ガ十人ニ達シタルトキハ其ノ十人ニ達シタル日ヨリ三十日以內ニ賃金臺帳ヲ作成シ勞務者ノ賃金ヲ記載スベシ但シ日日雇入ルル勞務者ノ賃金ハ記載ノ限ニ在ラズ

第三十六條　賃金臺帳ハ個人票及總括票トシ其ノ樣式ハ常時五十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル工場、鑛山ニ在リテハ第十八號及第十九號樣式、其ノ他ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ在リテハ第二十號及第二十一號樣式ニ依ルベシ

雇傭主道知事ノ許可ヲ受ケタルトキハ個人票ニ付前項ノ樣式ト異ル樣式ヲ用フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル許可ノ申請ニハ雇傭主ノ用ヒントスル樣式及申請ノ理由ヲ具スベシ

第三十七條　賃金支拂ニ關スル賃金臺帳ノ記入ハ個人票ニ在リテハ每月ノ賃金ニ付翌月末日迄ニ之ヲ爲シ總括票ニ在リテハ每月ノ賃金ニ付翌月末日迄ニ、每賃金總額計算期間ノ賃金ニ付其ノ期間終了ノ翌月末日迄ニ之ヲ爲スベシ

第三十八條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時五十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ每月ノ賃金臺帳（總括票）ノ寫ヲ翌月末日迄ニ、每賃金總額計算期間ノ賃金臺帳（總括票）ノ寫ヲ其ノ期間終了ノ翌月末日迄ニ道知事ニ報告スベシ

第三十九條　賃金臺帳ハ其ノ最後ノ記入ヲ爲シタル後三年間之ヲ保存スベシ

第四十條　令第三十一條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ第二十二號樣式ニ依ル

第四十一條　道知事第二條第一項第三號ノ承認又ハ第六條第四項、第二十六條第一項、第二十七條第一項、第二十八條第一項、第二十九條第一項若ハ第三十六條第二項ノ許可ノ申請書ヲ受理シタル後三十日以內ニ其ノ申請事項ニ關シ雇傭主ニ對シ文書ニ依ル指令又ハ照會若ハ通知ヲ發セザルトキハ其ノ期間滿了ノ日ニ於テ申請事項ニ付承認又ハ許可アリタルモノトス申請事項ニ關スル照會ニ對スル回答書ヲ受領シ又ハ申請事項ニ關シ雇傭主ニ通知ヲ發シタル後三十日以內ニ申請事項ニ關シ文書ニ依ル指令又ハ照會若ハ通知ヲ發セザルトキ亦同ジ

第四十二條　本令ノ規定ニ基キ道知事ニ對シ爲スベキ申請又ハ報告ハ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所每ニ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ニ對シ之ヲ爲スベシ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ヲ管轄スル道知事ナキ場合ニハ雇傭契約ヲ締結シタル場所ヲ管轄スル道知事ニ對シ之ヲ爲スベシ

第四十三條　令第三十三條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ニ提出スル申請書ハ賃金ノ協定ヲ爲シタル雇傭主又ハ組合若ハ團體ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

第四十四條　本令ノ規定ニ依ル申請又ハ報告ニ關シ雇傭主ニ於テ代理人ヲ定メタルトキハ道知事ニ屆出ヅベシ其ノ代理權ヲ解除シタルトキ亦同ジ

附　則

第四十五條　本令ハ昭和十六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四十六條　本令施行ノ際同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ニ付テハ第四條ノ期限ハ本令施行ノ日ヨリ九十日トス

第四十七條　從前ノ賃金統制令施行規則第六條第三號ノ規定ニ依リ受ケタル許可ハ本令施行ノ日ヨリ第十四條第一項第三號又ハ第十五條第一項ノ規定ニ依リ受ケタルモノト看做ス

第四十八條　賃金臨時措置令施行規則第四條ノ規定ニ依リ賃金臨時措置令第十五條又ハ第十六條第一項ノ規定ニ依ル定ニ依ラザルコトニ付受ケタル許可ハ本令施行ノ日ヨリ第三十二條第一項又ハ第十五條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第四十九條　第二十六條ノ規定ニ依リ其ノ支給ニ付道知事ノ許可ヲ受クベキ手當ヲ本令施行ノ際現ニ支給スル雇傭主ハ本令施行ノ日ヨリ九十日以內ヲ限リ其ノ支給ニ付同條ノ許可ヲ受クルヲ要セズ

第五十條　第二十七條ノ規定ニ依リ其ノ給與ニ付道知事ノ許可ヲ受クベキ實物給與ヲ本令施行ノ際現ニ給與スル雇傭主ハ本令施行ノ日ヨリ九十日以內ヲ限リ其ノ給與ニ付同條ノ許可ヲ受クルヲ要セズ

第五十一條　本令施行ノ際現ニ勞務者ニ對シ白米、精麥、精粟若ハ食事ノ販賣ヲ爲シ又ハ其ノ販賣ノ委託ヲ爲ス雇傭主ニシテ第三十條ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベキモノハ本令施行ノ日ヨリ九十日以內ヲ限リ其ノ販賣又ハ委託ニ付同條ノ許可ヲ受クルヲ要セズ

第五十二條　本令施行ノ際同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ニ付テハ第三十五條ノ期限ハ本令施行ノ日ヨリ九十日トス

第五十三條　從前ノ賃金統制令施行規則第七條ノ規定又ハ賃金臨時措置令施行規則第十八條ノ規定ニ依リ作成シタル賃金臺帳ハ其ノ最後ノ記入ヲ爲シタル日ヨリ三年間之ヲ保存スベシ

第五十四條　從前ノ賃金統制令施行規則第七條及第八條ノ規定ハ本令施行ノ日ヨリ九十日間仍其ノ效力ヲ有ス但シ雇傭主ガ本令ノ規定ニ依リ賃金臺帳ヲ作成シ第三十八條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲ストキハ其ノ雇傭主ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五十五條　賃金臨時措置令施行規則第一條乃至第十一條及第二十條ノ規定ハ船員ニ關スルモノヲ除クノ外當分ノ內仍其ノ效力ヲ有ス但シ賃金ノ總額ニ付令第十四條ノ規定ニ依ル制限ヲ受クベキ勞務者ノ賃金ニ付テハ同條ノ平均時間割賃金定マリタルトキハ其ノ效力ヲ失フ

前項但書ノ規定ニ拘ラズ賃金臨時措置令施行規則第一條乃至第十一條及第二十條ノ規定ハ令第十四條ノ平均時間割賃金定マリタル時迄ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ仍其ノ效力ヲ有ス

第五十六條　賃金臨時措置令施行規則第十八條ノ規定ハ本令施行ノ日ヨリ九十日間仍其ノ效力ヲ有ス

雇傭主ガ本令ノ規定ニ依リ賃金臺帳ヲ作成シタルトキハ賃金臨時措置令施行規則第十八條ノ規定ハ前項ノ規定ニ拘ラズ其ノ作成ノ日ヨリ其ノ雇傭主ニ付其ノ效力ヲ失フ但シ同日以前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ同日後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

第五十七條　令第十四條第一項ノ平均時間割賃金ノ定マリタル事業ヲ營ム雇傭主ノ雇傭スル令第十四條第一項第四號ニ掲グル勞務者以外ノ勞務者ガ常時五十人ニ滿タザル場合ニ於テ其ノ雇傭主ノ雇傭ス

ル令第十四條第一項各號ニ掲グル勞務者以外ノ勞務者ニ對シ賃金總額計算期間ニ支拂フ賃金ノ總額ガ平均時間割賃金ニ其ノ就業時間ノ總數ヲ乘ジテ得タル額ノ合計額ヲ超エザルトキハ賃金臨時措置令第一條乃至第十四條、第十九條、第二十三條及第二十七條第一項ノ規定ハ其ノ雇傭主ノ雇傭スル令第十四條第一項各號ニ掲グル勞務者以外ノ勞務者ノ賃金ニ關シテハ之ヲ適用セズ

（横式省略）

賃金統制令第三條第二項ノ規定ニ依ル賃金ノ全部又ハ一部ガ金錢以外ノ給與其ノ他ノ利益ナルトキ其ノ評價額

（昭和十六年六月三十日朝鮮總督府告示第九百七十五號）

賃金統制令第三條第二項ノ規定ニ依リ賃金ノ全部又ハ一部ガ金錢以外ノ給與其ノ他ノ利益ナルトキ其ノ評價額昭和十六年七月一日ヨリ左ノ通定ム

一　白米、精麥、精粟

昭和十四年朝鮮總督府令第二百二十六號（米穀ノ配給統制ニ關スル件）第一條第二項又ハ價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ行政官廳ノ指定スル各小賣價格ノ七割

二　食事

一食ニ付　十錢

朝鮮建家屋ニ在リテハ一間ヲ以テ一疊ニ計算ス）ニ付三十錢

ルモノトス

朝鮮建家屋ニ在リテハ一間ヲ以テ一疊ニ計算ス）ニ付　一錢

ルモノトス

一日　一疊（テ二疊ニ計算ス）ニ付　一錢

一月　一疊（テ二疊ニ計算ス）ニ付　一錢

三　住宅

賃金統制令施行規則第三十條ノ規定ニ依ル白米、精麥、精粟及食事ノ價格

（昭和十六年六月三十日朝鮮總督府告示第九百七十六號）

賃金統制令施行規則第三十條第一項ノ規定ニ依リ白米、精麥、精粟及食事ノ價格昭和十六年七月一日ヨリ左ノ通定ム

一　白米、精麥、精粟

昭和十四年朝鮮總督府令第二百二十六號（米穀ノ配給統制ニ關スル件）第一條第二項又ハ價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ行政官廳ノ指定スル各小賣價格ノ七割

二　食事

一食ニ付　十錢

賃金統制令施行規則

（昭和十六年六月三十日勞務總督府令第百十九號）

第一條　賃金統制令（以下令ト稱ス）第二條ノ規定ニ依リ同條各號ニ掲グル事業以外ノ事業ニ於ケル左ノ勞働ヲ指定ス

一　場屋又ハ物品ノ監守其ノ他之ニ類スル勞働

二　場屋又ハ道路ノ清掃其ノ他之ニ類スル勞働

三　小使、給仕其ノ他之ニ類スル勞働

四　寫字、印字、電話交換其ノ他之ニ類スル勞働

五　機械又ハ器具ノ操作、檢査、修繕其ノ他之ニ類スル勞働

六　物ノ運搬又ハ配達ノ勞働

第二條　左ニ掲グル者ハ令第二條但書ノ規定ニ依リ勞務者タラザルモノトス

一　料理店業又ハ飲食店業ニ從事スル者

二　主トシテ家事ニ從事スル者

三　雇傭主ニ於テ州知事又ハ廳長ノ承認ヲ受ケ令ノ適用ヲ除外シタル者

前項第三號ノ承認ノ申請書ハ別記第一號樣式ニ依ルベシ

第三條　令第四條ノ命令ヲ以テ定ムル雇傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主トス

第四條　前條ノ雇傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時雇傭スル勞務者ガ十人ニ達シタル日ヨリ三十日以內ニ賃金規則ヲ作成シ揭示其ノ他適宜ノ方法ニ依リ之ヲ勞務者ニ周知セシムベシ但シ賃金規則中勞務者ノ一部ニ關係アル事項ノ周知方法ハ關係勞務者ニ對シテノミ之ヲ爲スヲ以テ足ル

前項ノ雇傭主賃金規則ヲ變更シタルトキハ前項ニ準ジ直ニ之ヲ周知セシムベシ

第五條　賃金規則ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　所定就業時間數

二　賃金ノ締切ノ期間及支拂ノ期日

三　定額給ノ定アルトキハ其ノ初給額及最低額

四　請負賃金制ニ於ケル保證給又ハ單位時間給ノ定アルトキハ其ノ保證給又ハ單位時間給ノ初給額及最低額

五　單價請負、時間請負又ハ歩合請負ノ制アルトキハ其ノ請負單價、請負時間又ハ請負歩合及賃金算定方法

六　手當ヲ支給セントスルトキハ其ノ手當ノ名稱及額又ハ率竝ニ給與條件

七　精米、精麥、食事又ハ住居ノ給與ヲ爲ストキハ其ノ數量、評價額及給與條件

八　遲刻又ハ早退ノ場合ニ於ケル賃金ノ計算方法

九　賃金ノ一部ヲ貯蓄又ハ公債購入ノ爲控除スルトキハ其ノ定ノ要旨

前項各號ニ揭グル事項ノ外賃金ニ關シ必要ナル事項ハ之ヲ賃金規則ニ記載スルコトヲ得

第六條　前條第一項第三號又ハ第四號ノ事項ニ付男女別、職種別、年齡別、勤續年數別其ノ他ノ區分ニ依リ異ル定アルトキハ各別ニ之ヲ記載スベシ

第七條　精米、精麥、食事又ハ住居ノ給與ヲ爲ストキハ其ノ數量、評價額及給與條件

八　遲刻又ハ早退ノ場合ニ於ケル賃金ノ計算方法

九　賃金ノ一部ヲ貯蓄又ハ公債購入ノ爲控除スルトキハ其ノ定ノ要旨

前項各號ニ揭グル事項ノ外賃金ニ關シ必要ナル事項ハ之ヲ賃金規則ニ記載スルコトヲ得

第六條　前條第一項第三號又ハ第四號ノ事項ニ付男女別、職種別、年齡別、勤續年數別其ノ他ノ區分ニ依リ異ル定アルトキハ各別ニ之ヲ記載スベシ

第七條　令第九條第二項ノ賃金ハ左ニ揭グルモノヲ含マザルモノトス

一　早出、殘業又ハ深夜若ハ休日ノ就業ニ對スル歩增

二　實物給與但シ精米、精麥、食事及住居ノ給與ヲ除ク

三　賞與

四　臨時ノ給與

第八條　令第十條第二項ノ命令ヲ以テ定ムル期間ハ未經驗勞務者ニ付テハ一年トス

其ノ他ノ勞務者ニ付テハ三月トシ前二項ノ場合ノ外雇傭主請負單價、請負時間又ハ請負歩合ニ關スル前條第一項第五號ノ規定ニ依ル記載ノ全部又ハ一部ヲ省略セントスルトキハ州知事又ハ廳長ノ許可ヲ受クベシ

第九條　令第十一條前條ノ未經驗勞務者ハ工場又ハ鑛山ニ於ケル左ノ各號ノ一ニ該當セザル勞務者ヲ謂フ

一　從事シツツアル勞働又ハ之ト同種ノ勞働ニ三月以上從事シタル經驗アル者

二　工場又ハ鑛山ニ於テ六月以上勞働ニ從事シタル經驗アル者

十八條第一項、第二十九條第一項若ハ第三十條第一項ノ規定ニ依リ認可又ハ許可ヲ要スル事項アル場合ニ於テ其ノ認可若ハ許可ヲ受ケザルトキ又ハ賃金ノ協定存スル場合ニ於テ賃金規則ノ記載ガ其ノ協定ノ內容タル事項ト異ルトキハ令第五條本文ノ規定ニ揭ラズ各其ノ事項ニ付テハ賃金規則ニ依リ賃金ノ支拂ヲ爲スベキ限ニ在ラズ

第八條　令第六條ノ規定ニ依ル賃金規則ノ報告ニハ事業ノ種類、從業場所ノ名稱及所在地竝ニ常時雇傭スル男女別勞務者數ヲ具スベシ

第九條　令第九條第二項ノ賃金ハ左ニ揭グルモノヲ含マザルモノトス

一　早出、殘業又ハ深夜若ハ休日ノ就業ニ對スル歩增

二　實物給與但シ精米、精麥、食事及住居ノ給與ヲ除ク

三　賞與

四　臨時ノ給與

第十條　令第十條第二項ノ命令ヲ以テ定ムル期間ハ未經驗勞務者ニ付テハ一年トス

其ノ他ノ勞務者ニ付テハ三月トシ

第十一條　前條ノ未經驗勞務者ハ工場又ハ鑛山ニ於ケル左ノ各號ノ一ニ該當セザル勞務者ヲ謂フ

一　從事シツツアル勞働又ハ之ト同種ノ勞働ニ三月以上從事シタル經驗アル者

二　工場又ハ鑛山ニ於テ六月以上勞働ニ從事シタル經驗アル者

三　工業又ハ鑛業ニ關スル國立若ハ公立ノ養成施設ニシテ三月以上ノ修業期間ヲ有スルモノ又ハ私立ノ養成施設ニシテ州知事又ハ廳長ニ於テ之ト同等以上ノモノト認定シタルモノノ課程ヲ修了シタル者

四　工業又ハ鑛業ニ關スル學校ニ於テ二年以上學習シタル者

五　前號ニ揭グルモノノ外國民學校初等科修了程度ヲ入學資格トシ修業年限ヲ四年以上トスル學校若ハ國民學校高等科修了程度ヲ入學資格トシ修業年限ヲ二年以上トスル學校又ハ之ト同等以上ノ學校ノ課程ヲ修了シタル者

第十二條　最高賃金ハ日日雇入ルル勞務者又ハ臺灣總督ノ指定スル勞務者ニ付定ムルモノトス

第十三條　令第十條第二項及同第十一條第二項ノ賃金ハ左ニ揭グルモノヲ含マザルモノトス

一　一月ニ付常該勞務者ノ臺灣總督ノ定ムル賃金ノ額ノ二日分ヲ超エザル精勤手當

二　就業十時間ヲ超ユル早出若ハ殘業又ハ深夜若ハ休日ノ就業ニ對スル歩增

三　實物給與但シ精米、精麥、食事及住居ノ給與ヲ除ク

四　賞與

五　臨時ノ給與

第十四條　令第九條第二項ノ規定ハ左ニ揭グル場合ニ於テハ之ヲ適用セズ

一　勞務者ガ精神又ハ身體ノ障礙ニ因リ著シク作業能力劣レルモノナルトキ

二　勞務者ノ都合ニ依リ所定就業時間ニ滿タザル就業ヲ爲ストキ

三　天災事變其ノ他特別ノ事由ニ因リ雇傭主ガ州知事又ハ廳長ノ許可ヲ受ケ最低賃金ノ額ヲ下ル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭スルトキ

雇傭主前項第一號ノ規定ニ依リ最低賃金ノ額ヲ下ル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭シタルトキハ令第三十一條第一項第二號ノ事由ニ因ル許可ノ申請書ハ別記第五號樣式、第一項第二號ノ事由ニ因ル許可ノ申請書ハ別記第六號樣式ニ依ルベシ

第十六條　令第十四條第一項ノ命令ノ定ムル期間（以下賃金總額計算期間ト稱ス）ハ左ノ如シ

第一期　一月一日ヨリ三月三十一日迄（每月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ三月ノ最終賃金締切日前三月間）

第二期　四月一日ヨリ六月三十日迄（每月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ六月ノ最終賃金締切日前三月間）

第三期　七月一日ヨリ九月三十日迄（每月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ九月ノ最終賃金締切日前三月間）

第四期　十月一日ヨリ十二月三十一日迄（每月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ十二月ノ最終賃金締切日前三月間）

第十七條　同一ノ工場、事業場ニ於テ令第

二　勞務者ガ技能特ニ優秀ナルトキ又ハ特技アルトキ

三　其ノ他特別ノ事由アルトキ

雇傭主天災事變ニ際シ必要アルニ因リ最高初給賃金又ハ最高賃金ノ額ヲ超ユル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭シタルトキハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ其ノ雇入ノ日ヨリ十四日以內ニ其ノ要領ヲ具シ州知事又ハ廳長ニ報告スベシ

第一項第一號及第三號ノ事由ニ因ル許可ノ申請書ハ別記第五號樣式、第一項第二號ノ事由ニ因ル許可ノ申請書ハ別記第六號樣式ニ依ルベシ

第十六條　令第十四條第一項ノ命令ノ定ムル期間（以下賃金總額計算期間ト稱ス）ハ左ノ如シ

第一期　一月一日ヨリ三月三十一日迄（每月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ三月ノ最終賃金締切日前三月間）

第二期　四月一日ヨリ六月三十日迄（每月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ六月ノ最終賃金締切日前三月間）

第三期　七月一日ヨリ九月三十日迄（每月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ九月ノ最終賃金締切日前三月間）

第四期　十月一日ヨリ十二月三十一日迄（每月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ十二月ノ最終賃金締切日前三月間）

第十七條　同一ノ工場、事業場ニ於テ令第

十四條第一項各號ニ揭グル勞務者以外ノ勞務者ヲ常時三十人以上雇傭スル雇傭主ハ令第十四條第一項ノ規定ニ依リ州知事又ハ廳長ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

前項ノ認可ノ申請書ハ別記第七號樣式ニ依ルベシ

常該工場、事業場ニ於ケル男女及年齡別一時間平均賃金ノ實績ガ時期ニ依リ著シク異ルトキハ前項ノ申請ニハ申請前一年（一年ノ實績ナキトキハ其ノ實績アル期間）ノ賃金總額計算期間若ハ每月ノ賃金表帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第十八條　前條ノ認可ハ左ニ揭グル場合ニ之ヲ爲ズモノトス

一　工場、事業場ニ於ケル勞務者ノ職種、年齡、經驗年數等ニ因リ必要アルトキ

二　工場、事業場ニ於ケル作業ノ性質又ハ環境ニ因リ特ニ必要アルトキ

三　工場、事業場ニ於ケル作業能率特ニ優秀ナルトキ

四　天災事變ニ際シ其ノ他特ニ必要アルトキ

第十九條　令第十四條第一項ノ認可ハ男女及年齡別一時間平均賃金ニ依リ之ヲ爲シ且其ノ認可ノ日ヨリ一年以內ニ於テ失效ノ期限ヲ附スルモノトス

雇傭主前項ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ令第十四條第一項各號ニ揭グル勞務者以外ノ勞務者ニ對シ賃金總額計算期間ニ支拂フ賃金ノ總額ハ前項ノ男女及年齡別一時間平均賃金ニ就業時間ノ總數ヲ乘ジテ得タル額ノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ザルモノトス

前二項ノ男女及年齡別一時間平均賃金ノ適用ニ關スル勞務者ノ年齡ノ計算ハ其ノ年ノ一月一日ノ現在ニ依ルモノトス

第二十條　令第十四條第一項ノ認可ノ申請書ハ別記第十號樣式ニ依リ其ノ申請ニハ初給賃金及昇給ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫竝ニ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ每月ノ賃金表帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第二十一條　令第十四條第一項ノ賃金ハ左ニ揭グルモノヲ含マザルモノトス

一　實物給與但シ精米、精麥、食事及住居ノ給與ヲ除ク

二　賞與

三　臨時ノ給與

第二十二條　令第十四條第一項ノ平均時間賃金ノ適用ニ關スル勞務者ノ年齡ノ計算ハ其ノ年ノ一月一日ノ現在ニ依ルモノトス

第二十三條　令第十四條第一項ノ就業時間ハ休憩時間ヲ含ムモノトス

第二十四條　令第十五條又ハ同第八號樣式又ハ別記第八號樣式又ハ別記第九號樣式ニ依リ其ノ申請ニハ第五條第一項第五號ニ揭グル事項ノ關スル賃金規則ノ記載ノ寫及最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ每月ノ賃金表帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第二十六條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ニ就業ノ日又ハ時間ニ對スル賃金ヲ超ユル手當ヲ其ノ就業セザル日又ハ時間ニ對シ支給セントスルトキハ州知事又ハ廳長ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ノ申請書ハ別記第十一號樣式ニ依リ其ノ申請ニハ手當ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第二十七條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ令第六條ノ規定ニ依リ州知事又ハ廳長ニ報告シタル賃金規則ニ依ルノ外其ノ雇傭スル勞務者ニ實物ヲ給與セントスルトキハ州知事又ハ廳長ノ認可ノ申請書ハ別記第八號樣式又ハ別記

許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ノ申請書ハ別記第十二號樣式ニ依リ其ノ申請ニハ賞物給與ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第二十八條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ニ賞與ヲ支給セントスルトキハ州知事又ハ廳長ノ許可ヲ受クベシ但シ賞與ノ各支給期ニ於ケル其ノ支給ヲ受クル勞務者ニ對スル平均金額ノ毎年ノ合計額ガ六十圓ヲ超エズ又ハ常傭工場、事業場ニ於ケル勞務者ノ募集ニ關スル賃金日額ノ平均金額ノ四十日分ヲ超エザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ許可ノ申請書ハ別記第十三號樣式ニ依リ其ノ申請ニハ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ毎月ノ賃金寫帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第二十九條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ノ全部又ハ大部分ニ時ヲ同ジクシテ臨時ノ給與ヲ爲サントスルトキハ州知事又ハ廳長ノ許可ヲ受クベシ但シ臨時ノ給與ハ其ノ給與ヲ受クル勞務者ニ對スル平均金額ノ毎年ノ合計額ガ二十圓ヲ超エザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ許可ノ申請書ハ別記第十四號樣式ニ依リ其ノ申請ニハ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ毎月ノ賃金寫帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第三十條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ勞務者ニ對シ寫眞總書ノ定ムル價格ヲ下ル代價ヲ以テ精米、精麥又ハ食事ノ販賣ヲ爲サントスルトキハ州知事又ハ廳長ノ許可ヲ受クベシ其ノ販賣ノ委託ヲ爲サントスルトキ亦同ジ

前項ノ許可ノ申請書ハ別記第十五號樣式ニ依リ其ノ申請ニハ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ毎月ノ賃金寫帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面及手常竝ニ實物給與ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第三十一條　令第二十二條ノ規定ニ依ル賃金ノ認可ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　協定ヲ爲シタル雇傭主ノ氏名及住所又ハ協定ヲ爲シタル組合若ハ團體ノ名稱及所在地

二　協定ノ內容

三　協定ノ行ハルル區域

四　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第三十二條　令第二十二條ノ規定ニ依リ同條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

雇傭主前項ノ規定ニ依リ令第二十二條ノ協定ニ依ラザリシトキハ令第三十一條第一項ノ規定ニ準ジ其ノ要領ヲ具シ十四日以內ニ州知事又ハ廳長ニ報告スベシ

第三十三條　令第二十四條ノ規定ニ依ル賃金ノ協定ノ變更又ハ廢止ノ認可ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　協定ヲ爲シタル雇傭主ノ氏名及住所又ハ協定ヲ爲シタル組合若ハ團體ノ名稱及所在地

二　廢止又ハ變更スベキ事項及其ノ內容

三　廢止又ハ變更セントスル協定ノ行ハルル區域

四　廢止又ハ變更ヲ要スル理由

五　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第三十四條　協定ノ行ハルル區域內ニ於テ協定ニ加ハリタル雇傭主ト同種若ハ類似ノ事業ヲ營ミ若ハ協定アリタル勞務者ト同種ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主又ハ協定ヲ爲シタル組合若ハ團體ノ地區內ニ於テ組合若ハ團體ノ組合員若ハ團體員（組合又ハ團體ヲ組織スル組合又ハ團體ノ組合員又ハ團體員ヲ含ム以下同ジ）タル資格ヲ有スルモ組合若ハ團體ノ組合員若ハ團體員ニ非ザルモノニ對シテハ令第二十五條ノ規定ニ依リ協定ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第三十五條　令第二十九條ノ雇傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時雇傭スル勞務者ノ數ガ十人ニ達シタルトキハ其ノ十人ニ達シタル日ヨリ三十日以內ニ賃金寫帳ヲ作成シ勞務者ノ賃金ヲ記載スベシ但シ日雇入ルル勞務者ノ賃金ハ記載ノ限ニ在ラズ

第三十六條　賃金寫帳ハ個人票及總括票トシ其ノ樣式ハ常時三十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル工場、鑛山ニ在リテハ別記第十六號樣式及第十七號樣式、其ノ他ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ在リテハ別記第十八號樣式及第十九號樣式ニ依ルベシ

雇傭主州知事又ハ廳長ノ許可ヲ受ケタルトキハ個人票ニ付前項ノ樣式ト異ル樣式ヲ用フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル許可ノ申請ニハ雇傭主ノ用ヒントスル樣式及申請ノ理由ヲ具スベシ

第三十七條　賃金支拂ニ關スル賃金寫帳ノ記入ハ個人票ニ在リテハ每月ノ賃金ニ付翌月末日迄ニ之ヲ爲シ總括票ニ在リテハ每月ノ賃金ニ付翌月末日迄ニ每賃金總額計算期間ノ賃金ニ付其ノ期間終了ノ翌月末日迄ニ之ヲ爲スベシ

第三十八條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時三十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ令第三十一條第一項ノ規定ニ準ジ賃金寫帳（總括票）ノ寫ヲ其ノ期間終了ノ翌月末日迄ニ州知事又ハ廳長ニ報告スベシ

第三十九條　賃金寫帳ハ其ノ最後ノ記入ヲ爲シタル後三年間之ヲ保存スベシ

第四十條　令第三十一條第二項ノ場合ニ於テ寫帳ハ別記第二十一號樣式ニ依ル

第四十一條　州知事又ハ廳長ハ第二十六條第四項、第二十七條第一項、第二十九條第一項、若ハ第三十條第二項ノ許可ノ申請書ヲ受理シタル後三十日以內ニ其ノ申請事項ニ關シ雇傭主ニ對シ文書ニ依ル指令又ハ照會若ハ通知ヲ發セザルトキハ其ノ期間經過ノ日ニ於テ申請事項ニ付承認又ハ許可アリタルモノト看做ス

第四十二條　本令ノ規定ニ基キ州知事又ハ廳長ニ對シ爲スベキ申請又ハ報告ハ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所每ニ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ノ所在地ヲ管轄スル州知事又ハ廳長ニ對シ之ヲ爲スベシ

第四十三條　令第三十三條第二項ノ場合ニ於テ臺灣總督ニ提出スル申請書ハ明治三十二年府令第十九號（總督府ニ差出ス願届書等ハ管轄廳經由ノ件）ノ規定ニ拘ラズ直接臺灣總督ニ之ヲ提出スベシ

第四十四條　本令ノ規定ニ依ル申請又ハ報告ニ關シ雇傭主ニ於テ代理人ヲ定メタルトキハ州知事又ハ廳長ニ屆出ヅベシ其ノ代理權ヲ解除シタルトキ亦同ジ

附　則

第四十五條　本令ハ昭和十六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四十六條　令施行ノ際同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ニ付テハ第四條ノ期限ハ令施行ノ日ヨリ六十日トス

第四十七條　令施行ノ際現ニ從前ノ賃金統制令施行規則第六條第三號ノ規定ニ依リ受ケタル許可ハ第十四條第一項第三號又ハ第十五條第一項ノ規定ニ依リ受ケタルモノト看做ス

第四十八條　令施行ノ際現ニ賃金臨時措置令施行規則第四條ノ規定ニ依リ賃金臨時措置令第十六條第一項ノ規定ニ依ル定ノ

依ラザルコトニ付許可ヲ受ケタル雇傭主ハ第十五條第一項ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第四十九條　第二十六條ノ規定ニ依リ其ノ支給ニ付州知事又ハ廳長ノ許可ヲ受クベキ手當ヲ令施行ノ際現ニ支給シアル雇傭主ハ令施行ノ日ヨリ九十日以內ヲ限リ其ノ支給ニ付同條ノ許可ヲ受クルヲ要セズ

第五十條　第二十七條ノ規定ニ依リ其ノ給與ニ付州知事又ハ廳長ノ許可ヲ受クベキ實物給與ヲ令施行ノ際現ニ給與シアル雇傭主ハ令施行ノ日ヨリ九十日以內ヲ限リ其ノ給與ニ付同條ノ許可ヲ受クルヲ要セズ

第五十一條　令施行ノ際現ニ勞務者ニ對シ精米、精麥又ハ食事ノ販賣ヲ爲シ又ハ其ノ販賣ノ委託ヲ爲シアル雇傭主ニシテ第三十條ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベキモノハ令施行ノ日ヨリ九十日以內ヲ限リ其ノ販賣又ハ委託ニ付同條ノ許可ヲ受クルヲ要セズ

第五十二條　令施行ノ際同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ニ付テハ第三十五條ノ期限ハ令施行ノ日ヨリ九十日トス

第五十三條　從前ノ賃金統制令施行規則第七條ノ規定又ハ賃金臨時措置令施行規則第十八條ノ規定ニ依リ作成シタル賃金臺帳ハ其ノ最後ノ記入ヲ爲シタル日ヨリ三年間之ヲ保存スベシ

第五十四條　從前ノ賃金統制令施行規則第七條及第八條ノ規定ハ令施行ノ日ヨリ九十日間仍其ノ效力ヲ有ス但シ雇傭主ガ本令ノ規定ニ依リ賃金臺帳ヲ作成シ第三十八條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲ストキハ其ノ雇傭主ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五十五條　賃金臨時措置令施行規則第一條乃至第十一條及第二十條ノ規定ハ船員ニ關スルモノヲ除クノ外當分ノ內仍其ノ效力ヲ有スルモノトス但シ賃金ノ總額ニ付令第十四條ノ規定ニ依ル制限ヲ受クベキ勞務者ノ賃金ニ付テハ同條ノ平均時間割賃金定マリタルトキハ其ノ效力ヲ失フ

前項但書ノ規定ニ拘ラズ賃金臨時措置令施行規則第一條乃至第十一條及第二十條ノ規定ハ令第十四條ノ平均時間割賃金定マリタル時迄ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ仍其ノ效力ヲ有ス

第五十六條　賃金臨時措置令施行規則第十八條ノ規定ハ前條ノ期間仍其ノ效力ヲ有スルモノトス但シ常時雇傭スル勞務者ガ十人ニ滿タザル雇傭主ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

雇傭主ガ本令ノ規定ニ依リ賃金臺帳ヲ作成シタルトキハ賃金臨時措置令施行規則第十八條ノ規定ハ前項ノ規定ニ拘ラズ其ノ作成ノ日ヨリ其ノ雇傭主ニ付其ノ效力ヲ失フ但シ同日以前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ同日後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

第五十七條　令第十四條第一項ノ平均時間割賃金ノ定マリタル事業ヲ營ム雇傭主ノ其ノ雇傭スル令第十四條第一項各號ニ揭グル勞務者以外ノ勞務者ガ常時三十人ニ滿タザル場合ニ於テ雇傭主ノ之ニ對シ賃金總額計算期間ニ支拂フ賃金ノ總額ガ平均時間割賃金ニ其ノ就業時間ノ總數ヲ乘ジテ得タル額ノ合計額ヲ超エザルトキハ賃金臨時措置令第一條乃至第十四條、第十九條、第二十三條、第二十五條第一項及第二十七條第一項ノ規定ハ其ノ雇傭主ノ雇傭スル令第十四條第一項各號ニ揭グル勞務者以外ノ勞務者ノ賃金ニ關シテハ之ヲ適用セズ

（別記樣式省略）

賃金統制令施行規則

（昭和十六年七月一日樺太廳令第五十八號）

第一條　賃金統制令（以下令ト稱ス）第二條ノ規定ニ依リ令第二條各號ニ揭グル事業

以外ノ事業ニ於ケル左ノ勞働ヲ指定ス

一　場屋又ハ物品ノ監守其ノ他之ニ類スル勞働
二　場屋又ハ道路ノ清掃其ノ他之ニ類スル勞働
三　小使、給仕其ノ他之ニ類スル勞働
四　寫字、印字、電話交換其ノ他之ニ類スル勞働
五　機械又ハ器具ノ操作、檢査、修繕其ノ他之ニ類スル勞働
六　物ノ運搬又ハ配達ノ勞働

第二條　左ニ揭グル者ハ令第二條但書ノ規定ニ依リ勞務者タラザルモノトス

一　料理店業又ハ飮食店業ニ從事スル者
二　主トシテ家事ニ從事スル者
三　雇傭主ニ於テ樺太廳長官ノ承認ヲ受ケ令ノ適用ヲ除外シタル者

前項第三號ノ承認ノ申請書ハ樣式第一號ニ依ルベシ

第三條　令第四條ノ命令ヲ以テ定ムル雇傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主トス

第四條　前條ノ雇傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時雇傭スル勞務者ガ十人ニ達シタル日ヨリ三十日以內ニ賃金規則ヲ作成シ揭示其ノ他適宜ノ方法ニ依リ之ヲ勞務者ニ周知セシムベシ但シ賃金規則中勞務者ノ一部ニ關係アル事項ノ周知方法ハ關係勞務者ニ對シテノミ之ヲ爲スヲ以テ足ル

前項ノ雇傭主賃金規則ヲ變更シタルトキハ前項ニ準ジ直ニ之ヲ周知セシムベシ

第五條　賃金規則ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　所定就業時間數
二　賃金ノ締切ノ期間及支拂ノ期日
三　定額給ノ定アルトキハ其ノ初給額及最低額
四　請負賃金制ニ於ケル保證給又ハ單位時間給ノ定アルトキハ其ノ保證給又ハ單位時間給ノ初給額及最低額
五　單價請負、時間請負又ハ歩合請負ノ制アルトキハ其ノ請負單價、請負時間又ハ請負歩合及賃金算定方法
六　手當ヲ支給セントスルトキハ其ノ手當ノ名稱及額又ハ率竝ニ給與條件
七　白米、精麥、食事又ハ住居ノ給與ヲ爲ストキハ其ノ數量、評價額及給與條件
八　遲刻又ハ早退ノ場合ニ於ケル賃金ノ計算方法
九　賃金ノ一部ヲ貯蓄又ハ公債購入ノ爲控除スルトキハ其ノ定ノ要旨

前項各號ニ揭グル事項ノ外賃金ニ關シ必要ナル事項ハ之ヲ賃金規則ニ記載スルコトヲ得

第六條　前條第一項第三號又ハ第四號ノ事項ニ付男女別、職種別、年齡別、勤續年數別其ノ他ノ區分ニ依リ異ル定アルトキハ各別ニ之ヲ記載スベシ

作業又ハ製品ノ種類多數ナルトキハ請負單價、請負時間又ハ請負歩合ニ關スル前條第一項第五號ノ規定ニ依ル記載ハ主要ナル作業又ハ製品ニ付爲スヲ以テ足ル

同種ノ製品ノ製造又ハ同種ノ作業ガ三月以上繼續セザルトキハ其ノ製品又ハ作業ニ付定ムル請負單價、請負時間又ハ請負歩合ニ關スル前條第一項第五號ノ規定ニ依ル記載ハ之ヲ省略スルコトヲ得

前二項ノ場合ノ外雇傭主請負單價、請負時間又ハ請負歩合ニ關スル前條第一項第五號ノ規定ニ依ル記載ノ全部又ハ一部ヲ省略セントスルトキハ樺太廳長官ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第二號ニ依ルベシ

第七條　第三條ノ雇傭主賃金規則ニ依ル賃金ノ支拂ヲ爲スニ付令第十四條第一項ノ規定ニ依リ又ハ第十四條第一項、第二第十五條第一項、第二十六條第一項第三號、第二十八條第一項、第二十九條第一項若ハ第三十條第一項ノ規定ニ依リ認可又ハ許可ヲ要スル事項アル場合ニ於テ其ノ認可若ハ許可ヲ受ケザルトキ又ハ賃金ノ協定存スル場合ニ於テ賃金規則ノ記載ガ其ノ協定ノ內容タル事項ト異ルトキハ令第五條本文ノ規定ニ拘ラズ各其ノ事項ニ付テハ賃金規則ニ依リ賃金ノ支拂ヲ爲スベキ

限ニ在ラズ

第八條　令第六條ノ規定ニ依ル賃金規則ノ作成報告書ハ様式第三號、變更報告書ハ様式第四號ニ依ルベシ

第九條　令第九條第二項ノ賃金ハ左ニ掲グルモノヲ含マザルモノトス

一　早出、殘業又ハ深夜若ハ休日ノ就業ニ對スル歩增

二　實物給與但シ白米、精麥、食事及住居ノ給與ヲ除ク

三　賞　與

四　臨時ノ給與

第十條　令第十條第二項ノ命令ヲ以テ定ムル期間ハ未經驗勞務者ニ付テハ三月トシ其ノ他ノ勞務者ニ付テハ一年トス

第十一條　前條ノ未經驗勞務者トハ工場又ハ鑛山ニ於ケル左ノ各號ノ一ニ該當セザル勞務者ヲ謂フ

一　從事シツツアル勞働又ハ之ト同種ノ勞働ニ三月以上從事シタル經驗アル者

二　工場又ハ鑛山ニ於テ六月以上勞働ニ從事シタル經驗アル者

三　工業又ハ鑛業ニ關スル國立若ハ公立ノ養成施設ニシテ三月以上ノ修業期間ヲ有スルモノ又ハ私立ノ養成施設ニシテ樺太廳長官之ト同等以上ノモノト認定シタルモノノ課程ヲ修了シタル者

四　工業又ハ鑛業ニ關スル學校ニ於テ二年以上學習シタル者

五　前號ニ掲グルモノノ外國民學校初等科修了程度ヲ入學資格トシ修業年限ヲ四年以上トスル學校若ハ國民學校高等科修了程度ヲ入學資格トシ修業年限ヲ二年以上トスル學校又ハ之ト同等以上ノ學校ノ課程ヲ修了シタル者

第十二條　最高賃金ハ日日雇入ルル勞務者又ハ樺太廳長官ノ指定スル勞務者ニ付定ムルモノトス

第十三條　令第十條第二項及第十一條第二項ノ賃金ハ左ニ掲グルモノヲ含マザルモノトス

一　一月ニ付當該勞務者ノ別ニ定ムル標準報酬日額ノ二日分ヲ超エザル精勤手當

二　就業十時間ヲ超ユル早出若ハ殘業又ハ深夜若ハ休日ノ就業ニ對スル歩增

三　實物給與但シ白米、精麥、食事及住居ノ給與ヲ除ク

四　賞　與

五　臨時ノ給與

第十四條　令第九條第二項ノ規定ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ之ヲ適用セズ

一　勞務者ガ精神又ハ身體ノ障礙ニ因リ著シク作業能力劣レルモノナルトキ

二　勞務者ノ都合ニ依リ所定就業時間ニ滿タザル就業ヲ爲ストキ

三　天災事變其ノ他特別ノ事由ニ因リ雇傭主ガ樺太廳長官ノ許可ヲ受ケ最低賃金ノ額ヲ下ル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭スルトキ

雇傭主前項第一號ノ規定ニ依リ最低賃金ノ額ヲ下ル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭シタルトキハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ其ノ雇入ノ日ノ翌月十五日迄ニ様式第五號ニ依ル報告書ヲ樺太廳長官ニ提出スベシ

第一項第三號ノ許可ノ申請書ハ様式第六號ニ依リ其ノ申請ニハ第五條第一項第三號及第四號ノ最低額ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第十五條　令第十條第二項及第十一條第二項ノ規定ハ雇傭主ガ天災事變ニ際シ必要アルニ因リ又ハ左ニ掲グル場合ニ於テ樺太廳長官ノ許可ヲ受ケ最高初給賃金又ハ最高賃金ノ額ヲ超ユル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭スルトキハ之ヲ適用セズ

一　作業ノ性質上必要アルトキ

二　勞務者ガ技能特ニ優秀ナルトキ又ハ特技アルトキ

三　其ノ他特別ノ事由アルトキ

雇傭主天災事變ニ際シ必要アルニ因リ最高初給賃金又ハ最高賃金ノ額ヲ超ユル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭シタルトキハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ其ノ雇入ノ

日ヨリ十四日以內ニ様式第七號ニ依リ樺太廳長官ニ報告スベシ

第一項第一號及第三號ノ事由ニ因ル許可ノ申請書ハ様式第八號、第一項第二號ノ事由ニ因ル許可ノ申請書ハ様式第九號ニ依ルベシ

第十六條　令第十四條第一項ノ命令ノ定ムル期間(以下賃金總額計算期間ト稱ス)ハ左ノ如シ

第一期　一月一日ヨリ三月三十一日迄(毎月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ三月ノ最終賃金締切日前三月間)

第二期　四月一日ヨリ六月三十日迄(毎月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ六月ノ最終賃金締切日前三月間)

第三期　七月一日ヨリ九月三十日迄(毎月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ九月ノ最終賃金締切日前三月間)

第四期　十月一日ヨリ十二月三十一日迄(毎月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ十二月ノ最終賃金締切日前三月間)

第十七條　同一ノ工場、事業場ニ於テ令第十四條第一項各號ニ掲グル勞務者以外ノ勞務者ヲ常時三十人以上雇傭スル雇傭主ハ令第十四條第一項ノ規定ニ依リ樺太廳長官ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

前項ノ認可ノ申請書ハ様式第十號ニ依ルベシ

當該工場、事業場ニ於ケル男女及年齡別一時間平均賃金ノ實績ガ時期ニ依リ著シク異ルトキハ前項ノ申請ニハ申請前一年(一年ノ實績ナキトキハ其ノ實績アル期間)ノ賃金總額計算期間若ハ每月ノ賃金臺帳(總括表)ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第十八條　前條ノ認可ハ左ニ掲グル場合ニ之ヲ爲スモノトス

一　工場、事業場ニ於ケル勞務者ノ職種、年齡、經驗年數等ニ因リ必要アルトキ

二　工場、事業場ニ於ケル作業ノ性質又ハ環境ニ因リ特ニ必要アルトキ

三　工場、事業場ニ於ケル作業率特ニ優秀ナルトキ

四　天災事變ニ際シ其ノ他特ニ必要アルトキ

第十九條　令第十四條第一項ノ認可ハ男女及年齡別一時間平均賃金ニ依リ之ヲ爲シ且其ノ認可ノ日ヨリ一年以內ニ於テ失效ノ期限ヲ附スルモノトス

雇傭主前項ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ令第十四條第一項各號ニ掲グル勞務者以外ノ勞務者ニ對シ賃金總額計算期間ニ支拂フ賃金ノ總額ハ前項ノ男女及年齡別一時間平均賃金ニ就業時間ノ總數ヲ乘ジテ得タル額ノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ザルモノトス

前二項ノ男女及年齡別一時間平均賃金ノ適用ニ關スル勞務者ノ年齡ノ計算ハ其ノ年ノ一月一日ノ現在ニ依ルモノトス

第二十條　令第十四條第一項第四號ノ規定ニ依リ左ノ勞務者ヲ定ム

一　專ラ工場外又ハ事業場外ノ事務所ニ於テ使用スルモノ

二　日日雇入ルルモノ

第二十一條　令第十四條第一項ノ賃金ハ左ニ掲グルモノヲ含マザルモノトス

一　實物給與但シ白米、精麥、食事及住居ノ給與ヲ除ク

二　賞　與

三　臨時ノ給與

第二十二條　令第十四條第一項ノ平均時間割賃金ハ地域、業種、男女及年齡ノ別ニ之ヲ定ム

前項ノ平均時間割賃金ノ適用ニ關スル勞務者ノ年齡ノ計算ハ其ノ年ノ一月一日ノ現在ニ依ルモノトス

第二十三條　令第十四條第一項ノ就業時間ハ休憩時間ヲ含ムモノトス

第二十四條　令第十五條又ハ第十六條ノ認可ノ申請書ハ様式第十一號又ハ様式第十二號ニ依リ其ノ申請ニハ第五條第一項第五號ニ掲グル事項ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫及最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ毎月ノ賃金臺帳(總括票)ノ寫

又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第二十五條　令第十七條ノ認可ノ申請書ハ樣式第十三號ニ依リ其ノ申請ニハ初給賃金及昇給ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫並ニ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ毎月ノ賃金臺帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第二十六條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ニ就業ノ日又ハ時間ニ對スル賃金ヲ超ユル手當ヲ其ノ就業セザル日又ハ時間ニ對シ支給セントスルトキハ樺太廳長官ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第十四號ニ依リ其ノ申請ニハ手當ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第二十七條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ令第六條ノ規定ニ依リ樺太廳長官ニ報告シタル賃金規則ニ依ルノ外其ノ雇傭スル勞務者ニ實物ヲ給與セントスルトキハ樺太廳長官ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第十五號ニ依リ其ノ申請ニハ實物給與ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第二十八條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ニ賞與ヲ支給セントスルトキハ樺太廳長官ノ許可ヲ受クベシ但シ賞與ノ各支給期ニ於ケル其ノ支給ヲ受クル勞務者ニ對スル平均金額ノ毎年ノ合計額ガ七十五圓ヲ超エズ又ハ當該工場、事業場ニ於ケル勞務者ノ別ニ定ムル標準報酬日額ノ平均金額ノ四十日分ヲ超エザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第十六號ニ依リ其ノ申請ニハ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ毎月ノ賃金臺帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第二十九條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ノ全部又ハ大部分ニ時ヲ同ジクシテ臨時ノ給與ヲ爲サントスルトキハ樺太廳長官ノ許可ヲ受クベシ但シ臨時ノ給與ノ其ノ給與ヲ受クル勞務者ニ對スル平均金額ノ毎年ノ合計額ガ二十圓ヲ超エザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第十七號ニ依リ其ノ申請ニハ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ毎月ノ賃金臺帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第三十條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ勞務者ニ對シ樺太廳長官ノ定ムル價格ヲ下ル代價ヲ以テ白米、精麥又ハ食事ノ販賣ヲ爲サントスルトキハ樺太廳長官ノ許可ヲ受クベシ其ノ販賣ノ委託ヲ爲サントスルトキ亦同ジ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第十八號ニ依リ其ノ申請ニハ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ毎月ノ賃金臺帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面及手當並ニ實物給與ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第三十一條　令第二十二條ノ規定ニ依ル賃金ノ協定認可ノ申請書ハ樣式第十九號ニ依ルベシ

第三十二條　雇傭主ハ天災事變ニ際シ必要アルトキハ令第二十一條但書ノ規定ニ依リ同條ノ協定ニ依ラザルコトヲ得

雇傭主前項ノ規定ニ依リ令第二十二條ノ協定ニ依ラザリシトキハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ樣式第二十號ニ依リ十四日以內ニ樺太廳長官ニ報告スベシ

第三十三條　令第二十四條ノ規定ニ依ル賃金ノ協定ノ變更又ハ廢止ノ認可ノ申請書ハ樣式第二十一號ニ依ルベシ

第三十四條　協定ノ行ハルル區域內ニ於テ協定ニ加ハリタル雇傭主ト同種若ハ類似ノ事業ヲ營ミ若ハ協定アリタル勞務者ト同種ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主又ハ協定ヲ爲シタル組合若ハ團體ノ地區內ニ於テ組合若ハ團體ノ組合員若ハ團體員（組合又ハ團體ヲ組織スル組合又ハ團體ノ組合員又ハ團體員ヲ含ム以下同ジ）タル資格ヲ有スルモ組合若ハ團體ノ組合員若ハ團體員ニ非ザルモノニ對シテハ令第二十五條ノ規定ニ依リ協定ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第三十五條　令第二十九條ノ雇傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時雇傭スル勞務者ノ數ガ十人ニ達シタルトキハ其ノ十人ニ達シタル日ヨリ三十日以內ニ賃金臺帳ヲ作成シ勞務者ノ賃金ヲ記載スベシ但シ日日雇入ルル勞務者ノ賃金ハ記載ノ限ニ在ラズ

第三十六條　賃金臺帳ハ個人票及總括票トシ其ノ樣式ハ常時三十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル工場、鑛山ニ在リテハ樣式第二十二號及第二十三號、其ノ他ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ在リテハ樣式第二十四號及第二十五號ニ依ルベシ

雇傭主樺太廳長官ノ許可ヲ受ケタルトキハ個人票ニ付前項ノ樣式ト異ル樣式ヲ用フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル許可ノ申請書ハ樣式第二十六號ニ依ルベシ

第三十七條　賃金支拂ニ關スル賃金臺帳ノ記入ハ個人票ニ在リテハ毎月ノ賃金ニ付翌月末日迄ニ之ヲ爲シ總括票ニ在リテハ毎月ノ賃金ニ付翌月末日迄ニ毎賃金總額計算期間ノ賃金ニ付其ノ期間終了ノ翌月末日迄ニ之ヲ爲スベシ

第三十八條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時三十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ毎月ノ賃金臺帳（總括票）ノ寫ヲ翌月末日迄ニ毎賃金總額計算期間ノ賃金臺帳（總括票）ノ寫ヲ其ノ期間終了ノ翌月末日迄ニ樺太廳長官ニ報告スベシ

第三十九條　賃金臺帳ハ其ノ最後ノ記入ヲ爲シタル後三年間之ヲ保存スベシ

第四十條　令第三十一條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ樣式第二十七號ニ依ル

第四十一條　樺太廳長官第二條第三號ノ承認又ハ第六條第四項、第二十六條第一項、第二十七條第一項、第二十八條第一項、第二十九條第一項若ハ第三十六條第二項ノ許可ノ申請書ヲ受理シタル後三十日以內ニ其ノ申請事項ニ關シ雇傭主ニ對シ文書ニ依ル指令又ハ照會若ハ通知ヲ發セザルトキハ其ノ期間滿了ノ日ニ於テ申請事項ニ付承認又ハ許可アリタルモノトス申請事項ニ關スル照會ニ對スル回答書ヲ受領シ又ハ申請事項ニ關シ雇傭主ニ通知ヲ發シタル後三十日以內ニ申請事項ニ關シ文書ニ依ル指令又ハ照會若ハ通知ヲ發セザルトキ亦同ジ

第四十二條　本令ノ規定ニ依ル申請又ハ報告ニ關シ雇傭主ニ於テ代理人ヲ定メタルトキハ樺太廳長官ニ屆出ヅベシ其ノ代理權ヲ解除シタルトキ亦同ジ

第四十三條　本令ノ規定ニ基キ樺太廳長官ニ對シ爲スベキ申請又ハ報告ハ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所毎ニ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ノ所在地ヲ管轄スル所轄警察署長ヲ經由スベシ

附　則

第四十四條　本令ハ昭和十六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四十五條　令施行ノ際同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ニ付テハ第四條ノ期限ハ令施行ノ日ヨリ六十日トス

第四十六條　令施行ノ際現ニ從前ノ賃金統制令施行規則第六條第三號ノ規定ニ依リ受ケタル許可ハ第十四條第一項第三號又ハ第十五條第一項ノ規定ニ依リ受ケタルモノト看做ス

第四十七條　令施行ノ際現ニ賃金臨時措置令施行規則第四條ノ規定ニ依リ賃金臨時措置令第十六條第一項ノ規定ニ依ル定ニ

依ラザルコトニ付許可ヲ受ケタル雇傭主ハ第十五條第一項ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第四十八條　第二十六條ノ規定ニ依リ其ノ支給ニ付樺太廳長官ノ許可ヲ受クベキ手當ヲ令施行ノ際現ニ支給シアル雇傭主ハ令施行ノ日ヨリ九十日以内ヲ限リ其ノ支給ニ付同條ノ許可ヲ受クルヲ要セズ

第四十九條　第二十七條ノ規定ニ依リ其ノ給與ニ付樺太廳長官ノ許可ヲ受クベキ實物給與ヲ令施行ノ際現ニ給與シアル雇傭主ハ令施行ノ日ヨリ九十日以内ヲ限リ其ノ給與ニ付同條ノ許可ヲ受クルヲ要セズ

第五十條　令施行ノ際現ニ勞務者ニ對シ白米、精麥、又ハ食事ノ販賣ヲ爲シ又ハ其ノ販賣ノ委託ヲ爲シアル雇傭主ニシテ第三十條ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベキモノハ令施行ノ日ヨリ九十日以内ヲ限リ其ノ販賣又ハ委託ニ付同條ノ許可ヲ受クルヲ要セズ

第五十一條　令施行ノ際同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ニ付テハ第三十五條ノ期限ハ令施行ノ日ヨリ九十日トス

第五十二條　從前ノ賃金統制令施行規則第七條ノ規定又ハ賃金臨時措置令施行規則第十八條ノ規定ニ依リ作成シタル賃金臺帳ハ其ノ最後ノ記入ヲ爲シタル日ヨリ三年間之ヲ保存スベシ

第五十三條　從前ノ賃金統制令施行規則第七條及第八條ノ規定ハ令施行ノ日ヨリ九十日間仍其ノ效力ヲ有ス但シ雇傭主ガ本令ノ規定ニ依リ賃金臺帳ヲ作成シ第三十八條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲ストキハ其ノ雇傭主ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五十四條　賃金臨時措置令施行規則第一條乃至第十一條及第二十條ノ規定ハ船員ニ關スルモノヲ除クノ外當分ノ内仍其ノ效力ヲ有スルモノトス但シ賃金ノ總額ニ付令第十四條ノ規定ニ依ル制限ヲ受クベキ勞務者ノ賃金ニ付テハ同條ノ平均時間割賃金定マリタルトキハ其ノ效力ヲ失フ

前項但書ノ規定ニ拘ラズ賃金臨時措置令施行規則第一條乃至第十一條及第二十條ノ規定ハ令第十四條ノ平均時間割賃金定マリタル時迄ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ仍其ノ效力ヲ有ス

第五十五條　賃金臨時措置令施行規則第十八條ノ規定ハ前條ノ期間仍其ノ效力ヲ有スルモノトス但シ常時雇傭スル勞務者ガ十人ニ滿タザル雇傭主ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

雇傭主ガ本令ノ規定ニ依リ賃金臺帳ヲ作成シタルトキハ賃金臨時措置令施行規則第十八條ノ規定ハ前項ノ規定ニ拘ラズ其ノ作成ノ日ヨリ其ノ雇傭主ニ付其ノ效力ヲ失フ但シ同日以前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ同日後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

第五十六條　令第十四條第一項ノ平均時間割賃金ノ定マリタル事業ヲ營ム雇傭主ノ其ノ雇傭スル令第十四條第一項各號ニ掲グル勞務者以外ノ勞務者ガ常時三十人ニ滿タザル場合ニ於テ雇傭主ノ之ニ對シ賃金總額計算期間ニ支拂フ賃金ノ總額ガ平均時間割賃金ニ其ノ就業時間ノ總數ヲ乘ジテ得タル額ノ合計額ヲ超エザルトキハ賃金臨時措置令第一條乃至第十四條、第十九條、第二十三條、第二十五條第一項及第二十七條第一項ノ規定ハ其ノ雇傭主ノ雇傭スル令第十四條第一項各號ニ掲グル勞務者以外ノ勞務者ノ賃金ニ關シテハ之ヲ適用セズ

（樣式省略）

賃金統制令施行規則

（昭和十六年七月十八日南洋廳令第二十四號）

第一條　賃金統制令（以下令ト稱ス）第二條ノ規定ニ依リ令第二條各號ニ掲グル事業以外ノ事業ニ於ケル左ノ勞働ヲ指定ス

一　場屋又ハ物品ノ監守其ノ他之ニ類スル勞働

二　場屋又ハ道路ノ清掃其ノ他之ニ類スル勞働

三　小使、給仕其ノ他之ニ類スル勞働

四　寫字、印字、電話交換其ノ他之ニ類スル勞働

五　機械又ハ器具ノ操作、檢査、修繕其ノ他之ニ類スル勞働

六　物ノ運搬又ハ配達ノ勞働

第二條　左ニ掲グル者ハ令第二條但書ノ規定ニ依リ勞働者タラザルモノトス

一　料理屋業又ハ飲食店業ニ從事スル者

二　主トシテ家事ニ從事スル者

三　雇傭主ニ於テ南洋廳長官ノ承認ヲ受ク令ノ適用ヲ除外シタル者

前項第三號ノ承認ノ申請書ハ樣式第一號ニ依ルベシ

第三條　令第四條ノ命令ヲ以テ定ムル雇傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主トス

第四條　前條ノ雇傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時雇傭スル勞務者ガ十人ニ達シタル日ヨリ三十日以内ニ賃金規則ヲ作成シ掲示其ノ他適宜ノ方法ニ依リ之ヲ勞務者ニ周知セシムベシ但シ賃金規則中勞務者ノ一部ニ關係アル事項ノ周知方法ハ關係勞務者ニ對シテノミ之ヲ爲スヲ以テ足ル

前項ノ雇傭主賃金規則ヲ變更シタルトキハ前項ニ準ジ直ニ之ヲ周知セシムベシ

第五條　賃金規則ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　所定就業時間數

二　賃金ノ締切ノ期間及支拂ノ期日

三　定額給ノ定アルトキハ其ノ初給額及最低額

四　請負賃金制ニ於ケル保證給又ハ單位時間給ノ定アルトキハ其ノ保證給又ハ單位時間給ノ初給額及最低額

五　單價請負、時間請負又ハ歩合請負ノ制アルトキハ其ノ請負單價、請負時間又ハ請負歩合及賃金算定方法

六　手當ヲ支給セントスルトキハ其ノ手當ノ名稱及額又ハ奉並ニ給與條件

七　白米、精麥、食事又ハ住居ノ給與ヲ爲ストキハ其ノ數量、評價額及給與條件

八　遞刻又ハ早退ノ場合ニ於ケル賃金ノ計算方法

九　賃金ノ一部ヲ貯蓄又ハ公債購入ノ爲控除スルトキハ其ノ定ノ要旨項

前項各號ニ掲グル事項ノ外賃金ニ關シ必要ナル事項ハ之ヲ賃金規則ニ記載スルコトヲ得

第六條　前條第一項第三號又ハ第四號ノ事項ニ付男女別、職種別、年齡別、勤續年數別其ノ他ノ區分ニ依リ異ル定アルトキハ各別ニ之ヲ記載スベシ

作業又ハ製品ノ種類多數ナルトキハ請負單價、請負時間又ハ請負歩合ニ關スル前條第一項第五號ノ規定ニ依ル記載ハ主要ナル作業又ハ製品ニ付爲スヲ以テ足ル

同種ノ製品ノ製造又ハ同種ノ作業ガ三月以上繼續セザルトキハ其ノ要品又ハ作業ニ付定ムル請負單價、請負時間又ハ請負歩合ニ關スル前條第一項第五號ノ規定ニ依ル記載ハ之ヲ省略スルコトヲ得

前二項ノ場合ノ外雇傭主請負單價、請負時間又ハ請負歩合ニ關スル前條第一項第五號ノ規定ニ依ル記載ノ全部又ハ一部ヲ省略セントスルトキハ南洋廳長官ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第二號ニ依ルベシ

第七條　第三條ノ雇傭主賃金規則ニ依ル賃金ノ支拂ヲ爲スニ付令第十四條第一項ノ規定ニ依リ又ハ第十四條第一項第三號、第十五條第一項、第二十六條第一項、第二十八條第一項、第二十九條第一項若ハ第三十條第一項ノ規定ニ依リ認可又ハ許可ヲ要スル事項アル場合ニ於テ其ノ認可若ハ許可ヲ受ケザルトキ又ハ賃金ノ協定存

スル場合ニ於テ賃金規則ノ記載ガ其ノ協定ノ內容タル事項ト異ルトキハ令第五條本文ノ規定ニ拘ラズ各其ノ事項ニ付テハ賃金規則ニ依リ賃金ノ支拂ヲ爲スベキ限ニ在ラズ

第八條　令第六條ノ規定ニ依ル賃金規則ノ報告ニハ事業ノ種類、從業場所ノ名稱及所在地竝ニ常時雇傭スル男女別勞務者數ヲ具スベシ

第九條　令第九條第二項ノ賃金ハ左ニ掲グルモノヲ含マザルモノトス

一　早出、殘業又ハ深夜若ハ休日ノ就業ニ對スル歩增

二　實物給與但シ白米、精麥、食事及住居ノ給與ヲ除ク

三　賞與

四　臨時ノ給與

第十條　令第十條第二項ノ命令ヲ以テ定ムル期間ハ未經驗勞務者ニ付テハ三月トシ其ノ他ノ勞務者ニ付テハ一年トス

第十一條　前條ノ未經驗勞務者トハ工場又ハ鑛山ニ於ケル左ノ各號ノ一ニ該當セザル勞務者ヲ謂フ

一　從事シツツアル勞働又ハ之ト同種ノ勞働ニ三月以上從事シタル經驗アル者

二　工場又ハ鑛山ニ於テ六月以上勞働ニ從事シタル經驗アル者

三　工業又ハ鑛業ニ關スル國立若ハ公立ノ養成施設ニシテ三月以上ノ修業期間ヲ有スルモノ又ハ私立養成施設ニシテ南洋廳長官ニ於テ之ト同等以上ノモノト認定シタルモノノ課程ヲ修了シタル者

四　工業又ハ鑛業ニ關スル學校ニ於テ二年以上學習シタル者

五　前號ニ掲グルモノノ外國民學校初等科修了程度ヲ入學資格トシ修業年限ヲ四年以上トスル學校若ハ國民學校高等科卒業程度ヲ入學資格トシ修業年限ヲ二年以上トスル學校又ハ之ト同等以上ノ學校ノ課程ヲ修了シタル者

第十二條　最高賃金ハ日日雇入ルル勞務者又ハ南洋廳長官ノ指定スル勞務者ニ付定ムルモノトス

第十三條　令第十條第二項及第十一條第二項ノ賃金ハ左ニ掲グルモノヲ含マザルモノトス

一　一月ニ付當該勞務者ノ南洋廳長官ノ定ムル賃金日額ノ二日分ヲ超エザル精勤手當

二　就業十時間ヲ超ユル早出若ハ殘業又ハ深夜若ハ休日ノ就業ニ對スル歩增

三　實物給與但シ白米、精麥、食事及住居ノ給與ヲ除ク

四　賞與

五　臨時ノ給與

第十四條　令第九條第二項ノ規定ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ之ヲ適用セズ

一　勞務者ガ精神又ハ身體ノ障礙ニ因リ著シク作業能力劣レルモノナルトキ

二　勞務者ノ都合ニ依リ所定就業時間ニ滿タザル就業ヲ爲ストキ

三　天災事變其ノ他特別ノ事由ニ因リ雇傭主ガ南洋廳長官ノ許可ヲ受ケ最低賃金ノ額ヲ下ル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭スルトキ

雇傭主前項第一號ノ規定ニ依リ最低賃金ノ額ヲ下ル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭シタルトキハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ其ノ雇入ノ日ノ翌月十五日迄ニ樣式第三號ニ依ル報告書ヲ南洋廳長官ニ提出スベシ

第一項第三號ノ許可ノ申請書ハ樣式第四號ニ依リ其ノ申請ニハ第五條第一項第三號及第四號ノ最低額ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第十五條　令第十條第二項及第十一條第二項ノ規定ハ雇傭主ガ天災事變ニ際シ必要アルニ因リ又ハ左ニ掲グル場合ニ於テ南洋廳長官ノ許可ヲ受ケ最高初給賃金又ハ最高賃金ノ額ヲ超ユル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭スルトキハ之ヲ適用セズ

一　作業ノ性質上必要アルトキ

二　勞務者ガ技能特ニ優秀ナルトキ又ハ特技アルトキ

三　其ノ他特別ノ事由アルトキ

雇傭主天災事變ニ際シ必要アルニ因リ最高初給賃金又ハ最高賃金ノ額ヲ超ユル賃金ヲ以テ勞務者ヲ雇傭シタルトキハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ其ノ雇入ノ日ヨリ十四日以內ニ其ノ要領ヲ具シ南洋廳長官ニ報告スベシ

第一項第一號及第三號ノ事由ニ因ル許可ノ申請書ハ樣式第五號、第一項第二號ノ事由ニ因ル許可ノ申請書ハ樣式第六號ニ依ルベシ

第十六條　令第十四條第一項ノ命令ノ定ムル期間(以下賃金總額計算期間ト稱ス)ハ左ノ如シ

第一期　一月一日ヨリ三月三十一日迄(毎月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ三月ノ最終賃金締切日前三月間)

第二期　四月一日ヨリ六月三十日迄(毎月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ六月ノ最終賃金締切日前三月間)

第三期　七月一日ヨリ九月三十日迄(毎月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ九月ノ最終賃金締切日前三月間)

第四期　十月一日ヨリ十二月三十一日迄(毎月一定ノ賃金締切日ノ定アルトキハ十二月ノ最終賃金締切日前三月間)

第十七條　同一ノ工場、事業場ニ於テ令第十四條第一項各號ニ掲グル勞務者以外ノ勞務者ヲ常時三十人以上雇傭スル雇傭主ハ令第十四條第一項ノ規定ニ依リ南洋廳長官ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

前項ノ認可ノ申請書ハ樣式第七號ニ依ルベシ

當該工場、事業場ニ於ケル男女及年齡別一時間平均賃金ノ實績ガ時期ニ依リ著シク異ナルトキハ前項ノ申請ニハ申請前一年(一年ノ實績ナキトキハ其ノ實績アル期間)ノ賃金總額計算期間若ハ毎月ノ賃金臺帳(總括票)ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第十八條　前條ノ認可ハ左ニ掲グル場合ニ之ヲ爲スモノトス

一　工場、事業場ニ於ケル勞務者ノ職種、年齡、經驗年數等ニ因リ必要アルトキ

二　工場、事業場ニ於ケル作業ノ性質又ハ環境ニ因リ特ニ必要アルトキ

三　工場、事業場ニ於ケル作業能率特ニ優秀ナルトキ

四　天災事變ニ際シ其ノ他特ニ必要アルトキ

第十九條　令第十四條第一項ノ認可ハ男女及年齡別一時間平均賃金ニ依リ之ヲ爲シ且其ノ認可ノ日ヨリ一年以內ニ於テ失效ノ期限ヲ附スルモノトス

雇傭主前項ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ令第十四條第一項各號ニ掲グル勞務者以外ノ勞務者ニ對シ賃金總額計算期間ニ支拂フ賃金ノ總額ハ前項ノ男女及年齡別一時間平均賃金ニ就業時間ノ總數ヲ乘ジテ得タル額ノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ザルモノトス

前二項ノ男女及年齡別一時間平均賃金ノ適用ニ關スル勞務者ノ年齡ノ計算ハ其ノ年ノ一月一日ノ現在ニ依ルモノトス

第二十條　令第十四條第一項第四號ノ規定ニ依リ左ノ勞務者ヲ定ム

一　專ラ工場外又ハ事業場外ノ事務所ニ於テ使用スルモノ

二　日日雇入ルルモノ

第二十一條　令第十四條第一項ノ賃金ハ左ニ掲グルモノヲ含マザルモノトス

一　實物給與但シ白米、精麥、食事及住居ノ給與ヲ除ク

二　賞與

三　臨時ノ給與

第二十二條　令第十四條第一項ノ平均時間割賃金ハ地域、業種、男女及年齡ノ別ニ之ヲ定ム

前項ノ平均時間割賃金ノ適用ニ關スル勞務者ノ年齡ノ計算ハ其ノ年ノ一月一日ノ現在ニ依ルモノトス

第二十三條　令第十四條第一項ノ就業時間

ハ休憩時間ヲ含ムモノトス

第二十四條　令第十五條又ハ第十六條ノ認可ノ申請書ハ樣式第八號又ハ樣式第九號ニ依リ其ノ申請ニハ第五條第一項第五號ニ掲グル事項ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫及最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ毎月ノ賃金臺帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第二十五條　令第十七條ノ認可ノ申請書ハ樣式第十號ニ依リ其ノ申請ニハ初給賃金及昇給ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫竝ニ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ毎月ノ賃金臺帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第二十六條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ニ就業ノ日又ハ時間ニ對スル賃金ヲ超ユル手當ヲ其ノ就業セザル日又ハ時間ニ對シ支給セントスルトキハ南洋廳長官ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第十一號ニ依リ其ノ申請ニハ手當ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第二十七條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ令第六條ノ規定ニ依リ南洋廳長官ニ報告シタル賃金規則ニ依ルノ外其ノ雇傭スル勞務者ニ實物ヲ給與セントスルトキハ南洋廳長官ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第十二號ニ依リ其ノ申請ニハ實物給與ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第二十八條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ニ賞與ヲ支給セントスルトキハ南洋廳長官ノ許可ヲ受クベシ但シ賞與ノ各支給期ニ於ケル其ノ支給ヲ受クル勞務者ニ對スル平均金額ノ毎年ノ合計額ガ六十圓ヲ超エザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第十三號ニ依リ其ノ申請ニハ最近ノ賃金總額計算期間若クハ最近三月間ノ毎月ノ賃金臺帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第二十九條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ノ全部又ハ大部分ニ時ヲ同ジクシテ臨時ノ給與ヲ爲サントスルトキハ南洋廳長官ノ許可ヲ受クベシ但シ臨時ノ給與ノ其ノ給與ヲ受クル勞務者ニ對スル平均金額ノ毎年ノ合計額ガ二十圓ヲ超エザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第十四號ニ依リ其ノ申請ニハ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ毎月ノ賃金臺帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面ヲ添附スベシ

第三十條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ勞務者ニ對シ南洋廳長官ノ定ムル價格ヲ下ル代價ヲ以テ白米、精麥又ハ食事ノ販賣ヲ爲サントスルトキハ南洋廳長官ノ許可ヲ受クベシ其ノ販賣ノ委託ヲ爲サントスルトキ亦同ジ

前項ノ許可ノ申請書ハ樣式第十五號ニ依リ其ノ申請ニハ最近ノ賃金總額計算期間若ハ最近三月間ノ毎月ノ賃金臺帳（總括票）ノ寫又ハ之ニ準ズベキ書面及手當竝ニ實物給與ニ關スル賃金規則ノ記載ノ寫ヲ添附スベシ

第三十一條　令第二十二條ノ規定ニ依ル賃金ノ協定ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　協定ヲ爲シタル雇傭主ノ氏名及住所又ハ協定ヲ爲シタル組合若ハ團體ノ名稱及所在地
二　協定ノ內容
三　協定ノ行ハルル區域
四　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第三十二條　雇傭主ハ天災事變ニ際シ必要アルトキハ令第二十一條但書ノ規定ニ依リ同條ノ協定ニ依ラザルコトヲ得

雇傭主前項ノ規定ニ依リ令第二十二條ノ協定ニ依ラザリシトキハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ其ノ要領ヲ具シ十四日以內ニ南洋廳長官ニ報告スベシ

第三十三條　令第二十四條ノ規定ニ依ル賃金ノ協定ノ變更又ハ廢止ノ認可ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　協定ヲ爲シタル雇傭主ノ氏名及住所又ハ協定ヲ爲シタル組合若ハ團體ノ名稱及所在地
二　廢止又ハ變更スベキ事項及其ノ內容
三　廢止又ハ變更セントスル協定ノ行ハルル區域
四　廢止又ハ變更ヲ要スル理由
五　其ノ他參考トナルベキ事項

第三十四條　協定ニ加ハリタル雇傭主ト同種若ハ類似ノ事業ヲ營ミ若ハ協定アリタル勞務者ト同種ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主又ハ協定ヲ爲シタル組合若ハ團體ノ地區內ニ於テ組合若ハ團體ノ組合員若ハ團體員（組合又ハ團體ヲ組織スル組合又ハ團體ノ組合員又ハ團體員ヲ含ム以下同ジ）タル資格ヲ有スルモ組合若ハ團體ノ組合員若ハ團體員ニ非ザルモノニ對シテハ令第二十五條ノ規定ニ依リ協定ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第三十五條　令第二十九條ノ雇傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時雇傭スル勞務者ノ數ガ十人ニ達シタルトキハ其ノ十人ニ達シタル日ヨリ三十日以內ニ賃金臺帳ヲ作製シ勞務者ノ賃金ヲ記載スベシ但シ日日雇入ルル勞務者ノ賃金ハ記載ノ限ニ在ラズ

第三十六條　賃金臺帳ハ個人票及總括票トシ其ノ樣式ハ常時三十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル工場、鑛山ニ在リテハ樣式第十六號及第十七號、其ノ他ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ在リテハ樣式第十八號及第十九號ニ依ルベシ

雇傭主南洋廳長官ノ許可ヲ受ケタルトキハ個人票ニ付前項ノ樣式ト異ル樣式ヲ用フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル許可ノ申請ニハ雇傭主ノ用ヒントスル樣式及申請ノ理由ヲ具スベシ

第三十七條　賃金支拂ニ關スル賃金臺帳ノ記入ハ個人票ニ在リテハ毎月ノ賃金ニ付翌月末日迄ニ之ヲ爲シ總括票ニ在リテハ毎月ノ賃金ニ付翌月末日迄ニ毎賃金總額計算期間ノ賃金ニ付其ノ期間終了ノ翌月末日迄ニ之ヲ爲スベシ

第三十八條　同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時三十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ毎月ノ賃金臺帳（總括票）ノ寫ヲ翌月末日迄ニ毎賃金總額計算期間ノ賃金臺帳（總括票）ノ寫ヲ其ノ期間終了ノ翌月末日迄ニ南洋廳長官ニ報告スベシ

第三十九條　賃金臺帳ハ其ノ最後ノ記入ヲ爲シタル後三年間之ヲ保存スベシ

第四十條　令第三十一條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ樣式第二十號ニ依ル

第四十一條　南洋廳長官第二條第三號ノ承認又ハ第六條第四項、第二十六條第一項、第二十七條第一項、第二十八條第一項、第二十九條第一項若ハ第三十六條第二項ノ許可ノ申請書ヲ受理シタル後三十日以內ニ其ノ申請事項ニ關シ雇傭主ニ對シ文書ニ依ル指令又ハ照會若ハ通知ヲ發セザルトキハ其ノ期間滿了ノ日ニ於テ申請事項ニ付承認又ハ許可アリタルモノトス申請事項ニ關スル照會ニ對スル回答書ヲ受領シ又ハ申請事項ニ關シ雇傭主ニ通知ヲ發シタル後三十日以內ニ申請事項ニ關シ文書ニ依ル指令又ハ照會若ハ通知ヲ發セザルトキ亦同ジ

第四十二條　本令ノ規定ニ基キ南洋廳長官ニ對シ爲スベキ申請又ハ報告ハ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所毎ニ區分シ之ヲ爲スベシ

第四十三條　本令ノ規定ニ依ル申請又ハ報告ニ關シ雇傭主ニ於テ代理人ヲ定メタルトキハ南洋廳長官ニ屆出ヅベシ其ノ代理權ヲ解除シタルトキ亦同ジ

附則

第四十四條　本令ハ昭和十六年七月一日ゟ

リ之ヲ適用ス

第四十五條　令施行ノ際同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ニ付テハ第四條ノ期限ハ令施行ノ日ヨリ六十日トス

第四十六條　令施行ノ際現ニ從前ノ賃金統制令施行規則第六條第三號ノ規定ニ依リ受ケタル許可ハ第十四條第一項第三號又ハ第十五條第一項ノ規定ニ依リ受ケタルモノト看做ス

第四十七條　令施行ノ際現ニ賃金臨時措置令施行規則第四條ノ規定ニ依リ賃金臨時措置令第十六條第一項ノ規定ニ依ル定ニ依ラザルコトニ付許可ヲ受ケタル雇傭主ハ第十五條第一項ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第四十八條　第二十六條ノ規定ニ依リ其ノ支給ニ付南洋廳長官ノ許可ヲ受クベキ手當ヲ令施行ノ際現ニ支給シアル雇傭主ハ令施行ノ日ヨリ九十日以內ヲ限リ其ノ支給ニ付同條ノ許可ヲ受クルヲ要セズ

第四十九條　第二十七號ノ規定ニ依リ其ノ給與ニ付南洋廳長官ノ許可ヲ受クベキ實物給與ヲ令施行ノ際現ニ給與シアル雇傭主ハ令施行ノ日ヨリ九十日以內ニ限リ其ノ給與ニ付同條ノ許可ヲ受クルヲ要セズ

第五十條　令施行ノ際現ニ勞務者ニ對シ白米、精麥又ハ食事ノ販賣ヲ爲シ又ハ其ノ販賣ノ委託ヲ爲シアル雇傭主ニシテ第三十條ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベキモノハ令施行ノ日ヨリ九十日以內ヲ限リ其ノ販賣又ハ委託ニ付同條ノ許可ヲ受クルヲ要セズ

第五十一條　令施行ノ際同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ニ付テハ第三十五條ノ期限ハ令施行ノ日ヨリ九十日トス

第五十二條　從前ノ賃金統制令施行規則第七條ノ規定又ハ賃金臨時措置令施行規則第十八條ノ規定ニ依リ作成シタル賃金臺帳ハ其ノ最後ノ記入ヲ爲シタル日ヨリ三年間之ヲ保存スベシ

第五十三條　從前ノ賃金統制令施行規則第八條及第九條ノ規定ハ令施行ノ日ヨリ九十日間仍其ノ效力ヲ有ス但シ雇傭主ガ本令ノ規定ニ依リ賃金臺帳ヲ作成シ第三十八條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲ストキハ其ノ雇傭主ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五十四條　賃金臨時措置令施行規則第一條乃至第十一條、第二十條及第二十一條ノ規定ハ船員ニ關スルモノヲ除クノ外當分ノ內仍其ノ效力ヲ有スルモノトス但シ賃金ノ總額ニ付令第十四條ノ規定ニ依ル制限ヲ受クベキ勞務者ノ賃金ニ付テハ同條ノ平均時間割賃金定マリタルトキハ其ノ效力ヲ失フ

前項但書ノ規定ニ拘ラズ賃金臨時措置令施行規則第一條乃至第十一條、第二十條及第二十一條ノ規定ハ令第十四條ノ平均時間割賃金定マリタルトキ迄ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ仍其ノ效力ヲ有ス

第五十五條　賃金臨時措置令施行規則第十八條ノ規定ハ前條ノ期間仍其ノ效力ヲ有スルモノトス但シ常時雇傭スル勞務者ガ十人ニ滿タザル雇傭主ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

雇傭主ガ本令ノ規定ニ依リ賃金臺帳ヲ作成シタルトキハ賃金臨時措置令施行規則第十八條ノ規定ハ前項ノ規定ニ拘ラズ其ノ作成ノ日ヨリ其ノ雇傭主ニ付其ノ效力ヲ失フ但シ同日以前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ同日後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

第五十六條　令第十四條第一項ノ平均時間割賃金ノ定マリタル事業ヲ營ム雇傭主ノ其ノ雇傭スル令第十四條第一項各號ニ揭グル勞務者以外ノ勞務者ガ常時三十人ニ滿タザル場合ニ於テ雇傭主ノ之ニ對シ賃金總額計算期間ニ支拂フ賃金ノ總額ガ平均時間割賃金ニ其ノ就業時間ノ總數ヲ乘ジテ得タル額ノ合計額ヲ超エザルトキハ賃金臨時措置令第一條乃至第十四條、第十九條、第二十三條、第二十五條第一項及第二十七條第一項ノ規定ハ其ノ雇傭主ノ雇傭スル令第十四條第一項各號ニ揭グル勞務者以外ノ勞務者ノ賃金ニ關シテハ之ヲ適用セズ

（様式省略）

船員給與統制令

（昭和十五年十月十九日 勅令第六百七十六號）

第一條　國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ）第六條ノ規定ニ基ク船員ノ給與ニ關スル命令及同法第十一條ノ規定ニ基ク會社ノ經理ニ關スル命令中船員ノ給與ニ關スルモノハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ニ於テ給與ト稱スルハ給料、手當、賞與其ノ他名稱ノ如何ヲ問ハズ船員ガ勞務ノ對償トシテ船舶所有者ヨリ受クル金錢、物其ノ他ノ利益ヲ謂フ

第三條　船舶所有者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ本令施行ノ際現ニ存スル給與ノ準則ヲ遞信大臣ニ報告スベシ

遞信大臣前項ノ給與ノ準則ガ給與ノ統制上不適當ナリト認ムルトキハ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第四條　船舶所有者給與ノ準則ヲ定メ又ハ之ヲ變更若ハ廢止セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第五條　船舶所有者給與ノ準則ニ依ラズシテ給與ヲ支給セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第六條　船舶所有者相互間ニ於テ又ハ船舶所有者ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノニ於テ給與ニ關シ協定ヲ爲シ遞信大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノノ構成員タル船舶所有者ニ對シテハ前條ノ規定ノ適用ニ付テハ協定ニ定メタル事項ニ關スル限リ其ノ協定ヲ以テ給與ノ準則ト看做ス

第七條　船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ前條ノ協定ヲ變更又ハ廢止セントスルトキハ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第八條　遞信大臣給與ノ協定ヲ許可シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ協定ニ加ハラザル船舶所有者ニ對シ其ノ協定ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第五條ノ規定ノ適用ニ付テハ協定ニ定メタル事項ニ關スル限リ其ノ協定ヲ以テ給與ノ準則ト看做ス

第九條　遞信大臣必要アリト認ムルトキハ船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノニ對シ給與ノ協定ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令ニ依リ協定ヲ爲シタルトキハ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第十條　遞信大臣必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ初任給、昇給、手當、賞與其ノ他給與ニ關シ定ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ遞信大臣ノ定メタル事項ニ付テハ船舶所有者ハ給與ノ準則又ハ協定ニ依ラズ前項ノ定ニ依ルコトヲ要ス但シ遞信大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條　遞信大臣必要アリト認ムルトキハ給與ノ支給方法ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十二條　遞信大臣必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ給與ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ船舶、事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿書類ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第十三條　本令ハ國又ハ道府縣ニハ之ヲ適

用セズ

本令ハ國際條約又ハ之ニ基ク協定中船員給與ニ關スル定アルトキ其ノ制限ニ抵觸スル場合ニ於テハ之ヲ適用セズ

第十四條　本令及本令ニ基キテ發スル命令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテハ船舶管理人ニ、船舶貸借ノ場合ニ在リテハ船舶借入人ニ之ヲ適用ス

第十五條　遞信大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ遞信局長又ハ地方長官（東京府ニ於テハ警視總監）ニ委任スルコトヲ得

第十六條　本令中遞信大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トシ遞信局長トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ各朝鮮總督府遞信局長又ハ臺灣總督府交通局總長トシ地方長官トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ各道知事又ハ州知事若ハ廳長トシ道府縣トアルハ朝鮮、臺灣又ハ南洋群島ニ在リテハ各道、州若ハ廳又ハ南洋群島地方費トス

附則

本令ハ昭和十五年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十五年十一月五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年勅令第七百五號賃金臨時措置令ハ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ船員ニ關スルモノニ限リ昭和十五年十一月四日迄其ノ效力ヲ有ス但シ同日以前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ同日後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

船員給與統制令施行規則

（昭和十五年十月十九日遞信省令第五十四號）

第一條　船舶所有者ノ所有船舶（借入船舶ヲ含ム）ノ合計總噸數ガ五十噸未滿ニシテ且其ノ船舶（漁船ニ在リテハ總噸數五噸以上ノ船舶）ガ五隻未滿ナル場合ニハ船員給與統制令（以下令ト稱ス）第三條乃至第五條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第二條　令第三條第一項ノ規定ニ依ル給與ノ準則ノ報告ハ本令施行後一月以內ニ遞信大臣ニ之ヲ爲スベシ

第三條　給與ノ準則ヲ定メ又ハ之ヲ變更若ハ廢止セントスル者ハ其ノ內容（變更ノ場合ニ在リテハ新舊對照ヲ附スベシ）及事由ヲ記載シタル許可申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第四條　船員ノ全部若ハ一部ニ對シ給與ノ準則ニ依ラズシテ給與ヲ支給セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一　支給セントスル給與ノ種類、額及率
二　支給ヲ受クル船員ノ職務別員數
三　支給期
四　支給セントスル事由
五　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第五條　船員ノ俸給ニ對シ給與ノ準則ニ依ラズシテ給與ヲ支給セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ所轄遞信局長ニ提出スベシ

一　船員ノ氏名及年齡
二　履歷及海技免狀其ノ他ノ資格證明書ノ種類
三　職務及雇入期間
四　乘組船舶ノ種類、名稱及總噸數
五　航行區域及就航航路
六　支給セントスル給與ノ種類、額及率
七　支給期
八　支給セントスル事由
九　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第六條　給與ニ關スル協定ヲ爲シ許可ヲ受ケントスル者ハ協定ヲ爲シタル者ノ代表者名ヲ以テ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一　協定ヲ爲シタル者ノ氏名又ハ名稱及其ノ住所又ハ主タル事務所所在地
二　協定ノ內容
三　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第七條　給與ニ關スル協定ヲ變更又ハ廢止

セントスル者ハ其ノ內容（變更ノ場合ニ在リテハ新舊對照ヲ附スベシ）及事由ヲ記載シタル許可申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第八條　令第十條ノ規定ニ依ル給與ノ額其ノ他ノ條件ニ關スル遞信大臣ノ指定ハ告示シテ之ヲ爲ス

令第十條ノ規定ニ依ル特定ノ船舶所有者ニ對スル危險手當、遭難手當其ノ他ノ給與ノ支給ニ關スル命令ハ告知シテ之ヲ爲ス

第九條　令第十條第二項但書ノ規定ニ依ル許可ノ申請ニ付テハ第四條ノ規定ヲ準用ス

第十條　常時百人以上ノ船員ヲ使用スル船舶所有者ハ三月、六月、九月及十二月ノ各月ニ支給シタル給與ノ報告書ヲ第一號書式ニ依リ各翌月末日迄ニ遞信大臣ニ提出スベシ

第十一條　令第十二條第二項ノ證票ハ第二號書式ニ依ル

第十二條　第二條乃至第四條（第九條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依ル報告書及許可申請書ニハ左ノ事項ヲ附記スベシ

一　會社ニ在リテハ資本金額及拂込資本金額
二　航行區域別船舶ノ隻數及合計總噸數
三　船員ノ職務別員數

第十三條　本令ニ依ル報告書及許可申請書ニシテ遞信大臣ニ提出スルモノハ各正副二通ヲ作成シ所轄遞信局長ヲ經由スベシ但シ第十條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十四條　令及本令中遞信大臣トアルハ沿海區域ヲ航行スル船舶ノ船員ノ給與ニ付テハ遞信局長トシ遞信大臣又ハ遞信局長トアルハ船員法第一條第一項各號ニ揭グル船舶ノ船員ノ給與ニ付テハ地方長官（東京府ニ於テハ警視總監）トス但シ第十條及前條ノ場合竝ニ二以上ノ遞信局ノ管轄區域又ハ府縣ニ亙ル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本令ハ船員給與統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際既ニ船員給料臨時措置規則ニ基キ給料手當ノ準則又ハ內規ヲ報告シ又ハ其ノ許可ヲ受ケタルモノハ第二條ノ規定ニ依リ給與ノ準則ヲ報告シタルモノト看做ス

第一號書式（用紙ノ大サハ日本標準規格B4）

昭和　年　月　日

住所

報告者名　印

遞信大臣
遞信局長　殿

賞與支給報告書

資本金額	圓	拂込資本金額	圓	今期利益金	圓	配當率

區別	賞與ノ種類	賞與期間	賞與支給年月日	賞與支給員數	賞與支給總額	基本給料月平均額	賞與率	一人當リ賞與支給額	備考
高級船員									
普通船員									
計									

記載心得

一　賞與ノ種類欄ニハ中元賞與、年末賞與等ノ別ヲ記載スルコト
二　基本給料月平均額欄ニハ賞與期間內ニ於テ支給シタル基本給料總額ノ月平均額ヲ記載スルコト
三　賞與率欄ニハ基本給料月平均額ニ對スル賞與支給總額ノ割合ヲ記載スルコト
四　備考欄ニハ賞與ヲ公債、債券等ニテ支給シタルトキ、貯蓄セシメタルトキ、公債、債券、通帳等ヲ保管シタルトキ其ノ他賞與ノ支給ニ付特別ノ措置ヲ講ジタルトキハ其ノ額、率、保管方法等ヲ詳細ニ記載スルコト

船上項船員ノ匹規給域定興ニ抗依制ルス近第十件船匿條域第ノ以一

（昭和十五年逓信省告示第三千二百八十三号）

一　スノ給員ニ関シ左ノ通定メ本日ヨリ之ヲ施行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令（以下令ト称ス）第十条第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第三十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第三十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第三十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第三十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第三十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第三十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第三十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第三十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第三十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第三十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第四十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第四十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第四十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第四十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第四十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第四十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第四十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第四十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第四十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第四十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第五十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第五十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第五十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第五十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第五十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第五十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第五十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第五十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第五十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第五十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第六十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第六十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第六十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第六十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第六十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第六十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第六十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第六十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第六十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第六十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第七十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第七十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第七十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第七十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第七十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第七十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第七十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第七十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第七十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第七十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第八十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第八十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第八十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第八十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第八十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第八十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第八十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第八十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第八十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第八十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第九十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第九十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第九十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第九十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第九十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第九十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第九十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第九十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第九十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第九十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百二十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百二十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百二十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百二十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百二十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百二十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百二十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百二十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百二十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百二十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百三十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百三十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百三十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百三十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百三十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百三十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百三十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百三十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百三十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百三十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百四十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百四十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百四十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百四十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百四十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百四十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百四十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百四十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百四十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百四十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百五十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百五十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百五十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百五十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百五十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百五十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百五十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百五十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百五十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百五十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百六十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百六十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百六十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百六十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百六十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百六十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百六十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百六十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百六十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百六十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百七十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百七十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百七十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百七十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百七十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百七十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百七十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百七十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百七十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百七十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百八十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百八十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百八十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百八十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百八十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百八十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百八十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百八十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百八十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百八十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百九十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百九十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百九十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百九十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百九十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百九十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百九十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百九十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百九十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第百九十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百二十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百二十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百二十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百二十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百二十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百二十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百二十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百二十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百二十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百二十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百三十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百三十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百三十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百三十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百三十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百三十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百三十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百三十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百三十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百三十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百四十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百四十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百四十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百四十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百四十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百四十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百四十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百四十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百四十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百四十九條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百五十條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百五十一條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百五十二條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百五十三條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百五十四條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百五十五條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百五十六條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百五十七條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百五十八條第一項ノ規定ニ依リ近海区域以上ノ区域ヲ航行スル船舶ノ船員ニ対スル給与ニ関スル統制令第二百五十九條第一項ノ

遞信局長ヲ經由スベシ

第十四條　令及本令中朝鮮總督又ハ朝鮮總督府遞信局長トアルハ朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法第一條第一項各號ニ掲グル船舶ノ船員ノ給與ニ付テハ道知事トス但シ第十條及前條ノ場合並ニ二以上ノ道ニ亙ル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際既ニ船員給料臨時措置規則ニ基キ給料手當ノ內規ヲ報告シ又ハ其ノ許可ヲ受ケタルモノハ第二條ノ規定ニ依リ給與ノ準則ヲ報告シタルモノト看做ス

（樣式省略）

船員給與統制令第十條第一項ノ規定ニ依ル近海以上ノ航行區域ヲ有スル船舶ノ船員ノ給與ニ關スル件

（昭和十六年一月六日朝鮮總督府告示第五號）

船員給與統制令第十條第一項ノ規定ニ依リ近海以上ノ航行區域ヲ有スル船舶ノ船員ノ給與ニ關シ左ノ通定ム

船員ニ支給スル賞與ノ限度ハ左ノ金額ノ範圍トス

一　高級船員　毎賞與期間（一年間ニ於ケル賞與支給回數ニテ十二月ヲ除シテ得タル期間トス以下同ジ）ニ付其ノ期間ニ於テ高級船員ニ支給シタル基本給料ノ合計金額ノ四分ノ三ニ相當スル金額

二　普通船員　毎賞與期間ニ付其ノ期間ニ於テ普通船員ニ支給シタル基本給料ノ合計金額ノ五分ノ二ニ相當スル金額

船員給與統制令第十條第一項ノ規定ニ依ル沿海ノ航行區域ヲ有スル船舶ノ船員ノ給與ニ關スル件

（昭和十三年六月二日朝鮮總督府告示第七百九十八號）

船員給與統制令第十條第一項ノ規定ニ依リ沿海ノ航行區域ヲ有スル船舶ノ船員ノ給與ニ關シ左ノ通定ム

船員ニ支給スル賞與ノ限度ハ左ノ金額ノ範圍トス

一　高級船員　毎賞與期間（一年間ニ於ケル賞與支給回數ニテ十二月ヲ除シテ得タル期間トス以下同ジ）ニ付其ノ期間ニ於テ高級船員ニ支給シタル基本給料ノ合計金額ノ四分ノ三ニ相當スル金額

二　普通船員　毎賞與期間ニ付其ノ期間ニ於テ普通船員ニ支給シタル基本給料ノ合計金額ノ五分ノ二ニ相當スル金額

船員給與統制令第十二條第一項ノ規定ニ依ル近海以上ノ航行區域ヲ有スル船舶ノ船員ノ給與支給ノ報告方ニ關スル件

（昭和十六年一月六日朝鮮總督府告示第四號）

船員給與統制令第十二條第一項ノ規定ニ依リ近海以上ノ航行區域ヲ有スル船舶ノ船員ノ給與支給ノ報告方ニ關シ左ノ通定ム

船舶所有者ハ船員ニ對シ賞與ヲ支給シタルトキハ支給ノ日ヨリ一月以內ニ別記樣式ニ依ル報告書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

別記樣式（用紙ノ大サハ日本標準規格B4）

昭和　年　月　日

住所

朝鮮總督殿

賞與支給報告書

報告者名　㊞

資本金額	圓	拂込資本金額	圓	今期利益金	圓	配當率	
區別	賞與ノ種類	賞與期間	賞與支給年月日	賞與支給員數	賞與支給總額	基本給料月平均額	賞與率	一人當リ賞與支給額	備考
高級船員									
普通船員									
計									

記載心得

一　賞與ノ種類欄ニハ中元賞與、年末賞與等ノ別ヲ記載スルコト

二　基本給料月平均額欄ニハ賞與期間內ニ於テ支給シタル基本給料總額ノ月平均額ヲ記載スルコト

三　賞與率欄ニハ基本給料月平均額ニ對スル賞與支給總額ノ割合ヲ記載スルコト

四　備考欄ニハ賞與ヲ公債、債券等ニテ支給シタルトキ、貯蓄セシメタルトキ、公債、債券、通帳等ヲ保管シタルトキ其ノ他賞與ノ支給ニ付特別ノ措置ヲ講ジタルトキハ其ノ額、率、保管方法等ヲ詳細ニ記載スルコト

船員給與統制令第十二條第一項ノ規定ニ依ル沿海ノ航行區域ヲ有スル船舶ノ船員ノ給與支給ノ報告方ニ關スル件

（昭和十六年六月二日朝鮮總督府告示第七百九十九號）

船員給與統制令第十二條第一項ノ規定ニ依リ沿海ノ航行區域ヲ有スル船舶ノ船員ノ給與支給ノ報告方ニ關シ左ノ通定ム

船舶所有者ハ船員ニ對シ賞與ヲ支給シタルトキハ支給ノ日ヨリ一月以內ニ別記樣式ニ依ル報告書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

別記様式（用紙ノ大サハ日本標準規格B４）

昭和　年　月　日

住所

朝鮮總督殿

報告者名　印

賞與支給報告書

資本金額	圓	拂込資本金額	圓	今期利益金	圓	配當率

區別	賞與ノ種類	賞與期間	賞與支給年月日	賞與支給員數	賞與支給總額	基本給料月平均額	賞與率	一人當リ賞與支給額	備考
高級船員									
普通船員									
計									

記載心得

一　賞與ノ種類欄ニハ中元賞與、年末賞與等ノ別ヲ記載スルコト

二　基本給料月平均額欄ニハ賞與期間內ニ於テ支給シタル基本給料總額ノ月平均額ヲ記載スルコト

三　賞與率欄ニハ基本給料月平均額ニ對スル賞與支給額ノ割合ヲ記載スルコト

四　備考欄ニハ賞與ヲ公債、債券等ニテ支給シタルトキ、貯蓄セシメタルトキ、公債、債券、通帳等ヲ保管シタルトキ其ノ他賞與ノ支給ニ付特別ノ措置ヲ講ジタルトキハ其ノ額、率、保管方法等ヲ詳細ニ記載スルコト

船員給與統制令施行規則

（昭和十六年十一月五日　臺灣總督府令第百五十九號）

第一條　船舶所有者ノ所有船舶（借入船舶ヲ含ム）ノ合計總噸數ガ五十噸未滿ニシテ且其ノ船舶（漁船ニ在リテハ總噸數五噸以上ノ船舶）ガ五隻未滿ナル場合ニハ船員給與統制令（以下令ト稱ス）第三條乃至第五條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第二條　令第三條第一項ノ規定ニ依ル給與ノ準則ノ報告ハ本令施行後一月以內ニ臺灣總督ニ之ヲ爲スベシ

第三條　給與ノ準則ヲ定メ又ハ之ヲ變更若ハ廢止セントスル者ハ其ノ內容（變更ノ場合ニ在リテハ新舊對照ヲ附スベシ）及事由ヲ記載シタル許可申請書ヲ臺灣總督ニ提出スベシ

第四條　船員ノ全部若ハ一部ニ對シ給與ノ準則ニ依ラズシテ給與ヲ支給セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ臺灣總督ニ提出スベシ

一　支給セントスル給與ノ種類、額及率
二　支給ヲ受クル船員ノ職務別員數
三　支給期
四　支給セントスル事由
五　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第五條　船員ノ箇箇ニ對シ給與ノ準則ニ依ラズシテ給與ヲ支給セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ交通局總長ニ提出スベシ

一　船員ノ氏名及年齢
二　履歴及海技免狀其ノ他ノ資格證明書ノ種類
三　職務及雇入期間
四　乘組船舶ノ種類、名稱及總噸數
五　航行區域及就航航路（漁船ニ付テハ從業制限及漁業ノ種類）

六　支給セントスル給與ノ種類、額及率
七　支給期
八　支給セントスル事由
九　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第六條　給與ニ關スル協定ヲ爲シ許可ヲ受ケントスル者ハ協定ヲ爲シタル者ノ代表者名ヲ以テ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ臺灣總督ニ提出スベシ

一　協定ヲ爲シタル者ノ氏名名稱及其ノ住所又ハ主タル事務所所在地
二　協定ノ內容
三　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第七條　給與ニ關スル協定ヲ變更又ハ廢止セントスル者ハ其ノ內容（變更ノ場合ニ在リテハ新舊對照ヲ附スベシ）及事由ヲ記載シタル許可申請書ヲ臺灣總督ニ提出スベシ

第八條　令第十條第一項ノ規定ニ依ル給與ノ額其ノ他ノ條件ニ關スル定ハ臺灣總督告示シテ之ヲ爲ス但シ特定ノ船舶所有者ニ對スル危險手當、遭難手當其ノ他ノ給與ニ關スル定ハ告知シテ之ヲ爲ス

第九條　令第十條第二項但書ノ規定ニ依ル許可ノ申請ニ付テハ第四條ノ規定ヲ準用ス

第十條　常時三十人以上ノ船員ヲ使用スル船舶所有者ハ三月、六月、九月及十二月ノ各月ニ支給シタル給與ノ報告書ヲ別記第一號様式ニ依リ各翌月末日迄ニ臺灣總督ニ提出スベシ

第十一條　令第十二條第二項ノ證票ハ別記第二號様式ニ依ル

第十二條　第二條乃至第四條（第九條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依ル報告書及許可申請書ニハ左ノ事項ヲ附記スベシ

一　會社ニ在リテハ資本金額及拂込資本金額
二　航行區域（漁船ニ付テハ從業制限）別船舶ノ隻數及合計總噸數
三　船員ノ職務別員數

第十三條　本令ニ依ル報告書及許可申請書ニシテ臺灣總督又ハ交通局總長ニ提出スルモノハ各正副二通ヲ作成シ所轄管海官廳ヲ經由スベシ

第十四條　令及本令ニ定ムル臺灣總督又ハ交通局總長ノ職權ハ船員法第一條第一項各號ニ揭グル船舶ノ船員ノ給與ニ付テハ州知事又ハ廳長之ヲ行フ但シ二以上ノ州廳ニ亙ル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際既ニ船員給料臨時措置規則ニ基キ給料手當ノ準則又ハ內規ヲ報告シ又ハ其ノ許可ヲ受ケタルモノハ第二條ノ規定ニ依リ給與ノ準則ヲ報告シタルモノト看做ス

（別記様式省略）

船員給與統制令施行規則

（昭和十五年十一月五日　樺太廳令第百十一號）

第一條　船舶所有者ノ所有船舶（借入船舶ヲ含ム）ノ合計總噸數ガ五十噸未滿ニシテ且其ノ船舶（漁船ニ在リテハ總噸數五噸以上ノ船舶）ガ五隻未滿ナル場合ニハ船員給與統制令（以下令ト稱ス）第三條乃至第五條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第二條　令第三條第一項ノ規定ニ依ル給與ノ準則ノ報告ハ本令施行後一月以內ニ樺太廳長官ニ之ヲ爲スベシ

第三條　給與ノ準則ヲ定メ又ハ之ヲ變更若ハ廢止セントスル者ハ其ノ內容（變更ノ場合ニ在リテハ新舊對照ヲ附スベシ）及事由ヲ記載シタル許可申請書ヲ樺太廳長官ニ提出スベシ

第四條　船員ノ全部若ハ一部ニ對シ給與ノ準則ニ依ラズシテ給與ヲ支給セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ樺太廳長官ニ提出スベシ

一　支給セントスル給與ノ種類、額及率
二　支給ヲ受クル船員ノ職務別員數
三　支給期

四　支給セントスル事由
五　其ノ他參考ト爲ルベキ事項
第五條　船員ノ雇入ニ對シ給與ノ準則ニ依ラズシテ給與ヲ支給セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ樺太廳長官ニ提出スベシ
一　船員ノ氏名及年齡
二　履歷及海技免狀其ノ他ノ資格證明書ノ種類
三　職務及雇入期間
四　乘組船舶ノ種類、名稱及總噸數
五　航行區域及就航航路
六　支給セントスル給與ノ種類、額及率
七　支給期
八　支給セントスル事由
九　其ノ他參考ト爲ルベキ事項
第六條　給與ニ關スル協定ヲ爲シ許可ヲ受ケントスル者ハ協定ヲ爲シタル者ノ代表者名ヲ以テ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ樺太廳長官ニ提出スベシ
一　協定ヲ爲シタル者ノ氏名又ハ名稱及其ノ住所又ハ主タル事務所所在地
二　協定ノ內容
三　其ノ他參考ト爲ルベキ事項
第七條　給與ニ關スル協定ヲ變更又ハ廢止セントスル者ハ其ノ內容（變更ノ場合ニ在リテハ新舊對照ヲ附スベシ）及事由ヲ記載シタル許可申請書ヲ樺太廳長官ニ提出スベシ

第八條　令第十條ノ規定ニ依ル給與ノ額其ノ他ノ條件ニ關スル樺太廳長官ノ指定ハ告示シテ之ヲ爲ス
令第十條ニ依リ特定ノ給船所有者ニ對スル危險手當、遭難手當其ノ他ノ給與ノ支給ニ關スル命令ハ告示シテ之ヲ爲ス
第九條　令第十條第二項但書ノ規定ニ依ル許可ノ申請ニ付テハ第四條ノ規定ヲ準用ス
第十條　常時百人以上ノ船員ヲ使用スル船舶所有者ハ三月、六月、九月及十二月ノ各月ニ支給シタル給與ノ報告書ヲ第一號樣式ニ依リ各翌月末日迄ニ樺太廳長官ニ提出スベシ
第十一條　令第十二條第二項ノ證票ハ第二號樣式ニ依ル
第十二條　第二條乃至第四條（第九條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依ル報告書及許可申請書ニハ左ノ事項ヲ附記スベシ
一　會社ニ在リテハ資本金額及拂込資本金額
二　航行區域別給船ノ隻數及合計總噸數
三　船員ノ職務別員數

附　則

本令ハ船員給與統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
（樣式省略）

船員給與統制令施行規則

（昭和十九年十一月十九日
南洋廳令第三十五號）

第一條　船舶所有者ノ所有船舶（借入船舶ヲ含ム）ノ合計總噸數ガ五十噸未滿ニシテ且其ノ船舶（漁船ニ在リテハ總噸數五噸以上ノ船舶）ガ五隻未滿ナル場合ニハ船員給與統制令（以下令ト稱ス）第三條乃至第五條ノ規定ハ之ヲ適用セズ
第二條　令第三條第一項ノ規定ニ依ル給與ノ準則ノ報告ハ本令施行後二月以內ニ南洋廳長官ニ之ヲ爲スベシ
第三條　給與ノ準則ヲ定メ又ハ之ヲ變更若ハ廢止セントスル者ハ其ノ內容（變更ノ場合ニ在リテハ新舊對照ヲ附スベシ）及事由ヲ記載シタル許可申請書ヲ南洋廳長官ニ提出スベシ
第四條　船員ノ全部若ハ一部ニ對シ給與ノ準則ニ依ラズシテ給與ヲ支給セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ

南洋廳長官ニ提出スベシ
一　支給セントスル給與ノ種類、額及率
二　支給ヲ受クル船員ノ職務別員數
三　支給期
四　支給セントスル事由
五　其ノ他參考ト爲ルベキ事項
第五條　船員ノ雇入ニ對シ給與ノ準則ニ依ラズシテ給與ヲ支給セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ南洋廳長官ニ提出スベシ
一　船員ノ氏名及年齡
二　履歷及海技免狀其ノ他ノ資格證明書ノ種類
三　職務及雇入期間
四　乘組船舶ノ種類、名稱及總噸數
五　航行區域及就航航路
六　支給セントスル給與ノ種類、額及率
七　支給期
八　支給セントスル事由
九　其ノ他參考ト爲ルベキ事項
第六條　給與ニ關スル協定ヲ爲シ許可ヲ受ケントスル者ハ協定ヲ爲シタル者ノ代表者名ヲ以テ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ南洋廳長官ニ提出スベシ
一　協定ヲ爲シタル者ノ氏名又ハ名稱及其ノ住所又ハ主タル事務所所在地
二　協定ノ內容
三　其ノ他參考ト爲ルベキ事項
第七條　給與ニ關スル協定ヲ變更又ハ廢止セントスル者ハ其ノ內容（變更ノ場合ニ在リテハ新舊對照ヲ附スベシ）及事由ヲ記載シタル許可申請書ヲ南洋廳長官ニ提出スベシ

第八條　令第十條ノ規定ニ依ル給與ノ額其ノ他ノ條件ニ關スル南洋廳長官ノ指定ハ告示シテ之ヲ爲ス
令第十條ニ依リ特定ノ給船所有者ニ對スル危險手當、遭難手當其ノ他ノ給與ノ支給ニ關スル命令ハ告示シテ之ヲ爲ス
第九條　令第十條第二項但書ノ規定ニ依ル許可ノ申請ニ付テハ第四條ノ規定ヲ準用ス
第十條　常時百人以上ノ船員ヲ使用スル船舶所有者ハ三月、六月、九月及十二月ノ各月ニ支給シタル給與ノ報告書ヲ第一號樣式ニ依リ各翌月末日迄ニ南洋廳長官ニ提出スベシ
第十一條　令第十二條第二項ノ證票ハ第二號樣式ニ依ル
第十二條　第二條乃至第四條（第九條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依ル報告書及許可申請書ニハ左ノ事項ヲ附記スベシ
一　會社ニ在リテハ資本金額及拂込資本金額
二　航行區域別給船ノ隻數及合計總噸數
三　船員ノ職務別員數

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
（樣式省略）

關東州船員給與統制令

（昭和十六年一月十五日
勅令第五十二號）

關東州國家總動員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國家總動員法第六條ノ規定ニ基ク船員ノ給與ニ關スル命令及同法第十一條ノ規定ニ基ク會社ノ整理ニ關スル命令中船員ノ給與ニ關スルモノニ付テハ船員給與統制令ニ依ル但シ同令第十六條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ
船員給與統制令中國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ）又ハ國家總動員法トアルハ關東州國家總動員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國家總動員法トシ遞信大臣トアルハ滿洲國駐劄特命全權大使トシ遞信局長又ハ地方長官（東京府ニ於テハ警視總監）トアルハ關東海務局長トシ道府縣トアルハ關東州地方費

トス

附　則

本令ハ昭和十六年一月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

關東州船員給料臨時措置令ハ之ヲ廢止ス但シ本令施行前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ同日後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

關東州船員給與統制令施行規則

（昭和十六年一月十五日　關東局令第二號）

第一條　船舶所有者ノ所有船舶（借入船ヲ含ム）ノ合計總噸數ガ五十噸未滿ニシテ且其ノ船舶（漁船ニ在リテハ總噸數五噸以上ノ船舶）ガ五隻未滿ナル場合ニハ關東州船員給與統制令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員給與統制令（以下令ト稱ス）第三條乃至第五條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第二條　令第三條第一項ノ規定ニ依ル給與ノ準則ノ報告ハ本令施行後一月以內ニ滿洲國駐劄特命全權大使ニ之ヲ爲スベシ

第三條　給與ノ準則ヲ定メ又ハ之ヲ變更若ハ廢止セントスル者ハ其ノ內容（變更ノ場合ニ在リテハ新舊對照ヲ附スベシ）及事由ヲ記載シタル許可申請書ヲ大使ニ提出スベシ

第四條　船員ノ全部若ハ一部ニ對シ給與ノ準則ニ依ラズシテ給與ヲ支給セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ大使ニ提出スベシ

一　支給ヲ受クル船員ノ職務別員數

二　支給期

三　支給セントスル給與ノ種類、額及率

四　支給セントスル事由

五　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第五條　船員ノ箇箇ニ對シ給與ノ準則ニ依ラズシテ給與ヲ支給セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ關東海務局長ニ提出スベシ

一　船員ノ氏名及年齡

二　履歷及海技免狀其ノ他ノ資格證明書ノ種類

三　職務及雇入期間

四　乘組船舶ノ種類、名稱及總噸數

五　航行區域及就航航路

六　支給セントスル給與ノ種類、額及率

七　支給期

八　支給セントスル事由

九　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第六條　給與ニ關スル協定ヲ爲シ許可ヲ受ケントスル者ハ協定ヲ爲シタル者ノ代表者名ヲ以テ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ大使ニ提出スベシ

一　協定ヲ爲シタル者ノ氏名又ハ名稱及其ノ住所又ハ主タル事務所所在地

二　協定ノ內容

三　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第七條　給與ニ關スル協定ヲ變更又ハ廢止セントスル者ハ其ノ內容（變更ノ場合ニ在リテハ新舊對照ヲ附スベシ）及事由ヲ記載シタル許可申請書ヲ大使ニ提出スベシ

第八條　令第十條ノ規定ニ依ル給與ノ額其ノ他ノ條件ニ關スル大使ノ指定ハ告示シテ之ヲ爲ス

令第十條ノ規定ニ依ル特定ノ船舶所有者ニ對スル危險手當、遭難手當其ノ他ノ給與ノ支給ニ關スル命令ハ告示シテ之ヲ爲ス

第九條　令第十條第二項但書ノ規定ニ依ル許可ノ申請ニ付テハ第四條ノ規定ヲ準用ス

第十條　常時百人以上ノ船員ヲ使用スル船舶所有者ハ三月、六月、九月及十二月ノ各月ニ支給シタル給與ノ報告書ヲ別記第一號書式ニ依リ各翌月末日迄ニ大使ニ提出スベシ

第十一條　令第十二條第二項ノ證票ハ別記第二號書式ニ依ル

第十二條　第二條乃至第四條（第九條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依ル報告書及許可申請書ニハ左ノ事項ヲ附記スベシ

一　會社ニ在リテハ資本金額及拂込資本金額

二　航行區域別船舶ノ隻數及合計總噸數

三　船員ノ職務別員數

第十三條　本令ニ依ル報告書及許可申請書ニシテ大使ニ提出スルモノハ各正副二通ヲ作成シ關東海務局長ヲ經由スベシ

第十四條　關東州船員給與統制令及本令中大使トアルハ沿海區域ヲ航行スル船舶及關東州船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法第一項各號ニ揭グル船舶ノ船員ノ給與ニ付テハ關東海務局長トス

附　則

本令ハ關東州船員給與統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際既ニ關東州船員給料臨時措置令施行規則ニ基キ給料手當ノ準則又ハ內規ヲ報告シ又ハ其ノ許可ヲ受ケタルモノハ第二條ノ規定ニ依リ給與ノ準則ヲ報告シタルモノト看做ス

（書式省略）

船員使用等統制令

（昭和十五年十一月九日勅令第七百四十九號）

第一條　國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ）第六條ノ規定ニ基ク船員ノ使用、雇入及解雇ニ關スル命令ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　遞信大臣必要アリト認ムルトキハ船舶所有者ニ對シ命令ノ定ムル船舶ノ乘組員數ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三條　遞信大臣必要アリト認ムルトキハ船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノニ對シ船舶ノ保有ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第四條　遞信大臣必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノニ對シ其ノ雇傭スル船員ヲ期間ヲ限リテ他ノ船舶所有者ヲシテ使用セシムベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令ニ依リ船員ヲ使用セシムル場合ニ於テハ之ニ伴フ費用ノ負擔其ノ他必要ナル事項ニ關シ當事者タル船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノニ於テ協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ遞信大臣ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第一項ノ船員ニ對スル給與ハ當該船員ヲ使用スル船舶所有者從前ノ給與ヲ斟酌シテ之ヲ支給スルモノトス

第五條　何人ト雖モ船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノニ雇傭セラルル船員ニシテ遞信大臣ノ指定スルモノニ對シ船員以外ノ者トシテ雇傭セラルルコトヲ勸誘シ又ハ他人ヲシテ勸誘セシムルコトヲ得ズ

第六條　遞信局長必要アリト認ムルトキハ前條ノ規定ニ違反シ船員ヲ雇傭シタル者ニ對シ其ノ者ノ解雇ヲ命ズルコトヲ得

第七條　遞信大臣船員ノ移動ヲ防止スル爲必要アリト認ムルトキハ船舶所有者ニ對シ船員ノ雇入又ハ解雇ノ制限ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第八條　遞信大臣ノ指定スル船員養成施設ニ於テ本令施行後其ノ課程ヲ修了スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ使用員數ニ付遞信大臣ノ認可ヲ受クベシ

第九條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル認可ノ申請ニ付不正又ハ虚僞ノ事實アリト認ムルトキハ認可ヲ取消スコトヲ得

第十條　遞信大臣必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ船員ノ使用、雇入及解雇ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ船舶、事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第十一條　本令ハ國又ハ道府縣ニハ之ヲ適用セズ

第十二條　本令及本令ニ基キテ發スル命令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテ船舶管理人ヲ置キタルトキハ船舶管理人ニ、船舶貸借ノ場合ニ在リテハ船舶借入人ニ之ヲ適用ス

第十三條　遞信大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ遞信局長ニ委任スルコトヲ得

第十四條　本令中遞信大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トシ遞信局長トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ各朝鮮總督府遞信局長又ハ臺灣總督府交通局總長トシ道府縣トアルハ朝鮮、臺灣又ハ南洋群島ニ在リテハ各道、州若ハ廳又ハ南洋群島地方費トス

附　則

本令ハ昭和十五年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十五年十一月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

船員使用等統制令施行規則

（昭和十五年十一月九日遞信省令第六十六號）

第一條　船員使用等統制令（以下令ト稱ス）第二條ノ船舶ハ總噸數百噸以上ノ汽船トス

第二條　令第四條第一項ノ命令ハ船員ノ資格又ハ職務別員數、使用期間、使用スベキ船舶所有者等ヲ指定シテ之ヲ爲ス

第三條　令第四條第一項ノ命令ニ依リ船員ヲ使用セシムル場合ニ於テハ當事者タル船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノハ當該船員ノ處遇ニ關シ從來ノ利益ヲ害スルコトヲ得ズ

第四條　令第四條第一項ノ命令アリタル場合ニ於テ使用セシムベキ船員決定シタルトキ又ハ同條第二項ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者タル船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ連署ノ上遞滯ナク第一號書式ニ依ル報告書又ハ契約書ノ謄本ヲ遞信大臣及所轄遞信局長ニ提出スベシ

第五條　令第四條第二項ノ裁定ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ副本二通ヲ添ヘ所轄遞信局長ヲ經由シテ遞信大臣ニ之ヲ提出スベシ

遞信大臣前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ副本ヲ申請者ノ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシムベシ

前項ノ期間內ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ遞信大臣ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

遞信大臣裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者雙方ニ送付スベシ

第六條　令第八條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ遞信大臣ノ指定スル期日迄ニ第二號書式ニ依ル申請書ニ副本ヲ添ヘ所轄遞信局長ヲ經由シテ遞信大臣ニ之ヲ提出スベシ

前項ノ申請ニ對スル認可ヲ爲シタル後ニ於テ特別ノ必要アリ且使用シ得ベキ修了者アルトキハ前項ノ期日ニ拘ラズ申請書ヲ受理スルコトアルベシ

第七條　令第八條ノ認可ハ認可アリタル後一年以內ニ修了者ヲ雇入レザルトキハ其ノ範圍ニ於テ效力ヲ失フ

第八條　令第八條ノ認可ヲ受ケタル者修了者ヲ雇入レタルトキ又ハ解雇シタルトキハ遞滯ナク第三號書式ニ依ル報告書ヲ遞信大臣及所轄遞信局長ニ提出スベシ

第九條　常時五十人以上ノ船員ヲ使用スル船舶所有者及總噸數百噸以上ノ汽船ノ船舶所有者ハ船員ノ使用狀況ニ關シ第四號書式ニ依ル報告書ヲ各一月、四月、七月及十月ノ末日迄ニ遞信大臣及所轄遞信局長ニ提出スベシ

第十條　令第十條第二項ノ證票ハ第五號書式ニ依ル

附　則

本令ハ船員使用等統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式(用紙ノ大サハ日本標準規格B4)(第四條關係)

昭和　年　月　日

住所
報告者　名　㊞

運信大臣
運信局長　殿

船員使用決定報告書

氏名	船員手帳番號	免狀(證書)又ハ職務	給料手當 新舊	手當 新舊	其ノ他ノ給與 新舊	備考

記載心得

一　報告者ハ當事者タル船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ適當スルコト

二　運信大臣宛ノモノニハ運信局長ナル字句ヲ抹消シ、運信局長宛ノモノニハ運信大臣ナル字句ヲ抹消スルコト

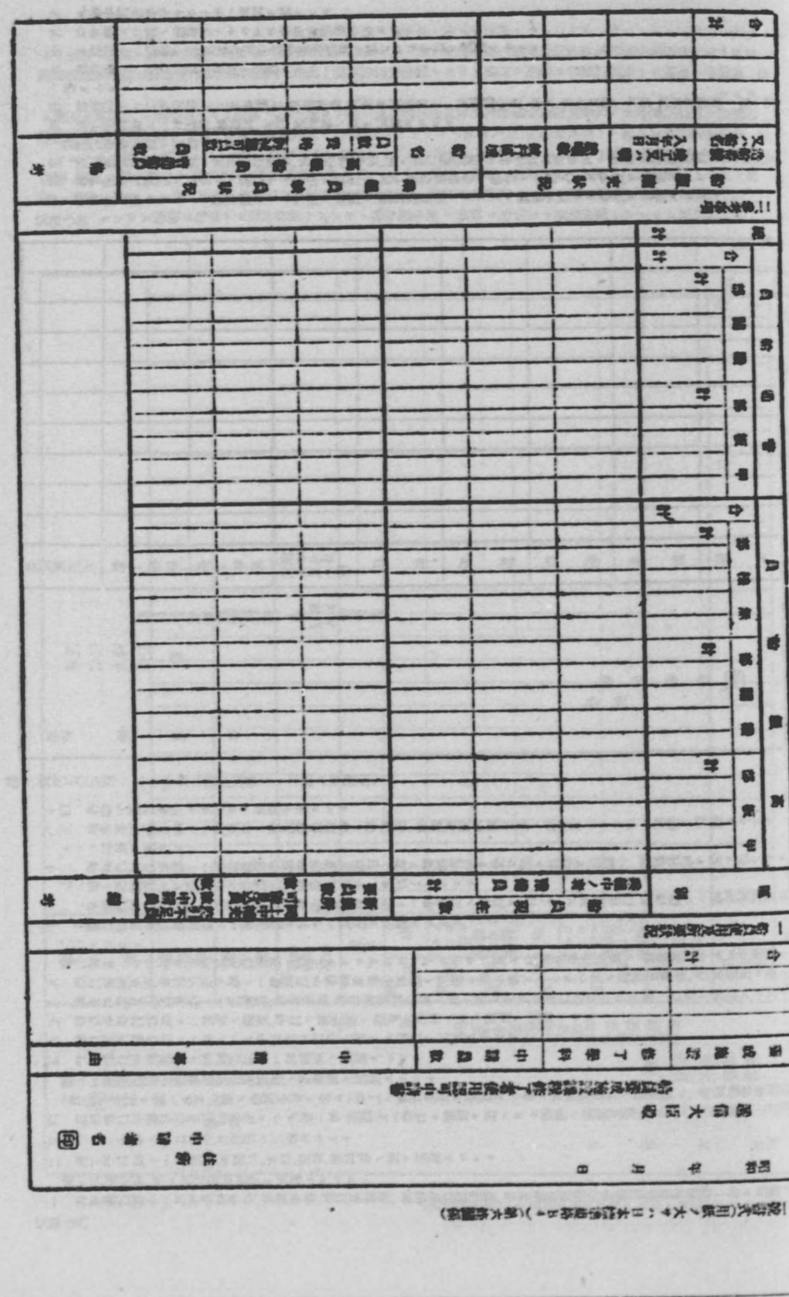
三　船員手帳番號欄ニハ何號ト記載シ、船員手帳ヲ受有セザル者ニ付テハ同欄ニ本籍地道府縣及生年月日ヲ記載スルコト

四　免狀(證書)又ハ職務欄ニハ海技免狀受有者及無線通信士資格檢定合格證書ノ受有者ニ付テハ其ノ受有スル免狀(證書)別ヲ記載シ、免狀(證書)ヲ受有セザル者ニ付テハ職務別ヲ記載スルコト

五　給料欄、手當欄及其ノ他ノ給與欄中「新」ニハ船員ヲ僱用スル船舶所有者ノ支給スル基本給料月額、基本給料ニ準ズベキ手當(臨時手當、扶養家族手當等)、其ノ他ノ給與ヲ夫々記載シ、「舊」ニハ從前ノ基本給料月額、基本給料ニ準ズベキ手當、其ノ他ノ給與ヲ夫々記載スルコト

六　備考欄ニハ最終昇給年月日及其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スルコト

七　各欄中該當事項ナキトキハ斜線ヲ施スコト



備考　一、用紙ノ大サハ日本標準規格B4トス　二、本書ハ二通提出スルコト　三、(　)ノ文字ハ朱書スルコト

記載心得

[illegible]

昭和　年　月　日

住所

氏名　印

[illegible]

記載心得

[illegible]

[illegible]

昭和　年　月　日

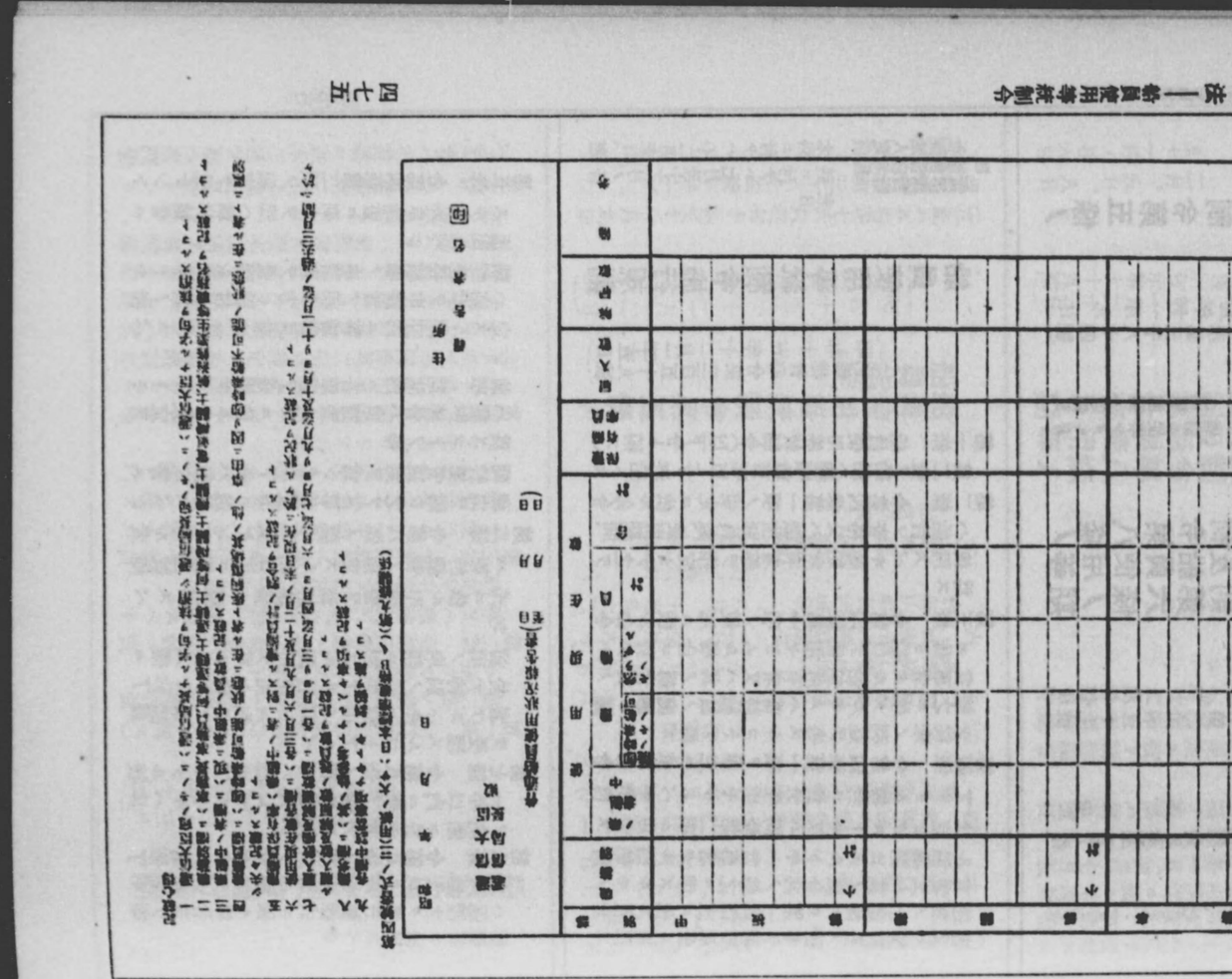
住所

氏名　印

[illegible]

記載心得

[illegible]



第十七号様式（第十二条の二関係）

（日本工業規格Ａ列４番）

（表面）

氏名	年齢	性別	国籍等	在留資格	在留期間	在留カード等の番号	特別高度専門業務適用者となった年月日	特別高度専門業務適用者でなくなった年月日	備考

（裏面）

氏名	年齢	性別	国籍等	在留資格	在留期間	在留カード等の番号	特別高度専門業務適用者となった年月日	特別高度専門業務適用者でなくなった年月日	備考

備考

一　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。

二　この用紙は、特別高度専門業務適用者ごとに作成すること。

三　「氏名」欄には、特別高度専門業務適用者の氏名を記載すること。

四　「年齢」欄には、特別高度専門業務適用者の年齢を記載すること。

五　「性別」欄には、特別高度専門業務適用者の性別を記載すること。

六　「国籍等」欄には、特別高度専門業務適用者の国籍又は地域を記載すること。

七　「在留資格」欄には、特別高度専門業務適用者の在留資格を記載すること。

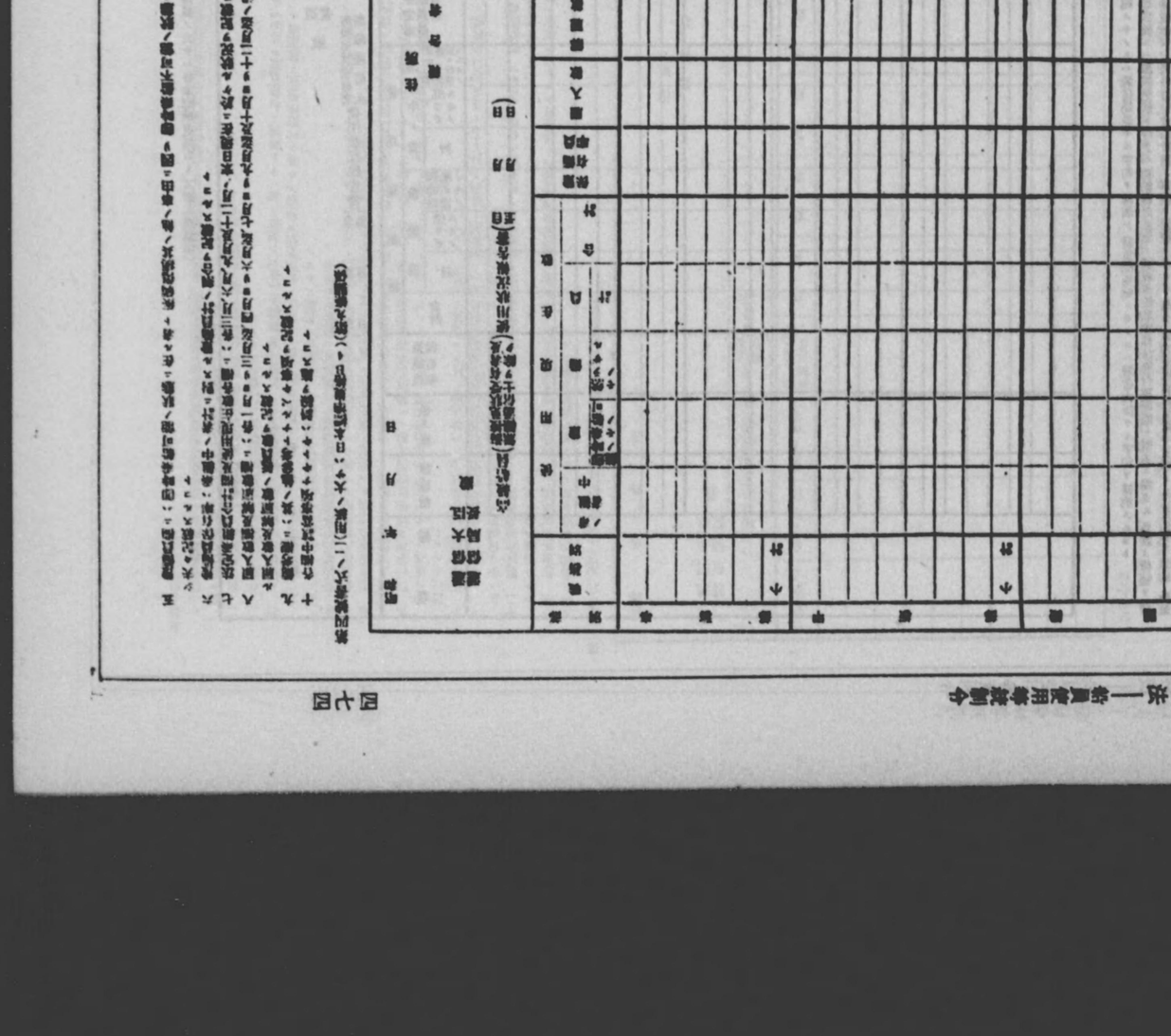
八　「在留期間」欄には、特別高度専門業務適用者の在留期間を記載すること。

九　「在留カード等の番号」欄には、特別高度専門業務適用者の在留カード又は特別永住者証明書の番号を記載すること。

十　「特別高度専門業務適用者となった年月日」欄には、特別高度専門業務適用者となった年月日を記載すること。

十一　「特別高度専門業務適用者でなくなった年月日」欄には、特別高度専門業務適用者でなくなった年月日を記載すること。

十二　「備考」欄には、特別高度専門業務適用者の在留資格の変更の予定その他参考となる事項を記載すること。



第十七号様式（第十二条の二関係）

（日本工業規格Ａ列４番）

（表面）

氏名	年齢	性別	国籍等	在留資格	在留期間	在留カード等の番号	特別高度専門業務適用者となった年月日	特別高度専門業務適用者でなくなった年月日	備考

（裏面）

氏名	年齢	性別	国籍等	在留資格	在留期間	在留カード等の番号	特別高度専門業務適用者となった年月日	特別高度専門業務適用者でなくなった年月日	備考

備考

一　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。

二　この用紙は、特別高度専門業務適用者ごとに作成すること。

三　「氏名」欄には、特別高度専門業務適用者の氏名を記載すること。

四　「年齢」欄には、特別高度専門業務適用者の年齢を記載すること。

五　「性別」欄には、特別高度専門業務適用者の性別を記載すること。

六　「国籍等」欄には、特別高度専門業務適用者の国籍又は地域を記載すること。

七　「在留資格」欄には、特別高度専門業務適用者の在留資格を記載すること。

八　「在留期間」欄には、特別高度専門業務適用者の在留期間を記載すること。

九　「在留カード等の番号」欄には、特別高度専門業務適用者の在留カード又は特別永住者証明書の番号を記載すること。

十　「特別高度専門業務適用者となった年月日」欄には、特別高度専門業務適用者となった年月日を記載すること。

十一　「特別高度専門業務適用者でなくなった年月日」欄には、特別高度専門業務適用者でなくなった年月日を記載すること。

十二　「備考」欄には、特別高度専門業務適用者の在留資格の変更の予定その他参考となる事項を記載すること。

（第五號書式省略）

船員使用等統制令第五條ノ船員

（昭和十五年十一月九日遞信省告示第三千八十四號）

船舶ニ乘組ミ一月以上船舶ノ運航、機關ノ運轉又ハ無線電信若ハ無線電話ノ通信ニ從事シタル者

船員使用等統制令第八條ノ船員養生施設及船員使用等統制令施行規則第六條ノ期日指定

（昭和十五年十二月十七日遞信省告示第三千四百十七號）

船員養成施設	期日
一、高等商船學校	三月、六月、九月及十二月ノ各末日
二、商船學校	同
三、海員養成所	一月、四月、七月及十一月ノ各末日
四、社團法人電信協會管理無線電信講習所	本科ニ付テハ十二月末日、選科ニ付テハ七月及十二月ノ各末日

船員使用等統制令施行規則

（昭和十五年十一月二十五日朝鮮總督府令第二百五十九號）

第一條　船員使用等統制令（以下令ト稱ス）第二條ノ船舶ハ總噸數百噸以上ノ汽船トス

第二條　令第四條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ船員ノ資格又ハ職務別員數、使用期間、使用スベキ船舶所有者等ヲ指定シテ之ヲ爲ス

第三條　令第四條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ依リ船員ヲ使用セシムル場合ニ於テハ當事者タル船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノハ當該船員ノ處遇ニ關シ從來ノ利益ヲ害スルコトヲ得ズ

第四條　令第四條第一項ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ於テ使用セシムベキ船員決定シタルトキ又ハ同條第二項ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者タル船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ連署ノ上遲滯ナク第一號樣式ニ依ル報告書又ハ契約書ノ謄本ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第五條　令第四條第二項ノ裁定ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ副本ヲ添ヘ朝鮮總督ニ提出スベシ

朝鮮總督前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ副本ヲ申請者ノ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシムベシ

前項ノ期間內ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ朝鮮總督ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

朝鮮總督裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者雙方ニ送付スベシ

第六條　令第八條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ朝鮮總督ノ指定スル期日迄ニ第二號樣式ニ依ル申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

前項ノ申請ニ對スル認可ヲ爲シタル後ニ於テ特別ノ心要アリ且使用シ得ベキ修了者アルトキハ前項ノ期日ニ拘ラズ申請書ヲ受理スルコトアルベシ

第七條　令第八條ノ認可ハ認可アリタル後一年以內ニ修了者ヲ雇入レザルトキハ其ノ範圍ニ於テ效力ヲ失フ

第八條　令第八條ノ認可ヲ受ケタル者修了者ヲ雇入レタルトキ又ハ解雇シタルトキハ遲滯ナク第三號樣式ニ依ル報告書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第九條　常時五十人以上ノ船員ヲ使用スル船舶所有者及總噸數百噸以上ノ汽船ノ船舶所有者ハ船員ノ使用狀況ニ關シ第四號樣式ニ依ル報告書ヲ各一月、四月、七月及十月ノ末日迄ニ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十條　令第十條第二項ノ證票ハ第五號樣式ニ依ル

第十一條　令及本令ノ規定ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ハ明治四十三年朝鮮總督府令第五號ノ規定ニ拘ラズ朝鮮總督府遞信局長ヲ經由スベシ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

船員使用等統制令第八條ノ船員養成施設及船員使用等統制令施行規則第六條ノ期日指定

（昭和十六年一月二十三日朝鮮總督府告示第七十九號）

船員養成施設	期日
一　高等商船學校	二月、五月、八月及十一月ノ各末日
二　商船學校	二月、五月、八月及十一月ノ各末日
三　海員養成所	三月、六月、十月及十二月ノ各末日
四　社團法人電信協會管理無線電信講習所	本科ニ付テハ十一月末日、選科ニ付テハ六月及十一月ノ各末日
五　朝鮮總督府遞信局高等海員養成所	二月、五月、八月及十一月ノ各末日
六　社團法人朝鮮海事會釜山船員訓練所	二月、四月、六月、八月、十月及十二月ノ各末日
七　財團法人朝鮮無線通信學校	十二月末日

船員使用等統制令第五條ノ船員指定

（昭和十五年十二月二日朝鮮總督府告示第千三百三十六號）

（左記ハ本卷四七六頁昭和十五年十一月九日遞信省告示第三千八十四號ト同一）

船員使用等統制令施行規則

（昭和十五年十一月二十三日臺灣總督府令第百七十號）

第一條　船員使用等統制令（以下令ト稱ス）第二條ノ船舶ハ船員法第一條第一項各號ニ揭グル船舶以外ノ船舶トス

第二條　令第四條第一項ノ命令ハ職員ノ資格又ハ職務別員數、使用期間、使用スベキ船舶所有者等ヲ指定シテ之ヲ爲ス

第三條　令第四條第一項ノ命令ニ依リ船員ヲ使用セシムル場合ニ於テハ當事者タル船舶所有者又ハ其ノ場合其ノ他之ニ準ズルモノハ當該船員ノ處遇ニ關シ從來ノ利益ヲ害スルコトヲ得ズ

第四條　令第四條第一項ノ命令アリタル場合ニ於テ使用セシムベキ船員決定シタルトキ又ハ同條第二項ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者タル船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ連署ノ上遲滯ナク別記第一號樣式ニ依ル報告書ニ副本ヲ添ヘ又ハ契約書ノ謄本二通ヲ臺灣總督ニ提出スベシ

第五條　令第四條第二項ノ裁定ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ副本二通ヲ添ヘ臺灣總

督ニ之ヲ提出スベシ

臺灣總督前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ關本ヲ申請者ノ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシムベシ

前項ノ期間中ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ臺灣總督ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

臺灣總督裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者雙方ニ送付スベシ

第六條　令第八條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ臺灣總督ノ指定スル期日迄ニ別記第二號樣式ニ依ル申請書ニ關本ヲ添ヘ臺灣總督ニ之ヲ提出スベシ

前項ノ申請ニ對スル認可ヲ爲シタル後ニ於テ特別ノ必要アリ且使用シ得ベキ條件アルトキハ前項ノ期日ニ拘ラズ申請書ヲ受理スルコトアルベシ

第七條　令第八條ノ認可ハ認可アリタル後一年以內ニ修了者ヲ雇入レザルトキハ其ノ範圍ニ於テ效力ヲ失フ

第八條　令第八條ノ認可ヲ受ケタル者修了者ヲ雇入レタルトキ又ハ解雇シタルトキハ遲滯ナク第三號樣式ニ依ル報告書ヲ臺灣總督ニ提出スベシ

第九條　常時三十人以上ノ船員ヲ使用スル船舶所有者及船員法第一條第一項各號ニ揭ゲル船舶以外ノ船舶ノ船舶所有者ハ船員ノ使用狀況ニ關シ別記第四號樣式ニ依ル報告書ニ關本ヲ添ヘ各一月、四月、七月及十月ノ末日迄ニ臺灣總督ニ提出スベシ

第十條　本令ニ依リ臺灣總督ニ提出スベキ書類ハ所轄管海官廳ヲ經由スベシ

第十一條　令第十條第二項ノ證票ハ別記第五號樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十五年十一月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

船員使用等統制令施行規則

（昭和十五年十二月十四日　樺太廳令第百二十四號）

第一條　船員使用等統制令（以下令ト稱ス）第二條ノ船舶ハ總噸數百噸以上ノ汽船トス

第二條　令第四條第一項ノ命令ハ船員ノ資格又ハ職務別員數、使用期間、使用スベキ船舶所有者等ヲ指定シテ之ヲ爲ス

第三條　令第四條第一項ノ命令ニ依リ船員ヲ使用セシムル場合ニ於テハ當事者タル船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノハ當該船員ノ處遇ニ關シ從來ノ利益ヲ害スルコトヲ得ズ

第四條　令第四條第一項ノ命令アリタル場合ニ於テ使用セシムベキ船員決定シタルトキ又ハ同條第二項ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者タル船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ連署ノ上遲滯ナク第一號書式ニ依ル報告書又ハ契約書ノ謄本ヲ樺太廳長官ニ提出スベシ

第五條　令第四條第二項ノ裁定ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ關本ヲ添ヘ樺太廳長官ニ之ヲ提出スベシ

樺太廳長官前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ關本ヲ申請者ノ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシムベシ

前項ノ期間內ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ樺太廳長官ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

樺太廳長官裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者雙方ニ送付スベシ

第六條　令第八條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ樺太廳長官ノ指定スル期日迄ニ第二號樣式ニ依ル申請書ニ關本ヲ添ヘ所轄支廳長ヲ經由シテ南洋廳長官ニ之ヲ提出スベシ

前項ノ申請ニ對スル認可ヲ爲シタル後ニ於テ特別ノ必要アリ且使用シ得ベキ條件アルトキハ前項ノ期日ニ拘ラズ申請書ヲ受理スルコトアルベシ

第七條　令第八條ノ認可ハ認可アリタル後一年以內ニ修了者ヲ雇入レザルトキハ其ノ範圍ニ於テ效力ヲ失フ

第八條　令第八條ノ認可ヲ受ケタル者修了者ヲ雇入レタルトキ又ハ解雇シタルトキハ遲滯ナク第三號樣式ニ依ル報告書ヲ樺太廳長官ニ提出スベシ

第九條　常時五十人以上ノ船員ヲ使用スル船舶所有者ハ船員ノ使用狀況ニ關シ別記第四號樣式ニ依ル報告書ニ關本ヲ添ヘ各一月、四月、七月及十月ノ末日迄ニ樺太廳長官ニ提出スベシ

第十條　令第十條第二項ノ證票ハ第五號樣式ニ依ル

附　則

本令ハ船員使用等統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

船員使用等統制令施行規則

（昭和十六年一月二十日　南洋廳令第四號）

第一條　船員使用等統制令（以下令ト稱ス）第二條ノ船舶ハ總噸數百噸以上ノ汽船トス

第二條　令第四條第一項ノ命令ハ船員ノ資格又ハ職務別員數、使用期間、使用スベキ船舶所有者等ヲ指定シテ之ヲ爲ス

第三條　令第四條第一項ノ命令ニ依リ船員ヲ使用セシムル場合ニ於テハ當事者タル船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノハ當該船員ノ處遇ニ關シ從來ノ利益ヲ害スルコトヲ得ズ

第四條　令第四條第一項ノ命令アリタル場合ニ於テ使用セシムベキ船員決定シタルトキ又ハ同條第二項ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者タル船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ連署ノ上遲滯ナク第一號書式ニ依ル報告書又ハ契約書ノ謄本ヲ南洋廳長官ニ提出スベシ

第五條　令第四條第二項ノ裁定ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ副本二通ヲ添ヘ支廳長ヲ經由シテ南洋廳長官ニ之ヲ提出スベシ

南洋廳長官前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ副本ヲ申請者ノ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシムベシ

前項ノ期間內ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ南洋廳長官ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

南洋廳長官裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者雙方ニ送付スベシ

第六條　令第八條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ南洋廳長官ノ指定スル期日迄ニ第二號樣式ニ依ル申請書ニ副本ヲ添ヘ所轄支廳長ヲ經由シテ南洋廳長官ニ之ヲ提出スベシ

前項ノ申請ニ對スル認可ヲ爲シタル後ニ於テ特別ノ必要アリ且使用シ得ベキ條件アルトキハ前項ノ期日ニ拘ラズ申請書ヲ受理スルコトアルベシ

第七條　令第八條ノ認可ハ認可アリタル後一年以內ニ修了者ヲ雇入レザルトキハ其ノ範圍ニ於テ效力ヲ失フ

第八條　令第八條ノ認可ヲ受ケタル者修了者ヲ雇入レタルトキ又ハ解雇シタルトキハ遲滯ナク第三號樣式ニ依ル報告書ヲ南洋廳長官及所轄支廳長ニ提出スベシ

第九條　常時五十人以上ノ船員ヲ使用スル

船舶所有者及總噸數百噸以上ノ汽船ノ船舶所有者ハ船員ノ使用狀況ニ關シ第四號樣式ニ依ル報告書ヲ各一月、四月、七月及十月ノ末日迄ニ南洋廳長官及所轄支廳長ニ提出スベシ

第十條　令第十條第二項ノ證票ハ第五號樣式ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

關東州船員使用等統制令

（昭和十六年五月三十一日勅令第六百五十一號）

第一條　關東州國家總動員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國家總動員法第六條ノ規定ニ基ク船員ノ使用、雇入及解雇ニ關スル命令ニ付テハ本令ニ定ムルモノノ外船員使用等統制令ニ依ル但シ同令第十三條及第十四條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

船員使用等統制令中國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ）又ハ國家總動員法トアルハ關東州國家總動員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國家總動員法トシ遞信大臣又ハ遞信局長トアルハ滿洲國駐箚特命全權大使トシ遞府縣トアルハ關東州地方費トス

第二條　大使ハ本令ニ依ル其ノ職權ノ一部ヲ關東海務局長ニ委任スルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

關東州船員使用等統制令施行規則

（昭和十六年五月三十一日關東局令第五十八號）

第一條　關東州船員使用等統制令（以下令ト稱ス）第二條ノ船舶ハ總噸數百噸以上ノ汽船トス

第二條　令第四條第一項ノ命令ハ船員ノ資格又ハ職務別員數、使用期間、使用スベキ船舶所有者等ヲ指定シテ之ヲ爲ス

第三條　令第四條第一項ノ命令ニ依リ船員ヲ使用セシムル場合ニ於テハ常事者タル船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノハ當該船員ノ處遇ニ關シ從來ノ利益ヲ害スルコトヲ得ズ

第四條　令第四條第一項ノ命令アリタル場合ニ於テ使用セシムベキ船員決定シタルトキ又ハ同條第二項ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者タル船舶所有者又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ連署ノ上遲滯ナク別記第一號樣式ニ依ル報告書又ハ契約書ノ謄本ヲ滿洲國駐箚特命全權大使及關東海務局長ニ提出スベシ

第五條　令第四條第二項ノ裁定ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ副本二通ヲ添ヘ關東海務局長ヲ經由シテ大使ニ之ヲ提出スベシ

大使前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ副本ヲ申請書ノ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシム

前項ノ期間內ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ大使ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトアルベシ

大使裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者雙方ニ送付ス

第六條　令第八條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ大使ノ指定スル期日迄ニ別記第二號樣式ニ依ル申請書ニ副本ヲ添ヘ關東海務局長ヲ經由シテ大使ニ之ヲ提出スベシ

前項ノ申請ニ對スル認可ヲ爲シタル後ニ於テ特別ノ必要アリ且使用シ得ベキ修了者アルトキハ前項ノ期日ニ拘ラズ申請書ヲ受理スルコトアルベシ

第七條　令第八條ノ認可ハ認可アリタル後一年以內ニ修了者ヲ雇入レザルトキハ其ノ

ノ範圍ニ於テ效力ヲ失フ

第八條　令第八條ノ認可ヲ受ケタル者修了者ヲ雇入レタルトキ又ハ解雇シタルトキハ遲滯ナク別記第三號樣式ニ依ル報告書ヲ大使及關東海務局長ニ提出スベシ

第九條　常時五十人以上ノ船員ヲ使用スル船舶所有者及總噸數百噸以上ノ汽船ノ船舶所有者ハ船員ノ使用狀況ニ關シ別記第四號樣式ニ依ル報告書ヲ各一月、四月、七月及十月ノ末日迄ニ大使及關東海務局長ニ提出スベシ

第十條　令第十條第二項ノ證票ハ別記第五號樣式ニ依ル

附　則

本令ハ關東州船員使用等統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

從業者移動防止令

（昭和十五年十一月九日勅令第七百五十號）

第一條　從業者移動防止ノ爲ニスル國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ改ル場合ヲ含ム以下同ジ）第六條ノ規定ニ基ク從業者ノ雇入及使用ノ制限竝ニ解雇ニ關スル命令ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ニ於テ指定從業者ト稱スルハ年齡十四年以上六十年未滿ノ男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ

一　厚生大臣ノ指定スル事業ヲ行フ工場、事業場竝其ノ他ノ場所ニ於テ引續キ一月以上雇傭契約ニ基キ厚生大臣ノ指定スル勞務者（以下指定勞務者ト稱ス）トシテ使用セラルル者

二　前號ノ事業ヲ行フ工場、事業場竝其ノ他ノ場所ニ於テ引續キ一月以上雇傭契約ニ基キ指定勞務者トシテ使用セラレ本令施行後ニ於テ其ノ雇傭ヲ終了シタル日ヨリ一年ヲ經過セザル者

三　引續キ一月以上雇傭契約ニ基キ厚生大臣ノ指定スル技術者（以下指定技術者ト稱ス）トシテ使用セラルル者

四　引續キ一月以上雇傭契約ニ基キ指定技術者トシテ使用セラレ本令施行後ニ於テ其ノ雇傭ヲ終了シタル日ヨリ一年ヲ經過セザル者

第三條　何人ト雖モ工場若ハ事業場ニ於テ使用スル爲又ハ前條第一號又ハ指定技術者トシテ使用スル爲前條第二號又ハ第三號ノ指定從業者ニ對シ自ラ又ハ他人ヲシテ其ノ被傭者タルコトヲ勸誘シ又ハ勸誘セシムルコトヲ得ズ他人ノ工場若ハ事業場ニ於テ使用セシムル爲又ハ指定技術者トシテ使用セシムル爲他人ノ被傭者タルコトヲ勸誘シ又ハ勸誘セシムルコト亦同ジ

第四條　工場若ハ事業場ニ於テ使用スル爲他人ヲ又ハ指定技術者トシテ使用スル爲他人ヲシテ雇入レントスルトキハ豫メ其ノ者ガ指定從業者ナルヤ否ヲ確認スルコトヲ要ス但シ職業紹介所ノ紹介ニ依リ雇入ルル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第五條　工場若ハ事業場ニ於テ使用スル爲又ハ指定技術者トシテ使用スル爲雇入レントスル者ガ指定從業者ナルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ職業紹介所長ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ雇入ルルコトヲ得ズ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六條　何人ト雖モ勞務供給契約ニ基キ工場又ハ事業場ニ於テ指定從業者ヲ使用スルコトヲ得ズ

第七條　職業紹介所長第五條ノ認可ノ申請ニ付不正又ハ僞ノ事實アリト認ムルトキハ認可ヲ取消スコトヲ得

第八條　第五條ノ規定ニ違反シテ指定從業者ヲ雇入レタル者アルトキハ職業紹介所長ハ其ノ者ニ對シ其ノ指定從業者ヲ解雇スベキコトヲ命ズルコトヲ得前條ノ規定ニ依リ認可ノ取消ヲ爲シタルトキ亦同ジ

第九條　地方長官從業者ノ移動ヲ防止スル爲必要アリト認ムルトキハ工場、事業場其ノ他ノ場所ニ於テ指定技術者又ハ指定勞務者ヲ雇傭スル者ニ對シ指定從業者以外ノ從業者ノ雇入ノ方法ニ關シ制限ヲ爲スコトヲ得

第十條　何人ト雖モ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第五條又ハ第六條ノ規定ニ依ル制限ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第十一條　厚生大臣、地方長官又ハ職業紹介所長必要アリト認ムルトキハ指定從業者ノ雇入、使用又ハ解雇ニ關シ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ關係人ヨリ報告ヲ徵スルコトヲ得

第十二條　厚生大臣、地方長官又ハ職業紹介所長必要アリト認ムルトキハ指定從業者ノ雇入又ハ使用ニ關シ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ當該官吏ヲシテ指定從業者ヲ雇入レ若ハ雇入レントスル者又ハ使用シ若ハ使用セントスル者ノ工場、事業場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第十三條乃至第十五條　第三條及第十一條ノ規定ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノニ於テ採用スル場合ニ之ヲ準用ス

第十四條　本令ハ國又ハ道府縣ニ於ケル從業者ノ雇入又ハ使用ニハ之ヲ適用セズ

第十五條　本令ハ學校卒業者使用制限令及青少年雇入制限令ノ適用ヲ妨ゲズ

第十六條　本令中厚生大臣トアルハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ職業紹介所長トアルハ朝鮮ニ在リテハ府尹、郡守又ハ島司、臺灣ニ在リテハ廳長又ハ郡守（澎湖廳ニ在リテハ樺太廳支廳長、南洋群島ニ在リテハ南洋廳支廳長トシ職業紹介所トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ廳長、南洋群島ニ在リテハ南洋廳支廳長トシ職業紹介所ニ關スル規定ハ臺灣及南洋群島ニ在リテハ之ヲ適用セズ

附則

本令ハ昭和十五年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十五年十二月五日ヨリ之ヲ施行ス

從業者雇入制限令ハ之ヲ廢止ス但シ本令施行前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ本令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

本令施行ノ際現ニ從業者雇入制限令第一條第二號又ハ第四號ニ該當スル者ニシテ本令施行前ニ於テ其ノ雇傭ヲ終了シタルモノハ其ノ雇傭セラレタル場所ガ第二條第一號ノ事業ヲ行フ工場、事業竝其ノ他ノ場所ニ該當スル場合又ハ其ノ者ガ指定技術者ニ該當スル場合ニ於テハ從業者雇入制限令第一條第二號ノ學校卒業者ニ該當スル者ニ在リテハ其ノ雇傭終了後一年間、其ノ他ノ者ニ在リテハ其ノ雇傭終了後六月間之ヲ本令ノ規定ニ依ル指定從業者ト看做ス

從業者移動防止令施行規則

（昭和十五年十一月十五日
厚生省令第五十一號）

改正　昭一六・二・一、厚令二

第一條　從業者移動防止令（以下令ト稱ス）第四條第二項ノ前歷ニ關スル報告ハ雇入ニ依リ當該指定從業者ノ使用セラルベキ工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地（當該指定從業者ノ使用セラルベキ場所ガ本則施行地外ニ在ルトキハ其ノ指定從業者ノ現在地）ノ所轄國民職業指導所長ニ對シ樣式第一號ニ依リ之ヲ爲スベシ

第二條　指定從業者第四條第二號ノ雇入同意書ニ依リ雇入レラルル場合ハ令第四條第二項ノ前歷ニ關スル報告ヲ爲サザルコトヲ得

第三條　令第五條ノ認可ノ申請ハ指定從業者ヲ雇入レントスル者樣式第二號ニ依リ令第二條第一號又ハ第三號ノ指定從業者ノ雇入ニ付テハ其ノ者ガ現ニ就業スル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地ノ所轄國民職業指導所長ニ對シ、同條第二號又ハ第四號ノ指定從業者ノ雇入ニ付テハ其ノ者ガ從前就業シクハ其ノ者ヲ雇入レントスル者ニ對シ其ノ者ノ雇入前勤メ樣式第三號ニ依ル雇入同意書ヲ交付セル場合

第五條　指定從業者ノ雇入ノ認可ヲ受ケ又ハ前條ノ規定ニ依リ指定從業者ヲ雇入レタル者ハ雇入ノ日ヨリ五日以內ニ樣式第四號ニ依リ當該指定從業者ヲ使用スル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地ノ所轄國民職業指導所長ニ其ノ旨報告スベシ

第六條　國民職業指導所長必要アリト認ムルトキハ國民職業指導所官制第八條第二項ノ規定ニ基キ定メタル一般管轄區域ニ拘ラズ當該官吏ヲシテ本則施行地內ニ在ル關係ノ工場、事業場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類ヲ檢査セシムルコトヲ得ルモノトス

第七條　令第十二條第二項ノ證票ハ樣式第五號ニ依ルモノトス

附　則

本則ハ昭和十五年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年厚生省令第四號從業者雇入制限令施行規則ハ之ヲ廢止ス

樣式第一號

指定從業者前歷報告書

本籍 現住所 氏名 生年月日			年　月　日生
卒業シタル學校及學科 （學校名） （學科名）			
國民職業能力申告令ニ依ル申告ノ有無			
現在又ハ從前ノ就業場ニ於ケル事項	名稱		
	所在地		
	事業ノ種類		
	雇入レラレタル年月日		
	就業又ハ退職ノ年月日		
	退職ノ理由		
	職業名		
	賃金又ハ給料		
備考			

昭和　年　月　日

右本人

氏　名　㊞

國民職業指導所長殿

備考

一　「氏名」欄ニハ氏名ノ左側ニ生年月日ヲ記載スルコト

二　「卒業シタル學校及學科」欄ニハ工業及鑛業ニ關スル實業學校以上ノ學校ヲ卒業セザル者ハ記載スルコトヲ要セザルコト尙專門學校以上ノ學校ヲ卒業シタル者ハ最終卒業學校ニ付記載スルコト

三　「國民職業能力申告令ニ依ル申告ノ有無」欄ニハ國民職業能力申告令第二條ノ要申告者ニシテ同令第四條第一項ノ一般申告ヲ爲シタル者ハ「有リ」ト記載シ其ノ他ノ者ハ「無シ」ト記載スルコト

四　「現在又ハ從前ノ就業場ニ於ケル事項」欄ノ記載ハ左記ニ依ルコト

イ、從業者移動防止令（以下令ト稱ス）第二條第一號又ハ第三號ニ該當スル者（現職者）ハ現在使用セラルル就業場ニ付、同令第二號又ハ第四號ニ該當スル者（前職者）ハ從前ノ就業場ニ付記載スルコト

ロ、「卒業ノ種類」欄ニハ例ヘバ「石炭鑛業」「鑄物業」「パルプ製造業」等ノ如ク成ルベク具體的ニ記載スルコト

ハ、「解職又ハ退職ノ年月日」欄ニハ令第

二條第一號又ハ第三號ニ該當スル者（現職者）ハ記載スルコトヲ要セザルコト從前ノ就業場ノ都合ニ依リ解雇セラレタル者ハ年月日ノ下ニ「解雇」ト記載シ自己ノ都合ニ依リ退職シタル者ハ「退職」ト記載スルコト

二、「退職ノ理由」欄ニハ令第二條第一號又ハ第三號ニ該當スル者（現職者）ハ現在ノ就業場ヲ退職セントスル理由ヲ、令第二條第二號又ハ第四號ニ該當スル者（前職者）ハ從前ノ就業場ヲ退職シタル理由ヲ成ルベク具體的ニ記載スルコト尚從前ノ就業場ノ都合ニ依リ解雇セラレタル者ハ本欄ノ記載ヲ要セザルコト

ホ、「職業名」欄ニハ現在又ハ從前ノ就業場ニ於ケル職業名ヲ例ヘバ「電氣技術者」「採炭夫」「旋盤工」「精密組立工」「木型工」「鍛工」等ノ如ク成ルベク具體的ニ記載スルコト尚國民職業能力申告令第二條ノ要申告者ニ在リテハ同令ニ依リ國民職業指導所ニ申告シタル職業名ニ依ルコト

ヘ、「賃金又ハ給料」欄ニハ現在又ハ從前ノ就業場ニ於テ支給サレ又ハ支給サレタル賃金又ハ給料ニ付例ヘバ時給三十錢、日給一圓八十錢、月給八十五圓等ノ如ク其ノ基本額ヲ記載スルコト但シ請負出來高拂ニ依リ支給サレ又ハ支給サレタル者ハ其ノ旨記載ノ上一日ノ平均稼得額ヲ記載スルコト（例ヘバ「請負二圓五十錢」等ノ如ク記載スルコト）尚左側ニ加給又ハ諸手當ヲ含ム一ケ月ノ平均實收額ヲ記載スルコト

五 「備考」欄ニハ現在又ハ從前ノ就業場ヲ退職後雇入レラレントスル工場、事業場其ノ他ノ就業場ノ名稱及所在地其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スルコト

六 本樣式ハ必ズシモ罫線ヲ以テ各欄ヲ區劃シテ記載スルヲ要セザルコト

樣式第二號

指定從業者雇入認可申請書

事業ノ種類		使用工場、事業場又ハ其ノ他ノ場所ノ名稱及所在地		
主要生産品目				
雇入レントスル指定從業者ノ氏名	現在又ハ從前ノ就業場ノ名稱及所在地	從事セシメントスル職業名	支給セントスル賃金又ハ給料	備考
年月日生				
年月日生				
計 人				
申請ノ理由				
備考				

昭和　年　月　日

申請者 住所

氏名（法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名）㊞

國民職業指導所長宛

備考

一 「事業ノ種類」欄ニハ例ヘバ「石炭鑛業」「紡績業」「パルプ製造業」等ノ如ク成ルベク具體的ニ記載スルコト

二 「主要生産品目」中軍機上記載スルコト困難ナルモノニ付テハ其ノ旨ノ當該軍保管ノ證明書ヲ添附シテ之ガ記載ヲ省略スルコトヲ得ルコト

三 「雇入レントスル從業者ノ氏名」欄ニハ氏名ノ左側ニ其ノ生年月日ヲ記載スルコト

四 「現在又ハ從前ノ就業場ノ名稱及所在地」欄ニハ令第二條第一號又ハ第三號ニ該當スル者（現職者）ニ付テハ現在ノ就業場、同條第二號又ハ第四號ニ該當スル者（前職者）ニ付テハ從前ノ就業場ニ付記載スルコト

五 「從事セシメントスル職業名」欄ニハ雇入後使用工場、事業場等ニ於テ從業セシメントスル職業名ヲ例ヘバ「電氣技術者」「採炭夫」「旋盤工」「木型工」等ノ如ク成ルベク具體的ニ記載スルコト

六 「支給セントスル賃金又ハ給料」欄ニハ時給、日給又ハ月給ノ區別ヲ明ニシ其ノ基本額ヲ記載スルコト但シ請負出來高拂等ノ場合ハ其ノ旨記載ノ上一日平均稼得見込額ヲ記載スルコト尚左側ニ加給又ハ諸手當ヲ含ム一月ノ實收見込額ヲ括弧シテ記載スルコト

七 「申請ノ理由」欄ニハ職員補充、增員又ハ工場若ハ事業場ノ新設ニ因ル雇入ノ區別ヲ記載シ且職員補充ニ在リテハ其ノ職員ノ狀況、增員ニ在リテハ事業ノ擴張又ハ交替制ノ採用等、工場又ハ事業場ノ新設ニ因ル雇入ニ在リテハ之ニ要スル職種別勞務者員數及之ガ充足狀況等ヲ詳細記載スルコト

八 「備考」欄ニハ申請セル從業者ヲ雇入レ得ザル場合ニ於ケル當該工場、事業場等ノ支障ノ程度其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スルコト

九 本申請書ハ雇入レントスル指定從業者ヲ使用セントスル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地ガ其ノ者ヲ現在使用シ又ハ從前使用シタル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地ト國民職業指導所ノ管轄ヲ異ニスル場合ハ正副二通ヲ作成シ從業者ヲ使用セントスル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地ノ所轄國民職業指導所長ヲ經由シテ提出スルコト

一〇 本令施行前從業者雇入制限令ニ基ク認可申請書ヲ提出シ未ダ認可又ハ不認可ノ指令ナキモノニ付テハ改メテ本樣式ニ依ル申請書ノ提出ヲ要セザルコト

樣式第三號

指定從業者雇入同意書

指定從業者（職業名）（氏名）　年月日生

右ノ者（昭和　年　月　日解雇致候ニ就テハ）今後何處（貴方）ニ雇入レラルルモ當方ニ異議無之候也

昭和　年　月　日

住所

氏名（法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名）㊞

（　殿）

備考

一 指定從業者ノ「職業名」ハ同意書ヲ交付スル者ノ工場、事業場等ニ於テ指定從業者ヲシテ從事セシメタル職業名ヲ例ヘバ「機械技術者」「採礦夫」「仕上工」「火藥工」等ノ如ク成ルベク具體的ニ記載スルコト

二　本文ノ(昭和　年　月　日[illegible]ニ就テ(ヘ)ノ事項ハ令第二條第二號又ハ第四號ニ該當スル者(前歴者)ニ關スル同意書ニ限リ記載スルコト

三　同意書ノ宛名ハ其ノ同意ノ内容ガ何處ニ雇入レラルルモ異議ナキ旨ヲ表示セルモノナル場合ハ之ヲ記載セザルコト

四　本則施行前交付ヲ受ケタル同意書ニ付テハ本樣式ニ依ルコトヲ要セザルコト

樣式第四號

從業者雇入報告

事業ノ種類			使用工場、事業場又ハ其ノ他ノ場所ノ名稱及所在地			
雇入年月日	雇入レタル從業者ノ氏名	從前ノ職業名	本籍學校及學科名	從前ノ從業場ノ名稱及所在地	認可又ハ其ノ他ノ雇入別	備考
年月日	年月日生					
年月日	年月日生					
年月日	年月日生					
年月日	年月日生					
計	人					

昭和　年　月　日

住所

氏名(法人ニ在リテハ其ノ名稱及代表者ノ氏名)　印

國民職業指導所長宛

備考

一　本報告書ハ雇入レタル從業者ノ使用工場、事業場又ハ事務所等ノ所在地ノ所轄國民職業指導所長宛提出スルコト

二　「本籍學校及學科名」欄ニハ工業又ハ鑛業ニ關スル學校卒業者以外ノ者ニ付テハ記載ヲ要セザルコト

三　「認可又ハ其ノ他ノ雇入別」欄ニハ令第五條ノ規定ニ依リ職業紹介所長ノ認可ヲ受ケテ雇入レタル場合ハ「認可」ト記載シ且雇入認可國民職業指導所名及認可年月日番號ヲ併記シ、規則第四條第一號ノ規定ニ依リ職業紹介所ノ紹介ニ依リテ雇入レタル場合ハ「紹介」ト記載シ、同條第二號ノ規定ニ依リ指定從業者ノ從前ノ使用主ノ指定從業者雇入同意書ニ依リテ雇入レタル場合ハ「同意」ト記載スルコト

四　規則第四條第二號ノ規定ニ依リ指定從業者ノ從前ノ使用主ノ指定從業者雇入同意書ニ依リテ雇入レタル場合ノ報告ニ付テハ其ノ同意書ノ「寫」ヲ添附スルコト

(樣式第五號省略)

從業者移動防止令第二條第一號ノ事業指定

(昭和十六年十月一日厚生省告示第四百二十六號)

一　鑛業及砂鑛業

二　土石採取業中左ニ掲グル事業

(一)アルミニューム原鑛採取業

(二)石灰、耐火材原材料(珪石、ドロマイト及礬石ヲ含ム)及石綿採取業

(三)螢石、珪藻土及雲母採取業

三　金屬工業中左ニ掲グル事業

(一)金屬精錬業及材料品製造業

(二)鑄物業(機械用鑄物製造業ニ限ル)

(三)其ノ他ノ金屬工業ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

(イ)鍛鉛製造業

(ロ)バネ製造業

(ハ)鋼索製造業

(ニ)ボルト、ナット、座金及鋲製造業

(ホ)釘類製造業

(ヘ)金屬板製品(ドラム罐及五ガロン用ブリキ罐ニ限ル)製造業

(ト)建築、橋梁、鐵塔等ノ鐵骨材料製造業

(チ)鐵線及鐵釘製造業

(リ)火造(鍛冶)業

(ヌ)鍍金業

(ル)熔接業

四　機械器具工業中左ニ掲グル事業

(一)原動機類製造業

(二)電氣機械器具類製造業

(三)電線及電纜製造業

(四)電池製造業

(五)工作機械器具製造業

(六)採鑛、選鑛及精錬用機械器具製造業

(七)化學工業用機械器具(特殊喞水機ヲ含ム)製造業

(八)ガス發生裝置製造業

(九)紡織機製造業

(十)鐵道車輛製造業

(十一)自動車製造業

(十二)船舶製造業

(十三)航空機及航空機部分品製造業

(十四)運搬機械製造業

(十五)ポンプ、水壓機、送風機及氣體壓縮機製造業

(十六)農業用機械器具製造業

(十七)計測器類製造業ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

(イ)度量衡器製造業

(ロ)電氣計器製造業

(ハ)計量器類製造業

(ニ)測量用機械器具(製圖用機械器具ヲ含ム)製造業

(ホ)試驗及檢查用機械器具製造業

(十八)醫術及理化學用機械器具製造業

(十九)光學機械器具(寫眞機類ヲ除ク)製造業

(二十)照明用機械器具(探照燈及照明燈ニ限ル)製造業

(二十一)銃砲、彈丸及兵器類製造業

(二十二)其ノ他ノ機械器具工業ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

(イ)瓣及コック製造業

(ロ)軸受製造業

(ハ)齒車製造業

(ニ)ベルト車、車輪及車軸製造業

（六）　石灰製造業
（五）　石灰石鉱業
（四）　骨灰製造業及骨炭製造業
（三）　石膏製品（プラスター用ニ限ル）製造業
（二）　石膏鉱業
（一）　滑石鉱業
七　窯業（陶磁器工業中左ニ掲ゲル者並ニ窯業ニ附帯シテ窯業原料ヲ自己ノ窯業ノ為ニ製造スル者ヲ含ム）
（十）　ガス業及電気業
（九）　其ノ他ノ工業中左ニ掲ゲル者
（三）　医薬品製造業中局方及マル印製造業
（二）　写真感光材料製造業及写真製版業
（一）　印刷業
九　其ノ他ノ工業（前各号ニ掲ゲル者ヲ除ク）
（三）　製氷業
（二）　冷蔵業
（一）　倉庫業
八　運輸業
（三）　港湾荷役業
（二）　陸運業
（一）　海運業
七　交通業
（六）　其ノ他ノ商業
（五）　燃料商業
（四）　金物商業
（三）　機械器具商業
（二）　繊維品商業
（一）　各種商品商業
六　商業
（十）　其ノ他ノ鉱業
（九）　石炭鉱業
（八）　金属鉱業
（七）　亜炭鉱業
（六）　石油鉱業
（五）　天然瓦斯鉱業
（四）　採土業
（三）　砂利採取業
（二）　土石採取業
（一）　採鉱業
五　鉱業（採石業、砂利採取業及亜炭鉱業ヲ含ム）
（十）　其ノ他ノ化学工業中左ニ掲ゲル者ニ属スルモノ
（九）　ゴム製品製造業（再生ゴム製造業ヲ含ム）
（八）　皮革製品製造業
（七）　製材業
（六）　木製品製造業（竹製品製造業ヲ含ム）
（五）　木材防腐業
（四）　合板製造業
（三）　木材薬品処理業（天然樹脂又ハ油脂ヲ含ム）
（二）　木材乾燥業
（一）　製材業
四　木材加工業
（十）　其ノ他ノ化学工業
（九）　ソーダ製造業（ソーダ灰ヲ含ム）
（八）　ソーダ工業（ソーダ灰ヲ含ム）
（七）　硫酸製造業
（六）　化学肥料製造業
（五）　化学繊維製造業
（四）　染料製造業
（三）　油脂製造業（天然樹脂又ハ油脂ヲ含ム）
（二）　工業薬品製造業
（一）　曹達製造業
五　化学工業中左ニ掲ゲル者
（十）　其ノ他ノ窯業
（九）　ほうろう鉄器製造業
（八）　琺瑯引鉄板製造業
（七）　陶磁器製造業
（六）　耐火煉瓦製造業
（五）　煉瓦製造業（耐火煉瓦製造業ヲ含ム）
（四）　衛生陶器製造業
（三）　土管製造業
（二）　タイル製造業
（一）　瓦製造業

従業者移動防止令施行規則

（昭和十五年十二月五日勅令第六百十八号）

第一條　従業者移動防止令（以下令ト称ス）第四條第二項ノ規定ニ依リ令ニ掲ゲル業ニ属スル事業ヲ指定シ其ノ使用セラルベキ従業者ノ範囲ヲ定ムルニ当リ左ノ各号ニ該当スル者ハ同条第一項ノ規定ニ拘ラズ其ノ使用ヲ制限セラルベキ従業者ノ範囲ニ属セザルモノトス

一　満十四歳未満ノ者

二　満十四歳以上満十六歳未満ノ者ニシテ尋常小学校ノ課程ヲ修了シタル者又ハ之ト同等以上ノ学力ヲ有スル者

三　満十六歳以上満十八歳未満ノ者ニシテ尋常小学校ノ課程ヲ修了シタル者又ハ之ト同等以上ノ学力ヲ有スル者ニシテ現ニ学校ニ在学スル者

四　満十六歳以上満十八歳未満ノ者ニシテ尋常小学校ノ課程ヲ修了シタル者又ハ之ト同等以上ノ学力ヲ有スル者ニシテ現ニ学校ニ在学セザル者

五　満十六歳以上満十八歳未満ノ者ニシテ尋常小学校ノ課程ヲ修了シタル者又ハ之ト同等以上ノ学力ヲ有スル者ニシテ現ニ学校ニ在学セザル者ニ対シ其ノ者ノ使用ニ関スル事業主ノ申請ニ基キ地方長官ノ指定スル者

六　満十六歳以上満十八歳未満ノ者ニシテ尋常小学校ノ課程ヲ修了シタル者又ハ之ト同等以上ノ学力ヲ有スル者ニシテ現ニ学校ニ在学セザル者ニ対シ其ノ者ノ使用ニ関スル事業主ノ申請ニ基キ地方長官ノ指定スル者ノ使用ニ関スル事業ニ従事スル者

七　満十六歳以上満十八歳未満ノ者ニシテ尋常小学校ノ課程ヲ修了シタル者又ハ之ト同等以上ノ学力ヲ有スル者ニシテ現ニ学校ニ在学セザル者ニ対シ其ノ者ノ使用ニ関スル事業主ノ申請ニ基キ地方長官ノ指定スル者ノ使用ニ関スル事業ニ従事スル者ノ配偶者又ハ直系尊属

八　満十六歳以上満十八歳未満ノ者ニシテ尋常小学校ノ課程ヲ修了シタル者又ハ之ト同等以上ノ学力ヲ有スル者ニシテ現ニ学校ニ在学セザル者ニ対シ其ノ者ノ使用ニ関スル事業主ノ申請ニ基キ地方長官ノ指定スル者ノ使用ニ関スル事業ニ従事スル者ノ配偶者又ハ直系尊属ノ為ニ家事ニ従事スル者

九　木工技術者（専ラ木工品ノ製造又ハ修理ノ為ニ使用セラルル者ヲ除ク）又ハ其ノ指導監督ノ為ニ使用セラルル者ニシテ地方長官ノ指定スル者

十　機械技術者（ギヤン・ガラス・陶磁器・耐火煉瓦又ハ其ノ他ノ機械ニ関スル技術ニ従事シ又ハ其ノ指導監督ニ従事スル者）

十一　前項ノ原動機、機械又ハ其ノ他ノ工作ニ関スル技術ニ従事シ又ハ其ノ指導監督ニ従事スル者

十二　陸運若ハ海運ノ作業ニ従事シ又ハ工場若ハ鉱業場ニ於テ行ラ運搬ノ為ノ施設ノ作業ニ従事シ又ハ工場若ハ鉱業場ニ於テ使用セラルル運搬用機械ノ運転ニ関スル技術ニ従事スル者

十三　前各号ニ掲ゲル者ノ外地方長官ニ於テ特ニ必要ト認メタル者

従業者移動防止令第二條ノ労務者指定

（昭和十年五月十七日告示第三百五十一号）

改正　昭一六、一〇、一、告四二七

一　鍛工（鍛圧ヲ含ム）
二　鋳物工
三　電工（電力架線工、電力架線工、電気機械器具工以外ノモノヲ含ム）
四　旋盤工
五　鉄骨工
六　溶接作業従事者
七　鉱夫及採石夫

従業者移動防止令第二條ノ技術者指定

（昭和十五年告示第三百五十八号）

一　鋳鉄業者（鋳鉄ヲ溶解シ鋳造スル業ニ従事シ又ハ其ノ指導監督ニ従事スル者）

二　合金鉄業者（合金鉄ノ製造ヲ業トシ又ハ其ノ為ノ合金ニ関スル技術ニ従事シ又ハ其ノ指導監督ニ従事スル者）

三　電気機械器具業者（電気機械器具ノ製造ヲ業トシ又ハ其ノ為ノ電気ニ関スル技術ニ従事シ又ハ其ノ指導監督ニ従事スル者）

四　電線業者（電線ノ製造ヲ業トシ又ハ其ノ為ノ電気ニ関スル技術ニ従事シ又ハ其ノ指導監督ニ従事スル者）

五　機械業者（機械ノ製造ヲ業トシ又ハ其ノ為ノ機械ニ関スル技術ニ従事シ又ハ其ノ指導監督ニ従事スル者）

工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地(當該指定從業者ノ使用セラルベキ場所ガ本令施行地外ニ在ルトキハ其ノ指定從業者ノ現在地)ノ所轄府尹、郡守又ハ島司ニ對シ第一號樣式ニ依リ之ヲ爲スベシ

前項ノ報告ハ國ノ紹介ニ依リ雇入レラレントスル場合ニ在リテハ其ノ紹介ヲ行フ官廳ヲ經由シテ之ヲ爲スベシ

第二條　指定從業者第四條第二號ノ雇入同意書ニ依リ雇入レラルル場合ハ令第四條第二項ノ前歷ニ關スル報告ヲ爲サザルコトヲ得

第三條　令第五條ノ認可ノ申請ハ指定從業者ヲ雇入レントスル者第二號樣式ニ依リ令第二條第一號又ハ第三號ノ指定從業者ノ雇入ニ付テハ其ノ者ガ現ニ就業スル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地ノ所轄府尹、郡守又ハ島司ニ對シ、同條第二號又ハ第四號ノ指定從業者ノ雇入ニ付テハ其ノ者ガ從前就業シタル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地ノ所轄府尹、郡守又ハ島司ニ對シ之ヲ爲スベシ

前項ノ認可申請書ニハ令第四條第三項ノ規定ニ依リ受理シタル第一條ノ前歷ニ關スル報告書アルトキハ之ヲ添附スルコトヲ要ス

第一項ノ規定ニ依ル申請ハ當該指定從業者ヲ使用セントスル工場、事業場其ノ他ノ場所別ニ之ヲ爲シ且其ノ工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地(當該指定從業者ヲ使用セントスル工場、事業場其ノ他ノ場所ガ本令施行地外ニ在ルトキハ其ノ指定從業者ノ現在地)ノ所轄府尹、郡守又ハ島司ヲ經由スベシ

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ指定從業者ノ雇入ニ付府尹、郡守又ハ島司ノ認可ヲ受クルコトヲ要セズ

一　國ノ紹介ニ依リ雇入ルル場合

二　令第二條第一號又ハ第三號ノ指定從業者ノ雇入ニ付テハ現在ノ使用者、同條第二號又ハ第四號ノ指定從業者ノ雇入ニ付テハ從前ノ使用者當該指定從業者又ハ其ノ者ヲ雇入レントスル者ニ對シ其ノ者ノ雇入前豫メ第三號樣式ニ依ル雇入同意書ヲ交付セル場合

第五條　指定從業者ノ雇入ノ認可ヲ受ケ又ハ前條ノ規定ニ依リ指定從業者ノ雇入ノ認可ヲ受ケズシテ指定從業者ヲ雇入レタル者ハ雇入ノ日ヨリ五日以內ニ第四號樣式ニ依リ當該指定從業者ヲ使用スル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地ノ所轄府尹、郡守又ハ島司ニ其ノ旨報告スベシ

第六條　府尹、郡守又ハ島司必要アリト認ムルトキハ朝鮮總督府地方官官制第十七條第二項ノ規定ニ基キ定メタル管轄區域ニ拘ラズ當該官吏ヲシテ本令施行地內ニ在ル關係ノ工場、事業場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類ヲ檢査セシムルコトヲ得

第七條　令第十二條第二項ノ證票ハ第五號樣式ニ依ル

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從業者雇入制限令施行規則ハ之ヲ廢止ス但シ同令第三條ノ規定ハ本令施行前從業者雇入制限令第二條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケ又ハ同令施行規則第一條但書ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケズシテ從業者ヲ雇入レタル者ノ爲ス報告ニ付テハ本令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

本令施行前從業者雇入制限令施行規則第一條ノ規定ニ依リ爲シタル認可ノ申請ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ第三條ノ規定ニ依リ爲シタルモノト看做ス

(樣式省略)

從業者移動防止令第二條第一號ノ事業指定

(昭和十五年十二月五日朝鮮總督府告示第千三百五十七號)

一　採鑛業(石灰石採取業ヲ含ム)

二　金屬工業

三　機械器具工業(船舶車輛製造業ヲ含ム)

四　化學工業(化學纖維製造業ヲ含ム)

五　電氣及瓦斯業

六　窯業及土石加工業ノ中左ニ掲グル事業

(一)　電氣用、醫療用、耐酸耐熱用ノ陶磁器及ガラス製品製造業

(二)　セメント製造業

(三)　耐火煉瓦及耐火物製造業

(四)　石綿製品製造業

七　製材及合板業

八　衛生材料品製造業

九　ベルト製造業

十　鐵道及軌道業

十一　自動車業

十二　航空業

十三　小運送業(朝鮮小運送業令ニ依ル小運送業ニ限ル)

十四　通信事業

從業者移動防止令第二條第一號ノ勞務者指定

(昭和十五年十二月五日朝鮮總督府告示第千三百五十八號)

一　鑛夫(石灰石採取夫ヲ含ム)

二　職工(製圖手、企畫手ヲ含ム)

三　電工(電力電機工、電力電路工、通信電機工及通信電路工ニ限ル)

四　汽罐士

五　通信士

六　航空機整備員

七　運送從業員(朝鮮小運送業令ニ依ル小運送業ニ從事スルモノニ限ル)

八　郵便及電報集配員

從業者移動防止令第二條第三號ノ技術者指定

(昭和十五年十二月五日朝鮮總督府告示第千三百五十九號)

一　鑛山技術者(採炭、選炭、採鑛、選鑛、採油又ハ採鑛ニ關スル技術ニ從事シ又ハ其ノ指導監督ニ從事スル者)

二　冶金技術者(金屬ノ製錬、合金、熱處理又ハ其ノ他ノ冶金ニ關スル技術ニ從事シ又ハ其ノ指導監督ニ從事スル者)

三　電氣技術者(電動機、發電機、變壓器等ノ電氣機械器具、電氣計器、電氣照明用機械器具、電線若ハ電纜ノ製作、取附、修繕若ハ取扱又ハ發變電若ハ送配電ニ關スル技術ニ從事シ又ハ其ノ指導監督ニ從事スル者)

四　電氣通信技術者(有線電信電話機、無線電信電話機(放送用ヲ含ム)、電視裝置、電寫裝置、電氣信號機等ノ電氣通信用機械器具ノ製作、取附、修繕又ハ取扱ニ關スル技術ニ從事シ又ハ其ノ指導監督ニ從事スル者)

五　機械技術者(陸、船及航空機用ノ原動機、工作機械、鑛山用機械、冶金用機械、化學用機械、計器、光學機械、精密機械、兵器、車輛、自動車、起重機若ハ其ノ他ノ機械器具ノ製作、修繕若ハ取扱、鐵塔、橋梁等ノ構造物ノ製作若ハ修繕又ハ金屬ノ壓延、鑄造、鍛造等ノ加工ニ關スル技術ニ從事シ又ハ其ノ指導監督ニ從事スル者)

六　航空機技術者(航空機ノ機體又ハプロペラノ製作ニ關スル技術ニ從事シ又ハ其ノ指導監督ニ從事スル者(航空機用原動機製作ニ從事スル者ヲ除ク))

七　造船技術者(造船ニ關スル技術ニ從事シ又ハ其ノ指導監督ニ從事スル者)

八　化學技術者(有機化學、無機化學、電氣化學、高壓化學等ノ化學ニ關スル技術ニ從事シ又ハ其ノ指導監督ニ從事スル者)

九　木工技術者(製材、木工品ノ製造又ハ機

械類ノ木部ノ製造若ハ修繕ニ關スル技術ニ從事シ又ハ其ノ指導監督ニ從事スル者）

十　窯業技術者（セメント、ガラス、陶磁器、耐火煉瓦又ハ其ノ他ノ窯業ニ關スル技術ニ從事シ又ハ其ノ指導監督ニ從事スル者）

從業者移動防止令施行規則

（昭和十五年十二月三日臺灣總督府令第百七十六號）

第一條　從業者移動防止令（以下令ト稱ス）第四條第二項ノ前歷ニ關スル報告ハ雇入ニ依リ當該指定從業者ノ使用セラルベキ工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地（當該指定從業者ノ使用セラルベキ場所ガ本令施行地外ニ在ルトキハ其ノ指定從業者ノ現在地）ノ所轄市長又ハ郡守ニ對シ別記第一號樣式ニ依リ之ヲ爲スベシ

第二條　指定從業者第四條ノ雇入同意書ニ依リ雇入レラルル場合ハ令第四條第二項ノ前歷ニ關スル報告ヲ爲サザルコトヲ得

第三條　令第五條ノ認可ノ申請ハ指定從業者ヲ雇入レントスル者別記第二號樣式ニ依リ令第二條第一號又ハ第三號ノ指定從業者ノ雇入ニ付テハ其ノ者ガ現ニ就業スル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地ノ所轄市長又ハ郡守ニ對シ、同條第二號又ハ第四號ノ指定從業者ノ雇入ニ付テハ其ノ者ガ從前就業シタル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地ノ所轄市長又ハ郡守ニ對シ之ヲ爲スベシ

前項ノ認可申請書ニハ令第四條第三項ノ規定ニ依リ受理シタル第一條ノ前歷ニ關スル報告書アルトキハ之ヲ添附スルコトヲ要ス第一項ノ規定ニ依ル申請ハ當該指定從業者ヲ使用セントスル工場、事業場其ノ他ノ場所別ニ之ヲ爲シ且其ノ工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地（當該指定從業者ヲ使用セントスル工場、事業場其ノ他ノ場所ガ本令施行地外ニ在ルトキハ其ノ指定從業者ノ現在地）ノ所轄市長又ハ郡守ヲ經由スベシ

第四條　令第二條第一號又ハ第三號ノ指定從業者ノ雇入ニ付テハ現在ノ使用者、同條第二號又ハ第四號ノ指定從業者ノ雇入ニ付テハ從前ノ使用者當該指定從業者又ハ其ノ者ヲ雇入レントスル者ニ對シ其ノ者ノ雇入前豫メ別記第三號樣式ニ依ル雇入同意書ヲ交付セル場合ハ其ノ雇入ニ付市長又ハ郡守ノ認可ヲ受クルコトヲ要セズ

第五條　指定從業者ノ雇入ノ認可ヲ受ケ又ハ前條ノ規定ニ依リ指定從業者ノ雇入ノ認可ヲ受ケズシテ指定從業者ヲ雇入レタル者ハ雇入ノ日ヨリ五日以內ニ別記第四號樣式ニ依リ當該指定從業者ヲ使用スル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地ノ所轄市長又ハ郡守ニ其ノ旨報告スベシ

第六條　令第十二條第二項ノ證票ハ別記第五號樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十五年十二月五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年府令第八十五號從業者雇入制限令施行規則ハ之ヲ廢止ス

（別記樣式省略）

從業者移動防止令施行規則

（昭和十五年十二月八日樺太廳令第百二十二號）

第一條　從業者移動防止令（以下令ト稱ス）第四條第二項ノ前歷ニ關スル報告ハ雇入ニ依リ當該指定從業者ノ使用セラルベキ工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地（當該指定從業者ノ使用セラルベキ場所ガ本令施行地外ニ在ルトキハ其ノ指定從業者ノ現在地）ノ所轄樺太廳支廳長ニ對シ樣式第一號ニ依リ之ヲ爲スベシ

第二條　指定從業者第四條第二號ノ雇入同意書ニ依リ雇入レラルル場合ハ令第四條第二項ノ前歷ニ關スル報告ヲ爲サザルコトヲ得

第三條　令第五條ノ認可ノ申請ハ指定從業者ヲ雇入レントスル者樣式第二號ニ依リ令第二條第一號又ハ第三號ノ指定從業者ノ雇入ニ付テハ其ノ者ガ現ニ就業スル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地ノ所轄樺太廳支廳長ニ對シ、同條第二號又ハ第四號ノ指定從業者ノ雇入ニ付テハ其ノ者ガ從前就業シタル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地ノ所轄樺太廳支廳長ニ對シ之ヲ爲スベシ

前項ノ認可申請書ニハ令第四條第三項ノ規定ニ依リ受理シタル第一條ノ前歷ニ關スル報告書アルトキハ之ヲ添附スルコトヲ要ス

第一項ノ規定ニ依ル申請ニ當該指定從業者ヲ使用セントスル工場、事業場其ノ他ノ場所別ニ之ヲ爲シ且其ノ工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地（當該指定從業者ヲ使用セントスル工場、事業場其ノ他ノ場所ガ本令施行地外ニ在ルトキハ其ノ指定從業者ノ現在地）ノ所轄樺太廳支廳長ヲ經由スベシ

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ指定從業者ノ雇入ニ付樺太廳支廳長ノ認可ヲ受クルコトヲ要セズ

一　樺太職業紹介所ノ紹介ニ依リ雇入ルル場合

二　令第二條第一號又ハ第三號ノ指定從業者ノ雇入ニ付テハ現在ノ使用者、同條第二號又ハ第四號ノ指定從業者ノ雇入ニ付テハ從前ノ使用者當該指定從業者又ハ其ノ者ヲ雇入レントスル者ニ對シ其ノ者ノ雇入前豫メ樣式第三號ニ依ル雇入同意書ヲ交付セル場合

第五條　指定從業者ノ雇入ノ認可ヲ受ケ又ハ前條ノ規定ニ依リ指定從業者ノ雇入ノ認可ヲ受ケズシテ指定從業者ヲ雇入レタル者ハ雇入ノ日ヨリ五日以內ニ樣式第四號ニ依リ當該指定從業者ヲ使用スル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地ノ所轄樺太廳支廳長ニ其ノ旨報告スベシ

第六條　令第十二條第二項ノ證票ハ樣式第五號ニ依ルモノトス

附　則

本令ハ昭和十五年十二月五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年七月樺太廳令第六十五號從業者雇入制限令施行規則ハ之ヲ廢止ス

（樣式省略）

從業者移動防止令施行規則

（昭和十五年十二月五日南洋廳令第四十三號）

第一條　從業者移動防止令（以下令ト稱ス）第四條第二項ノ前歷ニ關スル報告ハ雇入ニ依リ當該指定從業者ノ使用セラルベキ工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地（當該指定從業者ノ使用セラルベキ場所ガ本則施行地外ニ在ルトキハ其ノ指定從業者ノ現在地）ノ所轄支廳長ニ對シ樣式第一號ニ依リ之ヲ爲スベシ

第二條　指定從業者第四條ノ雇入同意書ニ依リ雇入レラルル場合ハ令第四條第二項ノ前歷ニ關スル報告ヲ爲サザルコトヲ得

第三條　令第五條ノ認可ノ申請ハ指定從業者ヲ雇入レントスル者樣式第二號ニ依リ令第二條第一號又ハ第三號ノ指定從業者ノ雇入ニ付テハ其ノ者ガ現ニ就業スル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地ノ所轄支廳長ニ對シ、同條第二號又ハ第四號ノ指定從業者ノ雇入ニ付テハ其ノ者ガ從前就業シタル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ所在地ノ所轄支廳長ニ對シ之ヲ爲ス

附則

この政令は、昭和十四年十月一日から施行する。

（昭和十四年政令第三百二十九号）

この政令は、昭和十四年十月一日から施行する。

（昭和十四年政令第三百二十九号）

電力調整令

（昭和十四年七月一日勅令第四百十八号）

第一条　国家総動員法第八条ノ規定ニ基ク電力ノ生産、配給又ハ消費ニ関シ必要ナル命令ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二条　本令ニ於テ電気事業者トハ電気事業法第一条ニ規定スル電気事業ヲ営ム者又ハ同法第二条第一項ニ規定スル電気事業者ヲ謂フ

本令ニ於テ自家用電気工作物設置者トハ電気事業者又ハ自家用電気工作物ヲ設置シタル者ヲ謂フ

第三条　逓信大臣ハ電力ノ消費ニ関シ左ノ事項ニ付命令ヲ為スコトヲ得

一　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気機械器具其ノ他電気ヲ使用スル設備ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

二　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電力ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

三　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電力ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

四　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電力ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

五　電気事業者ニ対シ電気ノ供給ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

六　電気事業者ニ対シ電気ノ供給ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

七　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

八　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

九　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

十　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

十一　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

十二　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

十三　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

十四　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

十五　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

十六　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

十七　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

十八　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

十九　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

二十　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

二十一　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

二十二　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

二十三　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

二十四　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

二十五　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

二十六　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

二十七　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

二十八　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

二十九　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

三十　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

三十一　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

三十二　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

三十三　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

三十四　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

三十五　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

三十六　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

三十七　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

三十八　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

三十九　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

四十　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

四十一　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

四十二　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

四十三　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

四十四　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

四十五　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

四十六　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

四十七　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

四十八　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

四十九　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

五十　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

五十一　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

五十二　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

五十三　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

五十四　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

五十五　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

五十六　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

五十七　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

五十八　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

五十九　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

六十　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

六十一　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

六十二　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

六十三　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

六十四　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

六十五　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

六十六　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

六十七　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

六十八　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

六十九　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

七十　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

七十一　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

七十二　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

七十三　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

七十四　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

七十五　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

七十六　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

七十七　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

七十八　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

七十九　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

八十　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

八十一　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

八十二　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

八十三　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

八十四　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

八十五　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

八十六　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

八十七　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

八十八　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

八十九　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

九十　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

九十一　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

九十二　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

九十三　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

九十四　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

九十五　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

九十六　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

九十七　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

九十八　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

九十九　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百一　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百二　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百三　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百四　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百五　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百六　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百七　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百八　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百九　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百十　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百十一　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百十二　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百十三　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百十四　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百十五　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百十六　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百十七　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百十八　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百十九　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百二十　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百二十一　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百二十二　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百二十三　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百二十四　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百二十五　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百二十六　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百二十七　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百二十八　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百二十九　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百三十　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百三十一　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百三十二　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百三十三　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百三十四　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百三十五　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百三十六　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百三十七　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百三十八　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百三十九　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百四十　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百四十一　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百四十二　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百四十三　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百四十四　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百四十五　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百四十六　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百四十七　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百四十八　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百四十九　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百五十　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百五十一　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百五十二　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百五十三　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百五十四　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ使用ニ関シ必要ナル制限ヲ為スベキ旨ヲ指定シテ電力ノ消費ニ関シ必要ナル制限ヲ為サシムルコト

百五十五　電気事業者又ハ自家用電気工作物設置者ニ対シ電気ノ

間ニ於テ協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ遞信大臣ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第八條　遞信大臣ハ第三條第一項若ハ第四條第一項ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止又ハ第三條第一項、第四條第一項若ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ電氣供給事業者又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ニ對シ電氣料金其ノ他供給條件ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第九條　遞信大臣ハ電氣事業者又ハ自家用電氣工作物施設者ニ對シ本令ニ依リテ爲ス制限、禁止又ハ命令ノ遵守ニ付事業主ニ代ルベキ管理人ノ選任ヲ命ズルコトヲ得

第十條　國家總動員法第二十七條ノ規定ニ基キ補償スベキ損失ハ第四條、第五條又ハ第七條第一項ノ規定ニ依ル處分ニ因ル通常生ズベキ損失トス

損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ處分ガ期間ヲ指定シテ爲サレタルモノナルトキハ當該期間終了後、其ノ他ノモノナルトキハ處分事項ノ實施終了後之ヲ請求スベシ但シ遞信大臣ノ定ムル所ニ依リ別段ノ時期ニ於テ之ヲ請求スルコトヲ得

第十一條　遞信大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ電力ノ生産、配給若ハ消費ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ電氣工作物ヲ施設シタル場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第十二條　遞信大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ遞信局長又ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ委任スルコトヲ得

第十三條　本令ノ施行ニ關スル重要事項ニ付行政官廳ノ諮問ニ應ズル爲電力調整委員會ヲ置ク

電力調整委員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十四條　遞信大臣ハ本令ノ施行ニ關スル重要事項ニ付內閣總理大臣ニ協議スベシ

第十五條　本令中遞信大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官トシ遞信局長又ハ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府遞信局長又ハ道知事、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通局總長又ハ州知事若ハ廳長トス

第十六條　第十三條及第十四條ノ規定ハ朝鮮、臺灣及樺太ニ在リテハ之ヲ適用セズ

附則

本令ハ昭和十四年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣及樺太ニ在リテハ昭和十四年十月二十七日ヨリ之ヲ施行ス

電力調整令施行規則

（昭和十四年十月十八日遞信省令第四十六號）

改正　昭一六、五、三一、遞令五六

第一條　新ニ電力ヲ受電シ又ハ受電電力ヲ增加シテ電力ノ消費ヲ爲サントスル者ハ左ノ區別ニ依リ遞信大臣又ハ遞信局長ノ認可ヲ受クベシ但シ告示ヲ以テ指定スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　新規受電電力又ハ增加受電電力一千キロワット以上ノモノニ在リテハ遞信大臣

二　其ノ他ノモノニ在リテハ遞信局長

第二條　前條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ左ニ揭グル事項ヲ記載シ之ヲ當該官廳ニ提出スベシ

一　電力ヲ必要トスル事由

二　豫定電氣供給事業者

三　受電電力ヲ受電電力ヲ增加セントスルモノニ在リテハ現在ノ受電電力ヲ附記スベシ

四　受電時間

五　受電開始豫定期日

六　電力消費裝置ノ施設場所及概要

第三條　電氣供給事業者別ニ告示ヲ以テ指定スル限度ヲ超ユル電力ノ消費裝置ヲ新設又ハ增設シテ電力ノ消費ヲ爲サントスル者ニ對シ電力ヲ供給セントスルトキハ第一條ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケタル者ニ對シ電力ヲ供給セントスル場合ヲ除クノ外遞信局長ノ認可ヲ受クベシ

第四條　電力調整令第六條又ハ第七條第二項ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者連署ノ上契約書ノ謄本ヲ添ヘ其ノ旨ヲ當該命令官廳ニ屆出ヅベシ

第五條　電力調整令第六條又ハ第七條第二項ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ノ正本ニ相手方ノ員數ニ相當スル數ノ副本ヲ添ヘ之ヲ當該命令官廳ニ提出スベシ

一　申請人及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

二　申請ノ目的及事由

前項ノ申請書ヲ受理シタル當該官廳ハ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシムベシ

前項ノ期間內ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ當該官廳ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

當該官廳裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ當事者ニ送付スベシ

第六條　電力調整令第三條第一項ノ規定ニ基キテ爲ス制限、禁止又ハ命令ハ告示シテ之ヲ爲ス

電力調整令第四條ノ規定ニ基キテ爲ス制限、禁止若ハ命令又ハ電力調整令第八條ノ規定ニ基キテ爲ス命令ハ告示シ又ハ令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

電力調整令第五條、第六條、第七條第一項又ハ第九條ノ規定ニ基キテ爲ス命令ハ令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

緊急ノ必要アルトキハ前二項ノ規定ニ拘ラズ電信ニ依ルコトヲ得

第七條　電力調整令第九條ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ於テ事業主管理人ヲ選任シタルトキハ電力調整令第十一條第一項ノ規定ニ基キ其ノ旨ヲ當該命令官廳ニ屆出ヅベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第八條　電力調整令第十一條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

第九條　電力調整令第四條乃至第六條、第七條第一項、第九條又ハ第十一條第一項ニ定ムル遞信大臣ノ職權ハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外遞信局長之ヲ行フコトヲ得

電力調整令ニ定ムル遞信大臣ノ職權ハ別ニ告示スル所ニ從ヒ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）之ヲ行フコトヲ得

第十條　第二條、第四條、第五條第一項又ハ第七條ノ規定ニ依リ申請書又ハ屆書ヲ遞信大臣ニ提出スル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ事業地ヲ管轄スル遞信局長ニ提出スベシ

第三條ノ規定ニ依リ申請書ヲ遞信局長ニ提出スル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ事業地ヲ管轄スル地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ提出スベシ

附則

本令ハ電力調整令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則（昭一六、五、三一、遞令五六）

本令ハ昭和十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

電力消費規正關用區分表

(昭和十四年十二月二十七日 遞信省告示第三千八百十號)

改正 昭一五、一〇、二五、遞告二九〇九

電力調整令第三條第一項又ハ第四條第一項ノ規定ニ依リ制限、禁止又ハ命令ヲ爲ス場合ニ於テ用途ヲ指定スルトキハ別表ノ區分ニ依ル

(別表)

電力消費規正關用區分表

第一種使用

一 軍用

二 其ノ他遞信大臣ノ指定シタルモノ

第二種使用

甲類(左ニ掲グルモノノ外遞信大臣ニ於テ特ニ本類ニ屬セシムルモノアルベシ)

部門
業種
種目
細目

一、鑛業
(一)採鑛業
1. 金屬鑛業(遞信大臣ノ指定シタルモノニ限ル)
2. 石炭鑛業(同右)
3. 石油鑛業(同右)

二、工業
(一)金屬工業
1. 製鐵業
イ、鋼材
a、普通鋼(遞信大臣ノ指定シタルモノニ限ル)
b、特殊鋼(同右)
c、鍛鋼鋼(同右)
ロ、銑鐵(遞信大臣ノ指定シタルモノニ限ル)
ハ、純鐵(同右)
ニ、フェロアロイ(同右)
2. 非鐵金屬製錬業(遞信大臣ノ指定シタルモノニ限ル)
(二)軍需品製造業
1. 兵器及兵器部分品製造業(遞信大臣ノ指定シタルモノニ限ル)
2. 衣糧製造業(同右)
(三)機械器具工業
1. 造船(含部分品及附屬品)業
イ、鋼船(千噸以上ニ限ル)(遞信大臣ノ指定シタルモノニ限ル)
2. 航空機(含部分品及附屬品)製造業(遞信大臣ノ指定シタルモノニ限ル)
3. 金屬工作機械製造業(同右)
4. 車輛(含部分品及附屬品)製造業
イ、鐵道及軌道用車輛(遞信大臣ノ指定シタルモノニ限ル)
ロ、自動車(除小型自動車)(同右)
(四)化學工業
1. 製藥業
イ、醫藥(遞信大臣ノ指定シタルモノニ限ル)
2. 工業藥品製造業
イ、人造クリオリット(遞信大臣ノ指定シタルモノニ限ル)
ロ、アルミニウム製造用アルミナ(同右)
ハ、弗化アルミニウム(同右)
ニ、カーバイド(同右)
ホ、メタノール(同右)
ヘ、ソーダ灰(同右)
ト、苛性ソーダ(同右)
チ、金屬ソーダ(同右)
リ、青化ソーダ(同右)
ヌ、鹽素酸カリ及ソーダ(同右)
3. 肥料製造業
イ、硫安(遞信大臣ノ指定シタルモノニ限ル)
ロ、石灰窒素(同右)
ハ、過燐酸石灰(同右)
ニ、配合肥料及化成肥料(同右)
ホ、植物油粕(同右)
4. 鹽製造業(遞信大臣ノ指定シタルモノニ限ル)
5. 石油精製業(同右)
6. 人造石油製造業(同右)
7. 代用液體燃料製造業(同右)
8. パルプ製造業
イ、人絹用パルプ(遞信大臣ノ指定シタルモノニ限ル)

ロ、製紙用パルプ(同右)

三、交通、通信其ノ他公共事業
(一)交通、通信事業
イ、鐵道及軌道事業
ロ、航空事業
ハ、通信事業(含放送事業)
ニ、警察事業
(二)其ノ他ノ公共事業
イ、水道、下水及瓦斯事業
ロ、新聞通信業
ハ、醫療機關
ニ、教育及研究機關
ホ、火葬場

四、其ノ他
(一)土木建築事業(第一種及第二種甲類ニ屬スル事業並ニ電氣事業ニ對スルモノニ限ル)

乙類(左ニ掲グルモノノ外遞信大臣ニ於テ特ニ本類ニ屬セシムルモノアルベシ)

部門
業種
種目
細目

一、輸出品製造業(遞信大臣ノ指定シタルモノニ限ル)

二、鑛業
(一)土砂採取業
1. 土石採取業
イ、石灰石

三、工業
(一)金屬工業
1. 非鐵金屬材料品製造業
イ、銅
ロ、黄銅
ハ、鉛
ニ、亜鉛
ホ、ニッケル
ヘ、減摩合金
ト、アルミニウム
チ、輕合金
2. 鑄物業
イ、銑鐵鑄物
a、鑄鐵管
b、機械用鑄物
ロ、可鍛鑄鐵鑄物
ハ、非鐵金屬鑄物
a、機械用ノモノ
(二)機械器具工業
1. 蒸汽罐製造業(日本機械製造工業組合聯合會所屬ノモノニ限ル)
2. 原動機製造業
イ、蒸汽タービン(日本機械製造工業組合聯合會所屬ノモノニ限ル)
ロ、水車(同右)
3. 電氣機械器具製造業
イ、發電機、電動機、變壓器(日本機械製造工業組合聯合會所屬ノモノニ限ル)
ロ、蓄電池(同右)
4. 自動車專用ガス發生裝置製造業
5. 採鑛、選鑛、製錬機械器具製造業(日本機械製造工業組合聯合會所屬ノモノニ限ル)
6. 製鐵用又ハ非鐵金屬材料製造用機械器具製造業(同右)
7. 石油精製用機械器具製造業(同右)
8. 水壓鐵管、水門又ハ鐵塔製造業(同右)
9. 化學工業用機械器具製造業
イ、人造石油其ノ他液體燃料製造用機械(日本機械製造工業組合聯合會所屬ノモノニ限ル)
ロ、アルミ製造用機械(同右)
ハ、マグネシウム製造用機械(同右)
ニ、硫安製造用機械(同右)
ホ、パルプ製造用機械(同右)
10. 起重機製造業(日本機械製造工業組合聯合會所屬ノモノニ限ル)
11. 卷上機、聯送機及運搬機製造業(同右)
12. 氣體壓縮機製造業(同右)
13. ポンプ製造業(同右)
14. 送風機製造業(同右)
15. 水壓機製造業(同右)
16. 計器又ハ測定器製造業
17. 軸受製造業(日本機械製造工業組合聯合會所屬ノモノニ限ル)
18. 瓣及コック製造業
19. 農林漁業機械器具製造業
20. 試驗檢定及學術研究用器械製造業
21. 電氣通信用機械器具製造業
イ、有線電信電話機械器具(日本機械製造工業組合聯合會所屬ノモノニ限ル)
ロ、無線電信電話機械器具(除家庭ラヂ

オ)(同右)
22. 電線及電纜製造業
23. 其ノ他ノ金屬製品製造業
イ、索道又ハ鋼索
ロ、釘類
ハ、交通信號保安裝置及分岐器
(三)窯業
1. 耐火煉瓦製造業
2. ガラス及ガラス製品製造業
イ、光學ガラス
3. セメント製造業
(四)化學工業
1. 工業藥品製造業
イ、壓縮ガス
a、酸素
ロ、石炭酸
ハ、グリセリン
2. 農業藥品製造業
3. 發火物製造業
イ、火藥
ロ、爆藥
ハ、導火藥
4. 染料及中間物製造業
イ、染料中間物其ノ他コールタール分溜物製品
ロ、合成染料
5. 塗料及顏料製造業
イ、塗料
a、ペイント(船底塗料ニ限ル)
b、自動車及航空機用其ノ他特殊塗料

6. ゴム製品製造業
イ、硬質ゴム製品
a、タイヤ及其ノ附屬品(自動車用及航空機用ノモノニ限ル)
b、コンベヤ用ベルト
c、防震資材
7. 再生ゴム製造業
8. 炭素製品製造業
イ、電氣カーボン
ロ、活性炭素
9. ピッチコークス製造業
10. ヴァルカナイズドファイバー製造業
11. 合成樹脂製造業
12. 寫眞用フィルム乾板及感光紙製造業
(五)其ノ他ノ工業
1. 研磨材料及研磨用品製造業
2. 機械用ベルト製造業
3. マッチ製造業
(六)製材業
四、農林水產業
(一)農林業
1. 酪農業
2. 養蠶業
3. 家畜飼料加工業
(二)水產業

1. 水產物罐詰製造業
五、官公署事業
六、其ノ他
(一)倉庫業
イ、冷藏倉庫
(二)食料品業
1. 乾燥野菜製造業
2. 精米及精麥業
3. 冷凍業
4. 製氷業

第二種甲類部門一及二ニ記載シアル業目及細目ニ屬スルモノニシテ遞信大臣ヨリ指定セラレザルモノ

第三種需用

第一種需用、第二種需用、第四種需用及電燈需用ヲ除ク其ノ他ノ需用

第四種需用

一 照明
イ ネオンサイン(公共標識用ノモノヲ除ク)
ロ 電飾(屋內照明用ノモノヲ除ク)
ハ 廣告燈(看板燈ヲ除ク)
ニ 屋外用投光器(交通用及作業用ノモノヲ除ク)
ホ 庭園燈(公園ニ施設スルモノヲ除ク)
ヘ 多燈式街路燈
二 電熱及動力

イ 電氣風呂
ロ 採暖用電熱器(醫療用以外ノモノニシテ新設又ハ增設スルモノニ限ル)
ハ 冷房用電熱器(新設又ハ增設スルモノニ限ル)
ニ 家庭用電氣冷藏庫(新設又ハ增設スルモノニ限ル)
ホ 庭園用電動揚水ポンプ(公園ニ施設スルモノヲ除ク)
ヘ エレベーター(傷病者運搬用及貨物運搬用ノモノ並ニ行程十米以上ノモノヲ除ク)
ト エスカレーター(貨物運搬用ノモノヲ除ク)

電燈用

電力ノ消費ノ禁止ニ關スル件

(昭和十四年十二月十八日遞信省告示第三千六百八十九號)

電力調整令第三條第一項ノ規定ニ依ル電力ノ消費ノ禁止ニ關シ左ノ通定メ昭和十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

電力ハ左ニ揭グルモノノ用途ニ之ヲ消費スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ノ除外シタル場合又ハ其ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 ネオンサイン(公共標識用ノモノヲ除ク)
二 電飾(屋內照明用ノモノヲ除ク)
三 廣告燈(看板燈ヲ除ク)
四 屋外用投光器(交通用及作業用ノモノヲ除ク)
五 庭園燈(公園ニ施設スルモノヲ除ク)
六 多燈式街路燈

電力ノ消費ノ制限ニ關スル件

(昭和十五年十月二十六日遞信省告示第二千九百十八號)

改正 昭一六、一一、一五、遞告七〇

電力調整令第三條第一項ノ規定ニ依ル電力ノ消費ノ制限ニ關シ左ノ通定メ昭和十五年十一月十二日ヨリ之ヲ施行ス

電力ハ別表ニ定ムル限度ヲ超エテ之ヲ消費スルコトヲ得ズ但シ左ニ揭グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 遞信大臣又ハ遞信局長ニ於テ特別的又ハ一般的ニ消費限度ヲ緩和シ又ハ解除シタルトキ
二 地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ニ於テ保安上其ノ他緊急已ムヲ得ザル必要ニ因リ消費限度ヲ臨時緩和又ハ解除シタルトキ
三 他ヨリノ受電ニ依ラザル電力ヲ消費スルモノナルトキ

本告示ニ依ル制限ノ實施ニ付遞信局長必要アリト認ムルトキハ電力ノ消費ヲ停止スベキ日若ハ時間ヲ指定シ又ハ日、週、旬若ハ半月ニ於ケル使用電力量ノ限度ヲ指定スルコトヲ得

(別表)

地域	用途	限度
東北地方	第一種需用	百分ノ百
	第二種需用甲類	百分ノ九十
	第二種需用乙類	百分ノ八十五
	第三種需用	百分ノ八十五
關東地方 中部地方 近畿地方 中國地方 四國地方	第一種需用	百分ノ百
	第二種需用甲類	百分ノ八十五
	第二種需用乙類	百分ノ八十
	第三種需用	百分ノ八十

備考
一 地域ハ昭和十五年二月遞信省告示第二百三十一號ニ依ル
二 用途ハ昭和十四年十二月遞信省告示第三千八百十號(昭和十五年十一月遞信省告示第二千九百五十號改正)ニ依ル
三 限度ハ最大電力ニ付テハ法令ニ依リ認容セラレタル契約最大電力、月使用電力量ニ付テハ昭和十五年八月及九月ノ平均月使用電力量、昭和十五年八月及九月ノ使用電力量ナキモノ又ハ特別ノ事情アルモノニ付テハ遞信局長ノ指定シタル電力量ニ依ル

四　本告示施行ノ月又ハ翌月ニ檢査アリタル月ニ於ケル使用電力量ノ算定ハ日割計算ニ依ル

電力調整令第三條第一項ノ規定ニ依ル電燈用電力ノ消費ノ制限ニ關スル件

（昭和十五年七月三日 遞信省告示第千八百二十五號）

電力ハ左ニ掲グル限度ヲ超エテ電燈ノ用ニ之ヲ消費スルコトヲ得ズ但シ遞信局長ニ於テ特別ノ事情ニ依リ當該限度ヲ變更若ハ解除シタル場合又ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ於テ保安上其ノ他必要ニ因リ特定ノ需用ニ付當該限度ヲ變更若ハ解除シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　定額制ニ依ル電力ノ供給ヲ受クル場合　限度

昭和十五年二月九日ニ於ケル取附總容量ガ四百ワット又ハ三百二十燭ヲ超ユルモノ　當該總容量ノ百分ノ八十（四百ワット又ハ三百二十燭未滿ト爲ルモノニ付テハ四百ワット又ハ三百二十燭）

二　從量制ニ依ル電力ノ供給ヲ受クル場合　限度

取附總容量ガ二十燭以上ニシテ昭和十四年一月分ニ於ケル使用電力量ガ一燈當リ平均三キロワット時ヲ超ユルモノ　當該使用電力量ノ百分ノ八十（一燈當リ平均使用電力量ガ三キロワット時未滿ト爲ルモノニ付テハ三キロワット時）

前項第一號ノ場合ニ於テワット制及燭制ヲ併用スルモノニ付テハ一燭ヲ一・二五ワットトシテ計算ス

第一項第二號ノ場合ニ於テ昭和十四年一月分ノ使用電力量ナキモノ又ハ同年同月以後ニ於テ契約種類若ハ契約容量ニ變更アリタルモノニ付テハ同種同程度ノ需用ノ使用電力量ヲ參酌ノ上電氣供給事業者ニ於テ指定シタル電力量ヲ以テ昭和十四年一月分ノ使用電力量ト看做ス

第一項第二號ノ場合ニ於テ電氣供給事業者ハ昭和十五年八月分以降ニ於テ當該需用者ノ使用シ得ル月電力量ヲ通告スベシ

電力消費規正地域區分表

（昭和十五年十二月三日 遞信省告示第二千百三十一號）

改正　昭一五、一二、二〇、遞告四〇三三

電力調整令第三條第一項又ハ第四條第一項ノ規定ニ依リ制限、禁止又ハ命令ヲ爲ス場合ニ於テ地域ヲ指定スルトキハ別表ノ區分ニ依ル

（別表）

電力消費規正地域區分表

北海道地方東北部

根室國、北見國、釧路國、十勝國、天鹽國、石狩國上川郡、空知郡、夕張郡、雨龍郡、樺戸郡、濱益郡、札幌郡（江別町）、石狩郡（新篠津村、當別村）

北海道地方西南部

日高國、膽振國、後志國、渡島國、石狩國（北海道地方東北部ニ屬スルモノヲ除ク）

東北地方北部

青森縣、岩手縣、秋田縣、山形縣酒田市、鶴岡市、北村山郡、飽海郡、東田川郡、西田川郡、最上郡。

東北地方南部

宮城縣、福島縣、山形縣（東北地方北部ニ屬スルモノヲ除ク）

關東地方

新潟縣、茨城縣、栃木縣、群馬縣、埼玉縣、千葉縣、東京府、神奈川縣、山梨縣、靜岡縣

中部地方

長野縣、岐阜縣、愛知縣、三重縣、富山縣、石川縣、福井縣

近畿地方

滋賀縣、京都府、大阪府、奈良縣、和歌山縣、兵庫縣

中國地方東部　岡山縣（中國地方中部ニ屬スルモノヲ除ク）、廣島縣深安郡（山野村）、比婆郡（東城町、帝釋村、八幡村、田森村、久代村）、神石郡（油木町、豐松村、古川村、高光村、永渡村、新坂村、小野村、阿下村、上村、小畠村、常光村、亀石村、仙養村）、鳥取縣（中國地方中部ニ屬スルモノヲ除ク）

香川縣小豆郡

中國地方中部

岡山縣　小田郡（笠岡町、金浦町、陶山村、城見村、大井村、吉田村、神島内村、神島外村、北木島村、白石島村）、廣島縣（中國地方東部及西部ニ屬スルモノヲ除ク）、鳥取縣米子市、日野郡、東伯郡、西伯郡、氣高郡（鹿野町、青谷町、瑞穂村、寶木村、酒津村、正條村、日置村、日置谷村、勝部村、中郷村）、島根縣、山口縣阿武郡（須佐町、[illegible]佐村、[illegible]村、田万崎村、地福村）、愛媛縣越智郡（弓削村、生名村、岩城村、東伯方村、西伯方村、大山村、宮窪村、津倉村、亀山村、鴻浦村、瀬戸崎村、盛口村、宮浦村、鏡村、岡山村、關前村）

中國地方西部

廣島縣佐伯郡（玖波町、大竹町、小方村、木野村）、山口縣（中國地方中部ニ屬スルモノヲ除ク）

四國地方

香川縣（小豆郡ヲ除ク）、愛媛縣（中國地方中部ニ屬スルモノヲ除ク）、德島縣、高知縣

九州地方東部

福岡縣（九州地方西部ニ屬スルモノヲ除ク）、熊本縣阿蘇郡（[illegible]山村、野尻村）、大分縣（九州地方西部ニ屬スルモノヲ除ク）、宮崎縣（九州地方西部ニ屬スルモノヲ除ク）

九州地方西部

福岡縣福岡市、久留米市、大牟田市、糟屋郡（[illegible]村）、宗像郡、[illegible]郡（宇美町、須惠村ヲ除ク）、筑紫郡（日佐村、那珂村、岩戸村、安徳村ヲ除ク）、早良郡、糸島郡、三井郡、朝倉郡、浮羽郡、八女郡、山門郡、三池郡、三瀦郡、佐賀縣、長崎縣、熊本縣（九州地方東部ニ屬スルモノヲ除ク）、大分縣日田郡（大鶴村、夜明村、五和村）、直入郡（久住町、岡本村、下竹田村、長湯村、阿蘇野村、都野村、白丹村ヲ除ク）、大野郡（小富士村、上緒方村、長谷川村）、宮崎縣都城市、兒湯郡（西米良村）、西諸縣郡（飯野村、加久藤村、眞幸村）、北諸縣郡、鹿兒島縣

電力ノ供給ノ禁止ニ關スル件

（昭和十四年十二月十八日 遞信省告示第三千六百八十六號）

電力調整令第四條第一項ノ規定ニ依ル電力ノ供給ノ禁止ニ關シ左ノ通定メ昭和十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

電氣供給事業者ハ左ニ掲グルモノノ用ニ消費セラルベキ電力ヲ供給スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ノ除外シタル場合又ハ其ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　電氣風呂

二　煖房用電熱器（醫療用以外ノモノニシテ新設又ハ増設スルモノニ限ル）

三　調理用電熱器（新設又ハ増設スルモノニ限ル）

四　庭園用電動揚水ポンプ（公園ニ施設スルモノヲ除ク）

五　エレベータ（傷病者運搬用及貨物運搬用ノモノ竝ニ行程十米以上ノモノヲ除ク）

六　エスカレータ（貨物運搬用ノモノヲ除ク）

電力調整令第八條ノ規定ニ依ル電氣料金其ノ他供給條件ニ關スル件

（昭和十五年二月十日 遞信省告示第三百二十號）

改正　昭一五、一〇、三一、遞告二九七一

電力調整令第八條ノ規定ニ依リ昭和十四年十二月遞信省告示第三千六百八十五號ニ依リ消費ヲ禁止セラレ若ハ同第三千六百八十六號ニ依リ供給ヲ禁止セラレ又ハ昭和十五年二月遞信省告示第二百三十三號若ハ同年十月遞信省告示第二千九百十八號ニ依リ消費ヲ制限セラレタル電力ニ對スル電氣料金其ノ他供給條件ニ關シ左ノ通定メ本日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年十二月遞信省告示第三千六百八十五號ニ依リ消費ヲ禁止セラレ又ハ同第三千六百八十六號ニ依リ供給ヲ禁止セラレタル電力ニ對シテハ電氣料金ハ之ヲ徵スルコト

ヲ得ズ

昭和十五年二月遞信省告示第二百三十三號又ハ同年十月遞信省告示第二千九百十八號ニ依リ消費ヲ制限セラレタル電力ニ對スル電氣料金ノ算定ハ左ノ各號ニ依ル

一　最大電力（電燈用電力ニ在リテハワット數又ハ燭數）ニ付制限アリタルモノハ電氣供給規程ニ依リ供給セラルルモノニ付テハ電氣供給規程中當該制限後ノ最大電力ニ相當スル電力ニ適用スベキ電氣料金ニ依リ料金ヲ算定シ電氣供給規程ニ依ラズシテ供給セラルルモノニ付テハ當該制限後ノ最大電力ノ契約最大電力ニ對スル割合ニ應ジ定額料金制ニ依リ供給セラルルモノニ在リテハ其ノ定額料金ヲ低減シ從量料金制ニ依リ供給セラルルモノニ在リテハ其ノ最低料金、準備料金及料率ノ段階ヲ低減スルモノトス

實際使用最大電力ガ當該制限後ノ最大電力ヲ超エタルトキハ最大電力ノ超過ニ付電氣供給規程又ハ契約ニ規定スル所ニ從ヒ料金ヲ算定スルモノトス

二　使用電力量ニ付制限アリタルモノハ當該制限後ノ使用シ得ベキ電力量ガ電氣供給規程又ハ契約ニ規定スル最低責任使用量ニ達セザルモノニ付テハ當該制限ノ割合ニ應ジ當該最低責任使用量ヲ低減シ料金ヲ算定スルモノトス

三　使用電力量ニ付制限アリタル場合ニ於テ實際使用電力量ガ當該制限後ノ使用シ得ベキ電力量ヲ超エタルトキハ昭和十五年二月遞信省告示第二百三十三號ニ依リ消費ヲ制限セラレタルモノヲ除クノ外電氣供給規程又ハ契約ニ規定スル料率ノ二倍ノ料率ニ依リ當該超過電力量ノ料金ヲ算定スルモノトス但シ制限後ノ使用シ得ベキ電力量ガ前號ノ規定ニ依リ低減セラレタル最低責任使用量ニ達セザルモノニ付テハ其ノ低減セラレタル最低責任使用量ニ相當スル電力量ニ達スル迄ハ電氣供給規程又ハ契約ニ規定スル料率ヲ以テ當該超過電力量ノ料金ヲ算定スルモノトス

四　一定ノ日又ハ時間ニ於ケル電力使用ノ休止ノ方法ニ依リ電力ノ消費ノ制限アリタルモノハ定額料金制ニ依リ供給セラルルモノニ付テハ其ノ休止日數又ハ休止時間數ニ應ジ其ノ定額料金ヲ低減スルモノトス

五　第一號ニ規定スル制限方法及第二號又ハ前號ニ規定スル制限方法ガ同時ニ適用セラルルモノニ付テハ先ヅ第一號ノ規定ニ依リ料金ヲ算定シタル後第二號及第三號ノ規定ニ依リ料金ヲ算定シ又ハ前號ノ規定ニ依リ料金ヲ算定スルモノトス此ノ場合ニ於テ第一號ノ規定ニ依リ算定セラレタル料金ハ第二號乃至前號ノ規定ニ依ル料金ノ算定ニ當リテハ第六號ノ規定ニ依ル場合ヲ除クノ外之ヲ電氣供給規程又ハ契約ノ料金ト看做ス

六　第一號及第二號ニ規定スル制限方法ガ同時ニ適用セラルルモノニシテ當該制限後ノ使用シ得ベキ電力量ガ第一號ニ依リ低減セラレタル最低料金ニ相當スル電力量ニ達セザルモノニ付テハ第一號ノ規定ニ依リ低減セラレタル最低料金ニ相當スル電力量ト第二號ノ規定ニ依リ電氣供給規程又ハ契約ニ規定スル最低責任使用量ヲ低減シタル電力量トヲ比較シ兩者ノ中低キモノヲ以テ其ノ最低責任使用量トシテ料金ヲ算定スルモノトス

（昭和十五年十月三十一日遞信省告示第二千九百七十一號ハ昭和十五年十一月十二日ヨリ施行）

電力調整令施行規則第一條但書ノ規定ニ依ル認可ヲ受クルコトヲ要セザル場合指定

（昭和十四年十月十八日遞信省告示第三千三十五號）

改正　昭一六、五、三一、遞告一二九二

電力調整令施行規則第一條但書ノ規定ニ依リ認可ヲ受クルコトヲ要セザル場合左ノ通指定シ電力調整令施行規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

新規受電電力又ハ增加受電電力百キロワット未滿ノ場合

（昭和十六年五月三十一日遞信省告示第千二百九十二號ハ昭和十六年六月一日ヨリ施行）

電力調整令施行規則第三條ノ規定ニ依ル認可ヲ受クベキ場合指定

（昭和十六年五月三十一日遞信省告示第千二百九十三號）

電力調整令施行規則第三條ノ規定ニ依リ認可ヲ受クベキ場合左ノ通指定シ昭和十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

一　電氣供給規程ニ依リ電力ヲ供給セラルル電動機ニ在リテハ定格出力又ハ其ノ合計十キロワット又ハ十五馬力以上

二　電氣供給規程ニ依リ電力ヲ供給セラルル電動機以外ノ電力消費裝置（電燈ヲ除ク）ニ在リテハ定格容量又ハ其ノ合計十キロワット以上

三　電氣供給規程ニ依ラズシテ電力ヲ供給セラルル電力消費裝置ニ在リテハ契約電力十キロワット以上

電力調整令ニ定ムル遞信大臣ノ職權ニシテ地方長官ノ行フコトヲ得ルモノ

（昭和十四年十二月十八日遞信省告示第三千六百八十七號）

電力調整令ニ定ムル遞信大臣ノ職權ニシテ電力調整令施行規則第九條第二項ノ規定ニ依リ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ノ行フコトヲ得ルモノハ左ニ揭グルモノトス

一　電力調整令第三條又ハ第四條ノ規定ニ基キテ爲ス制限、禁止又ハ命令ニ關シ其ノ實施狀況ヲ監視スル爲同令第十一條第一項ノ規定ニ基キ所屬官吏ヲシテ臨檢檢査セシムルコト

二　電力調整令第三條又ハ第四條ノ規定ニ基キテ爲ス制限、禁止又ハ命令ヲ保安上其ノ他緊急已ムヲ得ザル必要アル場合ニ於テ臨時變更又ハ解除スルコト

三　電力調整令第三條第一項ノ規定ニ基キテ爲ス禁止ノ實施ニ關シ一般的ニ必要ナ

ル措置ヲ命ズルコト

四　其ノ他電力調整令ニ基キテ爲ス處分ニ依リ地方長官ノ權限ニ屬セシメタルモノ

電力調整令施行規則

（昭和十四年十月二十七日朝鮮總督府令第百八十八號）

第一條　新ニ電力ヲ受電シ又ハ受電電力ヲ增加シテ電力ノ消費ヲ爲サントスル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ但シ告示ヲ以テ指定スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條　前條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ左ニ揭グル事項ヲ記載シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　電力ヲ必要トスル事由

二　設定電氣供給事業者

三　受電電力（受電電力ヲ增加セントスルモノニ在リテハ現在ノ受電電力ヲ附記スベシ）

四　受電時間

五　受電開始豫定期日

六　電力消費裝置ノ施設場所及概要

第三條　電氣供給事業者別ニ告示ヲ以テ指定スル限度ヲ超ユル電力消費裝置ヲ新設又ハ增設シテ電力ノ消費ヲ爲サントスル者ニ對シ電力ヲ供給セントスルトキハ第一條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタル者ニ對シ電力ヲ供給セントスル場合ヲ除クノ外朝鮮總督府遞信局長（以下單ニ遞信局長ト稱ス）ノ許可ヲ受クベシ

第四條　電力調整令第六條又ハ第七條第二項ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者連署ノ上契約書ノ謄本ヲ添ヘ其ノ旨ヲ當該命令官廳ニ屆出ヅベシ

第五條　電力調整令第六條又ハ第七條第二項ノ規定ニ依リ指定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ相當スル數ノ謄本ヲ添ヘ之ヲ當該命令官廳ニ提出スベシ

一　申請人及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

二　申請ノ目的及事由

前項ノ申請書ヲ受理シタル當該官廳ハ本令ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシムベシ

前項ノ期間內ニ答辯書ノ差出ナキトキハ當該官廳ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

電力調整令第十一條第一項ニ定ムル朝鮮總督ノ職權ハ朝鮮總督ノ指示スル所ニ從ヒ道知事之ヲ行フコトヲ得

第十條　本令ノ規定ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ハ明治四十三年朝鮮總督府令第五號ノ規定ニ拘ラズ朝鮮總督府遞信局

ニ差出スベシ

附　則

本令ハ電力調整令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

電力調整令施行規則

（昭和十四年十月二十七日臺灣總督府令第百二十六號）

第一條　新ニ電力ヲ受電シ又ハ受電電力ヲ增加シテ電力ノ消費ヲ爲サントスル者ハ左ノ區別ニ依リ臺灣總督又ハ交通局總長ノ認可ヲ受クベシ但シ告示ヲ以テ指定スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　新規受電電力又ハ增加受電電力一千キロワット以上ノモノニ在リテハ臺灣總督

二　其ノ他ノモノニ在リテハ交通局總長

第二條　前條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ左ニ揭グル事項ヲ記載シ之ヲ當該官廳ニ提出スベシ

一　電力ヲ必要トスル事由

二　設定電氣供給事業者

三　受電電力（受電電力ヲ增加セントスルモノニ在リテハ現在ノ受電電力ヲ附記スベシ）

四　受電時間

五　受電開始豫定期日

六　電力消費裝置ノ施設場所及概要

第三條　電氣供給事業者別ニ告示ヲ以テ指定スル限度ヲ超ユル電力消費裝置ヲ新設又ハ增設シテ電力ノ消費ヲ爲サントスル者ニ對シ電力ヲ供給セントスルトキハ第一條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタル者ニ對シ電力ヲ供給セントスル場合ヲ除クノ外朝鮮總督府遞信局長（以下單ニ遞信局長ト稱ス）ノ許可ヲ受クベシ

第四條　電力調整令第六條又ハ第七條第二項ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者連署ノ上契約書ノ謄本ヲ添ヘ其ノ旨ヲ當該命令官廳ニ屆出ヅベシ

第五條　電力調整令第六條又ハ第七條第二項ノ規定ニ依リ指定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ相當スル數ノ謄本ヲ添ヘ之ヲ當該命令官廳ニ提出スベシ

一　申請人及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

二　申請ノ目的及事由

前項ノ申請書ヲ受理シタル當該官廳ハ本令ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシムベシ

前項ノ期間內ニ答辯書ノ差出ナキトキハ當該官廳ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

第六條　電力調整令第三條第一項ノ規定ニ基キテ爲ス制限、禁止又ハ命令ハ告示シテ之ヲ爲ス

電力調整令第四條ノ規定ニ基キテ爲ス制限、禁止若ハ命令又ハ電力調整令第八條ノ規定ニ基キテ爲ス命令ハ告示シ又ハ命令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

電力調整令第五條、第六條、第七條第一項又ハ第九條ノ規定ニ基キテ爲ス命令ハ命令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

第七條　電力調整令第九條ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ於テ事業主管理人ヲ選任シタルトキハ電力調整令第十一條第一項ノ規定ニ基キ其ノ旨ヲ當該命令官廳ニ屆出ヅベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第八條　電力調整令第十一條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

第九條　電力調整令第四條乃至第六條、第七條第一項、第九條又ハ第十一條第一項ニ定ムル朝鮮總督ノ職權ハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外遞信局長之ヲ行フコトヲ得

電力調整令第十一條第一項ニ定ムル朝鮮總督ノ職權ハ朝鮮總督ノ指示スル所ニ從ヒ道知事之ヲ行フコトヲ得

第十條　本令ノ規定ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ハ明治四十三年朝鮮總督府令第五號ノ規定ニ拘ラズ朝鮮總督府遞信局

電氣事業法（昭和十五年十二月二十日 法律第八十五號）

電氣事業法施行令（昭和十六年十一月二十日 勅令第七百八十八號）

電氣事業法施行規則（昭和十六年十二月二十日 逓信省令第百五號）

電力調整令（昭和十四年九月三十日 勅令第六百二十號）

電力調整令施行規則（昭和十四年十月二十日 逓信省令第八十三號）

電力國家管理法（昭和十四年三月二十四日 法律第二十八號）

電力國家管理法施行令（昭和十四年三月二十四日 勅令第八十二號）

電力國家管理法施行規則（昭和十四年三月二十四日 逓信省令第十八號）

電氣用品取締法（昭和十六年三月二十八日 法律第三十九號）

電氣用品取締法施行令（昭和十六年十二月二十日 勅令第八百十號）

電氣用品取締法施行規則（昭和十六年十二月二十日 逓信省令第百六號）

電氣用品取締法第二條第一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百十四號）

電氣用品取締法第二條第二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百十五號）

電氣用品取締法第二條第三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百十六號）

電氣用品取締法第二條第四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百十七號）

電氣用品取締法第二條第五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百十八號）

電氣用品取締法第二條第六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百十九號）

電氣用品取締法第二條第七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百二十號）

電氣用品取締法第二條第八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百二十一號）

電氣用品取締法第二條第九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百二十二號）

電氣用品取締法第二條第十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百二十三號）

電氣用品取締法第二條第十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百二十四號）

電氣用品取締法第二條第十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百二十五號）

電氣用品取締法第二條第十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百二十六號）

電氣用品取締法第二條第十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百二十七號）

電氣用品取締法第二條第十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百二十八號）

電氣用品取締法第二條第十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百二十九號）

電氣用品取締法第二條第十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百三十號）

電氣用品取締法第二條第十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百三十一號）

電氣用品取締法第二條第十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百三十二號）

電氣用品取締法第二條第二十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百三十三號）

電氣用品取締法第二條第二十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百三十四號）

電氣用品取締法第二條第二十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百三十五號）

電氣用品取締法第二條第二十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百三十六號）

電氣用品取締法第二條第二十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百三十七號）

電氣用品取締法第二條第二十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百三十八號）

電氣用品取締法第二條第二十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百三十九號）

電氣用品取締法第二條第二十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百四十號）

電氣用品取締法第二條第二十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百四十一號）

電氣用品取締法第二條第二十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百四十二號）

電氣用品取締法第二條第三十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百四十三號）

電氣用品取締法第二條第三十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百四十四號）

電氣用品取締法第二條第三十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百四十五號）

電氣用品取締法第二條第三十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百四十六號）

電氣用品取締法第二條第三十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百四十七號）

電氣用品取締法第二條第三十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百四十八號）

電氣用品取締法第二條第三十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百四十九號）

電氣用品取締法第二條第三十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百五十號）

電氣用品取締法第二條第三十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百五十一號）

電氣用品取締法第二條第三十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百五十二號）

電氣用品取締法第二條第四十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百五十三號）

電氣用品取締法第二條第四十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百五十四號）

電氣用品取締法第二條第四十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百五十五號）

電氣用品取締法第二條第四十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百五十六號）

電氣用品取締法第二條第四十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百五十七號）

電氣用品取締法第二條第四十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百五十八號）

電氣用品取締法第二條第四十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百五十九號）

電氣用品取締法第二條第四十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百六十號）

電氣用品取締法第二條第四十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百六十一號）

電氣用品取締法第二條第四十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百六十二號）

電氣用品取締法第二條第五十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百六十三號）

電氣用品取締法第二條第五十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百六十四號）

電氣用品取締法第二條第五十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百六十五號）

電氣用品取締法第二條第五十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百六十六號）

電氣用品取締法第二條第五十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百六十七號）

電氣用品取締法第二條第五十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百六十八號）

電氣用品取締法第二條第五十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百六十九號）

電氣用品取締法第二條第五十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百七十號）

電氣用品取締法第二條第五十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百七十一號）

電氣用品取締法第二條第五十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百七十二號）

電氣用品取締法第二條第六十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百七十三號）

電氣用品取締法第二條第六十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百七十四號）

電氣用品取締法第二條第六十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百七十五號）

電氣用品取締法第二條第六十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百七十六號）

電氣用品取締法第二條第六十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百七十七號）

電氣用品取締法第二條第六十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百七十八號）

電氣用品取締法第二條第六十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百七十九號）

電氣用品取締法第二條第六十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百八十號）

電氣用品取締法第二條第六十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百八十一號）

電氣用品取締法第二條第六十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百八十二號）

電氣用品取締法第二條第七十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百八十三號）

電氣用品取締法第二條第七十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百八十四號）

電氣用品取締法第二條第七十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百八十五號）

電氣用品取締法第二條第七十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百八十六號）

電氣用品取締法第二條第七十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百八十七號）

電氣用品取締法第二條第七十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百八十八號）

電氣用品取締法第二條第七十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百八十九號）

電氣用品取締法第二條第七十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百九十號）

電氣用品取締法第二條第七十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百九十一號）

電氣用品取締法第二條第七十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百九十二號）

電氣用品取締法第二條第八十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百九十三號）

電氣用品取締法第二條第八十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百九十四號）

電氣用品取締法第二條第八十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百九十五號）

電氣用品取締法第二條第八十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百九十六號）

電氣用品取締法第二條第八十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百九十七號）

電氣用品取締法第二條第八十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百九十八號）

電氣用品取締法第二條第八十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千二百九十九號）

電氣用品取締法第二條第八十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百號）

電氣用品取締法第二條第八十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百一號）

電氣用品取締法第二條第八十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百二號）

電氣用品取締法第二條第九十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百三號）

電氣用品取締法第二條第九十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百四號）

電氣用品取締法第二條第九十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百五號）

電氣用品取締法第二條第九十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百六號）

電氣用品取締法第二條第九十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百七號）

電氣用品取締法第二條第九十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百八號）

電氣用品取締法第二條第九十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百九號）

電氣用品取締法第二條第九十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百十號）

電氣用品取締法第二條第九十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百十一號）

電氣用品取締法第二條第九十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百十二號）

電氣用品取締法第二條第百項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百十三號）

電氣用品取締法第二條第百一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百十四號）

電氣用品取締法第二條第百二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百十五號）

電氣用品取締法第二條第百三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百十六號）

電氣用品取締法第二條第百四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百十七號）

電氣用品取締法第二條第百五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百十八號）

電氣用品取締法第二條第百六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百十九號）

電氣用品取締法第二條第百七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百二十號）

電氣用品取締法第二條第百八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百二十一號）

電氣用品取締法第二條第百九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百二十二號）

電氣用品取締法第二條第百十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百二十三號）

電氣用品取締法第二條第百十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百二十四號）

電氣用品取締法第二條第百十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百二十五號）

電氣用品取締法第二條第百十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百二十六號）

電氣用品取締法第二條第百十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百二十七號）

電氣用品取締法第二條第百十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百二十八號）

電氣用品取締法第二條第百十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百二十九號）

電氣用品取締法第二條第百十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百三十號）

電氣用品取締法第二條第百十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百三十一號）

電氣用品取締法第二條第百十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百三十二號）

電氣用品取締法第二條第百二十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百三十三號）

電氣用品取締法第二條第百二十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百三十四號）

電氣用品取締法第二條第百二十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百三十五號）

電氣用品取締法第二條第百二十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百三十六號）

電氣用品取締法第二條第百二十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百三十七號）

電氣用品取締法第二條第百二十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百三十八號）

電氣用品取締法第二條第百二十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百三十九號）

電氣用品取締法第二條第百二十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百四十號）

電氣用品取締法第二條第百二十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百四十一號）

電氣用品取締法第二條第百二十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百四十二號）

電氣用品取締法第二條第百三十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百四十三號）

電氣用品取締法第二條第百三十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百四十四號）

電氣用品取締法第二條第百三十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百四十五號）

電氣用品取締法第二條第百三十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百四十六號）

電氣用品取締法第二條第百三十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百四十七號）

電氣用品取締法第二條第百三十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百四十八號）

電氣用品取締法第二條第百三十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百四十九號）

電氣用品取締法第二條第百三十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百五十號）

電氣用品取締法第二條第百三十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百五十一號）

電氣用品取締法第二條第百三十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百五十二號）

電氣用品取締法第二條第百四十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百五十三號）

電氣用品取締法第二條第百四十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百五十四號）

電氣用品取締法第二條第百四十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百五十五號）

電氣用品取締法第二條第百四十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百五十六號）

電氣用品取締法第二條第百四十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百五十七號）

電氣用品取締法第二條第百四十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百五十八號）

電氣用品取締法第二條第百四十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百五十九號）

電氣用品取締法第二條第百四十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百六十號）

電氣用品取締法第二條第百四十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百六十一號）

電氣用品取締法第二條第百四十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百六十二號）

電氣用品取締法第二條第百五十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百六十三號）

電氣用品取締法第二條第百五十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百六十四號）

電氣用品取締法第二條第百五十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百六十五號）

電氣用品取締法第二條第百五十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百六十六號）

電氣用品取締法第二條第百五十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百六十七號）

電氣用品取締法第二條第百五十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百六十八號）

電氣用品取締法第二條第百五十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百六十九號）

電氣用品取締法第二條第百五十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百七十號）

電氣用品取締法第二條第百五十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百七十一號）

電氣用品取締法第二條第百五十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百七十二號）

電氣用品取締法第二條第百六十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百七十三號）

電氣用品取締法第二條第百六十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百七十四號）

電氣用品取締法第二條第百六十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百七十五號）

電氣用品取締法第二條第百六十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百七十六號）

電氣用品取締法第二條第百六十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百七十七號）

電氣用品取締法第二條第百六十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百七十八號）

電氣用品取締法第二條第百六十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百七十九號）

電氣用品取締法第二條第百六十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百八十號）

電氣用品取締法第二條第百六十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百八十一號）

電氣用品取締法第二條第百六十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百八十二號）

電氣用品取締法第二條第百七十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百八十三號）

電氣用品取締法第二條第百七十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百八十四號）

電氣用品取締法第二條第百七十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百八十五號）

電氣用品取締法第二條第百七十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百八十六號）

電氣用品取締法第二條第百七十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百八十七號）

電氣用品取締法第二條第百七十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百八十八號）

電氣用品取締法第二條第百七十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百八十九號）

電氣用品取締法第二條第百七十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百九十號）

電氣用品取締法第二條第百七十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百九十一號）

電氣用品取締法第二條第百七十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百九十二號）

電氣用品取締法第二條第百八十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百九十三號）

電氣用品取締法第二條第百八十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百九十四號）

電氣用品取締法第二條第百八十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百九十五號）

電氣用品取締法第二條第百八十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百九十六號）

電氣用品取締法第二條第百八十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百九十七號）

電氣用品取締法第二條第百八十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百九十八號）

電氣用品取締法第二條第百八十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千三百九十九號）

電氣用品取締法第二條第百八十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百號）

電氣用品取締法第二條第百八十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百一號）

電氣用品取締法第二條第百八十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百二號）

電氣用品取締法第二條第百九十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百三號）

電氣用品取締法第二條第百九十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百四號）

電氣用品取締法第二條第百九十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百五號）

電氣用品取締法第二條第百九十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百六號）

電氣用品取締法第二條第百九十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百七號）

電氣用品取締法第二條第百九十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百八號）

電氣用品取締法第二條第百九十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百九號）

電氣用品取締法第二條第百九十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百十號）

電氣用品取締法第二條第百九十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百十一號）

電氣用品取締法第二條第百九十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百十二號）

電氣用品取締法第二條第二百項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百十三號）

電氣用品取締法第二條第二百一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百十四號）

電氣用品取締法第二條第二百二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百十五號）

電氣用品取締法第二條第二百三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百十六號）

電氣用品取締法第二條第二百四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百十七號）

電氣用品取締法第二條第二百五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百十八號）

電氣用品取締法第二條第二百六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百十九號）

電氣用品取締法第二條第二百七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百二十號）

電氣用品取締法第二條第二百八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百二十一號）

電氣用品取締法第二條第二百九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百二十二號）

電氣用品取締法第二條第二百十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百二十三號）

電氣用品取締法第二條第二百十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百二十四號）

電氣用品取締法第二條第二百十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百二十五號）

電氣用品取締法第二條第二百十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百二十六號）

電氣用品取締法第二條第二百十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百二十七號）

電氣用品取締法第二條第二百十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百二十八號）

電氣用品取締法第二條第二百十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百二十九號）

電氣用品取締法第二條第二百十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百三十號）

電氣用品取締法第二條第二百十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百三十一號）

電氣用品取締法第二條第二百十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百三十二號）

電氣用品取締法第二條第二百二十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百三十三號）

電氣用品取締法第二條第二百二十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百三十四號）

電氣用品取締法第二條第二百二十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百三十五號）

電氣用品取締法第二條第二百二十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百三十六號）

電氣用品取締法第二條第二百二十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百三十七號）

電氣用品取締法第二條第二百二十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百三十八號）

電氣用品取締法第二條第二百二十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百三十九號）

電氣用品取締法第二條第二百二十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百四十號）

電氣用品取締法第二條第二百二十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百四十一號）

電氣用品取締法第二條第二百二十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百四十二號）

電氣用品取締法第二條第二百三十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百四十三號）

電氣用品取締法第二條第二百三十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百四十四號）

電氣用品取締法第二條第二百三十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百四十五號）

電氣用品取締法第二條第二百三十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百四十六號）

電氣用品取締法第二條第二百三十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百四十七號）

電氣用品取締法第二條第二百三十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百四十八號）

電氣用品取締法第二條第二百三十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百四十九號）

電氣用品取締法第二條第二百三十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百五十號）

電氣用品取締法第二條第二百三十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百五十一號）

電氣用品取締法第二條第二百三十九項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百五十二號）

電氣用品取締法第二條第二百四十項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百五十三號）

電氣用品取締法第二條第二百四十一項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百五十四號）

電氣用品取締法第二條第二百四十二項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百五十五號）

電氣用品取締法第二條第二百四十三項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百五十六號）

電氣用品取締法第二條第二百四十四項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百五十七號）

電氣用品取締法第二條第二百四十五項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百五十八號）

電氣用品取締法第二條第二百四十六項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百五十九號）

電氣用品取締法第二條第二百四十七項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月二十日 逓信省告示第千四百六十號）

電氣用品取締法第二條第二百四十八項ノ電氣用品ヲ定ムル件（昭和十六年十二月

ニ依ラザル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依リ電力ノ使用ヲ制限セラレタル者ハ其ノ制限ニ係ル電力ニ付テハ電力調整令ニ定ムル大使ノ職権ハ之ヲ行フコトヲ得

電力調整令ニ定ムル大使ノ職権ハ別ニ之ヲ行フコトヲ得

電力調整令ニ定ムル大使ノ職権ハ逓信局長官之ヲ行フコトヲ得

第十條　本令ニ依リ大使ニ提出スベキ申請書又ハ届書ハ其ノ都本ヲ経ヘ逓信局長ヲ経由スベシ

附　則

本令ハ関東州電力調整令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和十四年勅令第七百八十九號）

米穀搗精等制限令

（昭和十四年十一月二十九日勅令第七百八十九號）

第一條　国家総動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ南洋群島ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ）第八條ノ規定ニ基ク米穀ノ搗精若ハ酒類及麦酒ノ製造ノ制限又ハ同法第九條ノ規定ニ基ク小麦其ノ他ノ米穀以外ノ穀物及穀粉ノ輸出ノ制限ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

前項ニ於テ酒類及麦酒トハ内地ニ在リテハ酒税法ノ適用ヲ受クル酒類及麦酒税法ノ適用ヲ受クル麦酒、朝鮮ニ在リテハ酒税令ノ適用ヲ受クル酒類ニシテ朝鮮総督ノ指定スルモノ、樺太ニ在リテハ樺太廳長官ノ指定スルモノ、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官ノ指定スルモノヲ謂フ

第二條　業務ニ關シ米穀ノ搗精ヲ爲ス者ハ玄米ノ重量ニ對スル搗上リ米ノ重量ノ割合ガ農林省令ノ定ムル割合ヲ下ラザル限度ニ於テ米穀ノ搗精ヲ爲スベシ但シ農林省令ノ定ムル特別ノ事由ニ因リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

大藏大臣ハ大藏省令ノ定ムル所ニ依リ前項但書ノ規定ニ依ル事務ノ一部ヲ税務監督局長又ハ税務署長ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

第三條　酒類又ハ麦酒ヲ製造スル者ハ其ノ製造石數ニ關シ大藏省令ノ定ムル限度ヲ超エテ酒類又ハ麦酒ヲ製造スルコトヲ得ズ但シ大藏省令ノ定ムル特別ノ事由ニ因リ大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

大藏大臣ハ大藏省令ノ定ムル所ニ依リ前項但書ノ規定ニ依ル事務ノ一部ヲ税務監督局長又ハ税務署長ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

第四條　農林大臣必要アリト認ムルトキハ小麦其ノ他ノ米穀以外ノ穀物及穀粉ノ輸出ヲ制限スルコトヲ得

第五條　大藏大臣、農林大臣、地方長官、税務監督局長又ハ税務署長必要アリト認ムルトキハ國家総動員法第三十一條ノ規定ニ依リ第二條乃至前條ノ規定ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ事務所、營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨検シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨検検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第六條　本令中大藏大臣又ハ農林大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮総督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ税務監督局長又ハ税務署長トアルハ樺太ニ在リテハ樺太廳支廳長、南洋群島ニ在リテハ南洋廳支廳長トス

本令中大藏省令又ハ農林省令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

酒類及麦酒ノ製造ノ制限ニ關スル規定ハ臺灣ニハ之ヲ適用セズ

附　則

本令ハ内地ニ在リテハ昭和十四年十二月一日ヨリ、朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十四年十二月十一日ヨリ之ヲ施行ス但シ酒類及麦酒ノ製造ノ制限ニ關スル規定ノ施行期日ハ別ニ之ヲ定ム

米穀搗精制限規則

（昭和十四年十一月二十五日
農林省令第六十四號）

米穀搗精等制限令第二條及第五條ノ規定ニ依リ米穀搗精制限規則左ノ通定ム

第一條　米穀搗精等制限令第二條ノ制合ハ九割四分トス

第二條　左ニ掲グル場合ニ於テハ地方長官ハ米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ爲スコトヲ得

一　酒類又ハ麥酒ノ製造ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

二　菓子ノ製造ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

三　試驗ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

四　其ノ他農林大臣ノ別ニ定ムル事由アルトキ

第三條　米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ搗精設備ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

一　搗精セントスル米穀ノ數量

二　玄米ノ重量ニ對スル搗上リ米ノ重量ノ割合

三　搗精シタル米穀ノ用途其ノ他許可ヲ受ケントスル事由

四　搗精ノ時期及場所

地方長官ハ前項ノ書類ノ外必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第四條　米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ受ケル者前條第一項第二號乃至第五號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ當該地方長官ノ許可ヲ受クベシ

第五條　米穀搗精等制限令第五條第二項ノ書票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

米穀搗精制限規則第二條第四號ノ事由

（昭和十四年十二月一日
農林省告示第四百二十八號）

一　書學上必要ナル米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

二　船舶安全法施行規則ニ規定スル平水區域、沿海區域及近海區域第一區以外ノ區域ヲ航行スル船舶又ハ漁船特殊規則ニ規定スル第二種若ハ第三種ノ從業制限ヲ有スル漁船ノ船用品タル米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

三　前號ニ掲グル船舶ニ依リ船舶安全法施行規則ニ規定スル平水區域、沿海區域及近海區域第一區以外ノ區域ニ輸送スル米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

小麥等輸出許可規則

（昭和十四年十一月三十日
農林省令第六十五號）

米穀搗精等制限令第四條及第五條ノ規定ニ依リ小麥等輸出許可規則左ノ通定ム

第一條　小麥其ノ他ノ米穀以外ノ穀物又ハ穀粉ニシテ農林大臣ノ指定スルモノハ船用品、郵便物又ハ百斤ヲ超エザルモノヲ除クノ外農林大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸出スルコトヲ得ズ

第二條　前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル輸出許可申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

一　品名

二　數量及價額

三　仕向地及仕向港

四　輸出港

五　輸出時期

農林大臣ハ前項ノ書類ノ外必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第三條　第一條ノ許可ヲ受ケル者前條第一項第二號乃至第五號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ農林大臣ノ許可ヲ受クベシ

第四條　第一條ノ許可ヲ受ケル者ハ其ノ物品ノ輸出ヲ爲ス場合ニ於テ農林大臣ノ交付スル輸出許可書ヲ輸出ノ手續ヲ爲スベキ稅關ニ提出スベシ

第五條　第一條ノ許可ヲ受ケル者輸出ヲ爲シタルトキハ其ノ都度遲滯ナク左ニ掲グル事項ヲ農林大臣ニ報告スベシ

一　輸出ノ許可ヲ受ケル物品ノ品名及數量並ニ許可ノ年月日

二　輸出數量及價額

三　仕向地及仕向港

四　輸出港

五　輸出ノ年月日

第六條　農林大臣ノ指定シタル物品ニ付第一條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ農林大臣ノ指定スル團體ヲ經由シテ輸出許可申請書ヲ提出スベシ但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條　米穀搗精等制限令第五條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十四年十二月五日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前昭和十四年商工省令第五十三號第二條ノ規定ニ依リ輸出ノ承認ヲ受ケタル物品ニ付テハ本令施行後十五日以內ニ第二條第一項ニ掲グル事項ヲ農林大臣ニ屆出デタル場合ニ限リ第一條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ輸出スルコトヲ得

第五條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ輸出シタル者ニ之ヲ準用ス

（別記樣式省略）

小麥等輸出許可規則第一條及第六條ノ規定ニ依ル指定

（昭和十四年十二月二十七日
農林省告示第四百五十六號）

改正　昭一五、五、九、農告二〇〇

小麥等輸出許可規則第一條及第六條ノ規定ニ依リ左ノ通指定ス

昭和十四年十一月農林省告示第四百二十六號ハ之ヲ廢止ス

第一條ノ農林大臣ノ指定スル物品

小麥　大麥　稞麥　小麥粉

第六條ノ農林大臣ノ指定シタル物品

小麥粉

第六條ノ農林大臣ノ指定スル團體

日本小麥粉輸出組合

（昭和十五年五月九日農林省告示第二百號ハ昭和十五年五月十三日ヨリ施行）

朝鮮米穀搗精制限規則

（昭和十四年十二月十一日
朝鮮總督府令第二百七號）

米穀搗精等制限令第二條及第五條ノ規定ニ依リ朝鮮米穀搗精制限規則左ノ通定ム

第一條　米穀搗精等制限令第二條ノ割合ハ九割四分トス

第二條　左ニ掲グル場合ニ於テハ道知事ハ米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ爲スコトヲ得

一　酒類ノ製造ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

二　藥劑ノ製造ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ
三　試驗ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ
四　其ノ他朝鮮總督ノ別ニ定ムル事由アルトキ

第三條　米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ搗精設備ノ所在地ヲ管轄スル道知事ニ提出スベシ
一　搗精セントスル米穀ノ數量
二　玄米ノ重量ニ對スル搗上リ米ノ重量ノ割合
三　搗精シタル米穀ノ用途其ノ他許可ヲ受ケントスル事由
四　搗精ノ時期及場所

道知事ハ前項ノ書類ノ外必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第四條　米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ受ケタル者前條第一項各號ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ當該道知事ノ許可ヲ受クベシ

第五條　米穀搗精等制限令第五條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

朝鮮米穀搗精制限規則第二條第四號ノ事由

（昭和十五年四月二日　朝鮮總督府告示第三百四十五號）

一、書畫上必要ナル米穀ノ搗精ヲナストキ
二、朝鮮鮐船安全令施行規則ニ依ル平水區域、沿海區域及近海區域第一區以外ノ區域ヲ航行スル鮐船又ハ朝鮮漁船特殊規則ニ依ル第二種若ハ第三種ノ從業制限ヲ有スル漁船ノ船用品タル米穀ノ搗精ヲ爲ストキ
三、前號ニ揭グル鮐船ニ依リ朝鮮鮐船安全令施行規則ニ規定スル平水區域、沿海區域及近海區域第一區以外ノ區域ニ輸送スル米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

米穀搗精制限規則

（昭和十四年十二月十日　總督府令第百三十七號）

米穀搗精等制限令第二條、第五條及第六條ノ規定ニ依リ米穀搗精制限規則左ノ通定ム

第一條　米穀搗精等制限令第二條ノ割合ハ九割四分トス

第二條　左ニ揭グル場合ニ於テハ知事又ハ廳長ハ米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ爲スコトヲ得

一　藥劑ノ製造ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ
二　試驗ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ
三　其ノ他總督ノ別ニ定ムル事由アルトキ

第三條　米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ搗精設備ノ所在地ヲ管轄スル知事又ハ廳長ニ提出スベシ

一　搗精セントスル米穀ノ數量
二　玄米ノ重量ニ對スル搗上リ米ノ重量ノ割合

三　搗精シタル米穀ノ用途其ノ他許可ヲ受ケントスル事由
四　搗精ノ時期及場所

知事又ハ廳長ハ前項ノ書類ノ外必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第四條　米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ受ケタル者前條第一項各號ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ當該知事又ハ廳長ノ許可ヲ受クベシ

第五條　米穀搗精等制限令第五條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十四年十二月十一日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

米穀搗精制限規則

（昭和十四年十二月一日　樺太廳令第九十九號）

米穀搗精等制限令第二條及第五條ノ規定ニ依リ米穀搗精制限規則左ノ通定ム

第一條　米穀搗精等制限令第二條ノ割合ハ九割四分トス

第二條　左ニ揭グル場合ニ於テハ樺太廳長官ノ別ニ定ムル事由アルトキ

第三條　米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ搗精設備ノ所在地ヲ管轄スル道廳長官ニ提出スベシ

一　搗精セントスル米穀ノ數量
二　玄米ノ重量ニ對スル搗上リ米ノ重量ノ割合
三　搗精シタル米穀ノ用途其ノ他許可ヲ受ケントスル事由
四　搗精ノ時期及場所

樺太廳長官ハ前項ノ書類ノ外必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第四條　米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ受ケタル者前條第一項各號ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ樺太廳長官ノ許可ヲ受クベシ

第五條　米穀搗精等制限令第五條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

小麥等輸出許可規則

（昭和十五年四月二十四日　樺太廳令第五十四號）

米穀搗精等制限令第四條及第五條ノ規定ニ依リ小麥等輸出許可規則左ノ通定ム

第一條　小麥其ノ他ノ米穀以外ノ穀物又ハ穀粉ニシテ樺太廳長官ノ指定スルモノハ船用品、郵便物又ハ百斤ヲ超エザルモノヲ除クノ外樺太廳長官ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸出スルコトヲ得ズ

第二條　前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル輸出許可申請書ヲ樺太廳長官ニ提出スベシ

一　品名
二　數量及價額
三　仕向地及仕向港
四　輸出港

五　輸出時期
樺太廳長官ハ前項ノ書類ノ外必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ
第三條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者前條第一項第二號乃至第五號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ樺太廳長官ノ許可ヲ受クベシ
第四條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ物品ノ輸出ヲ爲ス場合ニ於テ樺太廳長官ノ交付スル輸出許可書ヲ輸出ノ手續ヲ爲スベキ稅關ニ提出スベシ
第五條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者輸出ヲ爲シタルトキハ其ノ都度遲滯ナク左ニ掲グル事項ヲ樺太廳長官ニ報告スベシ
一　輸出ノ許可ヲ受ケタル物品ノ品名、數量及許可ノ年月日
二　輸出數量及價額
三　仕向地及仕向地
四　輸出港
五　輸出ノ年月日
第六條　米穀搗精等制限令第五條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル
附　則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前昭和十四年樺太廳令第八十三號第二條ノ規定ニ依リ輸出ノ承認ヲ受ケタル物品ニ付テハ本令施行後二十日以內ニ第二條第一項ニ掲グル事項ヲ樺太廳長官ニ屆出デタル場合ニ限リ第一條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ輸出スルコトヲ得
第五條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ輸出ヲ爲シタル者ニ之ヲ準用ス
（別記樣式省略）

米穀搗精制限規則

（昭和十四年十二月十一日南洋廳令第六十八號）

第一條　米穀搗精等制限令（以下制限令ト稱ス）第二條ノ制合ハ九割四分トス
第二條　左ニ掲グル場合ニ於テハ南洋廳長官ハ制限令第二條ノ許可ヲ爲スコトヲ得
一　清酒及燒酎ノ製造ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ
二　藥劑ノ製造ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ
三　試驗ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ
四　其ノ他南洋廳長官ノ別ニ定ムル事由アルトキ
第三條　制限令第二條但書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ南洋廳長官ニ提出スベシ
一　搗精セントスル米穀ノ數量
二　玄米ノ重量ニ對スル搗上リ米ノ重量ノ割合
三　搗精シタル米穀ノ用途其ノ他許可ヲ受ケントスル事由
四　搗精ノ時期及場所
南洋廳長官ハ前項ノ書類ノ外必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ
第四條　制限令第二條但書ノ許可ヲ受ケタル者前條第一項各號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ南洋廳長官ノ許可ヲ受クベシ
第五條　制限令第五條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル
附　則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
（別記樣式省略）

陸運統制令

（昭和十五年二月一日勅令第三十七號）

第一條　國家總動員法第八條ノ規定ニ基ク車輛其ノ他ノ陸上ニ於ケル輸送用物資ノ使用及同法第十七條ノ規定ニ基ク陸上運送事業者間ニ於ケル統制協定ニ關シ必要ナル命令ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル
第二條　鐵道大臣ハ國家總動員物資ノ輸送ヲ確保スル爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ陸上運送事業者ニ對シ貨物運送ノ引受若ハ順序又ハ運送スベキ貨物ノ受取若ハ運送シタル貨物ノ引渡ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
第三條　鐵道大臣ハ總動員物資ノ輸送ヲ確保スル爲必要アリト認ムルトキハ貨物ノ引渡ヲ爲サザルモノニ對シ期日又ハ期間、數量等ヲ指定シテ引取ヲ爲スベキ期間內ニ引取ヲ爲サザルモノニ對シ期日又ハ期間、數量等ヲ指定シテ引取ヲ爲スベキ旨ヲ請求シ又ハ貨物ノ引取ニ應ジタル荷受人其ノ他貨物ノ引取ヲ爲スベキ者ニシテ定シ貨物ノ引取ヲ命ズルコトヲ得
第四條　鐵道大臣ハ相當期間猶豫シテ運送スル必要アル總動員物資ニシテ命令ヲ以テ指定スルモノニ付命令ノ定ムル出貨者ニ對シ當該貨物ノ託送ニ關シ必要ナル事項ノ申告ヲ爲サシムルコトヲ得
鐵道大臣前項ノ出貨者ニ對シ同項ノ申告ニ基キ託送ノ期日又ハ期間、數量等ヲ指定シタル出貨者ハ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ヲ除クノ外其ノ指定ニ從ヒ貨物ノ託送ヲ爲シ又ハ爲サシムベシ
第五條　鐵道大臣ハ總動員物資ノ輸送ヲ確保スル爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ陸上運送事業者ニ對シ設備ノ共用、連絡運輸、直通運轉、運送賃其ノ他ノ事項ニ關スル統制協定ノ設定、變更又ハ取消ヲ命ズルコトヲ得
第六條　鐵道大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ貨物運送ノ引受若ハ順序、貨物ノ受取、引渡、託送若ハ引取又ハ前條ノ統制協定ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ店舗、事業場、事務所、倉庫、貨物置場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ
第七條　鐵道大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ鐵道局長又ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム）ニ委任スルコトヲ得
第八條　本令中鐵道大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官トシ鐵道局長又ハ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府鐵道局長又ハ道知事、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通局總長又ハ州知事若ハ廳長トス
附　則
本令ハ昭和十五年二月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

陸運統制令施行規則

（昭和十五年二月二十四日鐵道省令第二號）

第一條　陸運統制令（以下令ト稱ス）第二條ノ規定ニ依ル命令ハ告示シ又ハ令書ヲ發シテ之ヲ爲ス
陸上運送事業者前項ノ令書ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ要旨ヲ令書ヲ以テ指定

スル荷送人、荷受人其ノ他關係者ニ通知スベシ

第二條　令第三條ノ規定ニ依ル命令ハ鐵道局長ニ於テ其ノ管轄スル國有鐵道、國營自動車、地方鐵道又ハ軌道ノ驛ニ所在スル貨物ニ付左ノ事項ヲ記載セル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

一　引取ヲ爲スベキ貨物ノ表示

二　引取ヲ爲スベキ期日又ハ期間

三　其ノ他必要ト認ムル事項

第三條　令第四條第一項ノ規定ニ依ル總動員物資ヲ指定スルコト左ノ如シ

一　米　麥　飼料　砂利　石材　セメント　木材　石炭　薪　木炭　鑛石　鐵（銅ヲ含ム）　肥料

二　前號ノ物資以外ノモノニシテ鐵道大臣特ニ必要アリト認メ告示シタルモノ

第四條　令第四條ノ出貨者ハ前條ニ定ムル貨物ヲ國有鐵道若ハ國營自動車又ハ之ト連絡運輸ヲ爲ス地方鐵道若ハ軌道ニ託送（小運送業者ヲ介シ託送スル場合ヲ含ム以下同ジ）セントスル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノトス

一　當該貨物ニ付從前ノ一定期間內ニ於テ一定數量以上ノ託送ノ實績アリタルモノ

二　前號ノモノ以外ノモノニシテ當該貨物ニ付一定期間內ニ一定數量以上ノ託送ノ豫定ヲ有スルモノ

前項第一號及第二號ノ期間又ハ數量ハ貨物ノ種類又ハ其ノ託送ノ區域ニ應ジ鐵道大臣之ヲ定メ告示ス

第五條　令第四條第一項ノ規定ニ依リ貨物ノ託送ニ關シ必要ナル事項ノ申告ヲ爲サシメントスルトキハ其ノ旨並ニ申告ヲ爲スベキ事項及申告ヲ爲スベキ期限ヲ告示ス

第六條　前條ノ規定ニ依リ告示アリタルトキハ出貨者ハ申告ヲ爲スベキ事項ヲ當該貨物ヲ託送セントスル驛ノ驛長ヲ經由シ其ノ所管鐵道局長ニ對シ書面ヲ以テ申告スベシ

前項ノ規定ニ依リ申告シタル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ出貨者ハ遲滯ナク其ノ變更シタル事項ヲ申告スベシ

第七條　令第四條第二項ノ指定ハ鐵道局長之ヲ爲シ出貨者ニ書面ヲ以テ通知スベシ

第八條　令第五條ノ規定ニ依ル設備ノ共用、連絡運輸、直通運輸、共同作業、運賃又ハ料金其ノ他ノ事項ニ關スル統制協定ノ設定又ハ變更ハ陸上運送事業者ヲ指定シ又ハ地域及業種ヲ指定シテ之ヲ命ズ

第九條　令第四條第二項ノ規定ニ依ル指定ニ從ヒ貨物ノ託送ヲ爲シタル出貨者ハ毎月十日迄ニ當該貨物ノ前月中ニ於ケル託送數量ヲ託送シタル驛ノ驛長ヲ經由シ其ノ所管鐵道局長ニ對シ書面ヲ以テ報告スベシ

第十條　出貨者已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ令第四條第二項ノ指定ニ從ヒ貨物ノ託送ヲ爲シ得ザルコト豫メ明カニナリシトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ託送ヲ爲スベキ驛ノ驛長ヲ經由シ其ノ所管鐵道局長ニ對シ報告スベシ

第十一條　陸上運送事業者令第五條ノ規定ニ依ル命令ニ依リ統制協定ヲ設定シ又ハ變更シタルトキハ左ノ事項ヲ遲滯ナク鐵道大臣ニ屆出ヅベシ

一　設定シ又ハ變更シタル協定ノ內容

二　設定シ又ハ變更シタル協定實施ノ年月日

三　其ノ他必要ト認ムル事項

第十二條　令第六條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

第十三條　令第六條第一項ニ定ムル鐵道大臣ノ職權ハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外鐵道局長之ヲ行フコトヲ得

附則

本令ハ昭和十五年二月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

（別記省式省略）

地方鐵道軌道ノ荷物ノ運送引受禁止ニ關スル件

（昭和十五年十一月二十九日　鐵道省告示第二百六十三號）

陸運統制令第二條ノ規定ニ依リ地方鐵道、軌道ノ荷物ノ運送引受ヲ左ノ各號ニ依リ禁止ス但シ特ニ所管鐵道局長ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一　受託禁止荷物ノ種類

イ　代金引換附ノ小荷物（驛留ノモノヲ除ク）及宅扱貨物

ロ　左ニ揭グル小荷物及貨物

（一）庭石、大理石類製品

（二）銘木、植木、盆栽、香木

（三）寫眞機類、化粧品（賣藥部外品タルモノヲ除ク）、樂器類（ラヂオ聽取器ヲ除ク）、樂器類ノ部分品及附屬品（レコード、ラヂオ聽取器ノ部分品及附屬品ヲ除ク）、娛樂用品、人形

（四）金剛石、紅玉、綠柱玉其ノ他ノ寶玉石及其ノ製品、琥珀、眞珠、象牙、鼈甲、珊瑚及其ノ製品、水晶製品、美術品及骨董品

ハ　左ニ揭グル手荷物、小荷物、宅扱貨物及小口扱貨物ニシテ東京、橫濱、名古屋、京都、大阪及神戶ノ各市內所在驛著ノモノ但シ（三）ニ揭グル荷物ニシテ實果物配給統制規則ニ基キ地方長官ニ於テ指定シタル者ノ託送スルモノヲ除ク

（一）木炭、米、砂糖、燐寸

（二）林檎、蜜柑

（三）甘藷、馬鈴薯、白菜、甘藍、玉葱、蕊、大根（生ノモノ）

（四）鮭、鱒（鹽シタルモノ）

二　受託禁止期間　十二月十日ヨリ十二月三十一日迄

陸上運送事業者ノ貨物運送ノ引受及順序ニ關スル件

（昭和十六年八月二日　鐵道省告示第百五十三號）

陸運統制令第二條ノ規定ニ依リ陸上運送事業者ニ對シ貨物運送ノ引受及順序ニ關シ左ノ各號ノ通昭和十六年八月十日ヨリ實施スルコトヲ命ズ

一　東京、川崎、橫濱、名古屋、京都、大阪及神戶ノ各市內所在驛ヲ取扱驛トスル小運送業ヲ經營スル陸上運送事業者ハ小運送以外ノ運送ヲ引受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

二　貨物自動車運送事業者ハ左ノ貨物ノ運送ヲ引受クルコトヲ得ズ

イ　五十粁ヲ超ユル運送ヲ要スル貨物

ロ　百貨店其ノ他小賣業者ノ顧客ニ對シ配達スル貨物

ハ　庭石、大理石、模造石

ニ　植木、盆栽、鉢植、花輪

ホ　寫眞機類、樂器類、娛樂用品

ヘ　其ノ他地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監、以下同ジ）ノ指定スルモノ

三　貨物自動車運送事業者ハ左ノ順序ニ依リ貨物ノ運送ヲ爲スベシ

イ　軍需品、軍關係資材

ロ　天災事變ニ依リ緊急ヲ要スルモノ

ハ　米穀類、生鮮食料品、木炭

ニ　鑛石、石炭

ホ　鐵道、軌道又ハ船舶ニ依リ驛又ハ港灣ニ到著セル貨物

ヘ　ハ以外ノ國民生活ニ缺クベカラザル物資

ト　其ノ他

四　特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ承認ヲ受ケタルトキハ前二號ニ依ラザルコトヲ得

手荷物、小荷物、附隨小荷物及貨物ニ關スル地方鐵道、軌道ノ運送引受其ノ外ニ關スル件

（昭和十六年八月六日　鐵道省告示第百五十七號）

陸運統制令第二條ノ規定ニ依リ地方鐵道、軌道ハ手荷物、小荷物、附隨小荷物及貨物ノ運送引受其ノ他ニ付左ニ依ルベシ

一　地方鐵道及軌道ハ所管鐵道局長ノ指示ヲ受ケタルトキハ左ニ揭グル事項ヲ實施スルコト

イ　東京、川崎、橫濱、名古屋、京都、大阪及神戶ノ各市內ニ發著スル手荷物、小荷物、附隨小荷物及貨物（以下單ニ荷物ト稱ス）ニ對シ發

間又ハ當驛ヲ同一市（横濱市ト川崎市トハ之ヲ同一市ト看做ス）內所在ノ特定驛ニ指定シ及右市內所在驛發ノ荷物ニ對シ運送引受後ニ於テ着驛ヲ同一市內所在ノ特定驛ニ變更スルコト

ロ イニ掲グル市內ニ到着スル荷物ニシテ小運送業者其ノ他荷受人ニ非ザル者ヲ荷受人トスルモノニ對シテハ荷送人ヲシテ託送ノ際荷受人ノ氏名及住所又ハ届先ヲ左ノ方法ニ依リ申告セシムルコト

(一) 貨物運送狀又ハ着驛變更申告書ノ提出ヲ要スル荷物ハ其ノ記事欄又ハ摘要欄ニ記入スルコト

(二) 前號以外ノ荷物ハ便宜ノ方法ニ依ルコト

ハ 旅客、荷送人又ハ貨物引換證ノ所持人ヨリ着驛變更、配達換其ノ他ノ指圖ノ請求ヲ受ケタル場合ト雖モ之ニ應ゼザルコト

ニ 貨物引換證ノ發行ヲ請求スル荷物ニ對シテハ荷送人ヲシテ貨物運送狀ノ記事欄又ハ要記欄中告書ノ摘要欄ニ「鐵道省告示第五十七號ニ基ク指圖禁止（又ハ同一市內所在驛ヘノ着驛變更）承知」ト記入セシムルコト

ホ 小運送業者其ノ他荷受人ニ非ザル者ヲ荷受人トスル荷物ニ附スル荷札ニ荷送人ヲシテ其荷受人ノ氏名及住所又ハ届先ヲ記載セシムルコト

ヘ 驛留ノ手荷物、小荷物及附隨小荷物ニ對シ其ノ荷札又ハ荷物自體ニ荷受人ノ住所ヲモ記入セシムルコト

二 地方鐵道及軌道ハ前號ニ定ムル事項ノ實施ノ指示ヲ受ケタルトキハ旅客及荷主ニ周知セシムル爲其ノ內容ヲ關係驛ニ掲示スルコト

陸運統制令第二條ノ規定ニ依ル地方鐵道、軌道ノ荷物運送引受禁止ニ關スル件

（昭和十六年九月五日 鐵道省告示千百八十一號）

陸運統制令第二條ノ規定ニ依リ地方鐵道、軌道ノ荷物運送引受ヲ左ノ各號ニ依リ禁止ス但シ特ニ所管鐵道局長ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 受託禁止荷物ノ種類

イ 代金引換附ノ小荷物及宅扱貨物

ロ 左ニ掲グル小荷物及貨物

(一)庭石、大理石類製品

(二)銘木（欅、桐及桐枝木ヲ除ク）、植木、盆栽、香木

(三)金剛石、紅玉、綠柱玉其ノ他ノ寶玉石及其ノ製品、琥珀、眞珠、象牙、鼈甲、珊瑚及其ノ製品、骨董品

ハ 左ニ掲グル小荷物

(一)石炭類、石類、鑛石類

(二)銑鐵、鋼片、鋼・鐵材、鋼材塊ヲ含ム

(三)木炭

(四)ベニヤ板

(五)瓦（セメント瓦、石綿瓦、陶模用・煉瓦、石スレート、便利瓦ヲ含ム）

灰、セメント、セメントクリンカー、マグネシアクリンカー、漆喰、モルタル、火山灰ノ類ヲ含ム

(六)ビール、酒、醤油、酢用壜、荷造用箱、枠、樽、桶及罐（除內地通絡運輸規則第五十五條ノ無賃返送空容器）、荷造用瓶

二 受託禁止期間 昭和十六年九月十日ヨリ當分ノ間

陸運統制令施行規則

（昭和十五年二月十五日 朝鮮總督府令第十九號）

第一條 陸運統制令（以下單ニ令ト稱ス）第二條ノ規定ニ依ル命令ハ告示シ又ハ令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

陸上運送事業者前項ノ令書ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ要旨ヲ令書ヲ以テ指定スル荷送人、荷受人其ノ他關係者ニ通知スベシ

第二條 令第三條ノ規定ニ依ル命令ハ國有鐵道（委託國有鐵道ヲ含ム以下同ジ）私設鐵道又ハ軌道ノ驛ニ所在スル貨物ニ付朝鮮總督府鐵道局長（以下單ニ鐵道局長ト稱ス）之ヲ爲ス

第三條 令第四條第一項ノ總動員物資ヲ指定スルコト左ノ如シ

石炭（煉炭、骸炭ヲ含ム）、鑛、鑛物、石油、鐵（鋼ヲ含ム）、米、籾、粟、大豆、鹽、肥料、薪、木炭、木材、砂利、セメント、繩、叺及莚

朝鮮總督特ニ必要アリト認ムルトキハ前項ニ掲グル物資以外ノ總動員物資ニ就キ告示ヲ以テ之ヲ指定スルコトアルベシ

第四條 令第四條ノ出貨者ハ前條ニ掲グル貨物ヲ國有鐵道、國營自動車、私設鐵道又ハ軌道ニ託送（小運送業者ヲ介シ託送スル場合ヲ含ム以下同ジ）セントスル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノトス

一 當該貨物ニ付從前ノ一定期間內ニ於テ一定數量以上ノ託送ノ實績アリタル者

二 前號ノ者以外ノ者ニシテ當該貨物ニ付一定期間內ニ一定數量以上ノ託送ノ豫定ヲ有スル者

前項第一號及第二號ノ期間又ハ數量ハ之ヲ告示ス

第五條 令第四條第一項ノ規定ニ依ル處分ハ告示シテ之ヲ爲ス

第六條 前條ノ規定ニ依ル告示アリタルトキハ當該出貨者ハ申告ヲ爲スベキ事項ヲ當該貨物ノ託送ヲ爲スベキ驛（自動車線停留所及荷扱所ヲ含ム以下同ジ）ノ驛長（自動車線事務所ヲ含ム以下同ジ）ヲ經由シ書面ヲ以テ鐵道局長ニ申告スベシ

前項ノ規定ニ依リ申告ヲ爲シタル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ出貨者ハ前項ノ規定ニ準ジ遲滯ナク其ノ旨ヲ鐵道局長ニ屆出ヅベシ

第七條 令第四條第二項ノ指定ハ鐵道局長之ヲ爲ス

第八條 令第四條第二項ノ規定ニ依ル指定ニ從ヒ貨物ノ託送ヲ爲シタル出貨者ハ毎月十日迄ニ當該貨物ノ前月中ニ於ケル託送數量ヲ託送シタル驛ノ驛長ヲ經由シ書面ヲ以テ鐵道局長ニ屆出ヅベシ

第九條 出貨者已ムコトヲ得ザル事由ニ依リ令第四條第二項ノ指定ニ從ヒ貨物ノ託送ヲ爲シ得ザルコト豫メ明ニナリタルトキハ託送ヲ爲スベキ驛ノ驛長ヲ經由シ遲滯ナク其ノ旨ヲ鐵道局長ニ屆出ヅベシ

第十條 令第五條ノ規定ニ依ル統制協定ニ關スル命令ハ告示シ又ハ令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

第十一條 令第五條ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ於テ陸上運送事業者統制協定ヲ設定シ又ハ變更シタルトキハ遲滯ナク左ニ掲グル事項ヲ鐵道局長ニ屆出ヅベシ

一 設定シ又ハ變更シタル協定ノ內容

二 設定シ又ハ變更シタル協定實施ノ年月日

三 其ノ他必要ト認ムル事項

第十二條 令第六條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

第十三條 令第六條第一項ニ定ムル朝鮮總督ノ職權ハ本令ニ規定スルモノノ外鐵道局長之ヲ行フコトヲ得

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

陸運統制令施行規則

（昭和十五年三月十三日 臺灣總督府令第二十八號）

第一條 陸運統制令（以下令ト稱ス）第二條ノ規定ニ依ル命令ハ告示シ又ハ令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

陸上運送事業者前項ノ令書ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ要旨ヲ令書ヲ以テ指定スル荷送人、荷受人其ノ他關係者ニ通知スベシ

第二條 令第三條ノ規定ニ依ル命令ハ交通局總長ニ於テ國有鐵道又ハ私設鐵道ノ驛ニ所在スル貨物ニ付左ノ事項ヲ記載セル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

一　引取ヲ爲スベキ貨物ノ表示
二　引取ヲ爲スベキ期日又ハ期間
三　其ノ他必要ト認ムル事項

第三條　令第四條第一項ノ規定ニ依ル總動員物資ヲ指定スルコト左ノ如シ

一　米　砂糖　塩　砂利　セメント　木材　石炭　揮發油　重油　酒精　肥料

二　前號ノ物資以外ノモノニシテ臺灣總督ニ必要アリト認メ告示シタルモノ

第四條　令第四條ノ出貨者ハ前條ニ定ムル貨物ヲ國有鐵道又ハ之ト連絡運輸ヲ爲ス私設鐵道ニ託送（小運送業者ヲ介シ託送スル場合ヲ含ム以下同ジ）セントスル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノトス

一　當該貨物ニ付從前ノ一定期間内ニ於テ一定數量以上ノ託送ノ實績アリタルモノ

二　前號ノモノ以外ノモノニシテ當該貨物ニ付一定期間内ニ一定數量以上ノ託送ノ實績アリタルモノ

前號ノ一定期間及第二號ノ期間又ハ數量ハ貨物ノ種類又ハ其ノ託送ノ區域ニ應ジ臺灣總督之ヲ定メ告示ス

第五條　令第四條第一項ノ規定ニ依リ貨物ノ託送ニ關シ必要ナル事項ノ申告ヲ爲サシメントスルトキハ其ノ旨竝ニ申告ヲ爲スベキ事項及申告ヲ爲スベキ期限ヲ告示ス

スベシ

第二條　令第三條ノ規定ニ依ル命令ハ樺太廳鐵道、地方鐵道又ハ軌道ノ驛ニ所在スル貨物ニ付左ノ事項ヲ記載セル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

一　引取ヲ爲スベキ貨物ノ表示
二　引取ヲ爲スベキ期日又ハ期間
三　其ノ他必要ト認ムル事項

第三條　令第四條第一項ノ規定ニ依ル總動員物資ヲ指定スルコト左ノ如シ

一　米　麥　飼料　砂利　石材　セメント　木材　石炭　塩　木炭　肥料　パルプ　鐵（鋼ヲ含ム）

二　前號ノ物資以外ノモノニシテ樺太廳長官ニ必要アリト認メ告示シタルモノ

第四條　令第四條ノ出貨者ハ前條ニ定ムル貨物ヲ樺太廳鐵道若ハ之ト連絡運輸ヲ爲ス地方鐵道又ハ軌道ニ託送（小運送業者ヲ介シ託送スル場合ヲ含ム以下同ジ）セントスル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノトス

一　當該貨物ニ付從前ノ一定期間内ニ於テ一定數量以上ノ託送ノ實績アリタルモノ

二　前號ノモノ以外ノモノニシテ當該貨物ニ付一定期間内ニ一定數量以上ノ託送ノ豫定ヲ有スルモノ

前項第一號及第二號ノ期間又ハ數量ハ貨物ノ種類又ハ其ノ託送ノ區域ニ應ジ樺太廳長官之ヲ定メ告示ス

第五條　令第四條第一項ノ規定ニ依リ貨物ノ託送ニ關シ必要ナル事項ノ申告ヲ爲サシメントスルトキハ其ノ旨竝ニ申告ヲ爲スベキ事項及申告ヲ爲スベキ期限ヲ告示ス

第六條　前條ノ規定ニ依リ告示アリタルトキハ出貨者ハ申告ヲ爲スベキ事項ヲ當該貨物ヲ託送セントスル驛ノ驛長ヲ經由シ交通局總長ニ對シ書面ヲ以テ申告スベシ

前項ノ規定ニ依リ申告シタル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ出貨者ハ遲滯ナク其ノ變更シタル事項ヲ申告スベシ

第七條　令第四條第二項ノ指定ハ交通局總長之ヲ爲シ出貨者ニ書面ヲ以テ通知スベシ

第八條　令第五條ノ規定ニ依リ設備ノ共用、連絡運輸、直通運輸、共同作業、運賃又ハ料金其ノ他ノ事項ニ關スル統制協定ノ設定又ハ變更ハ陸上運送事業者ヲ指定シテ之ヲ命ズ

第九條　令第四條第二項ノ規定ニ依ル指定ニ從ヒ貨物ノ前月中ニ於ケル託送ノ豫定ヲ當該驛ノ驛長ヲ經由シ交通局總長ニ對シ書面ヲ以テ報告スベシ

第十條　出貨者已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ令第四條第二項ノ指定ニ從ヒ貨物ノ託送ヲ爲シ得ザルコト豫メ明カニナリシトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ託送ヲ爲スベキ驛ノ驛長ヲ經由シ交通局總長ニ對シ報告スベシ

第十一條　陸上運送事業者前條ノ規定ニ依リ告示アリタルトキハ左ノ事項ヲ遲滯ナク交通局總長ヲ經由シ臺灣總督ニ屆出ヅベシ

一　設定シ又ハ變更シタル協定ノ内容
二　設定シ又ハ變更シタル協定實施ノ年月日
三　其ノ他必要ト認ムル事項

第十二條　令第六條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

第十三條　令第六條第一項ニ定ムル臺灣總督ノ職權ハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外交通局總長之ヲ行フコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

陸運統制令施行規則

（昭和十五年五月二十二日
樺太廳令第六十三號）

第一條　陸運統制令（以下令ト稱ス）第二條ノ規定ニ依ル命令ハ告示シ又ハ令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

陸上運送事業者前項ノ令書ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ要旨ヲ令書ヲ以テ指定スル荷送人、荷受人其ノ他關係者ニ通知

物ノ種類又ハ其ノ託送ノ區域ニ應ジ樺太廳長官之ヲ定メ告示ス

第五條　令第四條第一項ノ規定ニ依リ貨物ノ託送ニ關シ必要ナル事項ノ申告ヲ爲サシメントスルトキハ其ノ旨竝ニ申告ヲ爲スベキ事項及申告ヲ爲スベキ期限ヲ告示ス

第六條　前條ノ規定ニ依リ告示アリタルトキハ出貨者ハ申告ヲ爲スベキ事項ヲ當該貨物ヲ託送セントスル驛ノ驛長ヲ經由シ樺太廳長官ニ對シ書面ヲ以テ申告スベシ

前項ノ規定ニ依リ申告シタル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ出貨者ハ遲滯ナク其ノ變更シタル事項ヲ申告スベシ

第七條　令第四條第二項ノ指定ハ出貨者ニ書面ヲ以テ通知スベシ

第八條　令第五條ノ規定ニ依リ設備ノ共用、連絡運輸、直通運輸、共同作業、運賃又ハ料金其ノ他ノ事項ニ關スル統制協定ノ設定又ハ變更ハ陸上運送事業者ヲ指定シテ之ヲ命ズ

第九條　令第四條第二項ノ規定ニ依ル指定ニ從ヒ貨物ノ前月中ニ於ケル託送ノ豫定ヲ當該驛ノ驛長ヲ經由シ樺太廳長官ニ對シ書面ヲ以テ報告スベシ

第十條　令第四條第二項ノ指定ハ出貨者ニ書面ヲ以テ通知スベシ

第十一條　陸上運送事業者令第五條ノ規定ニ依ル命令ニ依リ統制協定ヲ設定シ又ハ變更シタルトキハ左ノ事項ヲ遲滯ナク樺太廳長官ニ屆出ヅベシ

一　設定シ又ハ變更シタル協定ノ内容
二　設定シ又ハ變更シタル協定實施ノ年月日
三　其ノ他必要ト認ムル事項

第十二條　令第六條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

第十三條　令第六條第一項ニ定ムル樺太廳長官ノ職權ハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外交通局總長之ヲ行フコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

海運統制令

（昭和十五年二月一日勅令第三十八號）

改正　昭一六、九、三、勅令八四二

第一條　國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號）ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ）第八條ノ規定ニ基ク船舶ノ製造、修繕及使用ニ關スル命令竝ニ同法第十九條ノ規定ニ基ク船舶ノ價格及傭料、水上ノ運送賃、船舶ノ賃貸料及運航手數料、船積又ハ陸揚ニ關スル請負料又ハ手數料竝ニ船舶ノ賃貸、貸傭若ハ運航委託又ハ船舶ニ依ル運送ノ斡旋手數料（以下船舶ノ價格等ト稱ス）ニ關スル命令ハ價格等統制令（第七條ヲ除ク）ニ依ルノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

本令ニ於テ賃貸料トハ期間傭船料ヲ含ムモノトシ賃借トハ期間傭船ヲ含ムモノトス

第二條　船舶ノ製造ヲ爲サントスル者及外國ニ船舶ノ製造ノ注文ヲ爲サントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該船舶ノ製造ニ付遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第三條　遞信大臣ハ船舶所有者又ハ造船業者ニ對シ船舶ノ修繕範圍ノ制限又ハ修繕期間ノ短縮ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得但シ工場事業管理令第六條ノ規定ニ依ル指揮管理ニ關シ又ハ第四條ノ遞信大臣ハ船舶所有者又ハ運航業者ニ對シ船舶ノ賃借又ハ船舶ノ運航ノ委託ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令アリタル場合ニ於テハ賃貸料、運航手數料其ノ他ノ事項ニ關シ當事者間ニ於テ協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ遞信大臣ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第五條　帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ日本船舶（外地ニ行ハルル命令ニ依ル日本船舶ヲ含ム）ニ非ザル船舶ヲ借受ケ（期間傭船ヲ含ム）又ハ其ノ運航ノ委託ヲ受ケントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第六條　遞信大臣ハ航路若ハ區域ヲ指定シ若ハ一般的ニ船舶ヲ指定シテ航海ヲ禁止シ若ハ制限シ又ハ一般的ニ人若ハ物ヲ指定シテ其ノ運送ヲ禁止シ若ハ制限スルコトヲ得但シ他ノ法令ニ基キテ爲サルル別段ノ處分ノ救力ヲ妨ゲズ

第七條　遞信大臣ハ船舶荷役ノ圓滑ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ運送取扱業者、荷送人又ハ荷受人ニ對シ運送品ノ船積又ハ陸揚ニ關シ其ノ方法又ハ順位ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第八條　價格等統制令第六條ニ規定スル場合ヲ除クノ外遞信大臣船舶ノ價格等ノ額ヲ指定シクルトキハ同令第二條乃至第四條ノ規定ニ拘ラズ其ノ額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ支拂者又ハ受領者ニ於テ遞信大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ指定ハ指定實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

一　船舶ノ製造價格ニ付テハ造船者ガ製造ニ着手シクルモノ

二　船舶ノ修繕料ニ付テハ修繕者カ修繕ニ着手シクルモノ

三　船舶ノ賃貸價格ニ付テハ賃主ガ船舶ノ引渡ヲ受ケクルモノ

四　水上ノ運送賃ニ付テハ運送人ガ目的物ノ引渡ヲ受ケクルモノ

五　船舶ノ賃貸料ニ付テハ賃借人ガ履行遲滯ニ在ルモノ

六　船舶ノ運航手數料ニ付テハ委託者ガ履行遲滯ニ在ルモノ

七　船積又ハ陸揚ニ關スル請負料又ハ手數料ニ付テハ請負人又ハ引受人ガ請負料又ハ手數料ニ對スル船舶ニ着手シクルモノ

八　船舶ノ賃貸、貸傭若ハ運航委託又ハ船舶ニ依ル運送ノ斡旋手數料ニ付テハ支拂者ガ履行遲滯ノ在ルモノ

第九條　船舶所有者、運航業者、造船業者、艀運仲立業者又ハ造船業者ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノニシテ遞信大臣ノ指定スルモノ船舶ノ價格等ノ額ヲ定メ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ及其ノ構成員（構成員ガ組合其ノ他之ニ準ズルモノナル場合ハ其ノ構成員ヲモ含ム、第二項ノ場合亦同ジ）ニ對シテハ其ノ額ヲ以テ前條ノ規定ニ依リ指定セラレタル額ト看做ス

前項ノ規定ニ依ル禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第十二條　第八條乃至前條ノ規定ハ左ニ揭グルモノニハ之ヲ適用セズ

一　營利ヲ目的トシテ契約ヲ爲スニ非ザル契約當事者但シ當該契約ヲ爲スコトガ業務ニ非ザル場合ニ限ル

二　關東州、滿洲及支那以外ノ地ト本令施行地トノ間ニ於ケル船舶ノ輸出入取引ノ價格及兩地域間ニ於ケル水上運送ノ運送賃（遞信大臣ノ告示スルモノヲ除ク）

三　其ノ他命令ヲ以テ定ムル船舶ノ價格等

第十三條　遞信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ水上ノ運送賃、船積若ハ陸揚ニ關スル請負料若ハ手數料又ハ船舶ノ賃貸料ニ付公示ヲ命ズルコトヲ得

第十四條　國家總動員法第二十七條ノ規定ニ基キ補償スベキ損失ハ第四條ノ規定ニ依ル處分ニ因ル通常生ズベキ損失トス

損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ第四條ノ規定ニ依リ命ゼラレタル賃借又ハ委託ノ期間終了後之ヲ請求スベシ但シ命令ノ

定ムル所ニ依リ別段ノ時期ニ之ヲ請求スルコトヲ得

第十五條　遞信大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ船舶ノ製造、修繕若ハ使用又ハ船舶ノ價格等ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ船舶、事業場、事務所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第十六條　本令及本令ニ基キテ發スル命令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテ船舶管理人ヲ置キタルトキハ船舶管理人ニ之ヲ適用ス

第十七條　遞信大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ遞信局長又ハ地方長官（東京府ニ於テハ水上ノ運送費ニ在リテハ知事及警視總監）ニ委任スルコトヲ得

第十八條　本令中遞信大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ遞信局長又ハ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府遞信局長又ハ道知事、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通局總長又ハ州知事若ハ廳長トス

朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官第二條、第四條乃至第六條、第八條又ハ第九條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲サントスルトキハ其ノ重要ナルモノニ付豫メ遞信大臣ニ關スベシ

第十九條　本令ハ總噸數二十噸未滿ノ漁船ノ賣買價格及賃貸料並ニ賣買又ハ貸借ニ關スル斡旋手數料ニ付テハ之ヲ適用セズ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十五年二月十五日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭一六、九、三、勅令八四二）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十六年九月十日ヨリ之ヲ施行ス

海運統制令施行規則

（昭和十五年二月一日遞信省令第三號）

改正　昭一五、八、三〇、遞令四六
　　昭一五、一〇、一、遞令五三
　　昭一六、九、三、遞令八〇

第一條　長サ十五米未滿ノ船舶ノ製造ニ付テハ海運統制令第二條ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ國ノ注文ニ依ル船舶ノ製造ニ付亦同ジ

第二條　船舶ノ製造ヲ爲サントスル者海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ第三條ニ規定スル場合ヲ除クノ外注文者ト連署ノ上左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一　船舶ノ種類及用途

二　船舶ノ長サ

三　機關ノ種類及其ノ數

前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ但シ北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ノ注文ニ依ル場合ニ於テハ第四號乃至第六號ノ書類ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一　使用船臺番號、計畫總噸數、計畫重量噸數、計畫旅客定員、計畫馬力、計畫航海速力、使用豫定燃料ノ種類、龍骨据附豫定年月、進水豫定年月、竣工豫定年月、豫定就航區域、船體製造工場名及機關製造工場名ヲ記載シタル書類

二　所要資材ノ種類別數量ヲ記載シタル書類

三　豫定製造價格及其ノ內譯ヲ記載シタル書類

四　注文者ノ所要資金調達方法ヲ記載シタル書類

五　注文者會社其ノ他ノ團體ナルトキハ定款又ハ之ニ準ズルモノ

六　注文者ノ資產及營業狀況ノ詳細ヲ記載シタル書類

第三條　外地又ハ外國ニ住所ヲ有スル者ノ注文ニ依リ船舶ノ製造ヲ爲サントスル者海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ注文者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所並ニ前條第一項各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ前條第二項第一號乃至第三號ノ書類ヲ添附シ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第四條　外國ニ船舶ノ製造ノ注文ヲ爲サントスル者海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ第二條第一項各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ同條第二項第一號及第三號乃至第五號ノ書類ヲ添附シ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第五條　海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケタル後當該船舶ノ竣工前ニ申請書ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ

第五條ノ二　造船業者長サ五十米以上ノ船舶ノ修繕ヲ爲サントスルトキハ告示ヲ以テ指定スル場合ヲ除クノ外其ノ範圍及期間ニ關シ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第五條ノ三　造船業者前條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ當該船舶ノ所有者ト連署ノ上左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一　船舶ノ番號、種類、用途、名稱及總噸數

二　船舶所有者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所

三　修繕ヲ行フ造船所ノ名稱及所在地

四　修繕範圍ノ概略

五　修繕期間

六　修繕ヲ必要トスル事由

第五條ノ四　造船業者第五條ノ二ノ許可ヲ受ケ當該修繕ニ着手シタルトキ及修繕ヲ完了シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ所轄管海官廳ヲ經由シテ遞信大臣ニ屆出ヅベシ

第五條ノ五　第五條ノ規定ハ第五條ノ二ノ許可ヲ受ケタル場合ニ付之ヲ準用ス

第六條　第二條乃至第五條、第五條ノ三及前條ノ申請書及之ニ添附スベキ書類ハ各其ノ副本ヲ添ヘ所轄管海官廳ヲ經由シテ之ヲ提出スベシ

第七條　海運統制令第四條第一項ノ規定ニ基キテ爲ス命令ハ當事者雙方ニ對シ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所、船舶番號、船舶ノ名稱及所在、貸借又ハ委託ノ期間其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

第八條　海運統制令第四條第二項ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者連署ノ上契約書ノ謄本ヲ添ヘ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ屆出ヅベシ

第九條　海運統制令第四條第二項ノ規定ニ

依リ裁定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ副本ヲ添ヘ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一 申請人及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所

二 申請ノ目的及事由

遞信大臣前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間内ニ答辯書ヲ差出サシムベシ、

前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ遞信大臣ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ為スコトヲ得

第十條 遞信大臣海運統制令第四條第二項ノ規定ニ依リ裁定ヲ為シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者雙方ニ送付スベシ

第十一條 海運統制令第五條ノ許可ハ左ノ各號ノ場合ニ於テハ之ヲ受クルコトヲ要セズ

一 總噸數二十噸未滿ノ船舶ヲ借受ケ（期間傭船ヲ含ム以下同ジ）又ハ其ノ運航ノ委託ヲ受ケントスルトキ

二 日本船舶（外地ニ行ハルル命令ニ依ル日本船舶ヲ含ム以下同ジ）ヲ所有スルコトヲ得ル者ニシテ内地ニ住所又ハ主タル事務所ヲ有スル者ヨリ借受ケ又ハ委託ヲ受ケントスルトキ

第十二條 海運統制令第五條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ副本ヲ添ヘ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一 船舶ノ種類、用途、名稱、國籍及貸主又ハ委託者

二 船舶ノ總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及進水年月

三 借受ケ又ハ委託ヲ受ケントスル期間

四 借受ケントスル場合ニ於テハ賃借料及其ノ支拂方法、委託ヲ受ケントスル場合ニ於テハ運航手數料又ハ費用ノ分擔及收益ノ分配ノ方法

五 豫定ノ航路又ハ就航區域

第十三條 海運統制令第六條ノ規定ニ基キテ為ス禁止又ハ制限ハ告示シテ之ヲ為ス

第十四條 海運統制令第八條ノ規定ニ依ル額ノ指定ハ告示シテ之ヲ為ス但シ受領者又ハ支拂者ヲ指定シテ為サントスルトキハ其ノ者ニ對スル通知ヲ以テ告示ニ代フ

第十五條 海運統制令第八條第一項但書ノ許可ノ申請ハ輸入品又ハ輸入原材料ノ價格昂騰特ニ著シキ場合其ノ他已ムヲ得ザル事由アル場合ニ限リ之ヲ為スコトヲ得

前項ノ許可ハ支拂者又ハ受領者ノ何レカ一方ニ於テ之ヲ受クルヲ以テ足ル

國、北海道又ハ府縣ヨリ費用ヲ補助スル航路ニ付遞信大臣又ハ地方長官ノ認可ヲ受ケタル運送賃ノ額ニ依ルトキハ海運統制令第八條第一項但書ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十六條 前條第一項ノ申請ヲ為サントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一 船舶ノ製造價格ニ付テハ船舶ノ製造番號、種類、船質、長サ、總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及其ノ數、最大馬力、龍骨据附年月、竣工年月、船價及機關ノ製造工場名竝ニ豫定ノ製造價格其ノ他ノ契約條件

船舶ノ修繕料ニ付テハ船舶ノ番號、種類、用途、船質、名稱、總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及其ノ數、最大馬力、進水年月、製造工場名、修繕ノ範圍及期間、所要資材ノ種類別數量、修繕ヲ行フ造船所ノ名稱竝ニ豫定ノ修繕料其

ノ他ノ契約條件

船舶ノ賣買價格、賃貸料、運航手數料及船舶ノ賣買、貸借又ハ運航委託ノ斡旋手數料ニ付テハ船舶ノ番號、種類、用途、船質、名稱、總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及其ノ數、最大馬力、進水年月及製造工場名竝ニ豫定ノ賣買價格、賃貸料、運航手數料又ハ斡旋手數料、引渡時期、引渡場所其ノ他ノ契約條件

水上ノ運送賃及船舶ニ依ル運送ノ斡旋手數料ニ付テハ運送スベキ物ノ品名及數量、運送區間竝ニ豫定ノ運送賃又ハ斡旋手數料其ノ他ノ契約條件

船積又ハ陸揚ニ關スル請負料又ハ手數料ニ付テハ取扱フベキ物ノ品名及數量、作業ノ種別竝ニ豫定ノ請負料又ハ手數料其ノ他ノ契約條件

二 相手方ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ主タル事務所及業務ノ種類

三 已ムヲ得ザル事由ノ詳細

第十七條 海運統制令第九條第一項ノ規定ニ依ル組合其ノ他之ニ準ズルモノノ指定ハ告示シテ之ヲ為ス

第十八條 海運統制令第九條第一項ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一 組合其ノ他之ニ準ズルモノノ名稱及地區

二 構成員（海運統制令第九條第一項ノ構成員ヲ謂フ以下同ジ）タル資格及構成員ノ概數

三 海運統制令第八條第一項ノ額ト看做サルベキ額及其ノ實施ノ日

前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ

一 海運統制令第八條第一項ノ額ト看做サルベキ額ノ算定基礎ヲ明カニスル書面

二 海運統制令第九條第一項ノ規定ニ依ル認可申請ヲ為スベキ旨ノ決議書ノ謄

第十九條 海運統制令第二條、第五條及第八條第一項但書ノ許可竝ニ同令第九條第一項ノ認可ニハ制限又ハ條件ヲ附スルコトアルベシ

第二十條 遞信大臣海運統制令第九條第一項ノ認可ヲ為シタルトキハ左ノ事項ヲ告示ス

一 組合其ノ他之ニ準ズルモノノ名稱及地區

二 構成員タル資格

三 海運統制令第八條第一項ノ額ト看做サルベキ額及其ノ實施ノ日

四 認可ニ附シタル制限又ハ條件

第二十一條 海運統制令第九條第二項ノ處分ハ遞信大臣處分ノ旨及前條各號ノ事項ヲ告示シテ之ヲ為ス

第二十二條 海運統制令第十二條第三號ニ掲グルモノハ左ノモノトス

一 海運統制令施行地以外ノ地相互間（關東州、滿洲及支那ノ各地相互間ヲ除ク）ニ於ケル運送ノ運送賃

二 日本船舶ニ非ザル船舶ノ賃貸料及運航手數料

第二十三條 遞信大臣ノ告示ヲ以テ指定スル水上ノ運送賃、船舶ノ賃貸料又ハ船積若ハ陸揚ニ關スル請負料若ハ手數料ハ運航業者、船舶所有者又ハ港灣運送業者ニ於テ其ノ店頭ノ見易キ場所ニ之ヲ掲示シ又ハ顧客ノ請求ニ應ジ之ヲ開示シ其ノ他適當ナル方法ヲ以テ之ヲ公示スベシ

第二十四條 遞信大臣必要アリト認ムルトキハ本令ニ依リ提出スベキ申請書及之ニ添附スベキ書類ニ關シ別段ノ指示ヲ為スコトヲ得

遞信大臣必要アリト認ムルトキハ本令ニ定ムルモノノ外必要ナル書類ノ提出ヲ命

ズルコトヲ得

第二十五條　造船業者ハ長サ五十米以上ノ船舶ノ修繕ヲ爲シ得ル船渠及船架ノ翌月中ノ使用豫定ニ付第一號書式ニ依ル船渠及船架使用豫定報告書二通ヲ毎月十五日迄ニ、長サ五十米以上ノ船舶ノ前月ノ修繕狀況ニ付第二號書式ニ依ル船舶修繕狀況報告書二通ヲ毎月七日迄ニ所轄管海官廳ヲ經由シテ遞信大臣ニ提出スベシ

第二十六條　遞信大臣ノ告示ヲ以テ指定スル貨物ヲ船舶ニ依リ運送セントスル荷主ハ四月一日ヨリ翌年三月末日迄ノ一年間ニ於ケル當該貨物ノ運送計畫ニ付第三號書式ニ依ル運送計畫報告書ヲ毎年二月末日迄ニ遞信大臣ニ提出スベシ

荷主ハ前項ノ運送計畫ヲ著シク變更シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ報告スベシ

第二十七條　荷送人又ハ荷受人ハ一月、四月、七月及十月ノ各一日現在ニ於ケル運送契約貨物ニシテ其ノ運送期間三月以上ノモノ又ハ其ノ數量一口五千噸以上ノモノニ付第四號書式ニ依ル運送契約報告書ヲ各同月ノ十日迄ニ遞信大臣ニ提出スベシ

第二十八條　海運統制令第十五條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

第二十九條　海運統制令及本令ニ於テ遞信大臣トアルハ左ニ掲グル事項ニ付テハ遞信大臣ノ特ニ告示ヲ以テ指定スルモノヲ除クノ外所轄遞信局長トス但シ專ラ湖川ヲ航行スル船舶及總噸數二十噸未滿ノ船舶(艀船、曳船及總噸數五噸以上ノ運送船ヲ除ク)ノ賣買價格、賃貸料、運航手數料、運送賃竝ニ賣買、貸借又ハ運航委託ノ斡旋手數料竝ニ總噸數五噸未滿ノ船舶ノ製造價格及修繕料ニ付テハ地方長官(東京府ニ於テハ運送賃ニ付テハ知事及警視總監)トス

一　總噸數百噸以上ノ汽船以外ノ船舶ノ賣買價格、賃貸料、運航手數料及運送賃

二　船積又ハ陸揚ニ關スル請負料又ハ手數料

三　船舶ノ賣買、貸借若ハ運航委託又ハ船舶ニ依ル運送ノ斡旋手數料

四　長サ五十米未滿ノ船舶ノ製造價格及製造許可

五　船舶ノ修繕料(海運統制令第八條第一項ノ指定竝ニ第九條ノ認可及處分ニ關スル事項ヲ除ク)及修繕許可

第十四條、第十七條、第二十條、第二十一條及第二十三條ノ告示ハ前項ノ場合ニ於テハ公示ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

附　則

本令ハ海運統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際既ニ臨時資金調整法ニ依リ許可ヲ受ケタルモノニ關スル船舶ノ製造ニ付テハ海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則(昭一五、八、三〇、遞令四六)

本令ハ昭和十五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則(昭一五、一〇、一、遞令五三)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ製造中ノ船舶ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則(昭一六、九、三、遞令八〇)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別記樣式省略)

第一號書式(用紙ノ大サハ日本標準規格B4)

船渠及船架使用豫定報告書　(昭和　年　月分)

[illegible]

船渠又ハ船架ノ名稱	[illegible]	[illegible]	總噸數	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	備考

記載心得

[illegible]

第二號書式(用紙ノ大サハ日本標準規格B4 257×364 mm)

船舶修繕状況報告書 (昭和 年 月分)

船舶所名

番號	船名	船舶所有者	建造年次	用途	検査ノ区別	修繕月数	修繕費	備考

記載心得

(1)長サ五十米以上ノ修繕船舶ニ付記載スベシ

(2)用途欄ニハ客船、貨客船、貨物船等ト記載スベシ

(3)備考欄ニハ特ニ長時日ヲ要シタルモノ又ハ特ニ参観ノ修経費ヲ要シタルモノニ付其ノ理由ヲ記載スベシ

(4)検査ヲ伴ハザル船舶ニ付テハ中間入渠、仲檢理等参考事項ヲ備考欄ニ記載スベシ

第三號書式(用紙ノ大サハ日本標準規格B5 182×257 mm)

運輸計算報告書(1)

明和 年 月 日提出

運賃又ハ傭船料計算ノ基礎	品名		運賃又ハ傭船料計算ノ基礎ニ関スル荷主又ハ傭船者氏名(3)	
	積定数量(3)			
	積地(3)		運賃又ハ傭船料計算ノ基礎ニ関スル荷受人又ハ傭船者氏名(3)	
	揚地			

月別積出積定数量(3)

月		月		月		月	
月		月		月		月	
月		月		月		月	
計		計		計		計	

備考	

記載心得

(1)本報告書ハ内地ニ住所ヲ有スル運航業者ノ船舶ニ依リ運送セントスル貨物ニ付記載スルモノトス

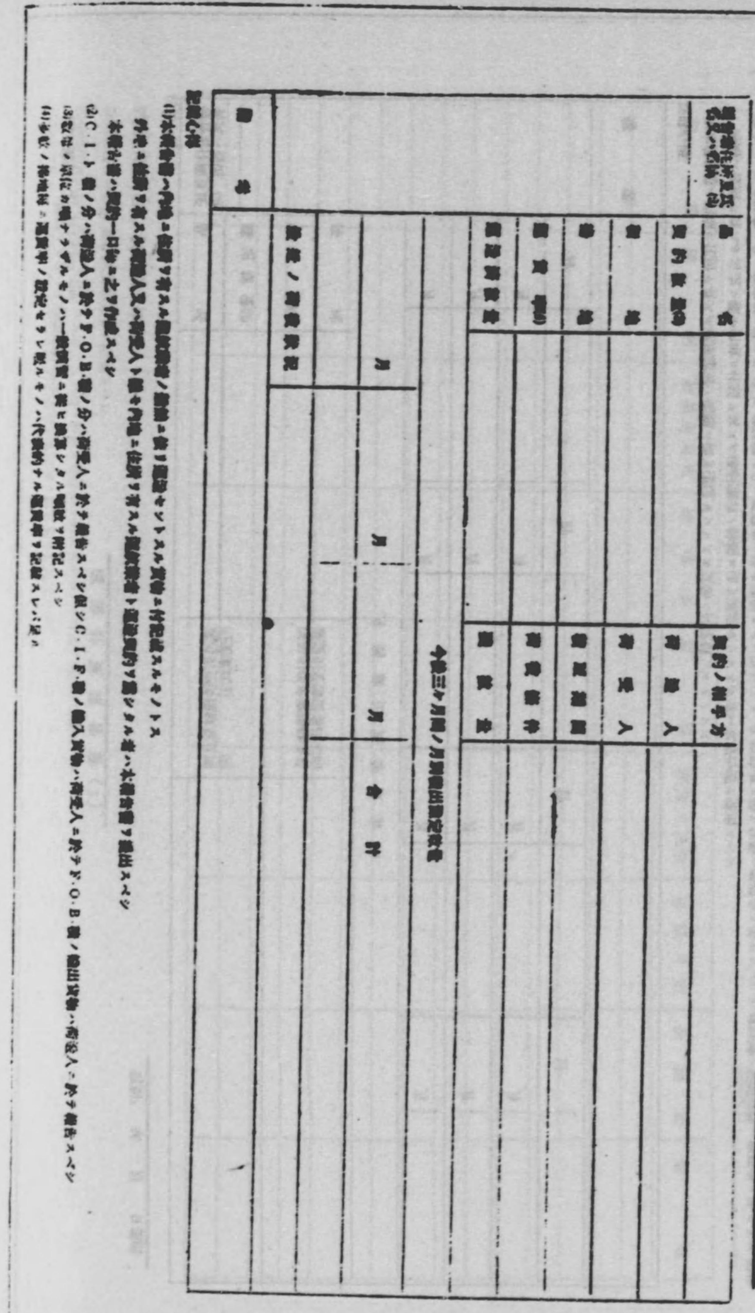
外地ニ住所ヲ有スル荷主ト雖モ内地ニ住所ヲ有スル運航業者ノ船舶ニ依リ運送セントスル者ハ本報告書ヲ提出スベシ

(2)C.I.F.積計算ノ分ハ積荷主ニ於テF.O.B.積計算ノ分ハ受荷主ニ於テ報告スベシ但シC.I.F.積計算ノ輸入貨物ハ受荷主ニ於テF.O.B.積計算ノ輸出貨物ハ積荷主ニ於テ之ヲ報告スベシ

(3)数量ノ単位ガ噸ナラザルモノハ一数積噸ニ換ヒ換算シタル噸数ヲ附記スベシ

(4)本報告書ハ積地毎ニ之ヲ作成スベシ但シ況航セル数港分ヲ一括シテ数量ヲ算定セルトキハ当該港分ヲ取纏ムルヲ妨ゲズ

(5)月別積出積定数量ニ付運送引受者又ハ同数定者ヲ記載シ得ルトキハ其ノ者ヲ月別積出算定数量ノ横ニ附記スベシ自社船ニテ運送セントスル数量ヘ之ヲ朱書内書スベシ



第四號書式（用紙ノ大サハ日本標準規格B5 182×257 mm）

運送契約報告書（1）

昭和　年　月　日提出

報告者住所及氏名又ハ名稱 (2)	品名		契約ノ相手方	
	契約數量(3)		荷送人	
	積地		荷受人	
	揚地		積取期間	
	運賃率(4)		荷役條件	
	運送濟數量		積數量	
	今後三ヶ月間ノ月別積出豫定數量			
	月	月	月	合計
	最近ノ荷役狀況			
備考				

記載心得

(1)本報告書ハ內地ニ住所ヲ有スル運航業者ノ船舶ニ依リ運送セントスル貨物ニ付記載スルモノトス
外地ニ住所ヲ有スル荷送人又ハ荷受人ト雖モ內地ニ住所ヲ有スル運航業者ト運送契約ヲ爲シタル者ハ本報告書ヲ提出スベシ
本報告書ハ契約一口毎ニ之ヲ作成スベシ

(2)C.I.F.積ノ分ハ荷送人ニ於テF.O.B.積ノ分ハ荷受人ニ於テ報告スベシ但シC.I.F.積ノ輸入貨物ハ荷受人ニ於テF.O.B.積ノ輸出貨物ハ荷送人ニ於テ報告スベシ

(3)數量ノ單位カ噸ナラザルモノハ一般慣習ニ從ヒ換算シタル噸數ヲ附記スベシ

(4)多數ノ揚地毎ニ運賃率ノ設定セラレ居ルモノハ代表的ナル運賃率ヲ記載スレバ足ル

海運統制令第六條ニ依ル歐洲交戰國人ノ內軍隊ニ編入セラレ居ル者ノ乘船引受禁止ノ件

（昭和十五年二月七日遞信省告示第二百七十四號）

海運統制令第六條ニ依リ昭和十五年二月五日ヨリ日本ノ運航業者ニ對シ歐洲交戰國人ノ內軍隊ニ編入セラレ居ル者（其ノ乘アル者ヲ含ム）ノ乘船引受ヲ禁止セリ

海運統制令第六條ニ依ル帆船航行ノ制限ニ關スル件

（昭和十六年七月十九日遞信省告示第千六百二十一號）

海運統制令第六條ニ依リ左ノ區間ニ於ケル帆船（漁船ヲ除ク）ノ航行ハ別記事項ヲ具シ最寄管海官廳ノ承認ヲ受クルニ非ザレハ之ヲ爲シ得ザルコトトシ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

一、內地ト朝鮮間
二、內地ト關東州及滿洲間
三、內地ト支那間
四、朝鮮、關東州、滿洲及支那各相互間

別記

一、船舶番號
二、所屬地區組合名稱及組合等級番號
三、船舶、船名、總噸數
四、船籍港
五、船舶所有者又ハ賃借人ノ住所氏名
六、航行區間
七、積荷種類及數量
八、運賃率
九、用荷主及受荷主ノ住所氏名
一〇、認可ヲ受クベキ期間

海運統制令第九條ニ規定スル船舶所有者、運航業者又ハ造船業者ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ

（昭和十五年二月一日遞信省告示第二百十五號）

海運統制令第九條ニ規定スル船舶所有者、運航業者又ハ造船業者ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノハ左ノモノトシ本日ヨリ之ヲ施行ス

海運統制委員會　小型汽船統制委員會

海運統制令施行規則第五條ノ二ノ規定ニ依ル遞信大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要セザル場合指定

（昭和十五年八月三十日遞信省告示第二千三百三十六號）

一　軍ニ徵用セラレタル船舶ノ修繕ヲ爲サントスルトキ
二　修繕期間五日ヲ超エザル船舶ノ修繕ヲ爲サントスルトキ
三　海難其ノ他ノ事故ニ因リ生ジタル損傷ニ付應急處置ヲ爲サントスルトキ

海運統制令施行規則第二十六條ニ依ル運送計畫報告書ニ於テ報告スベキ重要物資

（昭和十五年二月一日 遞信省告示第二百十六號）

海運統制令施行規則第二十六條ニ依リ運送計畫報告書ニ於テ報告スベキ重要物資ハ左ノ通トシ本日ヨリ之ヲ施行ス

石炭　石油　鐵鑛石　鑛鑛石　銅鑛其ノ他非鐵金屬鑛　鐵材　屑鐵　砂糖　棉花　羊毛　セメント　鹽　木材　肥料　飼料　米麥大豆其ノ他ノ雜穀

海運統制令施行規則

（昭和十五年二月十五日 朝鮮總督府令第十七號）

改正　昭一五、一一、一六、朝令二五〇
　　昭一六、一、二三、朝令一一
　　昭一六、九、一〇、朝令二四二

第一條　長サ十五米未滿ノ船舶ノ製造ニ付テハ海運統制令第二條ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ圖ノ注文ニ依ル船舶ノ製造ニ付亦同ジ

第二條　船舶ノ製造ヲ爲サントスル者海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ第三條ニ規定スル場合ヲ除クノ外注文者ト連署ノ上左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　船舶ノ種類及用途
二　船舶ノ長サ
三　機關ノ種類及其ノ數

前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ但シ道、府邑面其ノ他ノ公共團體ノ注文ニ依ル場合ニ於テハ第四號乃至第六號ノ書類ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一　使用船臺番號、計畫總噸數、計畫重量噸數、計畫旅客定員、計畫馬力、計畫航海速力、使用豫定燃料ノ種類、龍骨据附豫定年月、進水豫定年月、竣工豫定年月、豫定就航區域、船體製造工場名及機關製造工場名ヲ記載シタル書類
二　所要資材ノ種類別數量ヲ記載シタル書類
三　豫定製造價格及其ノ內譯ヲ記載シタル書類
四　注文者ノ所要資金調達方法ヲ記載シタル書類
五　注文者會社其ノ他ノ團體ナルトキハ定款又ハ之ニ準ズルモノ
六　注文者ノ資產及營業狀況ノ詳細ヲ記載シタル書類

第三條　內地、臺灣、樺太、關東州、南洋群島又ハ外國ニ住所ヲ有スル者ノ注文ニ依リ船舶ノ製造ヲ爲サントスル者海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ注文者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所ノ所在地竝ニ前條第一項各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ前條第二項第一號乃至第三號ノ書類ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第四條　外國ニ船舶ノ製造ノ注文ヲ爲サントスル者海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ第二條第一項各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ同條第二項第一號及第三號乃至第五號ノ書類ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第五條　海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケタル後當該船舶ノ竣工前ニ申請書ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ

第五條ノ二　造船業者長サ三十米以上ノ船舶ノ修繕ヲ爲サントスルトキハ告示ヲ以テ指定スル場合ヲ除クノ外其ノ範圍及期間ニ關シ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第五條ノ三　造船業者前條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ當該船舶ノ所有者ト連署ノ上左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　船舶ノ番號、種類、用途、名稱及總噸數
二　船舶所有者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所ノ所在地
三　修繕ヲ行フ造船所ノ名稱及所在地
四　修繕範圍ノ概略
五　修繕期間
六　修繕ヲ必要トスル事由

第五條ノ四　造船業者第五條ノ二ノ許可ヲ受ケ當該修繕ニ着手シタルトキ及修繕ヲ完了シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ所轄海官廳ヲ經由シテ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第五條ノ五　第五條ノ規定ハ第五條ノ二ノ許可ヲ受ケタル場合ニ付之ヲ準用ス

第六條　第二條乃至第五條、第五條ノ三及前條ノ申請書及之ニ添附スベキ書類ハ各其ノ副本ヲ添ヘ所轄管海官廳ヲ經由シテ之ヲ提出スベシ

第七條　海運統制令第四條第一項ノ規定ニ基キテ發スル命令ハ當事者雙方ニ對シテ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所ノ所在地、船舶番號、船舶ノ名稱及所在、貸借又ハ委託ノ期間其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

第八條　海運統制令第四條第二項ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者連署ノ上契約書ノ謄本ヲ添ヘ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第九條　海運統制令第四條第二項ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ニ副本ヲ添ヘ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　申請人及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所ノ所在地
二　申請ノ目的及事由

朝鮮總督前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシムベシ

前項ノ期間內ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ朝鮮總督ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

第十條　朝鮮總督海運統制令第四條第二項ノ規定ニ依リ裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者雙方ニ送付スベシ

第十一條　海運統制令第五條ノ許可ハ左ノ各號ノ場合ニ於テハ之ヲ受クルコトヲ要セズ

一　總噸數二十噸未滿ノ船舶ヲ借受ケ（期間傭船ヲ含ム以上同ジ）又ハ其ノ運航ノ委託ヲ受ケントスルトキ
二　日本船舶（內地、臺灣、樺太、關東州及南洋群島ニ行ハルル法令ニ依ル日本船舶ヲ含ム以下同ジ）ヲ所有スルコトヲ得ル者ニシテ朝鮮ニ住所又ハ主タル事務所ヲ有スル者ヨリ借受ケ又ハ委託ヲ受ケントスルトキ

第十二條　海運統制令第五條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ニ副本ヲ添ヘ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　船舶ノ種類、用途、名稱、國籍及貸主又ハ委託者
二　船舶ノ總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及進水年月
三　借受ケ又ハ委託ヲ受ケントスル期間
四　借受ケントスル場合ニ於テハ賃借料及其ノ支拂方法、委託ヲ受ケントスル場合ニ於テハ運航手數料又ハ費用ノ分擔及收益ノ分配ノ方法
五　豫定ノ航路又ハ就航區域

第十三條　海運統制令第六條ノ規定ニ基キテ爲ス禁止又ハ制限ハ告示ニ依リテ之ヲ爲ス

第十四條　海運統制令第八條ノ規定ニ依ル額ノ指定ハ告示ニ依リテ之ヲ爲ス但シ受領者又ハ支拂者ヲ指定シテ爲サントスルトキハ其ノ者ニ對スル通知ヲ以テ告示ニ代フ

第十五條　海運統制令第八條第一項但書ノ許可ノ申請ハ輸入品又ハ輸入原材料ノ價格昂騰著シキ場合其ノ他已ムヲ得ザル事由アル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ許可ハ支拂者又ハ受領者ノ何レカ一方ニ於テ之ヲ受クルヲ以テ足ル

國又ハ道ヨリ費用ヲ補助スル航路ニ付朝鮮總督又ハ道知事ノ認可ヲ受ケタル運送賃ノ額ニ依ルトキハ海運統制令第八條第一項但書ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十六條　前條第一項ノ申請ヲ爲サントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ニ其ノ副本ヲ添ヘ所轄管海官廳ヲ經由シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　船舶ノ製造價格ニ付テハ船舶ノ番號、種類、船質、長サ、總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及其ノ數、最大馬力、龍骨据附年月、竣工年月、船體及機關ノ製造工場名並ニ豫定ノ製造價格其ノ他ノ契約條件

船舶ノ修繕料ニ付テハ船舶ノ番號、種類、用途、船質、名稱、總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及其ノ數、最大馬力、進水年月、製造工場名、修繕ノ範圍及期間、所要資材ノ種類別數量、修繕ヲ行フ造船所ノ名稱並ニ豫定ノ修繕料其ノ他ノ契約條件

船舶ノ賣買價格、賃貸料、運航手數料及船舶ノ賣買、貸借又ハ運航委託ノ斡旋手數料ニ付テハ船舶ノ番號、種類、用途、船質、名稱、總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及其ノ數、最大馬力、進水年月及製造工場名並ニ豫定ノ賣買價格、賃貸料、運航手數料又ハ斡旋手數料、引渡時期、引渡場所其ノ他ノ契約條件

水上ノ運送賃及船舶ニ依ル運送ノ斡旋手數料ニ付テハ運送スベキ物ノ品名及數量、運送區間並ニ豫定ノ運送賃又ハ斡旋手數料其ノ他ノ契約條件

船積又ハ陸揚ニ關スル請負料又ハ手數料ニ付テハ取扱フベキ物ノ品名及數量、作業ノ種別並ニ豫定ノ請負料又ハ手數料其ノ他ノ契約條件

二　相手方ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ主タル事務所ノ所在地及業務ノ種類

三　已ムヲ得ザル事由ノ詳細

第十七條　海運統制令第九條第一項ノ規定ニ依ル組合其ノ他之ニ準ズルモノノ指定ハ告示ニ依リテ之ヲ爲ス

第十八條　海運統制令第九條第一項ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　組合其ノ他之ニ準ズルモノノ名稱及地區

二　構成員（海運統制令第九條第一項ノ構成員ヲ謂フ以下同ジ）タル資格及構成員ノ概數

三　海運統制令第八條第一項ノ額ト看做サルベキ額及其ノ實施ノ日

前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　海運統制令第八條第一項ノ額ト看做サルベキ額ノ算定基礎ヲ明カニスル書面

二　海運統制令第九條第一項ノ規定ニ依ル認可申請ヲ爲スベキ旨ノ決議書ノ寫

第十九條　海運統制令第二條、第五條及第八條第一項但書ノ許可並ニ同令第九條第一項ノ認可ニハ制限又ハ條件ヲ附スルコトアルベシ

第二十條　朝鮮總督海運統制令第九條第一項ノ認可ヲ爲シタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ告示ス

一　組合其ノ他之ニ準ズルモノノ名稱及地區

二　構成員タル資格

三　海運統制令第八條第一項ノ額ト看做サルベキ額及其ノ實施ノ日

四　認可ニ附シタル制限又ハ條件

第二十一條　海運統制令第九條第二項ノ處分ハ朝鮮總督處分ノ旨及前條各號ノ事項ヲ告示スルコトニ依リテ之ヲ爲ス

第二十二條　海運統制令第十二條第三號ニ揭グルモノハ左ノモノトス

一　海運統制令施行地以外ノ地相互間（關東州、滿洲及支那ノ各地相互間ヲ除ク）ニ於ケル運送ノ運送賃

二　日本船舶ニ非ザル船舶ノ賃貸料及運航手數料

第二十三條　朝鮮總督ノ告示ヲ以テ指定スル水上ノ運送賃、船舶ノ賃貸料又ハ船積若ハ陸揚ニ關スル請負料若ハ手數料ハ運航業者、船舶所有者又ハ港灣運送業者ニ於テ其ノ店頭ノ見易キ場所ニ之ヲ掲示シ又ハ顧客ノ請求ニ應ジ之ヲ呈示シ其ノ他適當ナル方法ヲ以テ之ヲ公示スベシ

第二十四條　朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ本令ニ依リ提出スベキ申請書及之ニ添附スベキ書類ニ關シ別段ノ指示ヲ爲スコトアルベシ

朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ本令ニ定ムルモノノ外必要ナル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第二十五條　造船業者ハ長サ三十米以上ノ船舶ノ修繕ヲ爲シ得ル船渠及船架ノ翌月中ノ使用豫定ニ付第一號樣式ニ依ル船渠及船架使用豫定報告書二通ヲ毎月十五日迄ニ、長サ三十米以上ノ船舶ノ前月ノ修繕狀況ニ付第二號樣式ニ依ル船舶修繕狀況報告書二通ヲ毎月七日迄ニ所轄管海官廳ヲ經由シテ朝鮮總督ニ提出スベシ

第二十六條　朝鮮總督ノ告示ヲ以テ指定スル貨物ヲ船舶ニ依リ運送セントスル荷主ハ四月一日ヨリ翌年三月末日迄ノ一年間ニ於ケル當該貨物ノ運送計畫ニ付第三號樣式ニ依ル運送計畫報告書ヲ毎年二月末日迄ニ朝鮮總督ニ提出スベシ

荷主ハ前項ノ運送計畫ヲ著シク變更シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二十七條　荷送人又ハ荷受人ハ一月、四月、七月及十月ノ各一日現在ニ於ケル運送契約貨物ニシテ其ノ運送期間三月以上ノモノ又ハ其ノ數量一口五千噸以上ノモノニ付第四號樣式ニ依ル運送契約報告書ヲ各同月ノ十日迄ニ朝鮮總督ニ提出スベシ

第二十八條　海運統制令第十五條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ第五號樣式ニ依ル

第二十九條　海運統制令及本令ニ於テ朝鮮總督トアルハ專ラ湖川ヲ航行スル船舶及總噸數二十噸未滿ノ船舶（汽船、曳船及總噸數五噸以上ノ運送船ヲ除ク）ノ賣買價格、賃貸料、運航手數料、運送賃並ニ賣買、貸借又ハ運航委託ノ斡旋手數料並ニ總噸數五噸未滿ノ船舶ノ製造價格及修繕料ニ付テハ道知事トス

第十四條、第十七條、第二十條、第二十一條及第二十三條ノ告示ハ前項ノ場合ニ於テハ公示ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

船舶ノ修繕料（第五條ノ二ノ許可ヲ要スル船舶及總噸數五噸未滿ノ船舶ノ修繕料ヲ除ク）ニ關スル海運統制令第八條第一項但書ノ許可ニ關スル事項ニ付テハ同令及本令ニ於テ朝鮮總督トアルハ朝鮮總督府遞信局長トス

第三十條　第八條、第九條及第十二條ノ規定ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ハ明治四十三年朝鮮總督府令第五號ノ規定ニ拘ラズ直接朝鮮總督府ニ差出スベシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際既ニ昭和十二年勅令第五百九十四號ニ於テ依ルコトヲ定メタル臨時資金調整法ニ依リ許可ヲ受ケタルモノニ關スル船舶ノ製造ニ付テハ海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則（昭一五、一一、二六、朝令二五〇）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭一六、一、二三、朝令一一）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ製造中ノ長サ十五米以上三十米未滿ノ船舶ノ製造ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則（昭一六、九、一〇、朝令二四一）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

海運統制令第六條ノ規定ニ依ル帆船ノ航行制限ニ關スル件

（昭和十六年九月四日 朝鮮總督府告示第千四百二號）

海運統制令第六條ノ規定ニ依リ左ノ區間ニ於ケル帆船（漁船ヲ除ク）ノ航行ハ船舶ノ所有者又ハ賃借人ニ於テ別記事項ヲ具シ最寄管海官廳ノ承認ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲シ得ザルコトトシ昭和十六年九月十日ヨリ之ヲ施行ス

一 朝鮮ト內地間
二 朝鮮ト關東州及滿洲間
三 朝鮮ト支那間
四 內地、關東州、滿洲及各支那相互間

別記

一 船舶番號
二 所屬地區組合名稱
三 船種、船名及總噸數
四 船籍港
五 船舶ノ所有者又ハ賃借人ノ住所氏名
六 航行ノ區間
七 積荷ノ種類及數量
八 運賃率
九 出荷主及受荷主ノ住所氏名
一〇 認可ヲ受クベキ期間

海運統制令第九條第一項ノ規定ニ依ル船舶所有者、運航業者又ハ造船業者ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ

（昭和十六年八月十五日 朝鮮總督府告示第千二百六十號）

海運統制令第九條第一項ノ規定ニ依ル船舶所有者、運航業者又ハ造船業者ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ左ノ通指定ス

昭和十五年朝鮮總督府告示第二百八十八號及同第七百四十六號ハ之ヲ廢止ス

朝鮮海運組合
朝鮮海運組合聯合會

海運統制令施行規則第五條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受クルコトヲ要セザル場合指定

（昭和十五年十一月十八日 朝鮮總督府告示第千二百五十一號）

一 軍ニ徵用セラレタル船舶ノ修繕ヲ爲サントスルトキ
二 修繕期間五日ヲ超エザル船舶ノ修繕ヲ爲サントスルトキ
三 海難其ノ他ノ事故ニ因リ生ジタル損傷ニ付應急處置ヲ爲サントスルトキ

海運統制令施行規則第二十六條ノ規定ニ依ル運送計畫ノ報告ヲ要スル貨物指定

（昭和十五年三月二十七日 朝鮮總督府告示第二百七十九號）

石炭

石油
鐵鑛石
燐鑛石
銅鑛其ノ他非鐵金屬鑛
鐵材
屑鐵
砂糖
棉花
羊毛
セメント
鹽
木材
肥料
飼料
米麥大豆其ノ他ノ雜穀

海運統制令施行規則

（昭和十五年二月二十五日 臺灣總督府令第二十三號）

改正 昭一五、一一、一、臺令一五四
昭一六、六、四、臺令一一三

第一條 長サ十米未滿ノ船舶ノ製造ニ付テハ海運統制令第二條ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ國ノ注文ニ依ル船舶ノ製造ニ付亦同ジ

第二條 船舶ノ製造ヲ爲サントスル者海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ第三條ニ規定スル場合ヲ除クノ外注文者ト連署ノ上左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ臺灣總督ニ提出スベシ

一 船舶ノ種類及用途
二 船舶ノ長サ
三 機關ノ種類及其ノ數

前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ但シ州又ハ廳、市街庄其ノ他ノ公共團體ノ注文ニ依ル場合ニ於テハ第四號乃至第六號ノ書類ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 使用船臺番號、計畫總噸數、計畫重量噸數、計畫旅客定員、計畫馬力、計畫航海速力、使用豫定燃料ノ種類、龍骨据附豫定年月、進水豫定年月、竣工豫定年月、豫定就航區域、船體製造工場名及機關製造工場名ヲ記載シタル書類
二 所要資材ノ種類別數量ヲ記載シタル書類
三 豫定製造價格及其ノ內譯ヲ記載シタル書類
四 注文者ノ所要資金調達方法ヲ記載シタル書類
五 注文者會社其ノ他ノ團體ナルトキハ定款又ハ之ニ準ズルモノ
六 注文者ノ資產及營業狀況ノ詳細ヲ記載シタル書類

第三條 內地、朝鮮、樺太、關東州、南洋群島又ハ外國ニ住所ヲ有スル者ノ注文ニ依リ船舶ノ製造ヲ爲サントスル者海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ注文者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所竝ニ前條第一項各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ前條第二項第一號乃至第三號ノ書類ヲ添附シ之ヲ臺灣總督ニ提出スベシ

第四條 外國ニ船舶ノ製造ノ注文ヲ爲サントスル者海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ第二條第一項各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ同條第二項第一號及第三號乃至第五號ノ書類ヲ添附シ之ヲ臺灣總督ニ提出スベシ

第五條 海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケタル後當該船舶ノ竣工前ニ申請書ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シタル申請書ヲ臺灣總督ニ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ

第五條ノ二 造船業者長サ五十米以上ノ船舶ノ修繕ヲ爲サントスルトキハ告示ヲ以テ指定スル場合ヲ除クノ外其ノ範圍及期間ニ關シ臺灣總督ノ許可ヲ受クベシ

第五條ノ三　造船業者前條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ當該船舶ノ所有者ト連署ノ上左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ臺灣總督ニ提出スベシ

一　船舶ノ番號、種類、用途、名稱及總噸數

二　船舶所有者ノ氏名名稱及住所又ハ主タル事務所

三　修繕ヲ行フ造船所ノ名稱及所在地

四　修繕範圍ノ概略

五　修繕期間

六　修繕ヲ必要トスル事由

第五條ノ四　造船業者第五條ノ二ノ許可ヲ受ケ當該修繕ニ着手シタルトキ及修繕ヲ完了シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ所轄管海官廳ヲ經由シテ臺灣總督ニ屆出ヅベシ

第五條ノ五　第五條ノ規定ハ第五條ノ二ノ許可ヲ受ケタル場合ニ付之ヲ準用ス

第六條　第二條乃至第五條、第五條ノ三及前條ノ申請書及之ニ添附スベキ書類ハ各其ノ副本ヲ添ヘ所轄管海官廳ヲ經由シテ之ヲ提出スベシ

第七條　海運統制令第四條第一項ノ規定ニ基キテ爲ス命令ハ當事者雙方ニ對シ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所、船舶番號、船舶ノ名稱及所在、貸借又ハ委託ノ期間其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

第八條　海運統制令第四條第二項ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者連署ノ上契約書ノ謄本ヲ添ヘ其ノ旨ヲ臺灣總督ニ屆出ヅベシ

第九條　海運統制令第四條第二項ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ副本ヲ添ヘ之ヲ臺灣總督ニ提出スベシ

一　申請人及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所

二　申請ノ目的及事由

臺灣總督前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシムベシ

前項ノ期間內ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ臺灣總督ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

第十條　臺灣總督海運統制令第四條第二項ノ規定ニ依リ裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者雙方ニ送付スベシ

第十一條　海運統制令第五條ノ許可ハ左ノ各號ノ場合ニ於テハ之ヲ受クルコトヲ要セズ

一　總噸數二十噸未滿ノ船舶ヲ借受ケ（期間傭船ヲ含ム以下同ジ）又ハ其ノ運航ノ委託ヲ受ケントスルトキ

二　日本船舶（外地ニ行ハルル命令ニ依ル日本船舶ヲ含ム以下同ジ）ヲ所有スルコトヲ得ル者ニシテ臺灣ニ住所又ハ主タル事務所ヲ有スル者ヨリ借受ケ又ハ委託ヲ受ケントスルトキ

第十二條　海運統制令第五條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ副本ヲ添ヘ之ヲ臺灣總督ニ提出スベシ

一　船舶ノ種類、用途、名稱、國籍及貸主又ハ委託者

二　船舶ノ總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及進水年月

三　借受又ハ委託ヲ受ケントスル期間

四　借受ケントスル場合ニ於テハ賃借料及其ノ支拂方法、委託ヲ受ケントスル場合ニ於テハ運航手數料又ハ費用ノ分擔及收益ノ分配ノ方法

五　豫定ノ航路又ハ就航區域

第十三條　海運統制令第六條ノ規定ニ基キテ爲ス禁止又ハ制限ハ告示シテ之ヲ爲ス

第十四條　海運統制令第八條ノ規定ニ依ル額ノ指定ハ告示シテ之ヲ爲ス但シ受領者又ハ支拂者ヲ指定シテ爲サントスルトキハ其ノ者ニ對スル通知ヲ以テ告示ニ代フ

第十五條　海運統制令第八條第一項但書ノ許可ノ申請ハ輸入品又ハ輸入原材料ノ價格昂騰特ニ著シキ場合其ノ他已ムヲ得ザル事由アル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ許可ハ支拂者又ハ受領者ノ何レカ一方ニ於テ之ヲ受クルヲ以テ足ル

國又ハ州若ハ廳ヨリ費用ヲ補助スル航路ニ付臺灣總督又ハ州知事若ハ廳長ノ認可ヲ受ケタル運送賃ノ額ニ依ルトキハ海運統制令第八條第一項但書ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十六條　前條第一項ノ申請ヲ爲サントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ臺灣總督ニ提出スベシ

一　船舶ノ製造價格ニ付テハ船舶ノ製造番號、種類、船質、長サ、總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及其ノ數、最大馬力、龍骨据附年月、竣工年月、船體及機關ノ製造工場名竝ニ豫定ノ製造價格其ノ他契約條件

船舶ノ賣買價格及賃貸料ニ付テハ船舶ノ番號、種類、用途、船質、名稱、總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及其ノ數、最大馬力、進水年月及製造工場名竝ニ豫定ノ賣買價格又ハ賃貸料、引渡時期、引渡場所其ノ他ノ契約條件

水上ノ運送賃ニ付テハ運送スベキ物ノ品名及數量、運送區間竝ニ豫定ノ運送賃其ノ他ノ契約條件

二　相手方ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ主タル事務所及業務ノ種類

三　已ムヲ得ザル事由ノ詳細

第十七條　海運統制令第九條第一項ノ規定ニ依ル組合其ノ他之ニ準ズルモノノ指定ハ告示シテ之ヲ爲ス

第十八條　海運統制令第九條第一項ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ臺灣總督ニ提出スベシ

一　組合其ノ他之ニ準ズルモノノ名稱及地區

二　構成員（海運統制令第九條第一項ノ構成員ヲ謂フ以下同ジ）タル資格及構成員ノ概數

三　海運統制令第八條第一項ノ額ト看做サルベキ額及其ノ實施ノ日

前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ

一　海運統制令第八條第一項ノ額ト看做サルベキ額ノ算定基礎ヲ明ニスル書面

二　海運統制令第九條第一項ノ規定ニ依ル認可申請ヲ爲スベキ旨ノ決議書ノ寫

第十九條　海運統制令第二條、第五條及第八條第一項但書ノ許可竝ニ同令第九條第一項ノ認可ニハ制限又ハ條件ヲ附スルコトアルベシ

第二十條　臺灣總督海運統制令第九條第一項ノ認可ヲ爲シタルトキハ左ノ事項ヲ告示ス

一　組合其ノ他之ニ準ズルモノノ名稱及地區

二　構成員タル資格

三　海運統制令第八條第一項ノ額ト看做サルベキ額及其ノ實施ノ日

四　認可ニ附シタル制限又ハ條件

第二十一條　海運統制令第九條第二項ノ處分ハ臺灣總督處分ノ旨及前條各號ノ事項ヲ告示シテ之ヲ爲ス

第二十二條　海運統制令第十二條第三號ニ掲グルモノハ左ノモノトス

一　海運統制令施行地以外ノ地相互間（關東州、滿洲及支那ノ各地相互間ヲ除ク）ニ於ケル運送賃

二　日本船舶ニ非ザル船舶ノ賃貸料

第二十三條　臺灣總督ノ告示ヲ以テ指定スル水上ノ運送賃又ハ船舶ノ賃貸料ハ運航業者又ハ船舶所有者ニ於テ其ノ店頭ノ見易キ場所ニ之ヲ掲示シ又ハ顧客ノ請求ニ應ジ之ヲ開示シ其ノ他適當ナル方法ヲ以テ之ヲ公示スベシ

第二十四條　臺灣總督必要アリト認ムルトキハ本令ニ依リ提出スベキ申請書及之ニ添附スベキ書類ニ關シ別段ノ指示ヲ爲ス

コトヲ得
臺灣總督必要アリト認ムルトキハ本令ニ定ムルモノノ外必要ナル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第二十五條　造船業者ハ長サ五十米以上ノ船舶ノ修繕ヲ爲シ得ル船渠及船架ノ翌月中ノ使用豫定ニ付別記第一號樣式ニ依ル船渠及船架使用豫定報告書二通ヲ毎月十五日迄ニ、長サ五十米以上ノ船舶ノ前月ノ修繕狀況ニ付別記第二號樣式ニ依ル船舶修繕狀況報告書二通ヲ毎月七日迄ニ所轄管海官廳ヲ經由シテ臺灣總督ニ提出スベシ

第二十六條　臺灣總督ノ告示ヲ以テ指定スル貨物ヲ船舶ニ依リ運送セントスル荷主ハ四月一日ヨリ翌年三月末日迄ノ一年間ニ於ケル當該貨物ノ運送計畫ニ付別記第三號樣式ニ依ル運送計畫報告書ヲ毎年二月末日迄ニ臺灣總督ニ提出スベシ
荷主ハ前項ノ運送計畫ヲ著シク變更シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ臺灣總督ニ報告スベシ

第二十七條　荷送人又ハ荷受人ハ一月、四月、七月及十月ノ各一日現在ニ於ケル運送契約貨物ニシテ其ノ運送期間三月以上ノモノ又ハ其ノ數量一口五千噸以上ノモノニ付別記第四號樣式ニ依ル運送契約報告書ヲ各同月ノ十日迄ニ臺灣總督ニ提出スベシ

第二十八條　海運統制令第十五條第二項ノ證票ハ別記第五號樣式ニ依ル

第二十九條　海運統制令及本令ニ於テ臺灣總督トアルハ總噸數百噸以上ノ汽船以外ノ船舶ノ賣買價格、賃貸料及運送賃竝ニ長サ五十米未滿ノ船舶ノ製造價格及製造許可ニ關スル事項ニ付テハ交通局總長トス但シ專ラ淵川ヲ航行スル船舶及總噸數二十噸未滿ノ船舶(舟船、曳船及總噸數五噸以上ノ運送船ヲ除ク)ノ賣買價格、賃貸料及運送賃竝ニ總噸數五噸未滿ノ船舶ノ製造價格ニ關スル事項ニ付テハ州知事又ハ廳長トス

第十四條、第十七條、第二十條、第二十一條及第二十三條ノ告示ハ前項ノ場合ニ於テハ公示ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際既ニ臨時資金調整法ニ依リ許可ヲ受ケタルモノニ關スル船舶ノ製造ニ付テハ海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第二十六條第一項ノ運送計畫報告書ハ昭和十五年ニ提出スルモノニ限リ三月末日迄ニ之ヲ提出スベシ

附　則(昭一五、一一、一、臺令一五四)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則(昭一六、六、四、臺令一一三)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ製造中ノ船舶ハ本令ニ依ル許可ヲ受ケタルモノト看做ス
(別記樣式省略)

海運統制令施行規則

(昭和十五年五月二十二日
樺太廳令第六十二號)

第一條　海運統制令第四條第一項ノ規定ニ基キテ爲ス命令ハ當事者雙方ニ對シ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所、船舶番號、船舶ノ名稱及所在、貸借又ハ委託ノ期間其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

第二條　海運統制令第四條第二項ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者連署ノ上契約書ノ謄本ヲ添ヘ其ノ旨ヲ樺太廳長官ニ屆出ヅベシ

第三條　海運統制令第四條第二項ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ副本ヲ添ヘ之ヲ樺太廳長官ニ提出スベシ
一　申請人及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所
二　申請ノ目的及事由
樺太廳長官前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシムベシ
前項ノ期間內ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ樺太廳長官ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

第四條　樺太廳長官海運統制令第四條第二項ノ規定ニ依リ裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者雙方ニ送付スベシ

第五條　海運統制令第五條ノ許可ハ左ノ各號ノ場合ニ於テハ之ヲ受クルコトヲ要セズ
一　總噸數二十噸未滿ノ船舶ヲ借受ケ(期間傭船ヲ含ム以下同ジ)又ハ其ノ運航ノ委託ヲ受ケントスルトキ
二　日本船舶(外地ニ行ハルル命令ニ依ル日本船舶ヲ含ム以下同ジ)ヲ所有スルコトヲ得ル者ニシテ內地ニ住所又ハ主タル事務所ヲ有スル者ヨリ借受ケ又ハ委託ヲ受ケントスルトキ

第六條　海運統制令第五條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ副本ヲ添ヘ之ヲ樺太廳長官ニ提出スベシ
一　船舶ノ種類、用途、名稱、國籍及貸主又ハ委託者
二　船舶ノ總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及進水年月
三　借受ケ又ハ委託ヲ受ケントスル期間
四　借受ケントスル場合ニ於テハ賃借料及其ノ支拂方法、委託ヲ受ケントスル場合ニ於テハ運航手數料又ハ費用ノ分擔及收益ノ分配ノ方法
五　豫定ノ航路又ハ就航區域

第七條　海運統制令第六條ノ規定ニ基キテ爲ス禁止又ハ制限ハ之ヲ告示ス

第八條　海運統制令第八條ノ規定ニ依ル額ノ指定ハ之ヲ告示ス但シ受領者又ハ支拂者ヲ指定シテ爲サントスルトキハ其ノ者ニ對スル通知ヲ以テ告示ニ代フ

第九條　海運統制令第八條第一項但書ノ許可ノ申請ハ輸入品又ハ輸入原材料ノ價格昂騰特ニ著シキ場合其ノ他已ムヲ得ザル事由アル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
前項ノ許可ハ支拂者又ハ受領者ノ何レカ一方ニ於テ之ヲ受クルヲ以テ足ル
樺太廳ヨリ費用ヲ補助スル航路ニ付樺太廳長官ノ認可ヲ受ケタル運送賃ノ額ニ依ルトキハ海運統制令第八條第一項但書ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十條　前條第一項ノ申請ヲ爲サントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ樺太廳長官ニ提出スベシ
一　船舶ノ製造價格ニ付テハ船舶ノ製造番號、種類、船質、長サ、總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及其ノ數、最大馬力、龍骨据附年月、竣工月日、船體及機關ノ製造工場名竝ニ豫定ノ製造價格其ノ他ノ契約條件
船舶ノ賣買價格及賃貸料ニ付テハ船舶ノ番號、種類、用途、船質、名稱、總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及其ノ數、最大馬力、進水年月及製造工場名竝ニ豫定ノ賣買價格又ハ賃貸料、引渡時期、引渡場所其ノ他ノ契約條件
水上ノ運送賃ニ付テハ運送スベキ物ノ品名及數量、運送區間竝ニ豫定ノ運送賃其ノ他ノ契約條件
二　相手方ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ主タル事務所及業務ノ種類
三　已ムヲ得ザル事由ノ詳細

第十一條　海運統制令第五條及第八條第一項但書ノ許可ニハ制限又ハ條件ヲ附スルコトアルベシ

第十二條　海運統制令第十二條第三號ニ揭グルモノ左ノ如シ
一　海運統制令施行地以外ノ地相互間(關東州、滿洲及支那ノ各相互間ヲ除ク)ニ於ケル運送ノ運送賃
二　日本船舶ニ非ザル船舶ノ賃貸料

第十三條　樺太廳長官ノ告示ヲ以テ指定スル水上ノ運送貨又ハ船舶ノ賃貸料ハ運航業者又ハ船舶所有者ニ於テ其ノ店頭ノ見易キ場所ニ之ヲ掲示シ又ハ顧客ノ請求ニ應ジ之ヲ閲示シ其ノ他適當ナル方法ヲ以テ之ヲ公示スベシ

第十四條　樺太廳長官必要アリト認ムルトキハ本令ニ依リ提出スベキ申請書及之ニ添附スベキ書類ニ關シ別段ノ指示ヲ爲スコトヲ得

樺太廳長官必要アリト認ムルトキハ本令ニ定ムルモノノ外必要ナル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第十五條　樺太廳長官ノ告示ヲ以テ指定スル貨物ヲ船舶ニ依リ運送セントスル荷主ハ四月一日ヨリ翌年三月末日迄ノ一年間ニ於ケル當該貨物ノ運送計畫ニ付第一號樣式ニ依ル運送計畫報告書ヲ毎年二月末日迄（昭和十五年ニ限リ五月末日迄トス）ニ樺太廳長官ニ提出スベシ

荷主ハ前項ノ運送計畫ヲ著シク變更シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ樺太廳長官ニ報告スベシ

第十六條　荷送人又ハ荷受人ハ一月、四月、七月及十月ノ各一日現在ニ於ケル運送契約貨物ニシテ其ノ運送期間三月以上ノモノ又ハ其ノ數量一口五千噸以上ノモノニ付第二號樣式ニ依ル運送契約報告書ヲ各

同月ノ十日迄ニ樺太廳長官ニ提出スベシ

第十七條　海運統制令第十五條第二項ノ證票ハ第三號樣式ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式省略）

海運統制令施行規則

（昭和十六年五月二十一日
南洋廳令第二十六號）

第一條　長サ十五米未滿ノ船舶ノ製造ニ付テハ海運統制令第二條ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ國ノ注文ニ依ル船舶ノ製造ニ付亦同ジ

第二條　船舶ノ製造ヲ爲サントスル者ハ海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ第三條ニ規定スル場合ヲ除クノ外注文者ト連署ノ上左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ南洋廳長官ニ提出スベシ

一　船舶ノ種類及用途

二　船舶ノ長サ

三　機關ノ種類及其ノ數

前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ但シ公共團體ノ注文ニ依ル場合ニ於テハ第四號乃至第六號ノ書類ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一　使用船舶臺帳號、計畫總噸數、計畫重量噸數、計畫旅客定員、計畫馬力、計畫航海速力、使用豫定燃料ノ種類、龍骨据付豫定年月、進水豫定年月、竣工豫定年月、豫定就航區域、船體製造工場名及機關製造工場名ヲ記載シタル書類

二　所要資材ノ種類別數量ヲ記載シタル書類

三　豫定製造價格及其ノ內譯ヲ記載シタル書類

四　注文者ノ所要資金調達方法ヲ記載シタル書類

五　注文者會社其ノ他ノ團體ナルトキハ定款又ハ之ニ準ズルモノ

六　注文者ノ資產及營業狀況ノ詳細ヲ記載シタル書類

第三條　內地朝鮮樺太關東州又ハ外國ニ住所ヲ有スル者ノ注文ニ依リ船舶ノ製造ヲ爲サントスル者ハ海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ注文者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所竝ニ前條第一項各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ前條第二項第一號乃至第三號ノ書類ヲ添附シ之ヲ南洋廳長官ニ提出スベシ

第四條　外國ニ船舶ノ製造ノ注文ヲ爲サントスル者海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ第二條第一項各號ノ事項

ヲ記載シタル申請書ニ同條第二項第一號及第三號乃至第五號ノ書類ヲ添附シ之ヲ南洋廳長官ニ提出スベシ

第五條　海運統制令第二條ノ許可ヲ受ケタル後當該船舶ノ竣工前ニ申請書ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シタル申請書ヲ南洋廳長官ニ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ

第五條ノ二　造船業者ハ長サ三十米以上ノ船舶ノ修繕ヲ爲サントスルトキハ告示ヲ以テ指定スル場合ヲ除クノ外其ノ範圍及期間ニ關シ南洋廳長官ノ許可ヲ受クベシ

第五條ノ三　造船業者前條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ當該船舶ノ所有者ト連署ノ上左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ南洋廳長官ニ提出スベシ

一　船舶ノ番號、種類、用途、名稱及總噸數

二　船舶所有者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所ノ所在地

三　修繕ヲ行フ造船所ノ名稱及所在地

四　修繕範圍ノ概略

五　修繕期間

六　修繕ヲ必要トスル理由

第五條ノ四　造船業者第五條ノ二ノ許可ヲ受ケ當該修繕ニ着手シタルトキ及修繕ヲ完了シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ所轄支廳長ヲ經由シテ南洋廳長官ニ屆出ヅベシ

第五條ノ五　第五條ノ規定ハ第五條ノ二ノ許可ヲ受ケタル場合ニ付之ヲ準用ス

第六條　第二條乃至第五條、第五條ノ三及前條ノ申請書及之ニ添附スベキ書類ハ各其ノ副本ヲ添ヘ所轄支廳長ヲ經由シテ之ヲ提出スベシ

第七條　海運統制令第四條第一項ノ規定ニ基キテ爲ス命令ハ當事者雙方ニ對シ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所、船舶ノ名稱及所在、貨借又ハ委託ノ期間其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

第八條　海運統制令第四條第二項ニ規定スル協議ハ當事者連署ノ上契約者ノ謄本ヲ添ヘ其ノ旨ヲ南洋廳長官ニ屆出ヅベシ

第九條　海運統制令第四條第一項ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ副本ヲ添ヘ之ヲ南洋廳長官ニ提出スベシ

一　申請人及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所

二　申請ノ目的及事由

南洋廳長官前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシムベシ

前項ノ期間內ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ南洋廳長官ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

第十條　南洋廳長官海運統制令第四條第二項ノ規定ニ依リ裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者雙方ニ送付スベシ

第十一條　海運統制令第五條ノ許可ハ左ノ各號ノ場合ニ於テハ之ヲ受クルコトヲ要セズ

一　總噸數二十噸未滿ノ船舶ヲ借受ケ（期間傭船ヲ含ム以下同ジ）又ハ其ノ運航ノ委託ヲ受ケントスルトキ

二　日本船舶（外地ニ行ハルル命令ニ依ル日本船舶ヲ含ム以下同ジ）ヲ所有スルコトヲ得ル者ニシテ南洋群島ニ住所又ハ主タル事務所ヲ有スル者ヨリ借受ケ又ハ委託ヲ受ケントスルトキ

第十二條　海運統制令第五條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ副本ヲ添ヘ之ヲ南洋廳長官ニ提出スベシ

一　船舶ノ種類、用途、名稱、國籍及貸主又ハ委託者

二　船舶ノ總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及進水年月

三　借受ケ又ハ委託ヲ受ケントスル期間

四　借受ケントスル場合ニ於テハ賃借料及其ノ支拂方法、委託ヲ受ケントスル場合ニ於テハ運航手數料又ハ費用ノ分擔及收益ノ分配ノ方法

五　豫定ノ航路又ハ就航區域

第十三條　海運統制令第六條ノ規定ニ

テ爲ス禁止又ハ制限ハ告示シテ之ヲ爲ス

第十四條　海運統制令第八條ノ規定ニ依ル額ノ指定ハ告示シテ之ヲ爲ス但シ受領者又ハ支拂者ヲ指定シテ爲サントスルトキハ其ノ者ニ對スル通知ヲ以テ告示ニ代フ

第十五條　海運統制令第八條第一項但書ノ許可ノ申請ハ輸入品又ハ輸入原材料ノ價格昂騰特ニ著シキ場合其ノ他已ムヲ得ザル事由アル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ許可ハ支拂者又ハ受領者ノ何レカ一方ニ於テ之ヲ受クルヲ以テ足ル

南洋廳ヨリ費用ヲ補助スル航路ニ付南洋廳長官ノ認可ヲ受ケタル運送賃ノ額ニ依ルトキハ海運統制令第八條第一項但書ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十六條　前條第一項ノ申請ヲ爲サントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ南洋廳長官ニ提出スベシ

一　船舶ノ製造價格ニ付テハ船舶ノ製造番號、種類、船質、長サ、總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及其ノ數、最大馬力、龍骨据附年月、竣工年月、船體及機關ノ製造工場名竝ニ豫定ノ製造價格其ノ他ノ契約條件

船舶ノ賣買價格及賃貸料ニ付テハ船舶ノ番號、種類、用途、船質、名稱、總噸數、重量噸數、航海速力、機關ノ種類及其ノ數、最大馬力、進水年月及製造工場名竝ニ豫定ノ賣買價格又ハ賃貸料、引渡時期、引渡場所其ノ他ノ契約條件

水上ノ運送賃ニ付テハ運送スベキ物ノ品名及數量、運送區間竝ニ豫定ノ運送賃其ノ他ノ契約條件

二　相手方ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ主タル事務所及業務ノ種類

三　已ムヲ得ザル事由ノ詳細

第十七條　海運統制令第九條第一項ノ規定ニ依ル組合其ノ他之ニ準ズルモノノ指定ハ告示シテ之ヲ爲ス

第十八條　海運統制令第九條第一項ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ南洋廳長官ニ提出スベシ

一　組合其ノ他之ニ準ズルモノノ名稱及地區

二　構成員(海運統制令第九條第一項ノ構成員ヲ謂フ以下同ジ)タル資格及構成員ノ概數

三　海運統制令第八條第一項ノ額ト看做サルベキ額及其ノ實施ノ日

前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ

一　海運統制令第八條第一項ノ額ト看做サルベキ額ノ算定基礎ヲ明カニスル書面

二　海運統制令第九條第一項ノ規定ニ依ル認可申請ヲ爲スベキ旨ノ決議書ノ寫

第十九條　海運統制令第二條、第五條及第八條第一項但書ノ許可竝ニ同令第九條第一項ノ認可ニハ制限又ハ條件ヲ附スルコトアルベシ

第二十條　南洋廳長官海運統制令第九條第一項ノ認可ヲ爲シタルトキハ左ノ事項ヲ告示ス

一　組合其ノ他之ニ準ズルモノノ名稱及地區

二　構成員タル資格

三　海運統制令第八條第一項ノ額ト看做サルベキ額及其ノ實施ノ日

四　認可ニ附シタル制限又ハ條件

第二十一條　海運統制令第九條第二項ノ處分ハ南洋廳長官處分ノ旨及前條各號ノ事項ヲ告示シテ之ヲ爲ス

第二十二條　海運統制令第十二條第三號ニ掲グルモノハ左ノモノトス

一　海運統制令施行地以外ノ地相互間(關東州、滿洲及支那ノ各地相互間ヲ除ク)ニ於ケル運送賃

二　日本船舶ニ非ザル船舶ノ賃貸料

第二十三條　南洋廳長官ノ告示ヲ以テ指定スル水上ノ運送賃又ハ船舶ノ賃貸料ハ運航業者又ハ船舶所有者ニ於テ其ノ店頭ノ見易キ場所ニ之ヲ掲示シ又ハ顧客ノ請求ニ應ジ之ヲ開示シ其ノ他適當ナル方法ヲ以テ之ヲ公示スベシ

第二十四條　南洋廳長官必要アリト認ムルトキハ本令ニ依リ提出スベキ申請書及之ニ添附スベキ書類ニ關シ別段ノ指示ヲ爲スコトヲ得

南洋廳長官必要アリト認ムルトキハ本令ニ定ムルモノノ外必要ナル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第二十五條　造船業者ハ長サ五十米以上ノ船舶ノ修繕ヲ爲シ得ル船渠及船架ノ翌月中ノ使用豫定ニ付第一號書式ニ依ル船渠及船架使用豫定報告書二通ヲ毎月十五日迄ニ、長サ五十米以上ノ船舶ノ前月ノ修繕狀況ニ付第二號書式ニ依ル船舶修繕狀況報告書二通ヲ毎月七日迄ニ所轄支廳長ヲ經由シテ南洋廳長官ニ提出スベシ

第二十六條　南洋廳長官ノ告示ヲ以テ指定スル貨物ヲ船舶ニ依リ運送セントスル荷主ハ四月一日ヨリ翌年三月末日迄ノ一年間ニ於ケル當該貨物ノ運送計畫ニ付第三號書式ニ依ル運送計畫報告書ヲ毎年二月末日迄ニ南洋廳長官ニ提出スベシ

荷主ハ前項ノ運送計畫書ヲ著シク變更シタルトキハ遲滯ナク南洋廳長官ニ報告スベシ

第二十七條　荷送人又ハ荷受人ハ一月、四月、七月及十月ノ各一日現在ニ於ケル運送契約貨物ニシテ其ノ運送期間三月以上ノモノ又ハ其ノ數量一口五千噸以上ノモノニ付第四號書式ニ依ル運送契約報告書ヲ各同月ノ十日迄ニ南洋廳長官ニ提出スベシ

第二十八條　海運統制令第十五條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別記樣式省略)

關東州船舶製造等統制令

(昭和十五年九月二十六日勅令第六百三十六號)

第一條　關東州國家總動員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國家總動員法(以下單ニ國家總動員法ト稱ス)第八條ノ規定ニ基ク船舶ノ製造、修繕及使用ニ關スル命令ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　船舶ノ製造ヲ爲サントスル者ハ滿洲國駐箚特命全權大使ノ定ムル所ニ依リ當該船舶ノ製造ニ付其ノ許可ヲ受クベシ

第三條　本令施行地外ニ船舶ノ製造ノ註文ヲ爲サントスル者ハ大使ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ大使ニ屆出ヅベシ

第四條　大使ハ船舶所有者又ハ造船業者ニ對シ船舶ノ修繕範圍ノ制限又ハ修繕期間ノ短縮ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第五條　大使ハ船舶所有者又ハ運航業者ニ對シ船舶ノ貸借(期間傭船ヲ含ム以下同ジ)又ハ船舶ノ運航ノ委託ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令アリタル場合ニ於テハ賃貸料、運航手數料其ノ他ノ事項ニ關シ當事者間ニ於テ協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ大使ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第六條　帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ關東州、內地、朝鮮又ハ臺灣ニ行ハルル法令ニ依ル日本船舶ニ非ザル船舶ヲ借受ケ(期間傭船ヲ含ム)又ハ其ノ運航委託ヲ受ケントスル者ハ大使ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可ヲ受クベシ

第七條　大使ハ航路若ハ區域ヲ指定シ若ハ一般的ニ船舶ヲ指定シテ航海ヲ禁止シ若ハ制限シ又ハ一般的ニ人若ハ物ヲ指定シテ其ノ運送ヲ禁止シ若ハ制限スルコトヲ得但シ他ノ法令ニ基キテ爲サルル別段ノ處分ノ效力ヲ妨ゲズ

第八條　大使ハ船舶荷役ノ圓滑ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ運送取扱業者、荷

役請負業者、荷送人又ハ荷受人ニ對シ運送品ノ船積又ハ陸揚ニ關シ其ノ方法又ハ順位ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第九條　國家總動員法第二十七條ノ規定ニ基キ補償スベキ損失ハ第五條ノ規定ニ依ル處分ニ因ル通常生ズベキ損失トス

損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ第五條ノ規定ニ依リ命ゼラレタル貸借又ハ委託ノ期間終了後之ヲ請求スベシ但シ大使ノ定ムル所ニ依リ別段ノ時期ニ之ヲ請求スルコトヲ得

第十條　大使ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ船舶ノ製造、修繕及使用ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ船舶、事業場、事務所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第十一條　本令及本令ニ基キテ發スル命令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテ船舶管理人ヲ置キタルトキハ船舶管理人ニ之ヲ適用ス

第十二條　大使第二條又ハ第五條乃至第七條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲サントスルトキハ其ノ重要ナルモノニ付豫メ遞信大臣ニ議スベシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

製鐵用輸入原料配給等統制令

（昭和十五年七月二日勅令第四百五十五號）

第一條　國家總動員法第八條ノ規定ニ基ク輸入ニ係ル製鐵原料ノ配給等ノ統制ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

本令ニ於テ製鐵原料トハ鐵屑、銑鐵（滿洲ニ於テ生產セラレタルモノヲ除ク）及鐵鑛ヲ謂フ

第二條　製鐵原料ノ輸入業者ハ其ノ輸入スル製鐵原料ヲ輸入ノ日ヨリ一月以內ニ商工大臣ノ指定シタル者（以下配給統制機關ト稱ス）ニ賣渡スベシ但シ特別ノ事由ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三條　商工大臣ハ前條ノ規定ニ依ル賣渡ニ係ル製鐵原料ニ付配給統制機關ニ對シ價格、數量、賣渡先其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ其ノ賣渡ヲ命ズルコトヲ得

商工大臣ハ前條ノ規定ニ依ル賣渡ニ係ル製鐵原料ニ付配給統制機關ニ對シ其ノ配給、讓渡其ノ他ノ處分、使用又ハ消費ニ關シ必要ナル制限ヲ爲スコトヲ得

第四條　配給統制機關ガ前條ノ規定ニ依リ賣渡シタル製鐵原料ヲ買受ケタル者ハ其ノ製鐵原料ヲ讓渡シ又ハ之ヲ製鐵用以外ノ用途ニ供スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第五條　國家總動員法第二十七條ノ規定ニ基キ補償スベキ損失ハ第三條ノ規定ニ依ル命令ニ因ル通常生ズベキ損失（配給統制機關ガ賣渡シタル製鐵原料ノ價額ト其ノ買入價額ニ配給統制機關ノ手數料ヲ加算シタル額トノ差額ヲ含ムモノトス）トス

前項ノ損失ノ補償ニ關シ必要ナル事項ハ商工大臣之ヲ定ム

第六條　商工大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ輸入ニ係ル製鐵原料ノ配給等ノ統制ニ關シ輸入業者、配給統制機關若ハ配給統制機關ヨリ製鐵原料ヲ買受ケタル者ヨリ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ此等ノ者ノ事務所、營業所、倉庫、工場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

商工大臣前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

附則

本令ハ昭和十五年七月八日ヨリ之ヲ施行ス

第二條ノ規定ハ輸入業者ガ本令施行前ニ爲シタル賣渡ノ契約ニ係ル製鐵原料ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該契約ノ當事者ヨリ申出アリタル場合ニハ之ヲ適用セズ

製鐵用輸入原料配給等統制令

（昭和十六年六月三十日勅令第七百三十二號）

製鐵用輸入原料配給等統制令中左ノ通改正ス

第一條第二項中「（命令ニ於テ生產セラレタルモノヲ除ク）」ヲ削ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

農業水利臨時調整令施行規則

（昭和十五年八月三日勅令第五百十六號）

第一條　國家總動員法第八條ノ規定ニ基キ食糧農產物ノ生產ヲ確保スル爲旱魃等ニ際シ臨時應急ノ措置トシテ行フ農業水利調整ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　地方長官ハ關係アル市町村長、水利組合ノ管理者其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ノ代表者ノ一人又ハ數人ノ申請ニ因リ區域ヲ指定シ農業水利調整地域ヲ設定スルコトヲ得

地方長官農業水利調整ノ爲必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依ル申請ナキモ區域ヲ指定シ農業水利調整地域ヲ設定スルコトヲ得

地方長官前二項ノ規定ニ依リ農業水利調整地域ヲ設定シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ公示ス

第三條　前條第三項ノ公示アリタルトキハ農業水利調整地域ノ全部又ハ一部ヲ區域トスル市町村ノ市町村長、水利組合ノ管理者其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ノ代表者ハ當該地域ノ調整管理者ト爲ル

地方長官必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依リ指定スル者ノ外適當ト認ムル者ヲ調整管理者ト爲スコトヲ得

調整管理者又ハ總代ノ第一項ノ農業水利調整計畫ヲ定メズ又ハ定ムルコト能ハザルトキハ地方長官ハ農業水利調整計畫ヲ定ムルコトヲ得

地方長官第一項及第二項ノ規定ニ依ル認可又ハ前項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ公示ス

第五條　調整管理者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農業水利調整計畫ノ實施ニ關スル事項ヲ管理スルモノトス

第六條　第四條第四項ノ公示アリタルトキハ農業水利調整地域內ニ於テ農業用水ニ關シ權利ヲ有シ又ハ農業用水ノ使用ヲ爲ス者ハ當該權利ノ行使又ハ農業用水ノ使用ニ付農業水利調整計畫ニ從フベシ

前項ノ者ハ調整管理者（總代アルトキハ總代）ノ命令ノ定ムル所ニ依リ遲滯ナク農業用水ノ分配其ノ他農業用水ノ使用ニ關シ必要ナル農業水利調整計畫ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

地方長官前項ノ規定ニ依リ認可ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ更正シテ認可スルコトヲ得

調整管理者又ハ總代第一項ノ農業水利調整計畫ヲ定メズ又ハ定ムルコト能ハザルトキハ地方長官ハ農業水利調整計畫ヲ定ムルコトヲ得

地方長官第一項及第二項ノ規定ニ依ル認可又ハ前項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ公示ス

第五條　調整管理者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農業水利調整計畫ノ實施ニ關スル事項ヲ管理スルモノトス

第六條　第四條第四項ノ公示アリタルトキハ農業水利調整地域內ニ於テ農業用水ニ關シ權利ヲ有シ又ハ農業用水ノ使用ヲ爲ス者ハ當該權利ノ行使又ハ農業用水ノ使用ニ付農業水利調整計畫ニ從フベシ

前項ノ者ハ調整管理者ガ前條ノ規定ニ基キテ爲ス管理ヲ妨害スル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第七條　地方長官農業水利調整地域內ニ於ケル農業水利調整ノ爲必要アリト認ムルトキハ前條第一項ノ者ノ爲ス當該地域內ノ農業水利施設ノ新設、變更若ハ廢止又

ハ農業水利ニ關スル協定、其ノ變更若ハ廢止其ノ他ノ行爲ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

第八條　地方長官必要アリト認ムルトキハ農業水利調整計畫ノ變更ヲ命ジ又ハ其ノ變更ヲ爲スコトヲ得

地方長官緊急ノ必要アリト認ムルトキハ農業水利調整地域指定後農業水利調整計畫ノ認可ニ至ル迄ノ間ニ於テ調整管理者及第六條第一項ノ者ニ對シ臨時農業水利調整上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

地方長官第一項ノ規定ニ依リ農業水利調整計畫ヲ變更シ又ハ前項ノ命令ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ公示ス

第九條　地方長官ハ調整管理者ニ對シ其ノ行フ管理ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十條　地方長官農業水利調整ノ必要ナキニ至リタルモノト認ムルトキハ農業水利調整地域ノ設定ヲ取消シ又ハ農業水利調整計畫ノ廢止ヲ命ズルコトヲ得

農業水利調整計畫ノ實施期間終了シタルトキ又ハ地方長官前項ノ規定ニ依リ農業水利調整計畫ノ廢止ヲ命ジタルトキハ農業水利調整地域ノ設定ハ取消サレタルモノトス

地方長官第一項ノ規定ニ依リ農業水利調整ニ要スル費用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第六條第一項ノ者ノ負擔トス

第十二條　農業水利調整ニ關スル相互報償ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ當事者間ニ於テ協議ヲ爲スベシ協議ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ地方長官ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第十一條　農業水利調整ニ關シ必要アリト認ムルトキハ地方長官農業水利調整地委員會ノ議ヲ經ベシ

第十三條　農業水利調整地域ガ二以上ノ府縣ノ區域ニ渉ル場合ニ於テ關係地方長官本令ニ基ク處分ヲ爲サントスルトキハ協議スベシ

前項ノ協議調ハザルトキハ同項ノ處分ニ付農林大臣ノ認可ヲ受クベシ但シ其ノ處分ガ河川、溜又ハ沼ニ關スルモノニシテ內務大臣及農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十四條　地方長官第一項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ公示ス

第十五條　農林大臣及地方長官ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ農業水利調整ニ關シ必要アル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ農業水利施設ノ存スル場所其ノ他必要アル場所ニ臨檢シ其ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第十六條　本令ノ規定ニ基ク處分ア〻ダル場合ニ於テ其ノ處分ニ係ル事項ガ河川法第十七條乃至第十九條ノ規定ニ依ル許可ヲ要スルモノニ該當スルトキハ同法第二十條及第二十一條ノ規定ノ適用ニ付テハ同法第十七條乃至第十九條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタルモノト看做ス

前項ノ規定ハ河川法第十七條乃至第二十一條ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關スル行政廳ノ處分ニ對シテハ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ズ

第十八條　本令ニ於テ市町村又ハ市町村長トアルハ之ニ準ズルモノヲ含ム

附　則

本令ハ昭和十五年八月十日ヨリ之ヲ施行ス

農業水利臨時調整令施行規則

（昭和十五年八月九日　農林省令第六十六號）

第一條　農業水利臨時調整令（以下令ト稱ス）第二條第一項、第三條第一項及第四項ノ法人ハ北海道土功組合ニシテ用水又ハ排水ヲ施設維持スルモノ及耕地整理組合ニシテ灌漑排水ニ關スル事業ヲ行フモノトス

第二條　農業水利調整地域ノ設定ノ申請ヲ爲サントスル者ハ豫メ當該申請地域ノ調整管理者タルベキ者ノ意見ヲ聽クベシ

農業水利調整地域ノ設定ノ申請ヲ爲サントスル者ハ申請書ニ申請ノ事由、申請ノ區域及前項ノ意見ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ提出スベシ

第三條　地方長官農業水利調整地域ノ設定ヲ爲シタルトキハ設定ノ年月日、農業水利調整地域ノ名稱及區域ヲ公示スベシ

第四條　調整管理者（總代アルトキハ總代）ニ依リ一人又ハ數人ノ總代ヲ互選スベシ

第五條　調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ事務所ヲ設ケ事務所ノ所在地及調整管理者ノ住所氏名ヲ地方長官ニ屆出ヅベシ

前項ノ屆出アリタルトキハ地方長官ハ事務所ノ所在地及調整管理者（總代アルトキハ總代及調整管理者）ノ氏名ヲ公示スベシ

第六條　調整管理者（總代アルトキハ總代）數人アル場合ニ於ケル職務執行ノ方法ハ調整管理者又ハ總代之ヲ定メ地方長官ニ屆出ヅベシ

第七條　調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ運滯ナク農業水利調整計畫書ヲ作成セントスルトキハ調整管理者又ハ總代ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

第十八條　本令ニ於テ市町村又ハ市町村長トアルハ之ニ準ズルモノヲ含ム

附　則

本令ハ昭和十五年八月十日ヨリ之ヲ施行ス

農業水利臨時調整令施行規則

（昭和十五年八月九日　農林省令第六十六號）

第一條　農業水利臨時調整令（以下令ト稱ス）第二條第一項、第三條第一項及第四項ノ法人ハ北海道土功組合ニシテ用水又ハ排水ヲ施設維持スルモノ及耕地整理組合ニシテ灌漑排水ニ關スル事業ヲ行フモノトス

第二條　農業水利調整地域ノ設定ノ申請ヲ爲サントスル者ハ豫メ當該申請地域ノ調整管理者タルベキ者ノ意見ヲ聽クベシ

農業水利調整地域ノ設定ノ申請ヲ爲サントスル者ハ申請書ニ申請ノ事由、申請ノ區域及前項ノ意見ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ提出スベシ

第三條　地方長官農業水利調整地域ノ設定ヲ爲シタルトキハ設定ノ年月日、農業水利調整地域ノ名稱及區域ヲ公示スベシ

第四條　調整管理者（總代アルトキハ總代）ニ依リ一人又ハ數人ノ總代ヲ互選スベシ

第五條　調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ事務所ヲ設ケ事務所ノ所在地及調整管理者ノ住所氏名ヲ地方長官ニ屆出ヅベシ

前項ノ屆出アリタルトキハ地方長官ハ事務所ノ所在地及調整管理者（總代アルトキハ總代及調整管理者）ノ氏名ヲ公示スベシ

第六條　調整管理者（總代アルトキハ總代）數人アル場合ニ於ケル職務執行ノ方法ハ調整管理者又ハ總代之ヲ定メ地方長官ニ屆出ヅベシ

第七條　調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ運滯ナク農業水利調整計畫書ヲ作成セントスルトキハ調整管理者又ハ總代ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

農業水利調整計畫書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　農業水利調整地域ノ名稱
二　事務所ノ所在地
三　農業水利調整地域ノ區域
四　農業水利調整ヲ必要トスル事由
五　農業水利調整ノ方法
六　農業水利調整計畫ノ實施期間
七　調整管理者及總代ノ職務權限
八　調整管理者ノ管理スベキ事項
九　農業水利調整計畫ヲ明瞭ナラシムル圖面
十　其ノ他必要ナル事項

第八條　農業水利調整計畫ノ認可ノ申請ヲ爲サントスル者ハ申請書ニ農業水利調整計畫書及相互報償ニ關スル見込ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ提出スベシ

總代ノ提出スル申請書ニハ前項ノ添附書類ノ外調整管理者ノ意見ヲ記載シタル書類、意見ヲ聽クコト能ハザルトキハ其ノ

事由ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ

第九條　前二條ノ規定ハ農業水利調整計畫ヲ變更セントスル場合ニ之ヲ準用ス

第十條　地方長官ハ第四條第一項及第二項ノ規定ニ依ル認可又ハ同條第三項ノ規定ニ依ル廢分ヲ爲シタルトキハ認可又ハ廢分ノ年月日及農業水利調整計畫ノ要領ヲ公示スベシ

第十一條　前條ノ規定ニ依リ調整管理者ノ行フ管理ハ農業水利調整計畫書ノ定ムル所ニ依ルベシ

第十二條　地方長官ハ第八條第一項ノ規定ニ依リ農業水利調整計畫ヲ變更シ又ハ同條第二項ノ命令ヲ爲シタルトキハ其ノ趣分又ハ命令ノ年月日及廢分又ハ命令ノ內容ヲ公示スベシ

第十三條　地方長官ハ第九條ノ規定ニ依リ調整管理者ノ職務執行ノ停止ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令ヲ爲シタルトキハ之ヲ公示スベシ

第十四條　地方長官ハ第十條第一項ノ規定ニ依ル廢分ヲ爲シタルトキハ取消又ハ廢止ヲ命ジタル年月日ヲ公示スベシ

第十五條　調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ農業水利調整ニ要スル費用ノ收支豫算竝ニ費用ノ分擔及取立ノ方法ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

總代前項ノ規定ニ依リ農業水利調整ニ要スル費用ノ收支豫算竝ニ費用ノ分擔及取立ノ方法ヲ定メントスルトキハ調整管理者ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

第十六條　前條第一項ノ認可アリタルトキハ調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ農業水利調整ニ要スル費用ヲ取立テ之ヲ支拂ニ充ツベシ

第十七條　調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ農業水利調整ニ要スル費用ノ收支豫算竝ニ費用ノ分擔及取立ノ方法ヲ定メ地方長官ニ屆出ヅベシ

第十八條　調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ農業水利調整計畫ノ實施期間終了後遲滯ナク農業水利調整ニ要シタル費用ノ收支決算書ヲ作成シ之ヲ地方長官ニ提出スベシ

第十九條　農業水利調整ニ關スル相互報償ニ付テハ調整管理者（總代アルトキハ總代）其ノ原案ヲ作成シ協議ヲ爲スベキ期限ヲ指定シテ之ヲ當事者ニ提示スベシ

第二十條　前條ノ提出ヲ受ケタル者ハ其ノ原案ニ其キ相互報償ニ關スル協議ヲ爲スベシ

前項ノ協議調ヒタルトキハ調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ協議書ヲ作成シ之ヲ地方長官ニ提出スベシ

前條ノ期限迄ニ第一項ノ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ調整管理者又ハ總代ハ協議調ハザルトキハ其ノ顚末書、協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ其ノ事由書ヲ具シ其ノ旨ヲ地方長官ニ屆出ヅベシ

第二十一條　地方長官ハ第十二條第一項ノ裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ調整管理者（總代アルトキハ總代）ニ送付スベシ

調整管理者又ハ總代前項ノ裁定書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ當事者ニ提示スベシ

第二十二條　調整管理者（總代アルトキハ總代）ハ農業水利調整計畫實ニ要スル費用ノ收支豫算竝ニ費用ノ分擔及取立ノ方法ヲ記載シタル書類、會計ニ關スル細則、相互報償ニ關スル書類其ノ他農業水利調整ニ關スル書類及帳簿ヲ事務所ニ備ヘ置クベシ

第二十三條　地方長官ハ本令ノ規定ニ基ク公示ヲ爲シタルトキハ關係アル市町村ノ市町村長ヲシテ其ノ事項ヲ市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ揭示セシムベシ

第二十四條　今第十五條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

第二十五條　本則ニ於テ市町村又ハ市町村長トアルハ之ニ準ズルモノヲ含ム

附　則

本令ハ農業水利臨時調整令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

臺灣農業水利臨時調整令

（昭和十六年四月四日勅令第三百八十二號）

第一條　國家總動員法第八條ノ規定ニ基キ臺灣ニ於テ食糧農產物ノ生產ヲ確保スル爲臨時緊急ノ措置トシテ行フ農業水利調整ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　臺灣總督農業水利調整ノ爲必要アリト認ムルトキハ同一ノ河川、貯水池其ノ他ノ水源ヨリ農業用水ノ引用ヲ爲ス水利組合、公共埤圳組合又ハ臺灣總督ノ定ムル者ニ對シ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ引用スル水量及時期等ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

臺灣總督前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ公示ス

第三條　臺灣總督農業水利調整ノ爲必要アリト認ムルトキハ水利組合又ハ公共埤圳組合ノ區域及之ト關係アル地域ニ付又ハ當該組合ノ區域ニ付農業水利調整地域ヲ設定スルコトヲ得

臺灣總督前項ノ規定ニ依リ農業水利調整地域ヲ設定シタルトキハ其ノ旨ヲ公示ス

第四條　前條第二項ノ公示アリタルトキハ農業水利調整地域ノ全部又ハ一部ヲ區域トスル水利組合ノ組合長又ハ公共埤圳組合ノ管理者ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ遲滯ナク農業用水ノ分配其ノ他農業用水ノ使用ニ關シ必要ナル農業水利調整計畫ヲ定メ州知事又ハ廳長ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

州知事又ハ廳長前項ノ規定ニ依リ認可ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ更正シテ認可スルコトヲ得

水利組合ノ組合長又ハ公共埤圳組合ノ管理者第一項ノ農業水利調整計畫ヲ定メズ又ハ定ムルコト能ハザルトキハ州知事又ハ廳長ハ農業水利調整計畫ヲ定ムルコトヲ得

州知事又ハ廳長第一項若ハ第二項ノ規定ニ依ル認可又ハ前項ノ規定ニ依ル廢分ヲ爲シタルトキハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ公示ス

第五條　前條ノ水利組合ノ組合長又ハ公共埤圳組合ノ管理者ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ農業水利調整計畫ノ實施ニ關スル事項ヲ管理スルモノトス

第六條　第四條第四項ノ公示アリタルトキハ農業水利調整地域内ニ於テ農業用水ニ關シ權利ヲ有シ又ハ農業用水ノ使用ヲ爲ス者ハ當該權利ノ行使又ハ農業用水ノ使用ニ付農業水利調整計畫ニ從フベシ

前項ノ者ハ前條ノ者ガ同條ノ規定ニ基キテ爲ス管理ヲ妨害スル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第七條　州知事又ハ廳長農業水利調整地域内ニ於ケル農業水利調整ノ爲必要アリト認ムルトキハ前條第一項ノ者ノ爲ス當該地域内ノ農業水利施設ノ新設、變更若ハ廢止又ハ農業水利ニ關スル協定、其ノ變更若ハ廢止其ノ他ノ行爲ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

第八條　州知事又ハ廳長必要アリト認ムルトキハ農業水利調整計畫ノ變更ヲ命ジ又ハ其ノ變更ヲ爲スコトヲ得

州知事又ハ廳長緊急ノ必要アリト認ムルトキハ農業水利調整地域設定後農業水利調整計畫ノ認可ニ至ル迄ノ間ニ於テ第五條ノ者及第六條第一項ノ者ニ對シ臨時農業水利調整上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

州知事又ハ廳長第一項ノ規定ニ依リ農業水利調整計畫ヲ變更シ又ハ前項ノ命令ヲ爲シタルトキハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ公示ス

第九條　州知事又ハ廳長ハ第五條ノ者ニ對シ其ノ行フ管理ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十條　州知事又ハ廳長農業水利調整ノ必要ナキニ至リタルモノト認ムルトキハ農業水利調整地域ノ設定ヲ取消シ又ハ農業水利調整計畫ノ廢止ヲ命ズルコトヲ得

農業水利調整計畫ノ實施期間終了シタルトキ又ハ州知事若ハ廳長前項ノ規定ニ依リ農業水利調整計畫ノ廢止ヲ命ジタルトキハ農業水利調整地域ノ設定ハ取消サレタルモノトス

州知事又ハ廳長第一項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ公示ス

第十一條　第二條第一項ノ規定ニ依リ命ゼラレタル農業水利調整ニ要スル費用ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ同項ノ者ニシテ當該農業水利調整ニ因リ利益ヲ受クルモノノ負擔トス

第十二條　第二條第一項ノ命令ニ因ルモノヲ除クノ外農業水利調整ニ要スル費用ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ水利組合又ハ公共埤圳組合ノ負擔トス

第三條第一項後段ノ場合ニ於テハ水利組合又ハ公共埤圳組合ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ州知事又ハ廳長ノ認可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依リ其ノ負擔スル費用ノ一部ヲ當該組合ト關係アル地域ニ於ケル農業用水ノ使用者ヨリ組合費ニ準ジ徴收スルコトヲ得

第十三條　臺灣總督及州知事又ハ廳長ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ農業水利調整ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ農業水利施設ノ存スル場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ其ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第十四條　本令ノ規定ニ基ク處分アリタル場合ニ於テ其ノ處分ニ係ル事項ガ河川法第十七條乃至第十九條ノ規定ニ依ル許可ヲ要スルモノニ該當スルトキハ同法第二十條及第二十一條ノ規定ノ適用ニ付テハ同法第十七條乃至第十九條ノ規定ニ依ル

許可ヲ受ケタルモノト看做ス

前項ノ規定ハ河川法第十七條乃至第二十一條ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ヲ準用ス

第十五條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關スル行政廳ノ處分ニ對シテハ訴願スルコトヲ得ズ

附則

本令ハ昭和十六年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣農業水利臨時調整令施行規則

（昭和十六年四月二十九日台灣總督府令第百號）

第一條　臺灣農業水利臨時調整令（以下令ト稱ス）第二條第一項ノ臺灣總督ノ定ムル者ハ臺灣公共埤圳規則第三條後段ノ埤圳ヲ利用スル者トス

第二條　令第二條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

一　農業水利調整ヲ行フ河川、貯水池其ノ他ノ水源ノ名稱及圖面

二　農業水利調整ヲ必要トスル事由

三　農業水利調整ヲ受クル者

四　農業水利調整ノ方法

五　農業水利調整ノ實施期間

六　其ノ他必要ナル事項

第三條　臺灣總督令第二條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日及要領ヲ公示ス

第四條　臺灣總督令第三條第一項ノ規定ニ依ル農業水利調整地域ノ設定ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日竝ニ農業水利調整地域ノ名稱及區域ヲ公示ス

第五條　令第四條第一項ノ農業水利調整計畫書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　農業水利調整地域ノ名稱

二　農業水利調整地域ノ區域

三　農業水利調整ヲ必要トスル事由

四　農業水利調整ノ方法

五　農業水利調整計畫ノ實施期間

六　水利組合ノ組合長又ハ公共埤圳組合ノ管理者ノ管理スベキ事項

七　農業水利調整計畫ヲ明瞭ナラシムル圖面

八　其ノ他必要ナル事項

前項第四號ニ掲グル事項ニハ水源、水量、水利施設、用水期間、分水方法、灌漑排水計畫（輪作灌漑計畫ヲ含ム）其ノ他農業水利調整ノ方法ニ關シ必要ナル事項ヲ記載スベシ

第六條　令第四條第一項ノ規定ニ依ル農業水利調整計畫變更認可ノ申請書ニハ變更セントスル事項及事由其ノ他必要ナル事項ヲ記載スベシ

第七條　州知事又ハ廳長令第四條第一項及第二項ノ規定ニ依ル認可又ハ同條第三項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日及農業水利調整計畫ノ要領ヲ公示スベシ

第八條　令第五條ノ規定ニ依リ水利組合ノ組合長又ハ公共埤圳組合ノ管理者ノ行フ管理ハ農業水利調整計畫書ノ定ムル所ニ依ルベシ

第九條　州知事又ハ廳長令第八條第一項ノ規定ニ依リ農業水利調整計畫ヲ變更シ又ハ同條第二項ノ命令ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日及要領ヲ公示スベシ

第十條　州知事又ハ廳長令第九條ノ規定ニ依リ水利組合ノ組合長又ハ公共埤圳組合ノ管理者ノ職務執行ノ停止其ノ他重要ナル命令ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日及要領ヲ公示スベシ

第十一條　州知事又ハ廳長令第十條第一項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日及要領ヲ公示スベシ

第十二條　令第十一條ノ農業水利調整ニ因リ利益ヲ受クル者ハ臺灣總督之ヲ指定ス

前項ノ規定ニ依リ指定ヲ受ケタル者ハ臺

調整等ノ定ムル費用ヲ其ノ指定スル水利組合又ハ公共埋墻組合ニ納付スベシ

第十三條　令第十二條第一項ノ農業水利調整ニ要スル費用ニ關シテハ水利組合ノ組合長又ハ公共埋墻組合ノ管理者ニ於テ之ガ收支豫算ヲ分擔及取立ノ方法ヲ定メ州知事又ハ關長ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

令第十二條第二項ノ規定ニ依ル認可ノ申請書ニハ費用ヲ徵收スベキ區域、金額、方法其ノ他必要ナル事項ヲ記載スベシ

第十四條　令第十一條及第十二條ノ農業水利調整ニ要スル費用ハ他ノ用途ニ之ヲ充フルコトヲ得ズ

第十五條　水利組合ノ組合長又ハ公共埋墻組合ノ管理者ハ令第十一條及第十二條ノ農業水利調整ニ要スル費用ノ會計ニ關スル簿冊ヲ定メ州知事又ハ關長ニ提出ヅベシ

第十六條　水利組合ノ組合長又ハ公共埋墻組合ノ管理者ハ農業水利調整計畫ノ實施期間終了後遲滯ナク令第十一條及第十二條ノ農業水利調整ニ要スル費用ノ收支決算書ヲ作製シ之ヲ州知事又ハ關長ニ提出スベシ

第十七條　本令ニ依ル公示アリタルトキハ關係アル水利組合ノ組合長又ハ公共埋墻組合ノ管理者ハ當該組合ノ掲示場ニ其ノ旨掲示スベシ

第十八條　令第十三條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十六年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

生活必需物資統制令

（昭和十六年四月一日勅令第三百六十二號）

第一條　國家總動員法（昭和十三年法律第五十五號）第十七條ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ）第八條ノ規定ニ基ク生活必需物資ニ關スル統制及其ノ統制事務ニ付テノ國家總動員法第五條ノ規定ニ基ク協力命令ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ノ適用スベキ生活必需物資ノ範圍ハ別ニ之ヲ定ム

第三條　主務大臣ハ生活必需物資ノ生產（加工ヲ含ム以下同ジ）ヲ業トスル者又ハ其ノ團體ニ對シ生活必需物資ノ生產ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ一般的ニ制限ヲ爲スコトヲ得

第四條　主務大臣ハ生活必需物資ノ生產ヲ業トスル者、販賣其ノ他資渡ヲ業トスル者、輸出業者、輸入業者若ハ此等ノ者ノ團體又ハ農業ニ關シ若ハ鑛業ノ目的ヲ以テ生活必需物資ヲ所有スル者ニ對シ讓渡ノ時期、相手方其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ之ガ讓渡ヲ命ズルコトヲ得

第五條　主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ生活必需物資ノ生產ヲ業トスル者、販賣其ノ他資渡ヲ業トスル者、輸入業者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ一般的ニ數量、時期、方法、相手方、配給區域其ノ他ニ付必要ナル事項ヲ命ジ又ハ一般的ニ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第六條　主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ生活必需物資ノ讓受ニ關シ一般的ニ數量、時期、方法、相手方其ノ他ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第七條　主務大臣ハ生活必需物資ノ生產ヲ業トスル者、販賣其ノ他資渡ヲ業トスル者、輸出業者、輸入業者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ生活必需物資ノ寄託、保有、貯入又ハ其ノ他ノ處分又ハ移動ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第八條　主務大臣ハ物品ノ保管ヲ業トスル者ニ對シ生活必需物資ノ保管ニ關シ一般的ニ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第九條　主務大臣ハ生活必需物資ノ生產ヲ業トスル者、販賣其ノ他資渡ヲ業トスル者、輸入業者若ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ生活必需物資ノ生產ニ關シ計畫ノ設定又ハ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第十條　主務大臣ハ生活必需物資ノ生產ヲ業トスル者、販賣其ノ他配給ヲ業トスル者、物品ノ保管ヲ業トスル者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ生活必需物資ノ生產、販賣其ノ他配給、購買又ハ保管ニ關シ帳簿ヲ備ヘ必要ナル事項ノ記載ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條　主務大臣ハ生活必需物資ノ使用又ハ消費ヲ爲ス者ニ對シ生活必需物資ノ使用又ハ消費ニ關シ一般的ニ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第十二條　國家總動員法第二十七條ノ規定ニ依リ補償スベキ損失ハ左ノ各號ノ處分ニ因ル通常生ズベキ損失トス

一　第三條ノ規定ニ依ル生產ノ命令

二　第四條ノ規定ニ依ル讓渡ノ命令

損失補償請求ノ時期其ノ他損失補償ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條　主務大臣ハ個人及法人其ノ他ノ團體ヲシテ本令ニ依ル生活必需物資ノ統制上必要ナル事務ニ協力セシムルコトヲ

得

第十四條　主務大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ關係者ニ對シ生活必需物資ニ關スル統制又ハ其ノ統制事務ニ付テノ協力ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、店舖、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ生活必需物資、帳簿、書類等ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第十五條　主務大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム）ニ委任スルコトヲ得

第十六條　主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ必要アリト認ムルトキハ市町村長又ハ之ニ準ズベキモノヲシテ本令ニ依ル生活必需物資ニ關スル統制ノ實施上必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得

前項ノ事務ニ關スル費用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村又ハ之ニ準ズベキモノヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第十七條　內地ニ於テ本令中第八條ノ規定ノ施行及之ニ必要アル他ノ規定ノ施行ニ關スル主務大臣ハ物品ノ保管ヲ業トスル者ヲ其ノ業ニ關スル法令ニ依リ監督スル所管大臣アルトキハ當該所管大臣トス

第十八條　本令中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トス

第二條中關係官廳トアルハ朝鮮ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

生活必需物資指定規則

（昭和十六年四月一日閣令第五號）

改正　昭一六、六、九、閣令一四
　　昭一六、九、二〇、閣令二三

生活必需物資統制令第二條ノ規定ニ依リ同令ヲ適用スベキ生活必需物資ノ種類ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　農林大臣ノ定ムル食糧農產物及其ノ加工品

二　農林大臣ノ定ムル鮮魚介類

三　農林大臣ノ定ムル食糧畜產物

四　厚生大臣ノ定ムル醫藥品及衞生材料

附　則

本令ハ生活必需物資統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭一六、六、九、閣令一四）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭一六、九、二〇、閣令二三）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

鮮魚介配給統制規則

（昭和十六年四月一日農林省令第十四號）

生活必需物資統制令ニ基キ鮮魚介配給統制規則左ノ通定ム

第一條　生活必需物資統制令ニ依ル鮮魚介ノ配給統制ニ付テハ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本則ニ於テ鮮魚介トハ海產性ノ魚類（皮附ノ鰹類ヲ除ク）、貝類、えび類及かに類ニシテ生鮮ナルモノ竝ニいか類及たこ類ニシテ生鮮ナルモノ（冷凍物ヲ除キ薄鹽物、燕製物及輕度ノ乾燥ヲ施シタルモノヲ含ム）ヲ謂フ

第三條　販賣ノ目的ヲ以テ農林大臣ノ指定シタル地（以下指定陸揚地ト稱ス）ニ鮮魚介ヲ搬入スル者ハ其ノ搬入シタル鮮魚介ヲ當該指定陸揚地ニ付農林大臣ノ指定シタル集荷場（以下指定集荷場ト稱ス）ニ搬入スベシ但シ左ニ揭グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　指定陸揚地ノ地方長官ノ許可ヲ受ケタル者ガ當該地方長官ノ指定シタル數量ノ範圍內ニ於テ鮮魚介ヲ搬入シタル場合

二　正味十貫ヲ超エザル數量ノ鮮魚介ヲ搬入シタル場合

三　特別ノ事由ニ因リ指定陸揚地ノ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

第四條　農林大臣鮮魚介ノ需給調整上必要アリト認ムルトキハ指定陸揚地每ニ左ニ揭グルモノノ組織スル團體ニ對シ當該指定陸揚地ノ指定集荷場ニ搬入セラルル鮮魚介ノ出荷先、出荷ノ制合又ハ數量、出荷時期其ノ他出荷ニ關シ必要ナル計畫ヲ定ムベキコトヲ命ズルコトアルベシ

一　指定集荷場ノ開設者

二　鮮魚介ヲ漁獲シ之ヲ指定陸揚地ニ搬入スル者又ハ其ノ組織スル團體ニ對シ鮮魚介ノ出荷者又ハ其ノ組織スル團體

三　鮮魚介ヲ買受ケ若ハ販賣ノ委託ヲ受ケ之ヲ指定陸揚地ニ搬入スル者又ハ其ノ組織スル團體

四　指定集荷場ニ於テ竿買取引ヲ爲ス者又ハ其ノ組織スル團體

第五條　前條ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル團體ハ同條ノ計畫ニ付農林大臣ノ承認ヲ受クベシ

農林大臣前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示ス

第六條　第四條ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル團體前條第一項ノ承認ヲ受ケタルトキハ當該計畫ニ基キ鮮魚介ノ出荷者又ハ其ノ組織スル團體ニ對シ鮮魚介ノ出荷ニ關シ必要ナル指示ヲ爲スベシ

第七條　鮮魚介ノ出荷者又ハ其ノ組織スル團體前條ノ指示ヲ受ケタルトキハ之ヲ遵守スルコトヲ旨トスベシ

農林大臣第四條ノ計畫ノ實施上特ニ必要アリト認ムルトキハ鮮魚介ノ出荷者又ハ其ノ組織スル團體ニ對シ鮮魚介ノ出荷先、出荷ノ割合又ハ數量、出荷時期其ノ他出荷ニ關シ一般的ニ必要ナル事項ヲ命ズルコトアルベシ

第八條　農林大臣鮮魚介ノ需給調整上必要アリト認ムルトキハ其ノ指定シタル地域（以下指定消費地域ト稱ス）內ニ鮮魚介ヲ

搬入スル者ノ組織スル團體ニ對シ鮮魚介ノ出荷先、出荷ノ割合又ハ數量、出荷時期其ノ他出荷ニ關シ必要ナル計畫ヲ定ムベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第五條乃至第七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第九條　指定消費地域內ニ當該地域外ヨリ鮮魚介ヲ搬入スル者ハ當該指定消費地域ニ付農林大臣ノ指定シタル市場（以下指定消費市場ト稱ス）ノ買受取引ニ依ルニ非ザレバ其ノ搬入シタル鮮魚介ヲ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ズ但シ左ニ揭グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　指定消費地域ノ當該地方長官ノ許可ヲ受ケタル者ガ當該地方長官ノ指定シタル數量ノ範圍內ニ於テ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲ス場合

二　一日正味十貫ヲ超エザル數量ノ鮮魚介ヲ販賣スル場合

三　特別ノ事由ニ因リ指定消費地域ノ當該地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

第十條　鮮魚介ノ小賣ヲ爲ス者ニシテ指定消費地域內ニ住所、居所、營業所、事業場又ハ事務所ヲ有スルモノハ當該指定消費地域內ニ所在スル指定消費市場其ノ他鮮魚介ノ販賣ヲ爲ス者ノ販賣場以外ヨリ當該指定消費地域內ニ於テ賣渡シ又ハ消費スル鮮魚介ヲ買受ケ（買入ノ委託ヲ爲ス場合ヲ含ム以下同ジ）又ハ販賣ノ委託ヲ受クルコトヲ得ズ但シ左ニ揭グル場合ニ在ラズ

一　正味五貫ヲ超エザル數量ノ買受ケル場合

二　特別ノ事由ニ因リ指定消費地域ノ當該地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合

第十一條　農林大臣鮮魚介ノ需給調整上必要アリト認ムルトキハ指定消費市場ニ於テ賣買取引ヲ爲ス者又ハ其ノ組織スル團體ニ對シ當該指定消費市場ニ於テ賣買取引セラルル鮮魚介ノ出荷先、出荷ノ割合又ハ數量、出荷時期其ノ他出荷ニ關シ必要ナル計畫ヲ定ムベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第五條乃至第七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第十二條　地方長官當該道府縣ニ於ケル鮮魚介ノ需給調整上特ニ必要アリト認ムルトキハ左ニ揭グル者又ハ團體ニ對シ鮮魚介ノ出荷先、出荷ノ割合又ハ數量、出荷時期其ノ他出荷ニ關シ必要ナル計畫ヲ定ムベキコトヲ命ズルコトアルベシ

一　集荷場ノ開設者

二　鮮魚介ヲ漁獲シ之ヲ集荷場ニ搬入スル者又ハ其ノ組織スル團體

三　鮮魚介ヲ買受ケ若ハ販賣ノ委託ヲ受ケ之ヲ集荷場ニ搬入スル者又ハ其ノ組織スル團體

四　集荷場ニ於テ賣買取引ヲ爲ス者又ハ其ノ組織スル團體

五　前各號ニ揭グルモノノ組織スル團體

第五條乃至第七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス但シ第五條及第七條第二項中農林大臣トアルハ地方長官トス

第十三條　總噸數五噸以上ノ船舶ヲ以テ鮮魚介ノ陸揚ヲ爲ス者ハ農林大臣ノ指定シタル場合ヲ除クノ外當該船舶ニ付其ノ陸揚地ヲ定メ陸揚地ノ地方長官ニ屆出ヅベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

農林大臣特ニ必要アリト認ムルトキハ

項ノ者ニ對シ同項ノ船舶ニ付其ノ陸揚地ヲ指定スルコトアルベシ

第十四條　鮮魚介ノ漁獲ヲ爲ス者又ハ鮮魚介ノ販賣若ハ販賣ノ委託ヲ爲ス者ニシテ內地ニ住所、居所、營業所、事業場又ハ事務所ヲ有スルモノハ農林大臣ノ指定シタル場合ヲ除クノ外農林大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ販賣ノ目的ヲ以テ內地以外ノ地域ニ農林大臣ノ指定シタル鮮魚介ヲ搬出スルコトヲ得ズ

農林大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ搬出ヲ爲スコトヲ得ル者ヲ指定スルコトアルベシ

第十五條　前條第一項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

一　種類及數量

二　仕向地及仕向港又ハ仕向郡

三　積出港又ハ積出郡

四　搬出時期

前條第一項ノ許可ヲ受ケタル者前項各號ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ遞メ之ヲ農林大臣ニ屆出ヅベシ

第十六條　農林大臣又ハ地方長官鮮魚介ノ配給統制上特ニ必要アリト認ムルトキハ左ニ揭グル者又ハ團體ニ對シ鮮魚介ノ讓渡、讓受又ハ移動ニ關シ一般的ニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

一　集荷場ノ開設者

二　鮮魚介ノ漁獲ヲ爲ス者又ハ其ノ組織スル團體

三　鮮魚介ノ販賣若ハ販賣ノ委託ヲ爲ス者又ハ其ノ組織スル團體

四　業務上鮮魚介ノ消費ヲ爲ス者又ハ其ノ組織スル團體

第十七條　農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ前條各號ニ揭グル者又ハ團體ニ付鮮魚介ノ配給統制上必要ナル報告ヲ爲シ又ハ當該官吏ヲシテ帳簿其ノ他ノ檢査ヲ爲サシムルコトヲ得

生活必需物資統制令第十四條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十三條第一項ノ規定ハ昭和十六年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別記樣式省略）

鮮魚介ノ陸揚地ノ屆出ヲ爲スコトヲ要セザル場合指定

（昭和十六年四月二十八日農林省告示第二百三十八號）

鮮魚介配給統制規則第十三條第一項ノ規定ニ依リ鮮魚介ノ陸揚地ノ屆出ヲ爲スコトヲ要セザル場合左ノ通指定シ昭和十六年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

一　汽船「トロール」漁業者、機船底曳網漁業者又ハ發動式漁業者ガ汽船「トロール」漁業取締規則、機船底曳網漁業取締規則又ハ發動式漁業取締規則ノ定ムル所ニ依リ漁獲物タル鮮魚介ヲ陸揚スル場合

二　專ラ漁業ニ關スル試驗、調査、指導若ハ練習ニ從事スル發動船又ハ漁業ノ取締ニ從事スル船舶ヲ以テ鮮魚介ヲ陸揚スル場合

三　天災其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ地方長官ニ屆出デタル陸揚地ニ陸揚スルコト能ハザル爲其ノ陸揚地ヲ變更セントスル場合

醫藥品及衛生材料生產配給統制規則

（昭和十六年五月七日厚生省令第十五號）

改正　昭一六、一〇、一四、厚令四八

生活必需物資統制令ニ基キ醫藥品及衛生材料生產配給統制規則左ノ通定ム

第一條　生活必需物資統制令ニ依ル醫藥品及衛生材料ノ生產配給ノ統制ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　厚生大臣ノ指定シタル醫藥品（以下第一種醫藥品ト稱ス）ノ生產（自製ノ醫藥品ノ原料ニ供スル目的ヲ以テ爲ス生產ヲ含ム以下同ジ）ヲ業トセントスル者ハ厚生大臣ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ各號ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ厚生大臣ニ提出スベシ

一　住所（法人ニ在リテハ主タル事務所所在地）及氏名（法人ニ在リテハ名稱）

二　藥劑師、製藥者、賣藥營業者ノ別

三　品名

四　生產ノ目的

五　工場所在地

六　生產能力及生產工程

七　原材料取得ノ方法

第三條　前條第一項ノ許可ヲ受ケタル者第一種醫藥品ニ付其ノ生產ヲ廢止シ又ハ生產能力若ハ生產工程ヲ變更セントスルトキハ厚生大臣ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由ヲ具シタル許可申請書ヲ厚生大臣ニ提出スベシ

前條第一項ノ許可ヲ受ケタル者前條第二項第一號、第二號、第四號、第五號又ハ第七號ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ直ニ厚生大臣ニ屆出ヅベシ

前條第一項ノ許可ヲ受ケタル者第一種醫藥品ニ付其ノ生產ヲ一月以上休止セントスルトキハ豫メ其ノ事由及休止ノ期間ヲ厚生大臣ニ屆出ヅベシ

第四條　厚生大臣ハ第一種醫藥品若ハ第六條ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル衛生材料ノ生產ヲ業トスル者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ生產ノ數量、時期其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ當該醫藥品又ハ衛生材料ノ生產ヲ命ズルコトアルベシ

第五條　厚生大臣ノ指定シタル醫藥品（以下第二種醫藥品ト稱ス）ノ生產ヲ業トスル者、輸入業者、移入業者又ハ此等ノ者ノ團體ハ厚生大臣ノ指定シタル者（以下生產統制機關ト稱ス）以外ノ者ニ對シ當該醫藥品ヲ讓渡スルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　生產ヲ業トスル者、輸入業者又ハ移入業者ガ此等ノ者ノ團體ニ讓渡スルトキ

二　陸軍各廳又ハ海軍各廳ニ讓渡スルトキ

三　特別ノ事情ニ依リ厚生大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ

第六條　厚生大臣ノ指定シタル醫藥品又ハ衛生材料（以下第三種醫藥品衛生材料ト稱ス）ノ生產ヲ業トスル者、輸入業者、移入業者又ハ此等ノ者ノ團體ハ厚生大臣ノ指定シタル者（以下配給統制機關ト稱ス）以外ノ者ニ對シ當該醫藥品又ハ衛生材料ヲ讓渡スルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　第二種醫藥品ニ該當スルモノニ付生產統制機關ニ讓渡スルトキ

二　生產ヲ業トスル者、輸入業者又ハ移入業者ガ此等ノ者ノ團體又ハ第二項ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル者ニ讓渡スルトキ

三　陸軍各廳又ハ海軍各廳ニ讓渡スルトキ

四　特別ノ事情ニ依リ厚生大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ

前項ノ規定ハ厚生大臣ノ指定シタル者第三種醫藥品衛生材料ヲ讓渡スル場合ニ付之ヲ準用ス

第七條　地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ）ノ指定シタル者又ハ其ノ團體（以下仲買人ト稱ス）ニ非ザレバ厚生大臣ノ指定シタル醫藥品（以下指定生藥ト稱ス）ノ生產者又ハ其ノ團體ヨリ醫藥品ノ製造又ハ販賣ノ業務ニ關シ當該指定生藥ヲ讓受クルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　生產者ノ團體ガ生產者ヨリ讓受クルトキ

二　特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキ

第八條　仲買人ハ厚生大臣ノ指定シタル者以外ノ者ニ對シ生產者又ハ其ノ團體ヨリ讓受ケタル指定生藥ヲ讓渡スルコトヲ得ズ但シ仲買人間ニ於テ讓渡スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ仲買人間ニ讓渡アリタル場合ニ於テ最終ニ指定生藥ヲ讓受ケタル仲買人ハ前項ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル者以外ノ者ニ對シ當該指定生藥ヲ讓渡スルコトヲ得ズ

第九條　指定生藥ノ輸入業者、移入業者又ハ此等ノ者ノ團體ハ厚生大臣ノ指定シタル者以外ノ者ニ對シ當該指定生藥ヲ讓渡スルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　輸入業者又ハ移入業者ガ此等ノ者ノ團體ニ讓渡スルトキ

二　特別ノ事情ニ依リ厚生大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ

第十條　生產統制機關、配給統制機關又ハ第八條若ハ前條ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル者ハ夫レ夫レ第二種醫藥品、第三種醫藥品衛生材料又ハ指定生藥ニ付豫メ厚生大臣ノ承認ヲ受ケタル配給計畫ニ依ルニ非ザレバ當該醫藥品、衛生材料又ハ指定生藥ヲ讓渡スルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　陸軍各廳又ハ海軍各廳ニ讓渡スルトキ

二　特別ノ事情ニ依リ厚生大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ

第十一條　地方長官ノ指定シタル者（以下卸賣機關ト稱ス）ハ第三種醫藥品衛生材料ニ付豫メ地方長官ノ承認ヲ受ケタル配給計畫ニ依ルニ非ザレバ當該醫藥品又ハ衛生材料ヲ讓渡スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十二條　厚生大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ第十條又ハ前條ノ規定ニ依リ承認ヲ受ケタル配給計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

第十三條　卸賣機關ハ當該道府縣ニ於ケル醫藥品又ハ衛生材料ノ販賣ヲ業トスル者（生產統制機關、配給統制機關、第六條第二項、第八條又ハ第九條ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル者及卸賣機關ヲ除ク以下小賣業者ト稱ス）及地方長官ノ指定シタル者以外ノ者ニ對シ第三種醫藥品衛生材料ヲ讓渡スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十四條　厚生大臣又ハ地方長官第三種醫藥品衛生材料ニ付配給ノ圓滑ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ地域、品目及用途又ハ品目ノミヲ指定シ其ノ讓渡又ハ讓受ニ付購入券ヲ使用セシムルコトアルベシ

第十五條　購入券ノ發行者ハ市町村長（之ニ準ズベキモノヲ含ム以下同ジ）其ノ他ノ者ニ付厚生大臣又ハ地方長官之ヲ定ム

前項ノ外購入券ノ樣式其ノ他其ノ交付ニ關シ必要ナル事項ハ地方長官之ヲ定ム

第十六條　購入券ノ發行ニ關シ市町村長ノ行フ事務ニ關スル費用ハ市町村（之ニ準ズベキモノヲ含ム）ノ負擔トス

第十七條　購入券ハ之ヲ他人ニ讓渡シ又ハ他人ヨリ讓受クルコトヲ得ズ

第十八條　地方長官ハ購入券ノ發行者ニ對シ其ノ發行スベキ購入券ニ相當スル醫藥品又ハ衛生材料ノ品目別數量ヲ決定シ之ヲ通知スベシ

購入券ノ發行者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル醫藥品又ハ衛生材料ノ品目別數量ノ限度內ニ於テ購入券ヲ發行スベシ